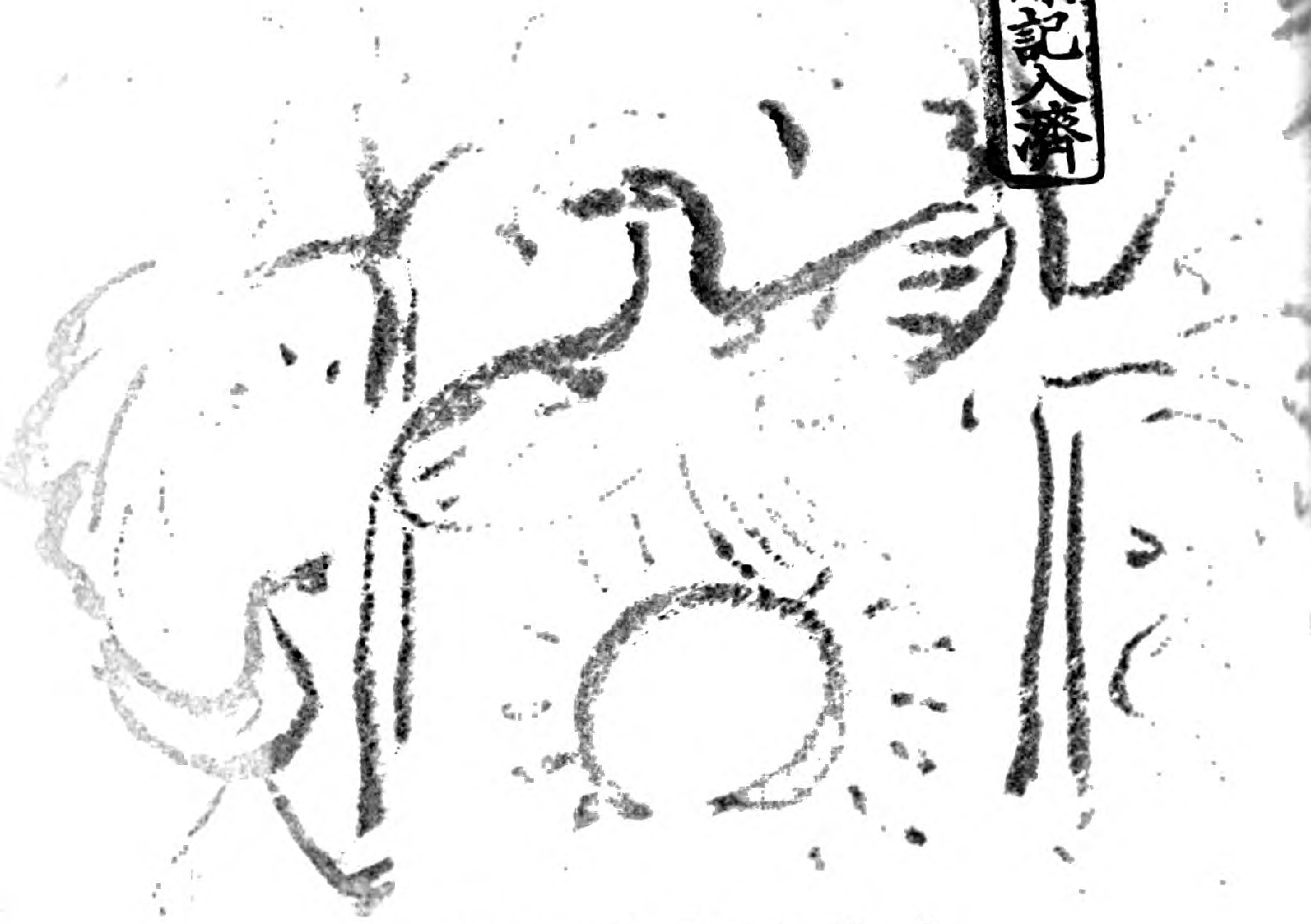
The Taiwan jiho

臺灣時報

五月號

MAY 1926
SOUTH MANCHURIA RAILWAY CO. LIMITED
内容目録記入済



臺灣時報發行所

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣時報發行の趣旨

政事、時事、農事、工事、商事、學術技藝、統計等の報道評論特に臺灣に於ける統治狀態及び諸般の情況並に南支南洋に關する事項を周知せしむる爲め臺灣時報を發行す。（發行規定第一條）

臺灣時報發行所役員

評議員長　後藤文夫

評議員　（以下イロハ順）

石坂荘作　今井周三郎　井村大吉　伊藤兼吉　岩本多助　西川利藤太　醫學博士 堀内次雄　富地近思　陳鴻鳴　陳中和　林熊徴　林献堂　林烈堂　林鶴壽　李延禧　大竹勝一郎　農學博士 大島金太郎　大越大蔵　大賀基作

太田吾一　渡邊金造　川崎軍治　簡朗山　片山三郎　吉岡荒造　楊吉臣　醫學博士 高木友枝　田村武七　田村藤四郎　田賀奈良吉　高山仰　瀧田傳吉　武田英一　津田毅一　津久井誠一郎　鼓包美　永田隼之輔　内藤正太郎

宇賀四郎　草鹿砥祐吉　倉岡彦助　日下操　松岡富雄　牧山清砂　藤野幹　古木章光　小松吉久　呉昌才　辜顯榮　古賀三千人　黄欣　呉汝祥　黄春帆　後藤和佐二　枝德二　江口良三郎　江崎眞澄　鄭神寶　赤石定蔵　赤司初太郎　後宮信太郎　阿部滂　麻生誠之　荒巻鐵之助　相原祐彌　淺田知定

近江時五郎　坂本素魯哉　佐々木紀綱　柵瀬軍之佐　皿谷廣次　蔡蓮舫　坂本森一　齋藤透　佐藤得太郎　木村匡　木村久太郎　許廷光　北村吉之助　喜多孝治　木下信　三村三平　三好德三郎　三浦碌郎　白勢黎吉　進藤良英　徐杰夫　遠藤所六　平山寅次郎　森廣蔵　本山文平　鈴木重臣　諏訪禮次郎

編纂委員

猪股松之助　今川淵　生駒高常　服部武彦

林田軍五郎　原口竹次郎　富田松彦　大澤清高

常務員

大竹勇　和田一次　和田博　鎌田正威　横光吉規　田端幸三郎　中瀬拙夫　中田榮次郎　中田秀造　内田隆

深川繁治　古山榮三郎　青木敬一　淺野安吉　佐藤續　水越幸一　下村充郎　城間垣人　平山泰

編輯係　鷹取田一郎　囑託　眞倉民治
同　中野顧三郎　同　秋澤次郎
囑託　泉芳德　同　安藤泰夫
同　尾崎保正　同　鈴木重男
同　横尾善夫　庶務
同　栗山新造　會計　伊藤憐之助

大正十四年四月二十九日印刷
大正十四年五月一日發行（毎月一回一日發行）
（定價一冊郵税共金三十錢
廣告料一頁金二十圓）

發行所　臺灣總督府内
臺灣時報發行所
振替貯金口座臺灣二〇七〇番
電話總督府内第八九番

臺北市東門町百八番地
編輯兼發行人　中野顧三郎

臺北市本町一丁目十九番地
印刷者　中村誠道

臺北市榮町一丁目二十七・二十八番地
印刷所　松浦屋印刷部

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

問屋業
販賣業
代理業

三井物産株式會社

臺北
臺南
支店

出張所
出張員

福州
基隆
高雄
臺中
廈門

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣時報大正十四年五月號 目次

口繪 □□□□□□□□□□□□□□□□□
熊本共進會に於ける臺灣館▼同臺灣館の陳列場

卷頭言――御慶典を祝し奉る …… 一

時報 …… 二―三

帝國ホテルに於ける臺灣宣傳會▼臺灣産業組合協會評議員會▼殖産局特産果實會議▼行啓記念日御沙汰書捧讀式▼行啓記念日總督官邸の茶話會▼恩賜財團臺灣濟美會の助成金贈呈

□□□□論說其他□□□□□

日本と佛領印度支那との親善 …… メルラン、マルシャル 四

佛領印度支那事情 …… 中瀨拙夫 七

支那財政の眞相 …… 木村增太郎 二九

□□□□調査研究□□□□□

臺灣四千年史の研究 …… 尾崎秀眞 五一

金融彙報 …… 財務局金融課 六五

廈門の海産物貿易及其の賣行 …… 殖産局商工課 七〇

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

急激に發展せる比島の製造工業……越村生譯 九七
支那の棉産狀況……片寄生譯 一〇四

□□□□寄　書□□□□□

帝王神祕主義……鷹取田一郞 一一二
新高の山高四十尺を減ぜん……野呂寧 一一八
急要なる臺灣油田の地質調査……市川雄一 一二三

□□□□說　苑□□□□□

日本の好い所。日本人の偉い所……森武美 一三四
最近の歐洲見聞記……小林準一 一四二
熱帶學校園の話……福原與之助 一四八

□□□□□□□□□□□□□□□□□□

詞　苑……一五六
島　情＝金融統計◉貿易統計◉地租附加稅の徵收成績……一五九

□□□□□□□□□□□□□□□□□□

臺灣日誌◉人事消息◉任命◉寄贈書目……一七六
南支那南洋其他海外重要記事……總督官房調査課 一七九

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

株式會社臺灣銀行

（臺北）

支店出張所

臺灣

基隆　新竹　臺中　嘉義　臺南

高雄　宜蘭　淡水　桃園　南投

屏東　臺東　花蓮港　澎湖島

支店出張所

支那

上海　漢口　福州　廈門

汕頭　香港　廣東　新嘉坡

其他

盤谷　スラバヤ　スマラン　バタビヤ

孟買　カルカツタ　倫敦　紐育

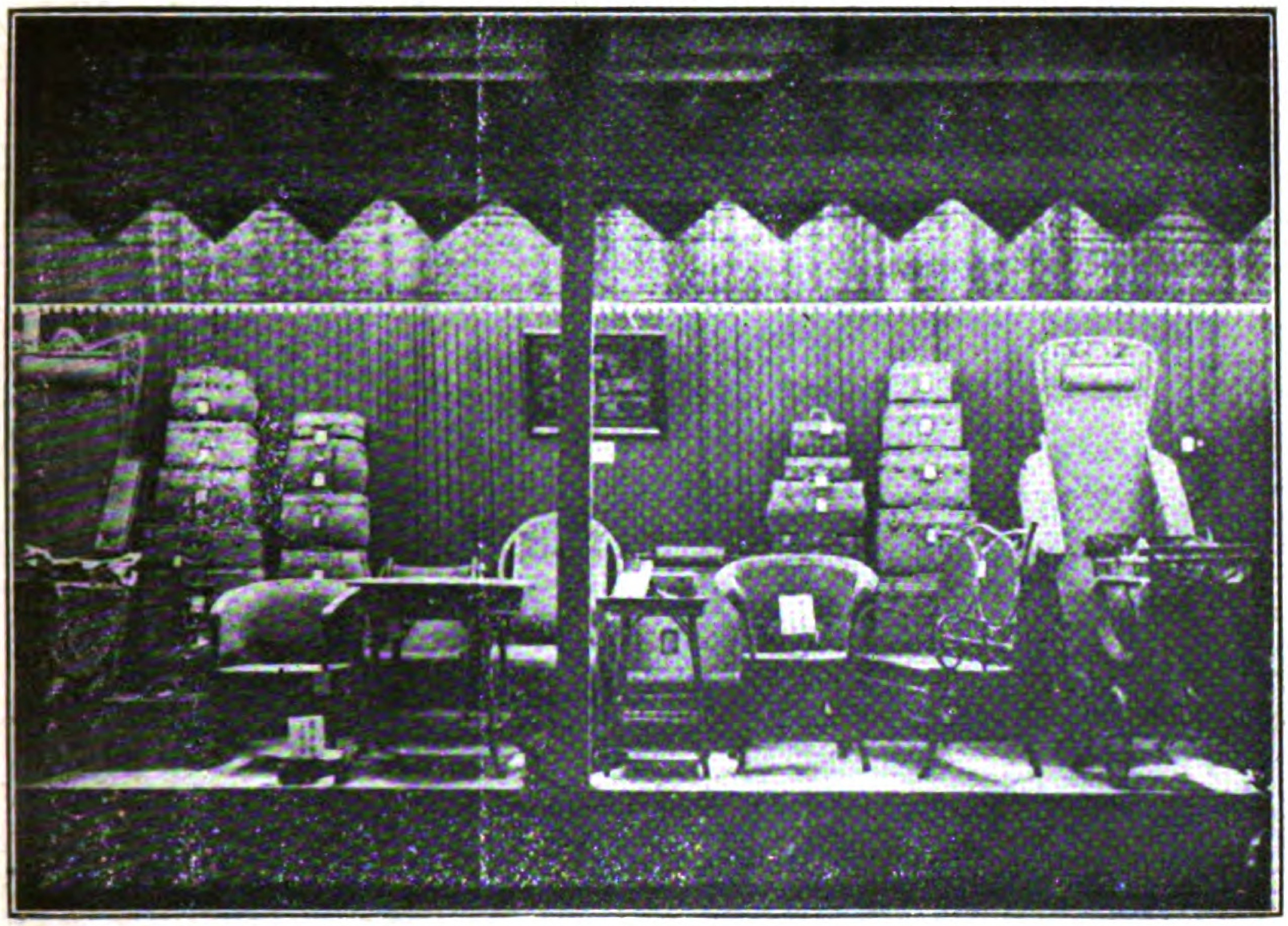
內地

神戸　大阪　横濱　東京

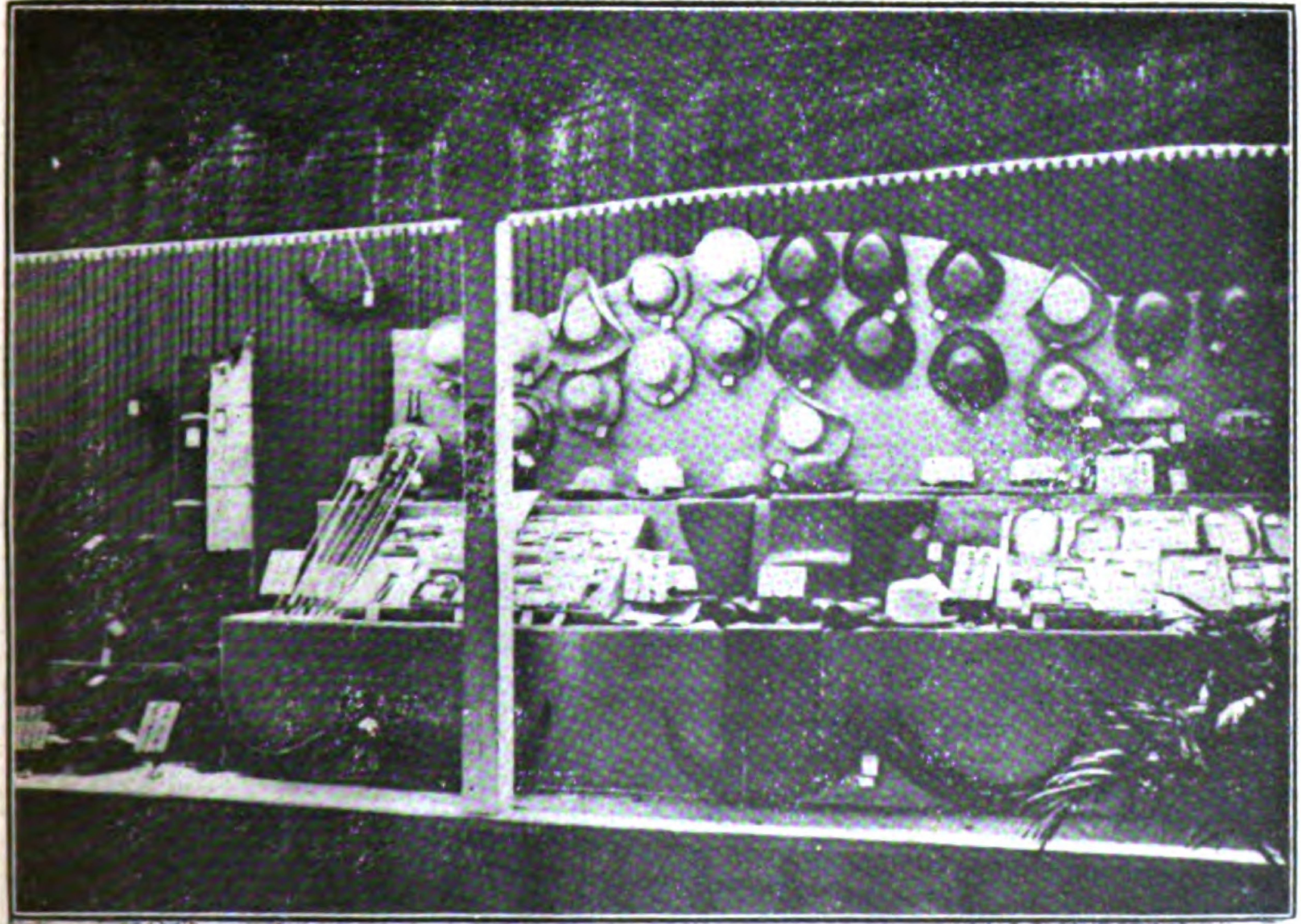
Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

熊本共進會に於ける臺灣館、左方の二階建は好評頗りなる臺灣喫茶店

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



熊本共進會に於ける臺灣館の陳列場(籐細工)



同上陳列場(大甲藺製品其他)

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

御慶典を祝し奉る

聖上　皇后兩陛下には、五月十日銀婚式の御慶典を擧げさせ給ふと承る。邦家康寧、聖壽無疆。七千萬臣民の歡喜は勿論、海外萬邦も御稜威の彌や高きを仰がざるなけむ。謹みて案ずるに、兩陛下の御成婚あらせ給ひし明治三十三年五月の頃は、臺灣は尙ほ南荒の未闢、逋盜の叢として、民生も其の堵に安んせざる時代なりしが、星霜二十五年、時勢一變して文物燦然たる今日の樂土を現出せるもの、一に仁風慈雨の惠澤に由ると謂はざるべからず。我等は今日、謹みて皇家の御慶典を祝し奉ると共に、轉た當年を追憶して、多幸なる臺灣を祝福し、且つ深き感謝を捧ぐるものなり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

時報

帝國ホテルに於ける臺灣宣傳會

臺灣總督府の臺灣宣傳會は三月十八日の午後一時から東都なる帝國ホテルに於て催ほされ來會者は伊澤總督より招待された貴衆兩院の議員を初め都下の名士、臺灣關係の諸氏等八百餘名に上るの盛況を呈し先づ演藝場に於て活寫により臺灣の都市・名所・產業・植物・果物其他を映寫して會衆の喝采を博し次で大宴會場孔雀の間に於て臺灣名物の西瓜・木瓜・椪柑・鳳梨・バナヽ等の果物や烏龍茶、それに米酒・老酒其他の臺灣酒や新高・ヂヤスミン其他の臺灣煙草等を饗して更に臺灣を紹介した、宴酣なる頃伊澤總督は立つて簡單な挨拶を述べたが其の中には「只今は冬季で臺灣では果物の一番不味な時である今日各位に供した物は決して臺灣の果物を率直に紹介するものではない季節の惡い今日で加之も東京まで持つて來ても此の位に食べられるといふ事を紹介するものである若し臺灣にお出で下されば、もつと〳〵美味な物を御馳走致ます」との一節もあつた斯くて一同は南國氣分に浸り歡を盡して四時散會したが此の宣傳會は中々偉い人氣であつた。

臺灣產業組合協會評議員會

臺灣產業組合協會評議員會は三月十六日午前九時三十分から總督府會議室に開かれた出席者は中央及地方の關係當局で橫光會長代理から本會を、法的團體に改め、系統的機關の完備を期すべく、尙ほ事業計劃としては、講習講話會開設・餘裕金利用・事業組合の研究・信用組合の指導・內地優良組合視察・產業組合大會及資料展覽會開設等の計劃指導に就て挨拶があり次で議事に入りて大正十四年度豫算、同十二年度決算報告、會則變更の件等全會一致にて原案を可決し午後四時散會した。

殖產局特產果實會議

總督府殖產局特產課に於ては四月十三、四の兩日特產果實に關する會議を局內別室に開き中瀨特產課長初め中央地方の當局會同して同課主管たる砂糖・茶以外の特產果實たる芎蕉・鳳梨・柑橘等に關する諮問其他の事項に就き審議する所があつた。

行啓記念日御沙汰書捧讀式

四月十六日は畏くも　東宮殿下が一昨年本島に行啓あらせ給ひて玉步を初めて臺灣の地に印し給へるの日を記念せる其第二回の記念日に相當せるを以て當日總

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

督府に於ては殿下の臺灣總督に賜はりたる御沙汰書捧讀式を擧ぐべく午前十時から各部局長以下文官一同府內會議室に參集し總督代理木下內務局長は設けの壇上に立ち嚴肅に御沙汰式を捧讀し十時五分式を了りて一同靜肅に退散した、此の日總督府にては伊澤總督の名を以て電報にて天機竝に御機嫌を奉伺し尙ほ豫て本島より發送せる名物の西瓜及木瓜を宮內省を經て献上した、尙當日臺北州を初め各州下に於ても夫々御沙汰書捧讀式を擧行した。

行啓記念日總督官邸の茶話會

第二回行啓記念日に於ける茶話會は四月十六日午後三時から總督官邸に開かれた來會者は在臺北官民百七十餘名で一同大食堂に入りて席定まるや木下內務局長は謹嚴な態度を以て「本日は一昨年四月畏くも　皇太子殿下が玉步を初めて臺灣の地に印し給ひし日で我々本島在住者に取りて最も感激すべく又最も喜ぶべき日である殿下には御渡臺後具さに本島の御見學を遊ばされ御還啓に際しては臺灣統治は一に官民の和衷協同に負ふ所大なる旨の御令旨を賜はりたることは我々の最も感泣措く能はざる所である、今後も益々和衷協力して臺灣の文化の發達に資し以て御令旨に副ひ奉らんことを期したい、との意味の挨拶を述べ夫れより宴に移り更に木下局長の發聲にて一同兩陛下竝に　東宮　同妃兩殿下の萬歲を三唱し尙ほ別室に移つて一同當年の盛事を語り合ひ午後四時半和氣藹々裡に散會した。

恩賜財團臺灣濟美會の助成金贈呈

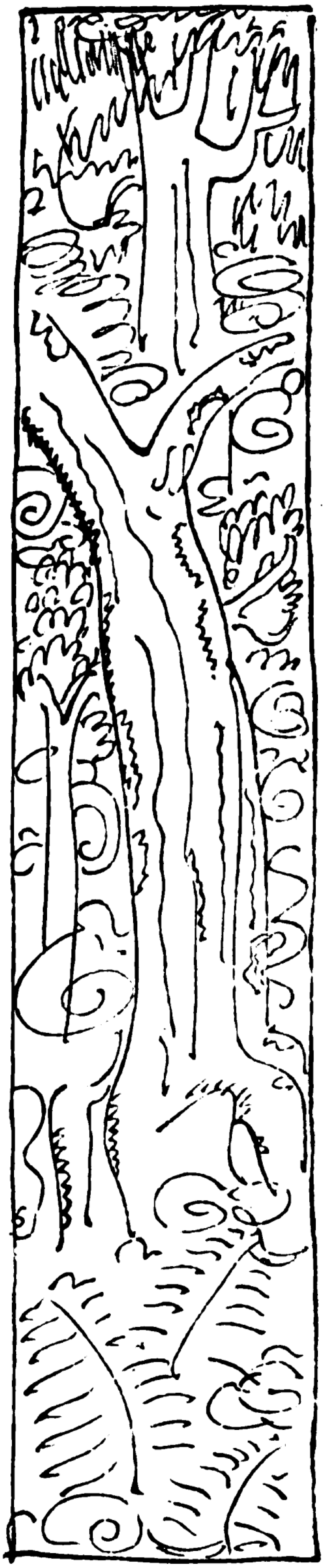
四月十六日　皇太子殿下臺灣行啓第二回記念日に當り恩賜財團臺灣濟美會長より「教育奬勵」の趣旨により左の通り助成金を贈呈し。

金參百圓	臺北州	木柵公學校
同	同	和尙洲公學校
同	新竹州	關西實業補習學校
同	臺中州	太平公學校
同	同	永靖公學校
金五百圓	臺南州	嘉義商工補習學校
金參百圓	高雄州	大寮公學校
金五百圓	同	馬公水產補習學校
金參百圓	同	龍肚公學校
金參百圓	花蓮港廳	吉野尋常高等小學校

又た「社會事業奬勵」の趣旨を以て嘉義婦人會簡易宿泊所へ金貳百圓又た「社會敎育奬勵」の趣旨により左記の通り孰れも助成金を贈呈した。

金百圓	新竹州苗栗自彊會三叉支部國語練習會
金百圓	桃園郡興風會蘆竹支部盧錐學會
金參百圓	臺東廳大馬武窟青年會

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



日本と佛領印度支那との親善

佛領印度支那總督　メルラン、マルシヤル

此の一篇は本年二月四日、佛領印度支那の首都ハノイの總督官邸に於ける我が答禮使山縣公爵一行招待會席上、メルラン總督所述、挨拶の全譯であつて、標題は便宜編者の付したものである。（編者）

閣下並に隨員諸君

昨日閣下並に隨員諸君の御來臺出迎の時に於ても、又今朝の公式訪問を受けました時に於ても、本官として甚だ欣幸とすることは、今回初めて印度支那に於て、日本の國家的代表たる使命を帶びられた閣下茲に隨員諸君一行を迎へ得たこと、並に先年本官の日本訪問の際、本官一行の受けたる熱誠なる歡迎に對し、今回些か報ひ得る機會を得たことであります。願くは、閣下並に隨員諸君も、本官が貴國に於て得たると同じく、

愉快なる好印象を抱懷されんことを望みて止まぬ次第であります。

斯く申しますのも、單なる禮儀上の冗言ではありませぬ。更に高遠なる意義を含んでゐるのであります。卽ちかゝる好印象を有せられて故國に御歸還なさゝることは、佛本國竝に印度支那官民一同の希望期待であるのみならず、貴國と本領土とを接近せしめ、更に友交關係を密接ならしむる階梯なりと確信するからであります。

歐洲に於て、貴國は外交關係上、毫も佛本國と其の利害相背馳しませぬ。又極東に於ても、相互の重大なる且つ正當なる利權は抵觸しませぬ。故に我が本國が歐洲に於て多大の援助を貴國より受けたる如く、佛國も極東に於て、貴國へも同じ貢獻を盡さねばなりませぬ。又印度支那は亞細亞の一端に位して、支那海及び大平洋に面して居ります點より、本國政府の如何に依りて、貴國との關係を、圓滿に且つ親密ならしむるに便なる地に位して居ります。

萬一、佛本國に對する當印度支那の親子關係竝に當印度支那の國家的利害關係が、孰れも、本國の夫れと一致し得るならば、當印度支那が極東經濟界に大活躍をなし得るならんことを一考せられたい。只今の所、印度支那の輸出品は主に隣接各國に供給する所となつて居ります。然し僻遠の地に位する點及び運賃高額に達するといふ事由の爲、歐洲市場に輸出しても、有利ならざる二三の製品があります。他面、印度支那境域内に外國品の輸入を禁止しある爲、隣接國より輸入し得ぬ有樣であります。故に本國及び印度支那貿易を保護する條件に於て、當地輸入品の五十パーセントの貿易を、日本に對し許可するは勿論異議なきことゝ信じます。然れども、本國の貴國に上述の利權を讓渡したる結果、印度支那特種利權及び貿易上の優先權を、當然日本が佛本國に認むべきものと存じます。東京より以來引續き開かるゝ會商の結果、私人をして調査を行

はしめ、而して相互政府が、政策上の手段決議に遵ひ、種々の施設を講するは大いに望む處であります。山縣公爵を首めとし、随員の高官、財界經濟界知名の士、願くは、佛國の爲に、熱ある同情を持たれ、かヽる調査を行ふ様取計はれんことを。閣下竝に随員諸君は、佛本國及印度支那の意の存する處、融和の希望及び協定の精神を、當然御認めなされしことヽ堅く信じて斯く希望します。

本官の身として、深く感銘する所は、閣下を經て　攝政宮殿下の御優渥なる御諚を賜りしこと、及び随員諸君方の中に、日本に於て對佛國と交友關係の促進に盡力なされし印度支那協會員諸君を見受くることは、本官の幸榮と存ずる所であります。尙茲に一言會て會頭たりし故黑田子爵の、協會に對しての多大の御貢獻に對し、深く感謝の意を申し述べて置きます。

終に臨み、佛本國竝に印度支那の良友たり文人・藝術家たる　駐日大使クローデル氏を茲に迎へ得たることを、本官は衷心より欣快となす次第であります。

使節閣下竝に随員諸君の今回の御使命の、必ず成功裡に終らせらるヽことを信じ、且つ先年日本辭去に際し、本官の日本に對する愛著の念を體驗しむるが如く、永久に閣下竝に随員諸君が、當印度支那に心を寄せられんことを、冀望して止まぬのであります。

滿場の諸君。此の如き赫々たる希望の下に

日本帝國皇帝陛下　　攝政宮殿下、日本國民及び使節閣下竝に随員諸君の爲に、乾盃致したいと思ひます。

——L' Avenir du Tongkin——

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

佛領印度支那事情

一

殖産局特産課長　中瀬拙夫

私は先般、山縣答禮使に隨行して佛領印度支那に參りましたが、今度の山縣公の旅行は、全く先般メルラン總督の日本來朝に對する答禮の爲に、國際辭禮を主としたる旅行でありましたので、私共が海防に上陸してから、約一箇月間、彼の地を旅行し、最後に柴棍を出發する迄、日夕宴會と見物に引廻はされて、殆んど自由に視察するの時間を與へられなかつたので、隨つて私は何等御報告すべき材料もありませぬが、唯々彼地に於て耳聞目睹せる所謂見聞記的のものを御紹介して聊か責を塞ぎたいと思ふのであります。

先づ私共は二月の始めに海防に著きましたが、此の海防は河口から約二十哩隔つて居り、夫れから汽車二十五哩許なる河內に著きました。此邊一體は非常に平坦な田野で、海防・河內間二十五哩の高低の差が僅に一米に過ぎないと云ふ位であります。夫から約一週間許り此の附近を視察し、夫より自動車の旅行を續けて七日目に柴棍に到著し、其處を中心として各地方を視察し、次で柬埔寨の首府「プノンペン」に至り、又た昔の柬埔寨の舊都たる有名な「ルイン」即ち廢跡である「アンコルヴアット」を訪ひ、後と戻りして西貢から歸途に著いた次第であります。

二

佛領印度支那は御承知の通り、東京(トンキン)・安南(アンナン)・柬埔寨(カンボチヤ)・老撾(ラオス)・及び交趾支那(コチンチーナ)の五つの部分から成つて居り、其の面積の總體は、朝鮮を合併した日本の面積と略々一致して居る。而して其の人口は交趾支那以外は正確な調査が無い爲に、或は一千四百萬と云ひ、或は二千萬と云ふが、最近の政府の報告では一千九百萬となつて居ります。而して佛蘭西人と其他の歐米人を加へて其の人口は二萬四五千人と言はれてある。それで佛領印度支那に於ては河內を中心とした紅河流域の「デルタ」地方と、西貢を中心とした「メコン」河の流域と、柬埔寨の大湖地方と、主として此の三箇所に住民の多くが生活して居る。隨つて其の地方が最も豐饒な土地であるのであります。氣候に就て言へば、一口に南洋と云へば如何に暑い所であるかと私共は先づ考へる。恰度臺灣と云へば、如何にも暑い、嫌やな所であるかの如く內地の人が考へると同じく、南洋と謂へば直ちに炎熱を想像します。併し私が佛領印度に參りましたのは、二月の初めでありましたが、折から非常に寒く、殆んど臺北で經驗しない程の寒さを感じました。それで自動車旅行中は寒氣に耐へずして自動車の中に坐はり込んだ人さへあつた位で、詰り南洋と一口に申しても、佛領印度支那に於て尙ほ斯の如き冬があり、寒さが來ることを御記憶を願ひたいのであります。氣候は地方に依つて多少違ふが、十一月から二月迄を冬期とし、快晴の天氣である。卽ち氣候は大體に於て雨季と乾燥季とに分たれ、四月から十月迄は雨期で、此の間は始終雨が降つて、暑さも暑く、殊に四月五月は非常な炎熱を感ずるさうであります。又た地勢に就て言へば、佛領印度支那に於ては御覽の如く雲南地方から山脈が突出して居り、又た他の山脈が南方に延びて殆んど佛領印度支那の半島を縱斷して居る。山は概して海岸の側は急峻で、反對の側卽ち「メコン」河に向つた方面は

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

佛領印度支那畧図
廣西
東京
東京灣
海南島
暹羅
盤谷
安南
交趾
支那
西貢
シャム湾

非常な緩傾斜の高原を成して居る。隨つて此の地方には非常に大きな開墾の餘地を有して居ると云ふことであります。

三

佛領印度支那に於ける住民は如何なる種族のものかと言へば、主として安南人であるが、安南人は約千年前から殆んど支那の屬國として其の支配を受けたもので、其の始めは南支那から移住した所の「モンゴリヤ」人種である。隨つて文字も現在に於て漢字を使用し、且つ生活の樣式は總て支那其の儘である。唯、千年前の支那の文化が遷移を經て、或は惡く發達したものと混淆した爲に、支那程の雄大な氣分を感ずる建築などもなく、極惡い感じのするものである。殊に安南人は、殆んど其の總ての百姓が「マングラウブ」の汁で染めた茶褐色の衣服を著て居て、如何にも貧弱に感ぜられる。併し彼等は農耕民としては非常に勤勉である。然るに彼等は非常に勤勉でありながら、又た田園は開けて居りながら、安南人の生活は非常に貧弱である。殆んど竹の柱に茅の屋根で、其の生活は實に見るに忍びない程のものであります。

安南人に次では東埔寨人である。東埔寨人は主として緬甸地方から移住した所の所謂印度系の住民である。隨つて現在に於ても「サンスクリット」風の文字を有して居る。尙ほ其の建築の樣式にしても、衣服にしても、總て印度系の文化を傳へて居るのである。此の種族は紀元九世紀頃迄「アンコルヴアット」に都を構へて居り、其後紀元十四五世紀頃迄は非常に繁榮を極めたのであるが、暹羅の方の勢力が非常に強く、且又た安南人の勢力が強くなるに從つて、前後兩方から侵擊せられ、遂に土地を暹羅に奪はれて、都を今の「プノムペン」に移しました。爾後殆んど言ふに堪へないやうな貧弱な國民と成り下つて仕舞つた。「アンコルヴアット」

は壯麗雄大なる石造の建築で、世界に於ける有名なる「ルイン」の一つと成つて居るが、嘗て此、の「アンコルヴアット」に都した東埔寨人が、如何にして斯く貧弱に落ちたかと思ふと寧ろ悲慘に堪へない位である。其他佛領印度支那には「カム」族・「モイ族」、及び苗族等、各種の民族が移住して居るが、是等は數に於ても大したものでなく、殆んど全人口の五分の四は安南人を以て充たして居る。隨つて安南人は東京（トンキン）から安南・交趾支那・東埔寨及び老撾に擴がつて居ります。

四

佛領印度支那の首府は始めは、西貢にありましたが、氣候が餘りに炎熱で歐洲人の生活に適しない爲に河内（ハノイ）に移されたのである。メルラン總督は茲に在つて全佛領印度支那を統治して居る。唯ゝ注意すべきは、交趾支那は約六十年前に佛國が安南と戰つて、始めに三州を取り、後に一州を加へて交趾支那四州を割讓せしめたのである。故に佛領印度支那の中で交趾支那丈けは佛蘭西の純然たる領土であり植民地である。隨つて其の行政は西貢にある知事が直接に之を掌つて居る。其他の東京・安南・東埔寨・老撾・此の四箇國は佛領印度支那とは云へ、其の實際は佛蘭西の保護領である。中でも安南王國と東埔寨王國は實際に於て現在立派な王様があるので、現に安南の首府「ユエ」には、周圍三里に亙る大きな宮城を構へて、王様が此に都して居る。尙ほ東埔寨の「プノンペン」には金色燦爛たる緬甸式の宮殿を有し、王様が非常な贅澤をして此に都して居るのである。是等の保護領に對しては佛蘭西の「レシダン、スペリオル」即ち理事長官が駐在して居り、メルラン總督の代理者として實際に行政を監督して居る。其の保護の程度は保護條約の奈何により多少の差異を來して居る。寧ろ安南には保護が非常に強く、東埔寨には保護の程度が弱いのである。現在私共が謁見しましたと

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

きにも、安南の王樣は約四十歳許りの方でありますが、非常に沈欝な感じを現はした人でありました。又た前王は「マダガスカル」に近き海島に流謫されて居るとか云ふ狀態であります。然るにも拘はらず、東埔寨の王樣は現在八十四歳と云ふ高齢であるのに、二百四十人と云ふ多數の寵姬を擁し、精力絶倫を以て誇つて居るやうな元氣の好い方であります。謁見の際にも「理事長官が非常に旨くやつて呉れるから自分の國は大變に良く治つて居る」と云ふ風に寧ろ積極的に出る位の方でありました。

次に東京でありますが、東京は昔は獨立國であつたが、其後長く安南の屬國となり、安南王は玆に副王を置いて統治せしめて居つた。故に安南が佛國の保護領となると同時に東京も保護領となつて居るが、現在に於ては固有の安南國とは別に、佛國の知事が河内に在つて、名義は安南王の代理者として統治して居るのであります。

老撾は殆んど此の地方に於ける殖民地のやうな狀態で、現在に於ても「ヴインシヤン」に佛國の理事長官が居て直接に之を支配して居る。而して東京と老撾は名は保護領であるが、實際に於ては殆んど佛國の領地と成つて居るやうな次第であります。

五

次に政治機關に就て言へば、メルラン總督は河內に住んで居て、其の下に「ガバンメント、カウンシル」卽ち立法評議會を組織せるが、其の「メンバア」は各部局長・各理事長官・交趾支那の參事會長及び河內・海防・西貢等の商業會議所の會頭及び二名の土著民の顯官より成り、而して其の立法評議會は各地方の五州の地方豫算と、佛領印度支那全體の總豫算とを審議するのである。尤も交趾支那に於ては植民地參事會があつて、地方

の豫算を議して居り、尙又た別に佛國市民の中から選んだ一人の代議士を佛蘭西の議會に送つて居る。其他の保護領に於ては各保護領に參事會があつて、理事長官を補佐して居る。又た安南・東埔寨にも各省大臣があり、大臣會議に依て總ての政務を決定する。併しながら其の決議も理事長官の裁決を經なければ之が實行力を有しない。故に事實に於ては殆んど佛國の理事長官が行政の鍵を握つて居る樣な次弟である。右に述べたる地方豫算と總豫算の中で、總豫算と云ふは佛領印度支那全體に關する行政の政費に充つる爲の必要な費用であつて、これは關稅其他郵便・鐵道等の收入から支辨して居り、現在に於ては總豫算が七千七百六十萬「ピアスタア」である。「ピアスタア」は殆んど日本の圓に近く、現在では壹圓四拾五六錢に當るかと思ふ。次に地方豫算であるが、是は各地方に必要なる政費に充つるもので、地方の敎育その他の費用に使はれて居る、其の各地方豫算を合すれば五千九百四十萬「ピアスタア」であつて、之と總豫算とを合すれば合計三億三千萬「ピアスタア」であつて、殆んど景氣の好い時代の臺灣の豫算に近いのであります。佛國が統治の始めに於ては、或は叛亂があり或は交通不便の爲に、非常に經費を要して年々佛本國の補助を仰いだのであつたが、最近數年間は輸出超過で非常に景氣が良く、隨つて財政は獨立して其の上に餘裕を持つて居る狀態であります。

六

次に交通の狀況に就て言へば、先般山縣公爵が御話になつたとか新聞に見えたやうに、道路は非常に完備して居つて、其の總延長が二萬九千「キロメートア」恰度日本の里數で約七千里許りある。其中で自動車の自由に走れるものが總て九千哩である。如何なる田舍でも、或は護謨畑・珈琲畑でも自由に自動車で行けるのである。現に臺灣に緣故の深い眞室幸敎氏の製糖工場は西貢の田舍にあるが、話に聞けば或は虎が甘蔗畑に棲

て居たとて、苦力が青くなつたなどと云ふので、如何にも草深い田舍のやうに思はれるが、實際は自動車一時間位で樂に行けるやうな所であり、平々坦々たる立派な道路が有るのであつて、如何なる田舍に行つても道路だけは非常に完備して居るので、佛國が統治上或は産業開發の爲に、斯く道路行政に力を用ゐたと云ふことは洵に慶賀に堪へない次第である。飜つて我が臺灣の道路を觀ると寔に其の貧弱さに驚かざるを得ない。試みに基隆に著いて僅か汽車で一時間位の所を自動車で行けば少くとも二時間は要かるやうな道路である。臺灣としても今少し道路は立派にしたいと思ふのであります。只今の虎の話に就て、南洋では恰度臺灣に生蕃が附物である樣に虎と象の話は南洋には附物であります。併し臺灣に參つても生蕃は臺北の眞ん中に出ないと同じく、彼の地に參つても何處にでも虎や象が居る譯ではないのであります。併し東埔寨の大湖地方は非常に低地で、雨期には大湖の水面が殆んど三倍の面積にもなる位に水嵩が殖える。隨つて野性の象は行き場を失つて小高い所に群を爲し、二三百匹の象は雨期には何時でも見られると云ふことであります。現に私共が參つた時にも「あー向ふに象が居る」と云ふので向ふの方を見れば、三頭の象が野原に遊んで居ると云ふ位に象は相當居るのであります。此國では象は非常に保護さして居るので、決して積極的に人を害しないさうであります。只厄介なのは鐘を敲いても少々鐵砲位を打つても決して逃げない。食ふ丈けは食はねば去らないので、此の點に就ては百姓が非常に迷惑するさうであります。

七

次に鐵道の狀況でありますが、御覽の通り佛領印度支那の鐵道は切れ〳〵になつて居つて、一は河内から支那の山間迄行き、一は海防から雲南迄行き、その他總て切れ〳〵で全く連絡なく、未だ充分に其の機能を

發揮して居ない狀態である。尙又た鐵道の「ゲーヂ」も僅か一「メートル」に過ぎない極小さいもので、實に貧弱なものである。併し現在に於ては各鐵道を連絡することに力め、西貢から「プノンペン」及び盤谷に連絡する計畫になつて居るが、之が直接に新嘉坡と連絡するに至らば非常に重要な鐵道線になるのであります。現在に於ては總ての鐵道が殆んど充分に產業上交通上の役に立つて居ない狀態である。唯々玆に注意すべきは、佛蘭西政府が自分の領土內の鐵道の完成を俟たずして、先づ國際鐵道である處の雲南鐵道を完成したことは、今日となつては非常に重大な意義あるものであります。雲南の人口、雲南の事情等から見ても、雲南には澤山の物產が輸入せられ、又た阿片其他の物產が出るのであるが、玆に高い通過稅を課せられる爲に佛蘭西以外の物貨の輸入は非常に困難な狀態であります。此の雲南の開發に關し、雲南貿易は我が日本としても、亦た臺灣としても將來大いに攻究する價値があるものと信ずるのであります。

尙又水運でありますが河は江河とメコン河の大河があつて、雨期には兩方とも殆んど五百哩位汽船が溯ばることが出來、乾燥期にも「プノムペン」迄行き、又「エンバイ」迄溯ることが出來る。其他多數の河があるが總て舟楫の便を爲して居るやうな次第であります。殊に又「デルタ」地方に於ては非常に澤山の支流があり、且つ運河がある爲に、上流地方の米穀其他の物產を船に依つて運搬するの便があり、隨つて海防及西貢に近きショロン市には澤山の精米所があります。恰度臺灣の農業倉庫の精米所と同じやうな機械であるが、其の一つの工場が臺灣の農業倉庫の機械の三四十倍もあるやうな工場が、ショロン近傍丈けで三十箇所もあり、一會社の精米能力が一年間に三十萬噸あるさうであります。故に佛領印度支那に於ては米と水運と云ふ關係は非常に密接な有利な關係に成つて居る次第であります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

八

次に敎育の方面でありますが、概して振はないので、又た進んで敎育を助長するやうな氣運は從來無かつたさうであるが、唯々最近に於ては文化施設として學校を造り新しい敎育を授ける方針に傾いて居る。新しい學校は小學校・中學校夫れに大學であるが、小學校は原則として五百人以上の人口を有する各町村に置かれてあるが、其の數非常に多く、三千百九十六の小學校と十七萬四百人の生徒とを有して居る。次に中學校に於ては同時に技藝學術も併せて敎へるが、之は比較的に少なく總てに於て十二箇所であり、生徒の數は二千八百八十四人に過ぎない。次に大學は河内にありて九門に分れ、生徒五百人を有し、主として工學其他醫學及文學と云ふ方面に力を注いで居るさうであります。安南人は先程も申した通り支那の文化を受けて、現在に於ても漢學殊に古典學を學んで居る。最近に於ては卽ち安南語を羅馬字で綴ることが發明されましてから、安南人の文化が非常に進んだと云ふことである。又た最近に於ては佛蘭西語を語學として敎へ、さうして實際の科學的の知識は安南語を以て、卽ち此 Quoe-ngu で敎へることにして居る。畢竟佛蘭西語で知識を擴めることは非常に六箇敷いので Quoe-ngu を以て科學を敎へ、佛蘭西語は官用語として敎へる。其の結果が非常に良好であると言つて、向ふの文部大臣は得意に成つて居る次第であります。

東埔寨は前にも言ふた通り「サンスクリット」風の固有の文字がある。隨つて敎育讀書其他非常に進んで居るのであります。次に河内にある所謂東洋學院とか云ふ所では、非常に古典學を研究し、又た東洋の歷史を非常に研究して居る。茲に行けば日本に關係した古典其他が澤山蒐められてある、現に水戸で發刊したとか云ふ所謂祇園精舍の「アンゴルヴット」の繪を木版に刷つたのが發見せられてある。昔「祇園精舍」と云ふのは恐

らく實際に印度迄行かないで、此の「アンゴルヴァアット」を見て、日本人は喜んで居つたのではないかと思はれます。

九

日本と安南との歴史的關係に就ては、德川幕府が鎖國政策を執ります前は、日本の倭冦其他が非常に多數安南地方に參りましたが、風浪若くは潮流の關係で、支那海で漂流したものは必ず此のチユウロン邊の突角に流れ著くのであります。これは總てさうなつて居るさうで、現に臺灣に居る某氏の御先祖は、明朝の復活を圖らうとして果さず、日本に行かんとして暴風に會ひ、矢張り之も玆に流れ著いたと云ふことであります。尙又た安部仲麿は日本に還らうとしたが「チユロン」の突角に流れ著いて此所の總督となり、再度支那に歸つたのであります。倭冦時代に於ても、日本の倭冦は多く此の地方に參つたのであります。此の「チユロン」及「ハイホウ」地方には澤山な日本人の町が建設されたことで、現在に於ても尙ほ日本人の造つた町や橋などが殘存して居ります。其の町は現在に於ても「日本人町」と云ふ立派な町の名になつて居ります。さうして其の田舍には、日本人の墓所があつて、日本具足の墓とか、又は日本彌兵衛の墓と云ふやうな、日本人の墓が殘つて居ります。尙又長崎の圖書館にある文書に依れば、德川幕府の鎖國の爲に後援續かずして、行つた人は歸ることは出來ず、次第〳〵に日本人が死に絕えて、殘るは僅か一人二人となり、非常に故國を慕ふたと云ふ其の文書が今でも長崎の圖書館にあると云ふことであるが、それは卽ち此邊から出した日本人の望鄕の古い消息文書であります。古くから日本と安南、安南と支那と云ふ關係は、斯の如く非常に密接な關係で在つたのであります。尙又た遣唐使時代には彼の高岳親王は印度に佛蹟を尋ねんとして此の地方に來り、之から

老撾へ往つて虎に喰はれたと云ふ話もある。斯の如く日本と佛領印度支那とは、鎖國時代以前に於ては非常に緊切な關係があつたのであります。

十

次に產業の方面に移りますが、其の最も重要なるものは言ふ迄もなく米であります。其次は貿易額から謂へば、鹽魚・乾魚・無煙炭・石炭・亞鉛・護謨・コプラ・珈琲等であります。併し何と申しても米が最も重要な產物の一つであつて、現在に於ても彼の國の輸出額の六七割は米で占めて居る次第である。故に佛領印度支那政府に於ても米の增收と米田の開發と云ふ事に付ては、極力之を力め、灌漑其他に就ても相當の施設を爲して居る次第であります。從來の水田は總てメコン河或は紅河の氾濫を待つて、水が有るときに稻を植ゑ、そうして水が引いて米が出來ると云ふ自然の狀態に委せて居りますから、現在に於ても殆んど肥料を入れないで、水の持來たす自然の肥料に俟つと云ふ農耕の方法に依て居るやうな次第であります。けれども私共が從來聞い居た樣に佛領印度支那の米の栽培は唯ばら蒔いて置けば出來るのだと云ふ誤解は、全く彼方に參れば解かるので、殆んど嘉義・臺南地方の看天田を見るやうな感じがするのでありまして、日本の水田の作り方と毫も變らない。唯「リフロターン」即ち「水に浮ぶ米」と申して、是は水が比較的多い處に栽培せられ、水嵩が加はるに從つて莖が延び、遂に一丈或は一丈半にも達する長さの稻が出來るのである。是は殆んど普通の米とは違つて、非常に水嵩の增す地方に作るので、此の如き水田の面積は總て三萬町步に過ぎないのであります。數量としては言ふに足らない。唯々旅行者が斯の如きものを見て、西貢の米はばら蒔いて自然に出來ると考へるのは非常な誤りであります。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

次に米の産地に就て言へば、佛領印度支那の水田は、主として紅河の流域及びメコン河の流域であつて、從て此地方が米の主産地であり、其の水田面積は四百八十萬「ヘクタア」である。多くは一期作であつて、二期作田は極一小部分に過ぎない。西貢地方で約一割に過ぎないと云ふことであります。現在の水田は、面積が四百八十萬町歩あるが、尙ほ灌漑排水を完成すれば二百八十萬町の增加を來すことが出來ると言はれて居る。而して現在の米の產額は、五百八十萬噸であるが、其中で二百萬噸は年々外國に輸出されて居る。日本にも年に依つて多少の差異はあるが、十萬噸から四五十萬噸の輸入がある。日本に近い國では、支那と云ひ、比律賓と云ひ、其他總て米を食ふ人種が住まつて居る國では、其の國が孰れも殆んど總て米の不足を感ずる國許りである。其の間にあつて獨り佛領印度支那は、比較的日本に近い國で有りながら、而も年々二百萬噸の米の輸出能力を有するのである。此の見解に於ても佛領印度支那は日本の食糧問題に關して非常に重要なる土地ではないかと思ふのであります。最近臺灣に內地種米の栽培法が盛んになりましたが、此等の方法を若し彼の地に於て研究し應用することが出來たならば、啻に其の產額を增すのみならず、味の旨い米が澤山出來ることになつて、日本の食糧問題解決の爲には非常に重要なことではないかと思ひます。尙ほ現在に於ても臺灣に內地種米が非常に澤山出來るが、之がどの程度迄出來るか、現在に於ては多少疑問であるが、兎に角臺灣全部に亙つて或は內地種米が出來はしないか、若し出來るならば出來るだけ之を作つて、其の總てを內地の消費に充て、臺灣の米の不足は之を西貢米に仰ぐやうにしたならば、日本の米政策として食糧政策として、又臺灣と佛領印度支那との關係上殊に現在航路も持つて居る關係から、此等航路維持の爲にも寧ろ面白い問題であると思ふのであります。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

十一

次に水産でありますが、佛領印度支那の水産は多く世間に知られて居ない。現に總督府に於ても東京灣(トンキン)の水産調査をしたこともあつたのである。併し佛領印度支那の水産は、海洋の水産は盛んになつては居ないが、淡水卽ち柬埔寨の大湖地方及びメコン河流域の水産は非常に發達して居り、現在に於ても柬埔寨から出る魚が一億キログラムになつて居る。其中二千五百萬「キログラム」は之を海外に輸出して居るが、統計を見ても其の輸出額の八%は其所から出る乾魚である。斯の如く佛領印度支那に於ても水産が相當に發達して居るのである。併し東京灣(トンキン)地方に於ては唯々主に支那人が漁業をやつて居る丈けで、大きい仕掛の海洋の漁業は何等發達して居ないから、將來に於ては茲で水産業を爲し、さうして鹽乾魚を支那に輸出すると云ふ事は面白い一つの事業ではないかと思ひます。

次に石炭であるが、安南の「チユロン」地方に石炭があり、尙又東京地方に非常に澤山な無煙炭がある。現に「ベーダロン」と稱して所謂彼等の稱して世界一と誇つて居る無數の奇岩が海に突出羅列して、非常に風光明媚な所があるが、そこの灣頭に「ホンゲイ」と云ふ無煙炭炭坑があるのであります。此の炭坑は總て露天掘りであつて、非常に大きな炭層を爲して居るのであります。其の炭層は高さが四百六十尺、幅二百尺ありまして、其の長さが實に延長四十五里に亙つて居るさうであります。現在に於ても此の會社では殆んど露天掘で山を掘り崩して居るが、夫れが總て紫色を發して光つて居る無煙炭であります。年々八十萬噸から百萬噸の産出をなし。日本にも年々二十萬噸の輸入があります。茲の石炭は餘りに立派で火著きが惡い。それが爲め日本の三池炭を加へて煉炭を作つて居るのであります。從つて茲に來つて積み取る船の數は日本の船が一等

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

多いので、現に私共が行つたときにも日本の船は二艘、外國の船が一艘來て居りました。尚又た此の地方には多數の無煙炭があつて、現在に於ても日本と合辦事業をやらうと云ふ議のあることを聽いた位であります。次に東京地方には亞鉛が出ます。日本の亞鉛工業の原料として景氣の好い時は殆んど總て日本に持つて來たのであります。現在に於ても年々三萬噸から五萬噸の亞鉛が出ます。其他安南の海岸には鹽が澤山出來るのであつて、此の鹽は主に香港地方に輸出されて居るが、場合に依つては澤山の鹽が日本にも輸入されます。

十二

其他棉花は佛領印度支那に於てメコン河の流域殊に柬埔寨の首府プノンペン傍近に在るコンポンチャムと云ふ所が棉の中心地であります。其他西貢地方及び南安南地方にも出來るが、主産地は柬埔寨である。柬埔寨の棉栽培地は約六千町歩許りあるが、總て其の種類は在來種であつて、多少黄味を帶びた引きの強い棉である。殆んど總てが蒲團の綿として日本に輸出され、又多少は支那にも行きます。嘗て此の地方に於ては米棉所謂新らしい品種を大農式に試作したが、害蟲にやられて總て失敗に歸した。それを聞いて、佛領印度支那殊に柬埔寨の棉は駄目である、と云ふことを言つたと聽きますが、それは米棉の試みに失敗したので、在來の棉は其の產額に於ても植付面積に於ても何等變りが無いのである。併し柬埔寨政府としては、棉は米棉が出來ない以上は、棉の栽培に付て成功は六ケ敷い。隨つて棉よりも蠶業を發達せしめんとし、殊に佛蘭西の絹工業の原料として絹を造ることに成功したいと云ふので、現在に於ては桑を植ゑ附ける者には免稅する、無償で苗木をやる、出來たものは佛蘭西の工場が買收すると云ふ風で、非常に養蠶の奬勵に熱中して居るのである。玆に面白いのは柬埔寨人の手は皮膚が非常に軟かく、絹絲を繰るに非常に良い手を持つて居るさう

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

である。從て柬埔寨人の職工は其の優秀なるものは、佛蘭西の「リオン」に於ける一等の職工にも負けない技倆がある。且又た在來種と新しい佛蘭西種を交配した非常に好い性質のものが出來て、その絹は「リオン」に於ける一等品として取扱はれて居るさうである。政府に於ても會社に於ても非常な意氣込で、棉よりも生絲の產額の增加に努めて居る次第であります。

棉のことに就きましては御承知の通り日本は綿絲工業國として、主として其の原料を米國及印度に仰いで居るのであるが、之を或る一地方に供給を仰ぐと云ふことは、事變の場合に危險を感ずるのである。恰度英國に於ても主として米棉輸入に依つて居るのであるが、非常に脅威を感ずる爲に、埃太、「スーダン」に於て棉の栽培地を造らなければならぬとて、最近に於ては非常な勢で發達を圖つて居る次第である。我が日本の近國に於て、斯の如き棉の產地があるのであるから、佛領印度支那に於ける棉の栽培事業は、國家有事の際に於ける日本の綿絲工業の原料供給地として、相當に注意を拂ふを要することゝ思ひます。現在に於ては西貢の附近に川本氏西崎氏等一二の日本人が棉栽培事業をやつて居るが、不幸にして未だ充分に成績を擧げて居らぬ風である。佛領印度支那の棉と云ふ問題に就ては、日本人が相當注意を拂ふべき問題ではないかと思ひます。

十三

次に砂糖であるが、柬埔寨地方には所謂砂糖椰子……椰子と云ふが普通の棕梠の大きなもので、其の結實した際に花柄を切れば汁が出る。それに竹筒を下げて置けば三合位の汁が溜る。之を煮詰めて砂糖を造り、それを固い椀に容れて固め所謂椀糖を造つて地方の消費に充てゝ居るのであるが、柬埔寨地方には殊に此の椰子

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の樹が淨山にあつて、其の產額は約二十萬「ピクル」以上である。此の砂糖は地方的の商品として消費されて居ります。其他甘蔗の砂糖は安南の「チユロン」地方から西貢地方に主として作られて居るが、これは在來式で所謂臺灣の舊式糖廍に類するもので造られて居る。又砂糖の相場の如何に由つては矢張り支那或は日本に多少輸入される　其の產額は椰子の砂糖と同じ位で、殆んど地方の消費に足らぬ位である。從つて白糖及角砂糖は、西貢に於ては新嘉坡から、東京地方には香港から、主として輸入されて居ります。此地の栽培の狀況は、大黃蔗と申して水田地方に耕作されて居る。其他竹蔗も多少有るやうである。現に西貢地方に於て佛蘭西人の經營に係る新式工場があり、又た眞室幸敎氏の經營して居る日佛製糖工場がある、何れも四五百噸の能力を持つて居る。不幸にして蔗苗が充分でない爲に、水田に植ゑべき大黃蔗を畑地に植ゑた關係で、充分の成績を擧げて居らぬが、併し佛領印度支那に於ける砂糖事業と云ふものは、相當將來あるべきものではないかと思はれます。現在に於ても一「ピクル」當り四「ピアスタア」では砂糖が出來やしないか、若し四「ピアスタア」で出來るとすれば現在の價格にしても爪哇の砂糖と同じ位になるやうであるから、充分爪哇糖と競爭が出來ることゝ思ふ。尙ほ此の地方は水田の面積の餘地が尙ほ百萬町に餘ると云ふことであるから、其の間に砂糖の栽培地を得ることは實に易々たることであります。私は此の眞室氏の經營する日佛合辦の砂糖工場を中心として尙ほ多數の工場を造り、さうして日本人が相當の資本を投じて、此地に於て製糖事業を企圖せんことを唱導して已まぬ次第であります。殊に日本と佛領印度支那と經濟的に相提携しやうと云ふ際に於て、眞室氏の事業の成否は日本人の將來の信用にも關することでありますから、大いにその成功を祈つて止まぬ次第であります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

十四

佛領印度支那に於ける事業としては、右に擧げたもの丶外に護謨の栽培業・珈琲栽培事業及び東京地方に於ける漆其他お茶などの事業があるが、只今擧げた所の米作及砂糖事業・石炭・亞鉛工業、其他水產事業等が彼の地に於ける最も有望な未來ある事業と思ひます。唯、今日に於て佛蘭西人が日本に要求するのは日本の資本である。現在に於て佛領印度支那には約二千萬に近い人口があり、殆んど其の總てが農民であるから、彼の地に日本の移民殊に農業的移民を送る餘地は無いのであります。唯々老撾の平原地方は非常な廣原であるから、此の地方で開發せらるれば或は四五百萬人の移民の這入る餘地があると云ふことであります。併し是は大資本を要するので、先づ現在に於て「移民としての佛領印度支那」と云ふことは餘り重要でないと思ひます。唯々米作其他の事業が日本の手で起れば其の關係上多少の人が這入る餘地は充分にあると思ふのであります。

十五

次に貿易關係に就て言へば、印度支那の貿易の總高は約三億八千八百萬「ピアスタア」であるからして、現在の臺灣の貿易額が丁度三億八千萬圓であるのに比し、殆んど臺灣と同じやうな程度である。而して日本と佛領印度支那との貿易關係は、從來大いしたことは無い。日本から彼の地に這入るのは主として綿絲布であつて、其他陶器・安物の硝子・雜貨等である。美術工藝品其他少々上等の物は總て佛蘭西から輸入される。日本から這入るものは大阪當りの跳ね物であるに過ぎない。それは佛領印度支那殊に安南人の生活は、先程申した通り非常に貧弱である。故に彼等は大した物貨を要求しない。併し全體の貿易額其他から觀ても三億八千萬「ピアスタア」あるのであるから、將來彼等の生活が向上し、經濟の發達すると共に、日本の輸入品は相

當の額を見越すことが出來るであらうと思ふ。又彼國から日本に這入るものは、先程申した米であるが、其他時に由つては、鹽・亞鉛が輸入される。又臺灣と彼地との關係に就ては、御承知の通り海防航路を有して居るが、現在に於ては彼の航路は或は香港や廣東、或は汕頭・厦門等の仲繼で維持されて居るのであつて、臺灣と佛領印度支那との直接の貿易關係に依つて維持されて居るのではないと思ふ。折角航路を有しながら臺灣と彼地の關係は殆んど言ふに足らないやうである。時々臺灣の包種茶其他が香港を經て彼の地に流れ込む位のものである。又彼地からは或は草根。木皮等の藥品、其他籐及多少の原料品が這入るに過ぎない。併し折角航路を有することではあり、又た米の問題もありますが臺灣が近く電力でも完成して相當の工業が發達すれば、自然臺灣の生産品の捌け場としては支那若くは佛領印度支那其他南洋を俟つより外に途は無いのである。殊に佛領印度支那は前述べた通り尙ほ非常の發達の餘地があり、又た日本品を入れる餘地があるのであるから、此の點に就ては一日も早く電力の完成と臺灣の工業の發達とを期待して止まぬ次第であります。殊に先程も申した通り稍々高尙な製品は佛蘭西其他から這入るが、距離或は運賃の關係上、之は高價に過ぎるので、恰度佛領印度支那の農民に適當するものが若し安く出來れば、臺灣の過渡的の工業として恰好の捌け場ではないかと思ふのであります。此等の關係から觀ても臺灣と彼の地とは非常に密接な關係を有するのである。恰も北海道地方の人が樺太の問題に非常に關係を持つと同じく、南支南洋殊に佛領印度支那地方の事情に對しては、私共臺灣に居るものは利害關係も深いのでありますから、日本の耳目と成つて彼の地の事業を充分詳かにする必要があると思ふのであります。尙又た私は今度彼地に參つて殊に感じましたことは、一度も甘蔗を見たことの無いやうな人が、佛領印度支那の甘蔗糖業の調査を行つたり、或は我が臺灣に内地種米が出來るかどうかも知らぬやうな人が、彼の地の米作情況を視察に行くと云ふ樣なことは、實際上の利益が全く無い

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

と思ふのであります。故に私はどうか「資本は内地から、人は臺灣から」と云ふことを主張したいのでありま す。即ち臺灣に於ける熱帶的農業或は農産加工に關する智識經驗を有する人々が、彼の地に於て大いに活動すべき機會の到來せんことを、切に期待して止まぬ次第であります。

十六

今度御出になりました山縣答禮使の主なる使命は、先程申した通り國際儀禮としての旅行でありますが、其間に最も重要な使命があつたのであります。それは申す迄もなく「關税問題」であります。即ち日本と佛國との間には通商條約があるのであります。併し其の通商條約の適用範圍の中に唯佛領印度支那と云ふ文字が拔けて居るのであります。故に日本と佛國とは條約國であり乍ら日本と佛領印度支那とは無條約國の關係に立つて居るのであります。隨つて其の關係は唯、お互に國民の生命財産を尊重すると云ふに過ぎないので、何等通商關係の條約は無いのであります。故に佛領印度支那に於ては、關税率は一般各國に對しては最低税率を課して居りながら、日本は無條約であるが爲に最高の税率を課せられて居るのであります。殊に又た戰後獨逸其他の戰敗國の貨幣が下落した爲に、所謂「ダンピング」に由つて佛蘭西の工業貿易が侵害されんことを顧慮したる佛蘭西政府に於ては、是等の戰敗國に對して非常に高率な關税を課することにした。其の高率の關税が佛領印度支那に適用せられた結果、從來に比して日本の輸入品に一層の高率を課せらるゝことになつたのである。一九二一年には日本より少くも一千七百九十六萬圓の輸入があつた。然るに一九二二年に高率の新關税が規定された爲に、日本の貿易は非常の打撃を受けて僅か五百六十萬圓に下落し、即ち前年の三分の一以下に落ちたのであります。此の數字を觀ても如何に日本が無條約である爲に、佛領印度支那に於て不當なる苛酷の待遇を受けて居るか、と云ふことを見ることが出來るのであります。是に於て我が朝野に於ては

何とかして關稅問題を解決し、佛領印度支那と日本との間に通商條約を結びたい、と云ふことで屢々談判を試みたのであるが、佛領印度支那に於ては極少數の有力な實業家が非常に跋扈して居つて、彼等は唯、佛蘭西其他自分の取引關係から打算して、日本との關稅改正問題に就て非常に反對を爲し、若し日本の輸入品に對して佛領印度支那の稅率を低くするならば、佛領印度支那から日本に輸出する米の輸入稅を免ぜよ」と云ふことを要求したのであります。處が日本は米が足らない、從つて農民に對して相當の米價を維持せしめざるべからざる關係上、米には輸入稅が課されて居ります。此の問題は日本の現狀に鑑みてどうしても急に解決の方法がなく、以て今日に至つたのであります。

十七

支那と東京（トンキン）とは隣接國であり、且つ其處には支那人が澤山居るので、最惠國の條約の適用されない特別の稅率が定まつて居る。其他英米等の各國は所謂最惠國約款に由つて總て最低稅率を課せられて居る。夫れにも拘はらず日本丈を無條約を理由として我朝野の希望に反して無理に日本品に高率を課して壓迫して居るのである。併し斯の如く日本品に對し、非常に過酷な取扱をして置くと云ふことは、最近の國際關係からしても、又た我が日本と佛本國との親善關係から觀ても甚だ面白くないと云ふので、彼の親日派を以て自ら任ずるクローデル大使は大に之を憂へ、且又た日本佛領印度支那協會が其の間に立つて非常に斡旋した結果、始めてメルラン總督の日本來朝となつた次第である。さうしてメルラン總督の多數の實業家を伴ひ來つて、日本の工業の狀態其他日本の國情を視察し、其の結果日本が工業國として如何に努力し如何に發展しつゝあるかを視て、此の發展しつゝあり未來ある日本と、原料國として立つて居る佛領印度支那と相當の貿易關係を結ぶと云ふことは、是は決して日本のみの利益ではない。佛領印度支那としては其の原料の捌け場として、

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

どうしても工業國たる日本と親善關係を結ぶ必要がある、と云ふことを看破したのであります。是に於てか、メルラン總督は山縣答禮使歡迎の席上に於て、佛領印度支那貿易額の五十%は佛蘭西本國から來るが、併し後半分は世界各國から入れて居る。其の半分の中に日本を加へてその自由競爭に委せることは、決して佛蘭西本國の商業の壓迫とならざるのみならず、且つ工業國たる日本に對して相當の親善を持つことは、安い物資を佛領印度支那に入れること丶、佛領印度支那の原料を日本に出すこと丶を考ふれば、日本に對して相當の關稅を考量すべきことは、當然爲すを要すべきことである、と云ふ樣なことを斷言して居るのであります。メルラン總督が斯の如く宣言する位であるから今度彼の地に參りますと從來日本に反對であつた連中も、今日に於ては一人として關稅問題に反對する者もなく、非常に都合よく行つたのであります。夫れで見物や宴會の間に於て、閑を見て數回に亙つて、日本側から佐分利通商局長以下私を加へて五人、佛蘭西政府から政治部長・關稅長・商業會議所會頭等が會同して關稅會議を開いたのであります。其の結果は總ての點に於て好意的に進行し、非常に能く諒解されて、殆んど總ての問題の下打合が出來たのであるが、其の成案を以て近く巴里に於て正式に談判が開かれ、其處で通商條約が出來ると云ふ段取りでありますが、其の內容の詳細は遺憾乍ら今之を發表するの自由を持たぬのであります。若し近く此の關稅が改正せられましたならば、日本と佛領印度支那との關係は非常に密接になり、又現在に於ける日本工業の生產品の捌け場として非常に好い場所を發見することとなる譯であります。私共は一日も早く關稅問題の解決せんことを期待して止まぬ次第であります。以上大體に於て見聞したことを雜駁にお話申上げて此講演を終りたいと存じますが、長時間御淸聽下さつたことを厚くお禮申上げます。（本誌速記、演者校閱）

——大正十四年四月八日臺灣總督府に於ける東洋、南洋兩協會支部主催講演會に於て——

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

支那財政の眞相

木村増太郎

第一、緒言

支那財政の紊亂錯綜せることは、恰も彼の國狀の混沌不統一なると同樣であつて、人をして眞に迷宮裡に入るの感あらしめ、其眞相を究むることは殆んど不可能と言つても敢て過言でない。然れども已に清朝の末年以來、常に歳出入の均衡を保つことが出來ず、國庫窮乏の慘狀日一日より甚大なるは、疑なき事實である。之が爲めに啻に內に對して殆ど國利民福に資するに足る施政を爲すを得ないのみならず外に對しては借款に依て絕えず財政上の破綻を補救せざるを得ずして其結果一時は熾烈なる列强の利權爭奪をも招致し、各國をして樞要の地の租借に亟いで、鐵道政策に銳意せしめ、以て各其勢力範圍の確立に腐心せしむることゝなり、遂には將さに國際俎上に於て分割されんとするの形勢すらを馴致するに至つたのである。而るに其後歐洲戰爭の勃發と、極東經營に立ち遲れたる米國の劃策とによつて、列强の獲得したる利權も多くは一九二〇年に成立したる新借款團に依て統一せらるゝことゝなり、漸く瓜分の悲運を免るゝことを得た。然れども支那財政の窘窮紊亂は、更に一層甚しく、今や一大危機に瀕するに至り、而かも支那の自力を以てしては、到底遂に回運の望なきことの瞭かとなつた結果、爰に復た支那は國際間に共同管理せられんとするの氣運を形成す

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

るに至り、東亞の暗雲は尙依然として容易に一掃せらる可くもない。
斯の如くにして支那財政の紊亂は、絶へず東亞の平和を脅かす根源となり、之が爲めに政治の基本も確立せず、國内の統一も完整せられず、延いて對外貿易も振はないものであるとして、輓近屢次國際間の議案となり、其結果是迄列國共同にて政治借款にも應じ、又我國の如きは一時單獨にて巨額の政費を貸付け、財政の整理國内の統一を助成せんことを圖つた。而るに其結果たるや、唯々徒らに政界の混亂腐敗を助長し、益々財政を紊亂せしめたのみで、財政の改善乃至政界の革新には寸效をも寄與する所がなかつた。於是乎多少たりとも支那の財源を增し、其根本的救濟策に助力を與ふることが急務であるとして、更に一九二二年の華府會議に於て、支那の關稅改正を認むるに至つた。卽ち同會議の決議に據らんか直に輸入稅率を現實從價五分に改訂すると共に、本條約實施後三箇月以内に各國の特別委員會を開催して豫て支那と英米日葡との間に條約を以て協定した所の、釐金制度を全廢する代りに、輸入稅を從價一割二分五厘に增加すべしとの所謂裁釐加稅の實行準備に著手することゝし、且つ之が實施に至る迄の暫從辨法として、當分一般輸入品には從價二分五厘、特に奢侈品には從價二分五厘以上五分迄の附加稅を課することに付き協議せんことを認めたのである。其結果其後間もなく現實五分稅の改正は行はれたが、條約國の一たる佛國が金法問題の未解決を盾として該關稅條約を批准せない爲めに、未だに上記特別委員會が開催せらるゝに至らないから、隨て裁釐加稅の實行準備も附加稅の實施も未だ著手せらるゝに至らないが、恐らく近き將來には實現せらる可く、而かも其曉には附加稅のみにて當面新に三千萬元内外の財源が穫らるべしと言はれて居る。
世人は往々支那を衰亡に導くものは、其財政の窮乏であるから、支那を救はんとすれば、先づ其國庫收入を豐富ならしめねばならぬと論じ、而して其歲入の財源としては、關稅の如く確實なるものは他に無いと共

と主張するのである。華府會議に於て、列國が支那の關稅改正に同意したのも、畢竟同會議の劈頭に於て、支那に關し決議した彼の四大原則の一として、「支那が有力にして且基礎の鞏固なる政府を完成支持する爲めに、支那に對し十分にして無制限なる機會を與ふる」旨を定めた關係上、鞏固なる政府樹立のため、先づ其財政の根本を涵養するを急務とすとの趣旨に基けるものに外ならない。勿論徒らに支那に借款を重ねしむるは、百害あつて一利なきは、過去の實驗に照して明かであり、且主要財源を關稅以外の一般租稅にのみ求むることの困難なるは、疑なき所であるが、去りとて支那財政の困窮を救はんが爲めには關稅收入が最も確實であるとの故を以て、主として本收入のみに信賴したならば、如何に關稅を增徵するも、殆ど究極する所がない。加之關稅の增徵は、列國就中我國の貿易に至大の影響を與ふると共に、支那の經濟の發達にも必ずしも有利とのみ斷ずるを得ない。寧ろ夫れよりも支那の財政を危機に導いた其根源に向つて、多少たりとも革新の斧鉞を容るゝことが急務である。然らずして徒らに財源を求めんとするも畢竟所謂燒石に水たるのみである。而して又世上支那を財政上の無能力者と認定し財政の整理乃至革新は一に列國の共管に俟つの外なきを高調する者は少なくないが果して然るや否や以下聊か支那財政の窮乏を加ふるに至つた經過の大要並に其財政組織の根本に對し管見を試むると共に進んで其革新策に付て卑見を陳べたいと惟ふ。

第二、財政窮乏の經過と借款

盛清の世に在ては、刑を嚴にし賦を輕くして民に臨み、民をして其威に畏れ其德に懷かしむるの策を採つたと共に、他方何等積極的政治を施すことがなかつた爲め、康熙雍正乾隆の間に在ては、比較的財政裕であ

つて、國產常に餘裕を貯へたが、其後嘉慶道光に至つて紀綱漸く弛み憂患相次いで起り、遂に同治六年(一八六七年)、初めて外債を起し、續て光緒十三年(一八八七年)に至る迄の二十年間に於て、外資を借入るゝこと六百八十四萬磅餘に及んだ。然れども此等の外債は何れも期限短かく、而かも爾後內憂外患の起ることがなかつた爲め、多くは光緒二十年前後までに、悉く償還することが出來、未だ財政上の累を爲すに至らなかつたのみならず、兎に角財政自給の地位を保持することが出來、當時の歲入平均約八千三百五十萬兩、歲出約七千七百五十萬兩であつて、每年約五百九十萬兩の剩餘を示したとのことである。而るに光緒二十年日支干戈を交ゆるに至つてより、爰に財政擾亂の端を啓くことゝなり、遂に清朝及ぶ可らざるの悔を遺すの基を爲すに至つた。卽ち同戰役の勃發と同時に創めて內國債の募集を企てたが、到底成功すべくもなく、戰費並に賠償金の大部分は外債に賴るの外なかつたが爲めに支那は遂に五千四百四十五萬五千磅の巨額の外債を負擔し、爾來每年償還す可き外債二千五百萬兩を算することゝなり、八千八百萬兩の歲入に對して、歲出は俄然一億兩を超ゆるに至り、中央政府の財政大に重きを加へたるのみならず、政府の威嚴また昔日の如くならず、延いて爾後新に列國の利權爭奪を誘致することゝなつた。其結果更に光緒二十六年(一九〇〇年)、義和團事件なるもの突發し、日清役の深創の未だ癒えざるに、更に支那の財政を瀕死の窮境に陷ることゝなつた。團匪の賠償一項にて既に四億五千萬兩に上り、每年約一千八百八十三萬兩を分償することゝなつた爲め、舊債と合算して、每年の外債償還額は今や四千二百四十三萬兩の巨額に達するに至つた。因て此等の負擔は、夫々之を各省に分擔せしむることゝしたけれども、當時中央及各省は何れも新政の勵行に力め、之が爲めに警務及敎育經費の如き殊に多額を要し、經費の膨脹は獨り敢て中央に限らなかつたから、各省の貢賦も意の如くならず、加ふるに爾來列國の壓迫は日に甚しく、實に內憂外患交々相迫るの狀態を呈したるが爲め、爰に政治革新の議沸然と

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

して起り、遂に立憲豫備の擧となり、自强策を講せんとすることゝなり、延いて益々財政の困厄を加ふるに至つた。於是乎一九〇六年詔命を發して、中央官制の改革を企つると共に、多年の積弊を除却して財政の一大整理を圖らんとし、各省に清理財政專員なるものを特派し、根本的財政の釐革を企圖するに至つた。然れども積年の宿弊は到底一朝にして一掃す可くも非ず、毎年の歳出は光緒の末年に至つては、已に二億を超え、宣統に入つては二億七千萬兩に上り、遂に同三年には三億に達するに至つたが、地方の送金之に伴はず、中央の難愈々極まるに至つた。是を以て政府は已むなく當時列國の利權爭奪に熱中せしを利用して、各種の經濟借款就中鐵道借款を起し之が流用に依て以て纔に政費の補救を圖るの狀態であつた。斯の如く財政の紊亂甚しきに至つては、遂に清朝滅亡の已むなきに至るは、數の免れざる所であつて、明は其當初の歳入四百萬兩であつたものが、末年には千六百七十萬兩となつて亡び、清は四千萬兩の財政が、三億兩に膨脹して終りを告げたるを觀れば、租税の輕重を以て政治の善惡を卜する支那に於て、今更ながら財政の興廢に關する所の重且大なるを惟はざるを得ない。

斯の如くにして清朝の末年には、毎年の歳入不足額六七千萬兩に達したが、斯る財政を繼承したる革命政府は、更に一九一一年十月の事變勃發以來、各省の送銀殆んど杜絕せしに加へ、軍隊の解散其他の臨時急を要するの失費頗る多く、且經常的歳出に於ても、南北八十箇師團の費用毎月八九百萬兩に上るを始めとし、從來に比し增加せし經費總計約一億五六千萬兩に及ぶに至つた爲め、中央の財政は一に全く外債に依るの外他に途なきことゝなり、列國も亦た競ふて支那に資を貸し大に爲すあらんとするに至つた結果、玆に各種借款雜然として相繼で起り、民國元年の瑞記借款及クリスプ借款を初めとし、四國團の善後大借款等、各種の經濟借款をも合して民國三年末迄に合計約四億六千萬元の巨額に上り、平均五分半の利率としても、利子の

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

みにて既に二千三百萬元を超ゆるに至つた。加ふるに地方は歳入の不足を中央に訴へても、中央は各省自ら策して救ふ可く、到底地方の急需に應ずることが出來ないとて、之が補救を爲さなかつた爲め、勢ひ各省は隨意に外債を起し、遂に各地方の財政を全然獨立せしむることゝなつた。而して彼の善後大借款の成立と共に、借款の支途は四國團の監督を受くることゝなり、從來列强の支那内政に干渉するの例を起すものとして、支那の最も欲せなかつた所を遂に實行するに至り、愈各國の支那財政管理の端を開くことゝなつた。併し夫れでも民國三四年は、袁氏大權を獨攬し、彊吏唯々其命を奉じて、中央納入税款の截留を敢てするもの少なく漸次各省の送銀增加するに至つたから、大なる破綻を暴露することなく彌縫するを得たが、一たび袁氏の帝制を企つるに及んでは、財政と施設とは漸く正軌を失ひ、殊に袁氏倒れてより後は、海内割據の象顯はれ、財政更に復た紊るゝに至つた。袁氏時代既に軍政膨脹して中央の支出三億を超ゆるに至つたが、歐洲戰爭勃發後は借款意の如くならず、纔かに内債の濫興に依て一時を糊塗するの有樣であつた。併し民國六年以後は、我國の段内閣援助に伴ふ幾多の單獨借款のあつたに力へ、支那の參戰に依て義和團事件賠償金は五箇年間元利の支拂を延期せられ、其間毎年一千九百八十九萬兩餘の負擔を減じ、且つ獨墺に對する債務約六千萬元を解除して支出を輕減し、加ふるに鹽税は改革以來逐年收入增加して、年額八千數百萬元に及び、關税も亦た新税率實施の爲め、年額八百萬兩の增收を得、銀價は異常の暴騰を告げ外債の償還に極めて有利となり、貿易亦た頻年出入略相均衡し、當時は實に支那財政史上空前の天佑時代であつた。從て國内の爭亂紛糾さへなかつたならば、地方送金が杜絶しても左迄苦痛がないのみならず、寧ろ時正に財政整理の絶好の機會であつたに拘らず、爲政者は毫も玆に顧及する所なく、反て益々倒行逆施を恣にし、私黨を營みて政爭に沒頭し、爲めに軍政兩費は妄りに增加し、一般支出復た昔日の比ではなく、益々財政を紊るに至つたのは、寔に是非

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

もなき次第である。外國よりの政治借款は、一九一八年の二月在北京五國公使會議の上、支那の國内の統一を見る迄は、相互に相戒めて有らゆる政治借款に應ぜざる可きを申合せて以來、一九二〇年に一時的應急政費として五百萬磅、北支那饑饉救濟費として四百萬元を借入れた外、一九二〇年十月に米國の提議に基いて成立した新借款團を支那が認めないのと、各國も又借款は反て支那の紛爭を助成せしむるに過ぎざるを實見した關係上之に應ぜざるより、近年の支那財政は、纔かに或は中國交通兩銀行の紙幣濫發、或は一時的借入金若くは短期内外債及國庫債券の濫擧等に依て其日を彌縫苟安せるに過ぎない狀態である。

清末以來の財政狀態は、叙上の如く殆んど内外債に依て支持せられ來つたものであるが爲め、今や内外債にして未償還のもの大約二十六億元二億八千萬磅に上り、此等元利の償還額のみにて既に毎年數億元に及ぶに至つた。勿論支那の借款は貨幣の種類が區々であると共に從來財政は公開せらるゝことなく隨て借款の如きも祕密の裡に成立せしものが少なくないから、嚴密に其總額を計上することは難事たるを免れないので、從來公にせられた各方面の調査なるものも其間少なからぬ徑庭を有して居る。現に財政部及交通部の發表せし數字の如きも必ずしも精確なるものと云ふを得ないが左の額を示して居る。

□財政部關係

擔保確實ナル外債	九九二、六八四、五七五・四二
擔保不確實及無擔保外債	二二〇、九三一、二五一・八一
滿期後償還セザル獨乙外債	二、二三一、〇五六・七五
同　上　墺國外債	三四、一三〇、五一六・二六
合　計	一、二四九、九七七、四〇〇・二四
擔保確實ナル內債	三〇四、四〇九、五九二・〇〇
擔保不確實及無擔保內債	三四、四〇〇、〇〇〇・〇〇

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

各機關經費トシテ發給セル國庫券	三三、七六七、五八一・六八
各銀行商店ノ短期借款	四〇、八九〇、一八五・七〇
九六公債償還ノ殘額	二三、五〇三、九四〇・四二
合計	四三六、九七一、三〇九・八〇
內外債合計	一、六八六、九四八、七一〇・〇四

□交通部關係

長期鐵路外債	二九四、六〇八、九四四・八三
短期鐵路外債	一七九、九二八、五六一・三〇
電政外債	四〇、七四二、五九六・二六
合計	五一五、二八九、一〇二・三九
各銀行短期借款	一二、五七九、〇四五・二七
各銀行貸越金	七〇六、九三八・〇三
內國公債	一六、一九三、五五〇・〇〇
鐵路內債	三九、〇〇八、〇〇〇・六八
支付券	一一、三二〇、〇〇〇・〇〇
合計	七九、八〇七、五三三・九八
內外債合計	五九五、〇八七、六三六・三七
支那內外債總計	二、二八二、〇三六、三四六・四一

上表中財政部關係は十一年九月末、交通部關係は同十二月末の現狀を示したもので、當時已に內外債總額二十二億八千二百萬元に上れるが、爾後本統計の少額に失することが各方面より指摘せらるゝに至つたと共に如上の負債も擔保の特に確實なるもの丶外何れも元利の支拂が今に停頓せる有樣であるから、十三年末に於ける內外債の總額は恐らく二十六七億元にも達するであらう。

第三、歳出入の現狀

凡そ支那政府の歳入が幾干に上るかは、世人の齊しく知らんと欲する所であるが、全國の歳入は勿論、中央政府の年々の收入すら、後に叙ぶる其財政組織上の欠陷に基く事由から、絶對に之を審にするを得ない。併し其財源は比較的單純であつて、主として租税に依れるは勿論、而かも其種類の如きも、唐宋時代より近年に至るまで、田賦、關税、鹽税及雜税の四者を主たるものとし、唯だ清朝以來臨時税として興した釐金税即ち今日の貨物税を之に加へたに過ぎない。蓋し支那に在ては由來法制の變革は、王朝の更迭よりも難しとせられ、殊に賦税の釐革に至つては、租税の輕重を以て政治の善惡を卜する國民の傳統的習性上、一大難事であつて、税制の根據は古今殆ど一貫して變易することがなく、歴朝命を革むるも税制は舊に依て異なるなきを特色とするのである。從て後世國家經費の漸次增加するに伴つて、或は臨時税を興し、或は附加税手數料を設けて、纔に急需に應じたものである。而して此等の租税は後に述ぶる如く凡て國家の收入として地方政府の徵收に委せられ、一定額のみが中央に輸せられ、殘餘は地方經費に充當せらるゝものであるから、中央の財政は、謂はゞ地方よりの送銀額如何に由つて決定せらるゝものと言ふ可きである。而るに輓近關税竝に鹽税に於て、支那政府が自由に之を收支するを得ないことゝなつたに加へ、地方送銀の杜絶に備へんとの趣旨より、政府は民國四年以來漸に中央專款なる直接收入の項目を創設したから、爰に多少舊來の賦税徵收の方式に變革を與ふるに至つた。併し其代りに革命後國內の不統一は、遂に地方財政の獨立を激成せしめ、先づ國家收入の太宗と稱せられ來つた地租は、全國の收入が少なくも八九千萬元に上るとのことであるが、歷年各省に截留せられて今や全く地方税たるの觀あるに至り、貨物税の如きも四千萬元內外の收入と稱せら

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

るるが、北京附近にて徵收せらるゝものを除くの外は、何れも地方政費に充用せられ、其他各種の雜稅にしても二三千萬元の收入に上るであらうが、同じく中央收入となるものは殆ど言ふに足らない狀勢であつて、舊來の地方の徵收に委ねられた歲入は、今や殆ど國稅たるの性質を有せざるに至つたのである。卽ち固と此種の賦稅が地方よりの送銀と成つて中央財政の一半を支持したものであるに拘らず、革命以來全く杜絕し、一時袁氏の專制時代には多少復活したが、爾後更に年と共に激減するに至つたもので、現に民國四年度の一千九百一萬三千二百二十五元を最高記錄として、五年度一千八百九十萬元餘、六年度九百八十餘萬元、七年度には六百餘萬元に遞減し、遂に十年度には三百四十餘萬元となるに至つた。其外尙官業收入なるものがあるが、元來國庫收入として殆ど記すに足らぬ少額であり、更に中央各部の收入として、例へば司法部の訴訟費、農商部の登錄稅、教育部の學費及財政部の造幣餘利等あるが、是亦た其額大ならざると共に、各部に於て自由に收入支出せるが爲めに、何等國庫に寄與する所がない。

於是乎、政府の重要收入は勢ひ關鹽兩稅と中央專款とに恃賴せざるを得ないのである。而るに中央專款は創設日尙淺く未だ實蹟を擧ぐるに至らない爲めに、其稅目は九種の多きに及ぶも（印花稅、烟酒公賣費、烟酒稅、烟酒牌照稅、契稅、牙稅、鑛稅、屠宰稅、牲稅）、稍重きを爲し囑望せらるゝは、印花稅（印紙稅）と煙酒公賣費（一種の煙酒專賣制）の二に過ぎない。加之此等の租稅も近年の如くに中央の威力の全國に普及せない國情の下に在ては、實際上中央の收入となるは極めて少額であつて、現に最近の全國收入額は、煙酒公賣費に於て一千五百萬元に上るも、中央の實收は僅二十年度百七十八萬元餘、十一年度百四十餘萬元であつて、殊に印花稅の如きに至ては、最近の收入報告に依れば三百二十八萬元餘に及ぶに拘らず、每年の財政寄送付額は三十餘萬元に過ぎない。唯だ關鹽兩稅のみは、外人監理の下に在るが爲めに、年々良績を示し、關稅の如きは每年の自然增收二百七十餘萬元に上り、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

開港地を距る五十里外の常關收入(約六百七十萬元)のみは各省に流用せられて中央の收入とならないが、五十里内の常關稅及海關稅收入は、數の如く實收せられ、今や其額九千五百萬元内外に達し、鹽稅も亦た總收入額每年九千萬元を超ゆる勢である。然れども此等の兩稅は、何れも外債の擔保となり支出上債權國の監理を受くるが爲めに、政府は全部を自由にするを得ないと共に、今や漸次其自由使用額が窘窮せる狀態である。即ち關稅に在つては、每年海關の經費約六百萬元內外と同稅を擔保とせる外債の元利約五千八百萬元とを控除せらるゝが爲めに、政府の實收となる所謂關稅剩餘金なるものは、如何に多くも三千五百萬元以上を望むことは容易でない。而かも此剩餘金は近年內債の整理に充用せらるゝことゝなり、之に依て支拂はる可き公債元利が、差當り年額四千六百萬元に及ぶから、結局却て一千萬元以上の不足を示すの有樣である。次で鹽稅に付て觀るに、總收入は常に九千萬元を超ゆるも、地方經費に流用せられ又は軍閥に抑留せらるゝものが少なくない爲めに、外債元利約二千萬元を初め徵收經費竝に翌年繰越額等を控除せらるゝに於ては、所謂鹽稅剩餘金なるものは多くも三千四五百萬元に上るに過ぎない。而るに政府は外債杜絶以來本剩餘金を擔保として短期借款を濫興せしが爲めに、此等の元利支拂に充當するに於ては、今や餘す所は殆ど言ふに足らない。斯の如くにして一時政府の主として恃頼した鹽稅關稅兩餘款も、上記の如く內外債の整理償還に充用するに於ては、今や殆ど望を囑するを得ざるに至つた。從て現時政府の最も確實なる收入となれるは、北京附近にて徵收する貨物稅其他であつて、京師稅務なる收入が即ち是れで每年經費を除き其額二百三十萬元に及ぶと稱せられる。

敍上の計算は各種の資料に基き立論したものであるが、財政整理會長顏惠慶氏の大總統への呈文に於ても、政府の近年に於ける確實なる實收は七百萬元に過ぎないに拘らず、支出は行政費五千八百萬元軍政費七千萬

元計一億二千八百萬元を要すと述べて居る。兎に角以て國庫の窮乏察知す可きである。支那財政の現狀斯の如くであるから、鹽關稅を擔保とせる外債は、債權銀行團自から其收入を管理して數の如く元利を控除し辨濟を受け居るも、其他の外債に至ては近年元利の償還全く停頓し、內債の如きも特に總稅務司の管理の下に於て償還せられつゝあるものゝ外は、多く未濟の狀態であつて叙上の關鹽餘款も數の如くに之に充用せらるゝことなく、今や此種內外債の額は累積して財政部關係のみにて六億元に達せんとする勢である。加之交通部に屬するものも、同部編纂の整理債務計畫に依れば、負擔する力なき額十一年末に於て一億八千七百萬元に上るとのことであるから、利子を積算せば是亦今や二億元を超ゆる狀勢である。されば勢ひ政費の支拂の如きも兎角延滯勝ちであつて、現に十一年九月末に於ける延滯額なりと稱するものに付て觀るに、軍警費一億三千四百萬元、行政費六千三百八十萬元を算する。事實如上の窮狀に在ては官吏の俸給すら支給するを得ざるに至るは當然の歸趨たるを失はない。而して斯の如くにして國家收入の大半が地方費に充用せられ、中央の財源枯渇せるも、地方は又民國以來關鹽兩稅の巨收を失つたに加へ、軍費の支出は年と共に增加せし爲め、何れの地方に於ても著しく政費不足し、之が爲め省公債若くは金庫券の發行、紙幣の濫發、銅貨の濫鑄、官有財產の賣却、民間よりの借款、稅金の前徵收等に依り、纔に彌縫補救せる現情である。從て地方治績の毫も擧らざるは勿論なるのみならず、政府の財政獨り窮乏せるも、國民の負擔には何等の變更なく、依然として小吏の苛征誅求に苦しむと共に、軍閥の跋扈により其生活は多大の脅威を受けつゝあるの有樣である。此の如く中央地方の財政何れも窘窮枯渇せるも、外債は國內不統一の爲めに容易に成立せず內債の途亦た既に窮して其望なく、借款に由て綢繆し來つた傳統的財政策も最早施すに由なきに至つたから、倘し此儘に放任せんか、益々政治の基本を確立し囘運の策を廻らすを得ないのみならず、遂には破產の悲運に陷るか、若

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

くは列國の國際管理に附せらるゝの外なきに至る憂なしとせない。

第四、財 政 組 織

一 財政機關及系統

支那財政の紊亂せること實に言語に絶し、之が根本的大革新を爲さゞるに於ては、支那の前途寔に寒心に堪へざるは、上來叙ぶる所の如くである。而して之が根本的大改革を遂げんが爲めには、勢ひ其財政組織を一新して從來の弊政を釐革し、財政方針を變更して收入を適合せしむるの外、他に適策がある可くもない。

凡そ民國の財政組織は、大體に於て清朝の制度を踏襲したものであつて、中央には財政部なる財務最高機關があつて、全國の財政を總管し、地方各省には財政廳を置いて、中央政府の派遣官たる財政廳長をして、省内の財政を管掌せしむるの組織である。然しながら元來支那の政治は、政府なるものは名は中央政府であつても、實は單に政府所在地々方の政治を行ふのみであつて、未だ中央集權の完全に行はれた事がないのであるから、勢ひ財政の如きも中央政府は唯政府所在地の財政を管掌するに止まつて、各省の財政は夫々地方政府自ら之を掌るもので、中央は單に之を監督するに過ぎないのである。蓋し是れ畢竟極端なる地方分權制を採用せし結果の致す所であつて、封建時代は勿論、既に郡縣制度を採用した秦漢以後に於ても、地方分權制には殆ど實際上變化がなかつたものである。過去に於ける數千年來の行政組織が既に斯の如き實情であつたのであるから、今日の如き中央の威令の地方に及ばないときに於ては、地方財政の全然獨立せるは、元より其所たるを失はない。勿論清朝時代には地方の財政權は全然總督巡撫の掌中に歸し、而かも督撫と中央の度支部（當時の財政部）とは何等の統屬關係なく、從て其間統整を缺くこと甚しかつたから、革命後は全國各

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

縣の徵税を財政分廳に掌らしめ、各分廳を一省の財政廳に總轄し、以て中央財政部は全國の財政廳を統一せんとの策を立てた次第であつたが、結局一般の行政長官たる各省の省長若くは軍務長官たる督軍に一省の財政徵税上の全權を委ね、各縣の行政長官たる知事に徵税を兼ねしめなくては、到底財務行政を實行することが出來ない爲めに、畢竟財政廳長及分廳長は空位を擁し、遂に各省の財政は舊の如く獨立し、中央は殆んど與ふることなきの狀を致すに至つたものである。加之中央の財政は、財政部が之を管掌するを原則とせるに拘らず、而かも財政部以外に尙關税に對しては税務處、鹽税に對しては鹽務署なる特設財務官廳があつて、特殊の財務を專管するのみならず、中央に於ける各部の如きも、其歳出入の一部は財政部の手を經由するも、中には自ら收入支出するものも少なくないので、隨て財政部は中央の財政すら之を統一することが出來ない狀態に在るのである。而して地方財政の如きも、上述の如く法文上に於ては中央の任命せる財政廳長が省長の監督の下に之を管掌するを原則とせるも、別に武官たる督軍なるものがあつて、而かも督軍は各々手兵を擁して地方統治の實權を占握せると共に、其他位が廳長は勿論省長の上にも在るが爲めに、勢ひ多くの場合に於て省内の財政は督軍に左右せらるゝことゝなるのみならず、鹽税關税の如き夫々別に之を管するの專司があつて、全然廳長は勿論省長の容喙をも許さないから、地方財政も亦た何等統一せらるゝことがない。斯の如くであるから、財政部は官制上に於ては、會計出納租税公債泉幣專賣儲金銀行及其他一切の財政を管轄し、竝に地方公共團體の財政を監督するものであると爲せるを以て、凡そ國家の財政に關しては其職權の及ばざる所なき筈であるが、實際に於ては單に地方より中央に輸せらるゝ賦税を納めて、之を中央の諸經費に充つるの職務を爲すに過ぎないので、中央諸官廳の收入を全部收めて管理することも出來ず、殊に地方に對しては省長及督軍との間に何等の統屬關係なき爲め、地方財政の監督も畢竟具文に止まるのみで、隨て財政

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

部は全國財政の最高機關でありながら、國家の收入支出が幾千に上るやらすら之を審にするを得ない地位に在るのである。

中央政府の財政の不統一なること以上敍ぶる如くであるが、地方に在ても官制上に於ては、財政廳長は督軍の勢が地位大なるより、單に名義上の財務長官たるに止まつて、唯其事務は管內より送らるゝ賦稅の一部を中央に輸し、其餘を藩庫に納め以て省內の行政費に充つるに過ぎない。而して各省何れも中央の派遣官であつて其間何等直接の統屬關係を有せざるを特色とする。而して又鹽稅關稅の如きは、更に別に特設の財務官廳があつて、其收入を直接中央に輸し、省長督軍の關與をも許さゞるは上に述べた如くである。地方財務機關として寧ろ重要なるは縣知事である。知事は支那幾多の官吏中獨り人民に直接し化育に當るもので、卽ち其他の官吏は凡て所謂官を管する官であるが、知事は民を管する官であつて、支那政治組織の單位、官僚制度の骨髓たる可きものである。從て租稅の如き直接人民より徵收するものであつて、而かも其收めたものは、單に規定せられたる所謂定額さへ上司に送れば足るので、大部分の殘額は自由に之を使用することが出來、而かも徵稅期及銀錢の換算率等殆んど知事の意のまゝに決定せらるゝものであるから、其權限は極めて廣大である。從て普通彼等は多數の吏員を使用して、只管收入の多からんことに力め、而かも上級官廳に納めねばならぬ定額すら、水旱其他種々の口實を設けて減額することが多いのみならず、管內の行政費に對しては厘毛の支出も之を吝み、敢て道路を修め橋梁を架するが如きことを爲さない。上級官廳も、地方が敎育土木警察等に關する新政を施し、爲めに送金額減少の口實と爲すを懼れ、敢て地方行政の治績の擧らざるを責むることがない。從て知事は每年上長には形式的會計報告を爲すのみにて、事務は殆んど胥吏に委ねて顧みることがない。書吏は古來支那上下の官廳に附隨せる寄生主であつて吏胥、胥吏、書辦或は單に胥又は吏

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

と稱して、少くも一地方に二三百人を下らない。是れ蓋し清朝時代には地方官は其郷里に於て任官するを得ないと共に、其任期は一地方に於て永きも三年に過ぎないから、勢ひ土地の情況に通じ諸務に熟達せる彼等書吏に事務の處理を委ねざるを得なかつた爲で、遂には彼等は父祖代々相傳へて以て世業となし、地方的に一大勢力を形成するに至つたものである。而るに元來彼等は官吏でないから職務上の責任は凡て主人に歸するより、虎威を藉て私慾を擅にし人民を苛征して止まない。支那財政の禍根實に爰に胚胎すと言つても失當ではない。

斯の如く財政機關竝其系統は極めて不統一であるが、是れ畢竟從來極端なる地方分權制を採用せしの致す所たるに外ならない。勿論上にも叙べた如く、支那には未だ曾て眞の集權的國家の組織せられた事實は無い樣であるが、殊に清朝が北方より入つて支那を統治するに當つて、彼の廣大なる版圖が畫一的統治を爲すことの困難なるより、明の遺制に倣つて地方官の權力を増大せしが爲めに、自づと一層極端なる地方分權を馴致するに至つたものである。元來支那は郡縣制に入つた秦漢以後に於ても、其實は何等封建制と擇ぶ所がなく、唯地方長官が中央の官吏たるの點に於て封建時代と異なれるのみに過ぎないのである。現時各省の督軍省長が、殆んど全權を以て其管内の政務を行ふのも、要するに如上の制度の精神を傳へたるものに外ならない。一たび清朝の末年に財政統一の説出づるに及び、如上の諸弊を改めんと欲して、光緒三十四年十二月に、政府は旨を奉じて清理財政辦法なるものを議奏して、從來各官廳が擅に收支せしを改めて、必ず當時の財政部たりし度支部の金庫を經由せしむることゝし、更に度支部の權限を擴張して、國庫の統一豫算決算の編成を一任すると共に、地方に對しても、省内財政に關する事項は、隨時當時の財政廳長たる布政使より度支部に詳報して檢査を受く可きことに改定したけれども、歴史的原因に防碍せられ、因襲の久しき遽かに各官廳

の自籌の如きも之を禁遏することが出來ず、叙上の弊害の如き依然として改むることがなかつた。從て殊に近年の如く中央の威令全く失墜し、地方督軍の手兵增加し軍費の膨脹甚しく、上下の官紀頽廢するに於ては、地方の貢賦殆ど杜絕し、財政の窮乏紊亂甚しきに至る、元より當然の歸緒と言はねばならぬ。

二　會計制度

叙上の如く支那の財政機關には何等の統一脈絡が無いのみならず、凡そ近世國家の歳出入は凡て豫算に依つて定まるを法則とするも、從來支那には財政學上の眞正なる意義に於ける豫算なるものがない。唯歳出入に關する極めて緻密なる規定があつて、之に從て收入支出せられ、政府は敢て妄に國帑を費す可らざるものとせらるゝに過ぎない。卽ち淸朝以來歳出入額及科目等は、凡て大淸會典を以て一定せられ、變更することの出來ない定めであつて、從て經費の如きも各部各省に應じ一々之を固定し、各部各省は該規定に從つて經費を支辨せねばならぬものとせらるゝのである。而かも該規定は康熙乾隆に大成して嘉慶年間に改訂せられたものであるから、百餘年前の情況に應じて定められたものであるに拘らず、國情の著しく變化した淸朝末年に至つても、尙之に遵はねばならなかつたもので、民國になつてからは文明國の例に倣つて會計法なるものを立案したけれども、未だ實施せらるゝに至らないから、依然大綱は前淸の例に從ひつゝあるものと解するの外ない。從て淸朝時代に在つても、時勢の必要に應じて新に興つた政務の如きは、規定に照しては全く經費支辨の途がないのみならず。收入の如きも大淸會典に固定せられたる經費を支辨せんが爲めに、一定の收入を充當するものであるから、經費の增加に伴つて收入を增加せしむることが出來ず、從て勢ひ新に興つた政務に要する經費を支辨せんが爲めには、各地方より特に新に一定額を納付せしむるの外なく、其結果收

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

入と經費とは凡て各獨立し、恰も特別會計たるが如き觀を呈するのである。卽ち中央に於て新に經費を要する場合には、之を各省に分擔せしむるものであつて、之を派定と云ひ、各省の之に對する承諾を認籌と稱する。若し該省に於て其派定額を出すことが出來ないと稱して、認籌せなかつた場合には、中央政府は復た如何ともすることが出來ないのである。而して認籌額と言へども容易に撥濟することがなく、中央よりの數回の督促に依て初めて出すを從來の實情とするのである。斯の如く政府の收入支出が一定せると共に、極端なる地方分權制を採用したから、各省の經費は專ら各省をして自辨せしむるを原則とし、假令經濟が貧弱であつて省庫の收入が少なく、以て經費を支辨することの出來ない地方があつても、中央は之に對して何等の補助をも爲すことのないのを例とする。唯斯る場合には、財源の豐富なる地方をして若干の銀兩を送付せしめ、以て其經費の不足を補救せしむるのであつて、之を協餉の制と稱する。斯の如きは是れ蓋し從來の制度に在つては、國家收入と地方收入、國家經費と地方經費とを區別せず、地方政府の徵收したる租稅其他は、均しく國家の收入であつて、中央及地方經費は凡て之に依つて支辨せらる、各省政府の地方經費を支辨するのも、畢竟國家の經費として之を支辨するものであつて、唯該地方に配當したる國家經費に外ならないと爲し來つた趣旨に出づるものである。

凡そ中央の收入は凡て之を各省に仰ぐものであつて、地方より中央に輸送するものには、從來米穀と銀兩とあつて、米穀を以てするを漕米と云ひ、銀兩を以てするを餉銀と稱したが、民國以來米穀は之を銀元に代へて納むることゝなり、漕米の制は之を全廢するに至つた。清末光緒以後軍國多事にして經費の遽に膨脹し、到底斯る固定的豫算を守ることの出來なかつた際の如きに於ても、尙名義上成典の規定を奉せざるを得なかつたものであつて、從て形式上豫算なるものが全然ないではなかつたけれども、實際上は全く豫算のないの

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

と毫も異なることなくして、表面の形式は以上の成典に依つても、實際は全く時に應じ宜しきに從つて收支を爲したものである。而して中央の收入は一に地方の送銀にあるから、其期を愆らざらしめんが爲に、精細なる規定を設け、又官吏の不法行爲を豫防するに力め、之に關する種々なる賞罰規定をも設け、特に意を用ゐたけれども、地方は天災其他に名を藉つて、自己の負擔せる定額すら容易に解送せなかつたから、清朝時代の如き之が爲めに上諭を發したることが一再に止らなかつた。革命後に於ても制度の根本が改變せらるゝことなく、殊に改變以來地方の送銀が激減したから、民國四年五月改めて解款考成條例なるものを發布し、規程に之が獎勵を爲すことゝしたが殆ど效果を見るを得なかつた。而して政府の收入は一定の庫に保管し、從つて支出す可き定めであるが、從來金庫制度は支離滅裂であつて、支拂命令官と出納官吏とは往々混同し、金庫と銀行とは連絡のないことはないが、官廳に依つて出納を司らしむる銀行を異にするの有樣であつて、革命後金庫の統一は財政整理の根本なりとして、之が統一を圖らんとしたが、鹽關稅の全然獨立せるは勿論、中央には中國交通兩銀行併立し、地方に於ても或は中國銀行若くは交通銀行の官金を取扱ふあり、或は今尙官錢局又は省銀行の管掌するあり、或は又官署に附設するものなどあつて、紊亂の情依然として從來と異なるなき狀態である。

支那の財政制度に於ては、叙上の如く近世國家に於けるが如き豫算がないから、從て又決算なるものゝ存在する道理がない。然れども財務官廳として中央に財政部なるものがあつて、地方官府たる財政廳が之に從屬するから、地方より毎年中央に決算を報告すべきものとし、清朝時代に在つても、地方長官は毎年奏銷冊と稱して財政決算書を上奏するを例とした。即ち州縣官は其管內の租稅を徵收したときは、其一部分を以て州縣の經費に充當し、其一部分は定例に依つて之を儲存し、殘額は總て決算の上之を省政府に輸すると同時

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に、且其決算を報告し、之を鎖算と稱し、省政府は又省內縣官より送附し來つた報告書を集めて、省政府の收支に關する決算書を作成し、中央に報告す可きものとして來たのである。而して中央も亦た時として各省に命じて管下各縣の徵稅狀況を報告せしめ、之を編纂して賦役全書なるものを作製し、奏鎖冊を統合したものを以て全國の財政と爲し、賦役全書に載する所を以て實際の徵稅額なりと爲し來つたものである。然れども元來中央及地方の歲出入は、上にも叙べた如く成典に依つて一定し、表面は一定額の歲入に照して一定額の歲出を制するものであるから、縣は一定の貢賦を省に輸せば足り、省も亦た一定の貢賦を中央に輸せば足るものであつて、一種の請負制度とも稱す可きものであるから、中央政府は唯地方の財賦を貢献せしめて中央の收支を行ふに止まつて、地方の實際收支を計算し得可きものでなく、地方官も亦た收支の實際を示して、若餘剩があつたならば、直に中央より定額の增加を命せられ、其結果一は自己の收入を減じ、然らざれば地方民より怨嗟の聲を聽かざるを得ざるに至る可きを以て、收支の實際を明かにすることがなく、單に前代繼承の會計表を準據として、多少の修改を施し、形式的に報告書を作成して、上司に送るに至るは、是れ當然の歸趨たるを免れない。尙加ふるに中央地方相互の官廳間に統屬關係のなきを古來よりの特徵とし、其關係が密接でなく、中央官吏は殆ど地方の實情に通曉せないから、地方よりの奏鎖は、稽核と稱して之を檢閱するの制度であるけれども、假令報冊に虛僞の記述があつても、之を摘發することが出來ず、勢ひ報告は形式的無意義のものとならざるを得ないのである。從て從來政府の歲出入として發表せられたものも、畢竟各地方の中央に對する貢納定額と、尙留支定額と稱して地方に留めて使用し得可き額とを合計したものであつて、全く因襲的に虛僞の數字を彙算せしものに過ぎないのである。されば或る租稅收入が若干と稱しても、其全額が中央の收入となるものでないことは勿論、又必ずしも全國の徵稅實額を指示するものでもないのである。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

實情斯の如くであるから、從來發表せられた民國五年若くは八年度豫算等と稱せらるゝものでも、要するに從來の如上の形式的報告に、更に多少推定上の增減を施したる架空的の數字を羅列したものに過ぎないのである。

斯の如くであるから、中央は定額と稱して地方に對し每年貢納すべき額を規定して居るが、中央に威あり地方に災害のなきときには、此等の定額は缺ぐる所なく中央の收入となるのであるけれども、若し清朝末年以來の如くに、中央の威令が地に墜つるに至ては、如上の定額は愚か、地方の送金は漸次減少することゝなるのである。而かも其結果たるや人民の負擔には何等の影響はないのであつて、縱し每年の定額が缺ぐるなく中央に送らるゝ場合でも、直接人民より租稅を徵收する下級官吏にしても、一定を請負ふものであるから、此等の小吏は勢を恃んで種々の手段を以て人民より可及的餘分の徵收を爲し、一箇の利を圖らんことに力め、獨り人民は比較的重き負擔を課せられて困窮することがあつても、政府の收入は依然として從來の定額を超ゆることがないのである。斯る情態であるから、近年の鹽關稅の如き特別の機關に依て管理せられ、直接中央の收入となるものは格別であるが、概して支那の財政は、地方より中央への送銀額如何に由つて決定せらるゝものと言ふ可きである。勿論清朝時代には都察院なるものがあつて、中央地方各官衙の財政を監督し、今は審計院なるものがあつて、大總統に直隷し、國家歲出入の決算を審定し、若し各官署職官の出納事項に於て、法令に違背し或は不正の情事あるを發見したる場合には、直に大總統に呈報す可き責任を有するものであるけれども、概ね空法空文であつて所謂威儀三千に異らない。

曾て清朝の末年に、中央は地方存留を制限して、以て自己の收入を增さんことに力めたが、地方は種々の名目を立てゝ容易に留支額を減少するを肯せず、殊に彼の髮賊の亂以後、始めて生じたる地方軍費なるもの

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

は、其後漸次多きを加へ、且つ地方に天災騒亂等があれば、常に該地方をして送金を輕減せしめねばならず、爲めに定額の收入も年次缺ぐる所大なるに至つたから、前にも叙べた如く、光緒三十四年中央は淸理財政處なるものを設けて、度支部尙書之を直轄し、地方には各淸理財政局を置き、數千年來沿襲の會計法を棄て丶、新に實際の收入を計算すべきを命じ、中央より監理官を特派して之を監視せしむることゝしたるも、多年の因襲は遽かに改め難く、當時蒐め得たる報告の如きも、結局形式的數字の羅列に過ぎなかつたのである。

支那の財政組織の紛糾錯雜せるに加へ、財政方針の不徹底亂雜極まるは、上來述ぶる如くであるが、是れ一は歷史的事由に原因すると共に、一は支那の國情の然らしむる所であるとは言へ、斯くては財政の紊亂拾收し難きに至るは當然の歸結たるを失はない。勿論尙支那の財政窘窮の根本原因として、其經濟の幼稚にして不振なること、政界の腐敗甚しく殆ど言語に絕せることを擧げなくてはならぬが、今日の財政情態では延いて經濟の振興をも妨げ之が發展を策するに由なく、又彼の財政組織竝に方針の下に在ては、政界の腐敗を助長するは免れ難き所である。從て一面に於て當面の窮迫せる財政狀態の改善を圖ると同時に、他面其組織の根本に向つて革新の斧鉞を容るゝことが刻下の要務である。而して當面の改善は卽ち債務の整理である。上に叙べた如く無擔保若くは擔保の不確實なる內外債が今や七億元にも上り、而かも之が元利の支拂が數年來全く停頓せるより年と共に利子の累積を見つゝあると共に、之が爲めに絕えず國際間に論議の種子を提供しつゝあるから、之が整理は先づ焦眉の急務たるを失はない。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣四千年史の研究（三）

臺灣史料編纂委員　尾崎秀眞

臺灣の位置

臺灣の歷史を說かうとするには、先づ其位置からして研究しなくてはならない。勿論日本現在の地理的位置から云へば

臺灣は帝國の西南端に位し、臺灣本島、澎湖列島及び其他の附屬島嶼より成る。經度は東經百十九度十八分より百二十二度六分に至り、緯度は北緯二十一度四十五分より二十五度三十八分に至る。夏至線は殆んど本島の中央を橫斷するにより南半部は熱帶に屬し、北半部は亞熱帶に屬す、北は東海に面し、東北は近

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

く琉球諸島を控へて九州の南端に對す。天氣晴朗の日は本島の東海岸より琉球の與那國島と相望むべし。西は臺灣海峽を隔てゝ近く支那の福州及び廈門地方と相對し、澎湖列島其間に介在せり。本島と澎湖島との間は所謂澎湖水道にして、その距離二十五浬、澎湖島と支那との間は最も狹き處九十一浬に過ぎず。南はバシー海峽を隔てゝ比律賓群島中の呂宋島と相呼應し、支那海の東北を扼す。呂宋の北端エンガニヨ岬は臺灣の南端を距ること二百二十五浬なり。東は淼漫たる太平洋に面し、遙に布哇諸島を挾み、北亞米利加洲に對す(臺灣統治史未刊本)

と云つた說明に過ぎないが、元來臺灣の歷史は明治二十八年の割讓以後に於いて始めて帝國の領土として日本歷史の上に取扱ふべきもので、其以前の歷史は支那の屬島として支那の歷史若くは廣き意義に於ける東洋歷史の上に取扱はねばならぬ、隨つて其歷史的位置から云へば、之を日本より見るよりも寧ろ支那大陸より見ることを至當とすべきものである。從來日本の歷史家が臺灣の歷史を觀察するに當つて、往々救ふべからざる誤解を免れなかつた大なる原因は、全く此歷史的位置に誤りたる點に歸さなくてはならない。歷史的位置と云つたなれば或は語弊があるかも知れないが、支那文獻に現れたる臺灣の位置卽ち星野は下の如しである。

臺灣禹貢楊州之域。天文牛女分野星紀之次。(臺灣府誌)

而かも此分野に就いては古來多少の異論もあつたもので、臺灣府志には附考として更に下の如く記載して居る。

福建。天文牛女分野。按牛女於辰爲丑。銀海之屬。星紀之次。銀海元武象也。星紀吳越分也。說者謂臺在泉州之窮南。去省會遠矣。不宜爲銀海之屬。又在漳州之極東。去吳越更遠矣。不宜爲星紀之次。雖日天覆

罔極。西至窮南極東。星土不無少異。遂有以臺郡分野。當在女虛之交者。盧元梓之次。在子之辰。以臺之稍迤而東。遂疑其越次越辰。何異坐井之見。卽以近事考之。明時澎湖島統於泉。泉分野非從省會爲牛女乎。則臺依泉爲牛女分。自無疑矣。更以近地考之。臺海西界於漳。南鄰於粵。而北則閩安對峙。漳分野視閩。爲有臺之錯壤相接。獨不屬之牛女乎。唐一行有云。星紀當雲漢下流。百川歸焉。故其分野自南河下窮南紀之曲。東南負海爲星紀。則臺郡宅東南。分野仍屬牛女。又與一行之說相符(島上附傳)

閩分野史記天官書、前漢天文志皆云。屬牽牛婺女之分。明一統志謂屬牛女之分。劉向蔡邕皇甫謐、謂屬牛女斗三星之分。魏陳卓云。會稽入牛一度。閩距會稽。實在周天度數一千四百六里之內。謂九閩咸會稽牛一度。或云閩越在南。而星紀在北。於相配之義未協。或云晉史瞿以得歲卜越。星紀在北。而指於南。或閩越亦從其所指而言。天文志云。東南負海爲星紀。負海者以其雲漢之陰也。通志云。疏星野者。大都指禹貢維揚。而以星之次屬之。爲會稽城內。則閩在東南。距揚州三千里。已在分度一千四百六里之外。況臺則東南負海。距廈一十二更。水程何止一千餘里哉。集諸書之說。而折衷其意可耳(舊志)

臺灣海島之地。其域不在九州之限。按古四譯館。因外蕃來貢。以外蕃分方紀星、臺灣原屬島蕃。其次爲鶉尾。其宿爲翼。其辰爲己。宋天文志云。鶉尾在翼軫之交。居南方七宿之末。隨南極而半入海。呂宋、淡水、臺灣是也。利瑪竇云。鶉尾之次。於律仲呂罔山(臺有大小岡山)爾雅云鶉尾軫翼也。郭璞注云。軫翼南方之傾。地勢之下。翼己之間。火星所屬。故謂之鶉尾 至其分産。又往々不同。唐開禧起翼二十度。宋元會元起翼二十度杪。明授時書又起翼二十度。本朝欽天監所定時憲書。則止十七度。呂宋居居於巽己。入翼十度。日本在寅艮。入軫八度。臺灣背接呂宋。右連日本。其値翼九度無疑。俗以附漳泉分野。不知係尹地。牛女之分與己位無涉。故占驗之家。概以臺灣同島蕃一體測驗。而以里差詳之。臺灣爲翼九度。諸羅在臺北。旬

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

木遠照。斜插隱見。屬翼八度七分之三。鳳山在臺南。亦同屬翼九度杪。牛女星紀約略之見。不可從也（諸羅縣志）

劉向曰。吳越屬斗牛女分。晉隋元志。吳越其辰在丑。伊古以來未有非之者。而說者曰。呂宋居巽己。入翼十度。日本在寅辰。入軫八度臺灣背接呂宋。右連日本。其値翼九度無疑。大臺之去呂宋也。水道七十更有奇。其去日本也。水道亦七十更有奇。二島不在九州之內。荒遠難稽。星野實不足據。若由臺開棹申流。至澎四更焉止矣。由澎至廈。七更焉止矣。澎舊隸同安。星野其能別異乎。澎不能別異。而謂臺星野其能別異乎。且自省會達雞籠。水道亦祗七更。浮嶼如關重白畝。以及旗干石等處。似蛛絲馬跡。脈絡紹然可尋。是鳳山星野入翼九度。諸羅入翼八度。則同郡之地。至差一度。而呂宋水道去臺六七千里而遙者。反謂其入翼十度。舍耳目之近。而持渺茫無據之論。未敢以爲信也（鳳山志）

斯うした分野の議論を一々列記するのは、聊か煩はしい樣ではあるが、歷史の出發迄は斷じて其土地の位置に在るので、先づ之を紹介する。而して結局臺灣の位置はと云へば、東經百二十度北緯二十三度半の間に在ると云ふことゝ、支那星學家の所謂牛女の分野と云ふのとは大體に於いて差異の無い所である。所が之を日本から見た帝國の西南端に位すと云ふのと、支那の東南に位すと云ふのとは全く其位置を異にし、寧ろ正反對に見て居るのである。此正反對の觀方が歷史を判斷する上に大いに關係があるのである。日本人は常に臺灣を以て南海上の弧島であると云ふことを先入主として考へて居る。支那人は古來臺灣を以て東海上の弧島であるとのみ記載して居る。東海と南海、其位置が全く正反對になるので、日本人が臺灣の古代史を讀んだ場合に、常に重要なる點に氣づかないで居るのである。支那四千年來の記載の上に一貫して臺灣に關する文献が發つて居るのに、從來何人も之に氣づかなかつたのは、恐くは此點から出發した誤解ではあるまいかと

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

思はれる。

元來臺灣の支那本土に於ける關係は、僅かに一衣帶水を隔てたばかりで、泉州の海角に在つては天朗氣靜の日、時に海上遙かに煙火相望むことがあるとさへ云ふのに、支那本土に於いて四千年の歷史を有するのに、臺灣の歷史が全く知られて居ないと云ふことは、極めて單純に常識を以て考へて見ても受取られない話である。勿論臺灣海峽の潮流が險惡である關係もあらう。臺灣の居住民が獰猛なと云ふ關係もあつたにしても、現に臺灣の番人が竹筏を泛べて泉州沿岸を襲擊した事實さへあるのに、四千年來支那本土から全く臺灣を等閑に附して來たと云ふことは考へられをい話しである。勿論支那四千年來の興亡盛衰は、常に北方山地に於ける所謂北峽西戎の間に行はれたる劉蹶巤韻の跡であつて、南於に於いては殆んど何等目覺ましい活動とても無く、現に福建省夫れ自體に於いてすら、支那の中央政府から一省として取扱はれることゝなつたのは唐以後のことであるから、其以前に於ける臺灣關係の文獻が澤山に殘つて居やうとは思はれないことではあるが、文獻がなくても事實上密接な關係を有し、常に交通の行はれて居たことだけは常識でも容易に判斷し得られることである。殊に古來の文化起原が大概氣候溫暖なる海岸地方に限られたるを知る以上、東亞に於ける海洋の中樞とも見るべき臺灣が、如何にしても支那本土の文化と沒交涉であらうとは考へられない。縱令其土地は狹少なるにもせよ、四面海洋を環らし、東南支那海の門戶を爲し、亞細亞大陸と太平洋との橋壁を成せる、最も樞要なる位置を占むる所の本島が、全然等閑に附せられて居たものとは考へられない事である。

之を近世史に見ても、藍鼎元が

惟海國之臺灣。乃王家屛翰。地則龍蟠虎踞。屹立扶桑暘谷之間。門開鹿耳鯤身。遙扼呂宋荷蘭之吭。

と云ひ、又

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣海外天險。治亂安危。關係國家東南甚鉅。其地高山百里。平原萬頃。舟楫往來。四通八達。外則日本、琉球、呂宋、荷蘭、暹羅、噶𠺕吧、安南、西洋諸番。一葦可航。內則福建、廣東、浙江、江南、山東、遼陽。不啻比鄰而處。門戸相通。足爲藩籬之限。非若尋常島嶼介在可有可無間。

と論じ、或は

臺灣沃野千里。山海形勢。皆非尋常。其地亞福建一省。

と論じたる如く、古來臺灣一島が不作なれば、直ちに支那大陸の江南・江北・數省の大饑饉に値ると稱へられて居る程、夫れ程臺灣は重要視せられて居る。之を支那本土の海防上から見ても、臺灣府誌の武備誌劈頭にも『臺灣爲東南數省藩籬』と論じてある。斯く重要密切な關係を有つて居る所の臺灣が、四千年來全く放棄せられて居たものとは、決して考へられないことである。予が臺灣四千年史の研究を企てたのは、全く此理由に據るものである。

今一つ、從來史家の根本的誤解となつて居るのは、歷史は陸上のものであつて海洋のものでは無い、と云つた樣な考が夫れである。これは異竟するに歷史を研究する者が、自から文明人の頭腦を以て太古未開人の生活を皮相的に觀察し、輕卒に斷定を下す結果に他ならぬのである。是れ獨り今日の學者に限らぬことで、現に予が臺灣四千年史を研究するに當つて、必要上支那先秦時代の書籍を段々調べて見ると、極めて面白い間違の事實が種々發見される。夫れは先秦時代の書籍と云へば、何れも三千年乃至四千年前に著付されたものであつて、今日とは文字も違ふ、無論紙も無く筆墨も無い時代のもので、僅かに龜版や木石に刻したり、竹簡に記してあつたものを、後世の學者が種々研究して集めたものであつて、中には今日に至るまで全然其意味さへ分らないものも多いのであるが、今日多く一般に傳へられて居る先秦時代の文献と云ふものは多く

は、漢の時代に諸學者が種々研究して拵へ上げたものである。所が漢の時代と云へば、今から二千年程前のことであつて、丁度支那歴代の中最も萎縮した時代とも云ふべき春秋戰國から引續いて、例の秦の始皇帝の大戰亂が行はれた後のことで、殊に始皇帝は例の政策上から、一切の先秦時代の書物を集めて悉く之を焚き盡し、更に、海內の碩學鴻儒を擧げて之を坑にしたとさへ傳へられて居る根本的大破壞、大禍亂の後であるから、漢の時代になつて三千年四千年と云ふ支那古代の文獻を集めるには、非常な困難があつたことゝ想像される。のみならず、集めた文獻を讀むことすら容易ではなかつたに違ひない。隨つて漢時代に出來た先秦時代の文書には、今日まで全く意味の分らないまゝで傳はつて居るものも少なくない。現に山海經の如きものも其一例であつて、後世幾ら研究して見ても意味が分らない處が多いので、甚だしきは、例の抹殺博士連中の中には、是は先秦時代のものでは無くて、後世僞作したものだなどと無解な說を立てるやうな學界の賊さへ出て來る樣になつたのであるが、中には又漢時代の學者連が分らないのを、無理に理窟をつけて解釋をしやうと努めた結果、間違なりに今日まで傳はつたものも少なくない。現に『說文』と云ふ支那古代に出來た文字の起原を說いた書籍などを見ると、之を註釋した先生が種々牽强附會な說を立て居る。夫れを二千年來支那や日本の說文研究家が、段々受繼いで間違の上塗りを重ねて來て居るのが非常に多い。何故に先秦時代のものが漢時代になつて判斷のつかないものが多いかと云ふに、要は漢時代には非常に文化の程度が先秦時代よりも進んで居る。其學者の頭腦が文化の一方面を見ることに進んで居たので、自然文化程度の極めて低かつた先秦時代と云ふよりも、寧ろ原始時代の事柄に解釋のつかない問題が非常に多かつたのである。丁度今日の新らしい敎育を受けた歷史家が、古代文化の幼稚な時代の民俗などを見て、容易に判斷のつかないことがあるのと同じことである。斯うした間違の一例として、最近林泰輔博士の著はした『周公と其時代』と云

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ふ書籍を讀んで見ると、周時代の復讐と云ふ記事の中に、調人職の記事を引いて

凡和讐、父之讐、辟諸海外、兄弟之讐、辟諸千里之外、從父兄弟之讐、不同國、

とある。其海外に辟けしむをば大戴禮少閒に『海外肅愼』といへることあれば、蓋し肅愼地方を指したるなるべしと斷じて居る。是れは林博士が例の捉へられたる誤解からして、何うしても周時代には支那に海外と云ふことが無いと云ふのが先入主となつて居たので、無理に海外を肅愼にクッ附けて說明しやうとした間違である。何故なれば、日本から見れば兎も角、支那で出來た大戴禮と云ふ書物に「海外肅愼」とあるからと云つて、肅愼までを海外と見ることは甚だしい不合理な解釋と云はなければならない、肅愼は決して支那の海外では無い殊に肅愼の支那中央政府と交通し始めたのは、竹書紀年などにも見えて居る樣に、四千年も前のことで、大戴禮の出來た時代などに肅愼を海外の國であるなど丶思つて居る樣なものは一人も無い筈である。又文法上から見ても是は當然肅愼と海外とを別物に見て、海外若くは肅愼を讀まなくてはならない。ツマリ父の讐なれば之を海外か又は肅愼國へ流す。兄や弟を殺したもの丶讐なれば之を千里の外に辟けしめると云ふのであつて、極めて見易い問題である。所が林博士の頭腦には先入主となつて、支那の周時代には決して海外との交通が開けて居ないから、罪人を海外へ流刑に處することがあるまいと即斷したのである。斯うした誤解は林博士に限らず、支那の古代史を讀む人の多くが一樣に捉はれて居る點であつて、第一は支那人は今日でも東西南北の方位などは全く大ザッパなもので、白髮三千丈とか、百萬と號す的の筆法で、決して信ずるに足らないと云ふ頭が先入主になつて居る點も一つである。勿論支那文學が數字などを度外視して居ることは、云ふまでも無く其所が支那文學の長處であるから、支那の文献必らずしも當てにはならないが、併しまた支那は流石に文字の國であるだけ、決して輕々しく文字を下さない。海外と云へば必らず支那領土外

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

の或る國而かも夫れが四方環らすに海洋を以てする海外の島國であつて、少なくとも肅愼の如く支那大陸の地續の國で無いことをば確實に承知して居る筈である。殊に支那の學者が古來頗る大義名聞を重んじて、一國の法規など苟くも文字を下して居ないことは、後世末法の時代とは大いに異つて居ることを承知して置かなくてはならない。臺灣の歷史が古來支那歷史の上に見出されなかつたことを、要は右の間違と同じ考へから出發したものであつて、先秦時代には支那には全く海外交通が開けて居なかつたものと信じて居る結果、偶々臺灣の記事が支那文献の上に現はれて居ても、林博士の見解と同じく大陸の或る地方若くは舟山島が海南島位のことに考へて居たものであつた。日本の歷史家が此根本的誤解を取除かない限りは、永久に東洋歷史の進步は望まれないのである。

尙ほ臺灣の位置に就いて一言して置かなくてはならぬことは、臺灣は支那全體から云へば東南海上の孤島であるが、支那本土から臺灣を見る場合は何時でも南方に限つて居る。即ち太古時代に於ては楊州から之を望み、吳越時代には越から之を呼び、秦漢三國の時代には臺州から之に交通し、隋唐の時代には廣東若くは汕頭方面から之に航し、宋及元時代には泉州から船を發し、明淸時代に至つては福州若くは厦門を起點として本島に航通したので、何れの時代に於いても、支那人は臺灣を以て南方の島と云へる稱呼を與へたことは無い。臺灣は必らず東海上の孤島とのみ呼んで居るのである。偖こそ鄭成功が臺灣に據つた時にも、先づ東都若くは東寧と稱して居た。或は東夷と稱し、又は東蕃と呼び、若くは乾坤東港華嚴婆娑洋世界など謂つても、要するに東方の島と云へる意味を離れたことは無い。のみならず、時には北港と稱して北方の船著島の意味をすら與つたこともあるが、未だ嘗て一たびも南方の島と云へる意味を以て稱呼とし、若くは之を記述したものを見ない。日本人より之を見る時は寧ろ意外の感に堪へない程である。是れ予が特に臺灣の位置に

就いて一言を費やす所以である。

上述の如く臺灣の位置は支那の東海上に於いて東南交通の要衝に當り、其支那本土よりしても、日本及沖繩列島よりしても、南洋比律賓諸島の關係よりしても、最も中樞の位置を占め、其潮流は常に暖流と寒流との交叉點に懸り、氣候温暖にして人類の棲息には實に理想的の天國なりと云はざるべからず。然るに古來歷史的に於いても亦實際上より見ても、臺灣の發達が意外に原始的なる一事は、確かに千古人文史上の一大疑問なりと云はなくてはならない。試みに歐洲の歷史を繙いて見るに、其土地は如何に狹少にしても、其位置が海岸に面し、若くは四面海洋に環繞せられたる土地は、自然航海植民によりて發達進步し、時に意外なる富强を示すものが少なくない、彼のシリア沿岸の一小國民たりしフェニキア人が、殆んど三千年前に在りて地中海を中心として東は印度洋から西はイングランドの間に往來し、當時の海上貿易を獨占したるが如き其最も著しいものであつて、其後に於いても其殖民地の一つであつたアフリカ北岸のカルタゴとギリシア半島の諸市とが、亦前後して地中海上に雄飛したることも世人の夙に記臆する所である。更に中世史に及んで、スカンデーネヴィア半島から南下したノルマン人が北海を中心として活躍し、伊太利半島のヴェネチア市やジェノア市が地中海を中心として殷富を極めた如き、又イベリア半島の葡萄牙と西班牙とが或は喜望峯航路或は新大陸の新發見によつて、一時世界に横行したるが如き、更に近世史上に於いて北海沿岸の和蘭先づ起り、更に四面環海の英吉利と西北南の三面に海を控へたる佛蘭西とが相踵いで振興したるが如き、何れも其國運の發展は悉く海洋其ものからである。然るに臺灣が支那海上の中心に位置して現に三百數十萬の人口を包容して居るだけの島嶼でありながら、東洋四千年史の上に何等光明を上げて居ないことは、是亦世界歷史上の一大奇蹟であるとしなくてはならぬ。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

然り此世界歷史上の一大奇蹟、是れを研究しないで將た何れの地にか研究すべき歷史上の材料があらう。殊に臺灣には四千年を一貫した文献の據るべきものがあり、而かも四千年前の臺灣住民は、今日まで一貫して其土地に住居して居る。今日の臺灣を研究すれば直ちに四千年前の歷史を眼前に展開することが出來る。而かも其土地其住民が四千年前其儘少しも移動しないで、吾人の前に展開せられて居ることは實に愉快に堪へないことではないか。世界何れの地にか斯うした歷史と現在の事實とを兼ね有つた所の國があらう。其住民が四千年前の歷史を其儘持傳へて少しも變化なく進歩なく異動なく今日に及んだと云ふことは、人文史學上の大なる矛盾ではないかと。然り此人文史上の矛盾がまた現代科學の容易に説明し得ざる極めて興味ある或るものを有つて居ることも、一つの研究材料でなくてはならぬ。臺灣には世界に多く類例の無い地理上の天惠を有つて居る。其所謂天險が世界歷史上の寶庫を四千年來其儘今日に持ち傳へたことも一つの理由であらう。人或は云ふであらう。臺灣が近く支那海上に位置し、東南交通の衝に當つて居りながら、

地勢及住民

歷史を研究する順序として本島地勢の一端と住民の概要とを述べて置く必要がある。

臺灣本島は、地形南北に長く、東西に短し。その南端は殊に細く尖りて、恰も大魚の尾を搖かし、東北に向つて喩喁するが如し。延長約百里、東西最廣き處約四十里、周圍二百九十里なり。

本島の地勢は、中央より東に偏して分水嶺あり。島形に從ひ蜒蜿として北々東より南々西に走り、全島を東西兩部に縱斷せり。東部は傾斜島峻にして直ちに海に薄り、深さ海底に達す。特にその北部蘇澳の南數里の如きは、數千尺の峻嶺峭然として海面より挺立し、險崖絕壁夙に航海者の稱嘆する所なり。北端及び

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

南端に至れば海岸稍陵夷なるも、尚は斷崖多く、僅に宜蘭及臺東に狹少なる平野ある外、平遠なる海濱あることなし。西部は緩漫なる傾斜にして地形平坦となれるが、その西海岸に至る距離は東海岸に至るものに比して約三と一乃至四と一の割合をなせり。地形上最も著しきは山地と低地との頒布劃然たることなり。即ち山地は山嶽峽流峻險を極むれども、其端に至れば山腰を圍饒せる丘陵の起伏するあり。その西部は海岸に亙りて一帶の低地となり、山脈より流れ出づる溪流の運搬し來れる泥沙堆積して沃野となせるも、その海に濱する所は斥鹵の地多し。沃野の重なるは臺南州を中心とし、高雄・臺中の兩州に跨れる西海岸平野にして、次は南なる下淡水溪平野及び本島北部に於ける臺北平野なりとす。又西側の海洋は東側の海洋よりも甚淺く、澎湖列島の如きは露出せる洲渚と見做すべきなり。本島の屬島として、紅頭嶼・火燒島・小琉球嶼・龜山島等あり。

澎湖列島は、其位置より謂ふも、臺灣海峽に橫はれる本島の關鍵にして、支那海上の門戶と稱すべきものなるが、その港灣は水深くして巨船を容れ、附近の島嶼亦風浪を遮るを以て、風濤の險惡なる臺灣海峽には缺くべからざる要地なり。

臺灣本島の地質は水成系統の岩類最善く發達し、西部臺灣は第四紀及第三紀層の包域頗る廣濶にして重要なる生產地域を構成し、中央山脈の中軸を組成せる古生紀粘板岩系被覆せり。東部は之に反して太古紀層著しく發達して中央山脈の東側を構成し、第四系及び第三系岩層を以て之を覆へり。此等の岩層は地質年代の新古に應じて順次に累重し、幾度か桑滄の變に會して地體著しく褶曲せられ、幾多の向背斜軸を造成し、更に之を劃破し、安山岩及び玄武岩等は概ね岩脉と成して凸起せるもの少なからざるも、一般地層は概ね井然たる層位を爲して島形に從ひ北々東より南々西に向へり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣本島は比律賓群島より琉球諸島を經て內地に連なれる地震地帶に屬するにより、地震頻繁にして且つ激烈なり。臺灣本島は澎湖列島を合せて其面積二千三百三十二方里にして、帝國の總面積四萬三千九百八十萬里に對しその五分の三に當り、九州よりは稍や小に、樺太と伯仲し、朝鮮の約六分の一に當れり。臺灣の住民は蒙古種及び馬來種より成れる內地人及び支那本土より移住せる臺灣住民(即ち漢人と稱する支那人)は蒙古種に屬し、生蕃及熟蕃は馬來種に屬す。尙ほ來住せる外國人には蒙古種に屬せる支那人竝歐羅巴種に屬せる歐米人あり。

內地人は我帝國の內地より半島に來住せるもの及び其子孫にして、本島人とは支那より移住せる福建人・廣東人及其他の漢人竝に生蕃熟蕃を總稱し、住民の大部分を占むるものなり。

福建人は福建省なる泉州・漳州及其附近より移り來れるものにして閩族と謂ひ、廣東人は廣東省潮州・惠州及其附近より來れるものにして粤族を曰ふ。閩族は粤族を客人(ハツカ)と呼び、粤族は閩族を福老(ホクロオ)と稱す。兩族は本島住民中の九割三歩强を占め、就中閩族はその八割六歩(總人口の八割一歩强)に當り、瀕海平曠の地を主として全島至る處に棲住するも、粤族は其數少なく、約一割四分に充たず。その移住も閩族より遲れ、且つ言語風俗の異同などにより生存競爭上その棲住の地も殆んど或地方に限られ、特に山地附近に居る者多し。然れども慓悍にし勞役困苦に耐ふるにより能く蕃族と界を接して其村落を造り、又彼等と雜婚して彊域を擴め行けり、但し閩族とは今尙ほ婚嫁するを忌むの風あり。

本島に於ける最古の種族は蕃族にして全島の山野の間に居住せしも、支那民族の移住により或は同化せられ或は强壓に堪へずして山地に退き、平地の殆んど全部は奪取せらるゝに至れり。その同化したるものは熟蕃と稱し、然らざるものは生蕃と稱す近來その名稱の妥當ならざるに因り特に名稱を擇ぶべしとの議あ

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

り。

人口は大正十一年末現在調に據れば、三百七十五萬一千二百十七人にして、中內地人十七萬四千六百八十二人、本島人三百五十四萬八千五十三人、外國人二萬八千四百八十二人、蕃族は四萬七千十五人にして、尙ほ本島人中に算入せる蕃地居住の蕃族八萬四千五百九十四人は前記以外とす（臺灣統治史未刊本）

本島の地勢及住民の狀況は大要右の如しであつて、其住民の種族等に就いては學術上から詳細に論じたなれば多少の議論もある。併し夫れは項を更めて別に硏究することゝして、玆には原文の儘を摘載して參考に資するのみである。

序に一言して置くが、單り歷史ばかりで無く、地理の方でも領臺以來三十年未だ一冊も完全に調査せられた記述がなく、今から三十年前領臺の初めに新保博士や小川、山崎博士などが記述せられた書籍以外何等據るべきものが無いのは、遺憾千萬な次第ではないか、是等は當然爲すべき緊急の仕事であるのに。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

金融彙報

財務局金融課

全國紙幣及銀行券流通高

一月末に於ける紙幣及銀行券流通高は左の如くである。△印は減、千圓未滿は四捨五入

種類	流通高	前月末比較増減	前年同月末比較増減
小額紙幣	二四、九八七千円	△九〇〇千円	△三九、〇一三千円
日本銀行兌換券	一、三五九、六五七	△二六六、二四一	△一三二、一六四
朝鮮銀行券	一〇九、一〇八	△二〇、〇一一	四、二〇八
臺灣銀行券	四七、一二九	△四、一三一	九、二七五
合計	一、五四〇、八八一	△二九一、二八三	△一五七、六九四

（備考）本表流通高は月末に於ける發行殘高を示したものである。但し日本銀行兌換券は、其發行殘高中より朝鮮銀行正貨準備に充當せるもの三〇、九一三千圓を控除したる額である。

大藏省預金部の現況

二月十五日に於ける預金部の現況は左の如くである。△印は減

□資金の部

種別	金額（千円）	一月末日現在に比し増減（千円）
郵便及振替貯金	一、一五二、五〇〇	五〇〇
貯蓄債券賣却代預金	六、九〇〇	—
復興貯蓄債券賣却代預金	一九、九〇〇	—
各特別會計其他預金	一八〇、五〇〇	△七〇〇
預金部積立金等	二二〇、六〇〇	一、九〇〇
合計	一、五八〇、四〇〇	一、七〇〇

□運用の部

種類	金額（千円）	一月末日現在に比し増減（千円）
國債證券	二二〇、〇〇〇	△一九、六〇〇
地方債證券	一六二、二〇〇	二、七〇〇
勸業債券	一九七、三〇〇	—
興業債券	一二三、五〇〇	—
其他證券	七五、一〇〇	△一〇〇
支那政府債券	一一、六〇〇	—
四分利付支那債券補償證書	二九、一〇〇	—
英國大藏省證券	一四五、一〇〇	—
英國國庫債券	一九、三〇〇	—
帝國鐵道會計等貸付金	二三五、一〇〇	—
在外預金	五八、〇〇〇	一〇〇
内地預金	三〇四、一〇〇	一八、六〇〇
合計	一、五八〇、四〇〇	一、七〇〇

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

全國手形交換高

大正十三年中に於ける東京外二十四箇所の手形交換高は左表の如く、七百四十一億四百九十一萬五千圓にして、前年に比し五十九億一千九百三萬九千圓の増加である。

交換所名	枚數（枚）	交換高（千圓）	交換差額（千圓）
東京	一一、四六三、三五五	三〇、七三九、三〇一	六、二〇四、六八九
大阪	九、二九七、五一八	二六、八八〇、四〇三	三、四五四、八三九
京都	二、一九八、七二一	一、六六五、五〇五	三二七、六〇四
横濱	五九九、六八〇	一、七〇一、五四六	五九五、〇八一
神戸	二、二九〇、〇三二	七、七八九、四三三	一、一八八、九四二
名古屋	二、〇八四、〇四九	二、四八四、六二三	四四一、四七九
廣島	三四四、七四三	二〇五、六六九	六八、八七六
關門	四〇七、三七二	七二六、〇六三	二〇六、二五二
金澤	三七四、八八八	一五八、〇一六	四一、四四〇
函館	四〇〇、五四〇	二三九、四五五	四一、五七三
小樽	三八九、九三八	四一七、一二五	九三、六四四
札幌	一八二、七五四	八〇、三八八	二一、四一六
臺北	二六九、七一七	一二七、五一一	四一、〇七七
福岡	四四七、七一一	二六一、六八九	六五、四〇七
熊本	一一七、二九六	八三、六二六	二一、七一九
旭川	七六、一〇〇	三六、九四四	一〇、〇三二
長崎	一七〇、四六四	一〇九、〇五五	二五、〇六三
新潟	四八、三七五	五〇、七五九	一九、六五四

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

基隆	六〇、七七八	二〇、四二七	五、四五九
岡山	二二七、八七一	一四六、七一二	三八、八九〇
富山	一三二、四四七	四一、〇四八	一〇、三六四
秋田	五二、六八三	五八、〇九七	二四、六一一
仙臺	一四一、六八二	六一、四五二	一八、〇七八
高岡	二八、二四五	一〇、三九九	四、二三三
松江	二二、六八五	九、六六九	五、一五六
總計	三一、八二九、六二四	七四、一〇四、九一五	一二、九七五、五七八
前年に比し増減	二、六九七、八〇一	五、九一九、〇三九	一、八七一、五九一

全國銀行の預金及貸出金

大正十三年十二月末日に於ける全國銀行の預金及貸出を示せば次表の如く、預金總額百三億二千二百七十八萬三千圓にして、前月に比し三千五百五十四萬圓を減じ、貸出金總額百九億九千三百二十一萬五千圓にして、前月に比し二千五十六萬五千圓を減じて居る。△印は減、千圓未滿は四捨五入

□預　金

種類	特別銀行 千円	普通銀行 千円	貯蓄銀行 千円	合計 千円
普通据置貯金	—	三、五三七	三五五、六二四	三五九、一六一
定期積金	—	一七、六七五	三〇五、六九三	三二三、三六八
公金預金	八一一、八〇五	一三〇、一七五	一一二	九四二、〇九二
當座預金	九五、七五一	一、三九六、八八四	二二六	一、四九二、八六一
特別當座預金	八〇、二一四	一、七八八、六一五	二四六	一、八六九、〇七五
通知預金	七五、七一三	四九四、二八五	四	五七〇、〇〇二

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

定期預金	四二〇、八〇一	三、八五二、六一五	一〇一、二七六	四、三七四、六九二
諸預金	一五四、九〇六	二三一、一四七	五、四七九	三九一、五三二
合計	一、六三九、一九〇	七、九一四、九三三	七六八、六六〇	一〇、三二二、七八三
前月と比較増減	△二〇六、二二八	一五一、八一六	一八、八七二	△三五、五四〇

□貸出金

種類	特別銀行 千円	普通銀行 千円	貯蓄銀行 千円	合計 千円
證書貸付金	一、七四四、一八九	一、一八三、八六〇	一六一、〇一九	三、〇八九、〇六八
手形貸付金	一七〇、一二七	三、六一三、九〇六	—	三、七八四、〇三三
當座貸越金	六一、一五八	一、一二六、九七八	—	一、一八八、一三六
コール、ローン	一六、八二〇	四四九、〇三二	—	四六五、八五二
割引手形	八四四、一六五	一、四九二、〇三三	一四、六二九	二、三五〇、八二七
荷爲替手形	一五、六五〇	九九、六四九	—	一一五、二九九
合計	二、八五二、一〇九	七、九六五、四五八	一七五、六四八	一〇、九九三、二一五
前月と比較増減	一〇〇、四五〇	△一二七、八一〇	六、七九五	△二〇、五六五

（備考）貯蓄銀行の買入れたる銀行引受手形は割引手形中に合算してある。
右各種銀行の朝鮮及海外に在る支店の預り金及貸出金は除外してある。

厦門に於ける海産物貿易と其の賣行

殖産局商工課

一 輸出入

當地に於ける海産物輸移出入に關する支那税關の報告左の如し

(イ) 輸入

品目	一九一九年		一九二〇年		一九二一年		一九二二年		一九二三年	
乾海参	四,五〇九擔	一三,六〇六兩	五一,二七三擔	一四〇,二四〇兩	四,六三二擔	一〇九,八七二兩	五,〇三二擔	九〇,一一九兩	四,五七〇擔	一七,三九八兩
燕窩	五,六二一斤	四八,三六五兩	五,五九六斤	四〇,三三五兩	七,〇二二斤	五四,一七六兩	六,一二四斤	三九,八七二兩	六,九四六斤	五一,四七四兩
魚子醬	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
魚介類	六九,三七六擔	八四三,五九二兩	一〇四,一七三擔	三〇,四三七兩	九七,三五〇擔	一,一〇九,九九九兩	五三,七〇九擔	一,一〇七,一八一兩	六八,一三八擔	八六九,三二四兩
魚膠	六五	三,四八八	一三三	八,一七四	一六二	一〇,八二〇	七六	六,五一三	二五	一三,三六八
昆布	一三三	三五三	一八〇七	四九五	七二八	二,〇〇五	一,一三一	四,四一七	六〇三	二,九七五
計	—	一,〇〇七,四〇四	—	一,三九九,五七五	—	一,二八六,八七二	—	一,二四八,一〇二	—	一,〇〇四,五四三

(ロ) 移入(支那産)

品目	一九一九年		一九二〇年		一九二一年		一九二二年		一九二三年	
鮮魚	三擔	一六五兩	七擔	一〇四兩	一五二擔	六九九兩	—擔	—兩	—擔	—兩

乾魚及鹽魚	一,六〇五	八,八〇三	二,二三六	一三,八〇一	三,六八八	二五,〇三三	二,八八九	一七,〇一五	四,四八七	三四,三五三
蛤及淺蜊類	九〇八	五,四七七	一,二八二	一〇,〇七六	一,二二七	一〇,二四〇	一,一七八	八,五四八	一,九六四	一五,五二四
鯣	七〇	七六九	一,三八〇	一六,五六〇	五,一一三	一〇三,二六六	五六九	一四,七二四	四二五	一五,四七六
乾蝦(大中小)	六,一七四	一〇三,八二五	五,五〇八	一二〇,一六〇	一二,三〇〇	二五八,一八八	九,三九七	八四,九九九	一〇,六三四	九〇,七三二
海月	六七	一七一	一五	一九二	九三	二三七	二一	六一	三七	四〇四
鱶鰭	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
其他ノ魚介及海草類	七三六	一三,〇四七	一,九四五	一八,〇七二	一,八〇〇	二六,六〇三	一,五〇二	一六,八五五	一,二九五	一八,一四四
計	—	一三〇,二八六	—	一六九,〇六五	—	四三四,三二六	—	一四二,一九二	—	一七四,九二三

(八) 輸出(當地方産)

品目	一九一九年 擔	一九一九年 兩	一九二〇年 擔	一九二〇年 兩	一九二一年 擔	一九二一年 兩	一九二二年 擔	一九二二年 兩	一九二三年 擔	一九二三年 兩
鮮魚	—	—	—	—	—	—	四	一〇九	—	—
乾魚及ビ鹽魚	一,二七五	六,三四二	一,八七五	一〇,四六二	一,〇六二	八,三三八	一,六三八	二,八〇三	七七〇	八,四六五
蛤及淺蜊類	六八	四六七	一〇〇	八五二	三七	三二二	二七	一八五	二二	一五一
鯣	三三	一,六〇三	一〇七	四,五八六	三一	六,八八三	七六	三,五八三	六一	二,六四〇
乾蝦(大中小)	—	—	九	二〇〇	—	—	九	三三三	—	—
海月	—	—	—	—	—	—	一五九	四七五	二六一	九九三
鱶鰭	一	二八	—	—	—	—	—	—	三三	三,二六八
其他ノ魚介及海草	一,二三四	一九,六三九	一,六〇六	二九,四三二	一,三九一	三三,六一八	七五八	一三,七〇四	一,二二五	二七,三七八
計	—	二八,三六八	—	四五,五三三	—	三九,一五三	—	三〇,三三一	—	四二,八九五

(二) 臺灣の輸出(臺灣總督府の統計に依る)

品目		一九一九年		一九二〇年		一九二一年		一九二二年		一九二三年	
乾魚	厦門	七三八,九二五斤	一八四,一〇九円	一,二五八,六七九斤	三〇八,〇二八円	一,四六九,四九九斤	三七八,八二四円	八三三,一九八斤	三三七,五五八円	九四四,〇九六斤	二三五,三五一円
	泉州	一五七,六八六	三四,八四三	九八,六三一	二五,一六一	一三,一五八	二,二七〇	五,〇〇〇	八〇三	七,四九八	一,四〇八

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

鹽魚	廈門	一,〇七〇,九三八	一五〇,五五三	二,七七一,六七九	三三九,七四八	三,七九六,五五四	三五〇,七一八	一,六六〇,三四五	一四四,〇八〇	二八六,一九六	五一,三九八
	泉州	六四,二六〇	九,二四二	一六八,三〇九	三三,四六一	一〇八,五四九	一〇,一九九	二六,一七〇	二,二六二	一三,〇五〇	一,二六一
鯣	廈門	七五,七二九	四六,五六三	二〇七,五四九	一〇七,三三〇	一一〇,六〇五	六三,〇五四	八三,〇一六	四六,七三〇	四八九,三四八	一六六,七一三
	泉州	三,四五六	二,一九七	三,七八一	六,一八〇	—	—	—	—	一〇,六三〇	三,一四二
乾貝	廈門	三八,五六二	三一,三三一	九二,九六五	九六,五〇五	二〇〇,七三三	一四一,二六二	一三三,九三三	九一,九五四	八八,九四三	七七,〇四五
	泉州	五,五〇〇	二,〇一〇	四,三三七	二,八三五	一三〇	一八四	一三〇	一五〇	五七	八〇
鱶鰭	廈門	六,〇六五	九,四〇三	四,二八五	五,五一九	五,四六五	五,七一〇	四,六五一	五,六一六	三,五四二	五,四八一
	泉州	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
寒天	廈門	—	—	一五,〇〇一	二〇,八〇五	—	—	—	—	—	—
	泉州	—	—	一五,〇〇一	二〇,八〇五	—	—	—	—	—	—
鮑罐詰	廈門	打 —	円 —	打 八,五五〇	円 四〇,九五九	打 —	円 —	打 —	円 —	打 —	円 —
	泉州	—	—	五三	三〇七	—	—	—	—	—	—
計		—	四七〇,一四一	—	九六六,六二九	—	九五二,二五一	—	五一九,一三五	—	五三九,八七九

二　需要海產物の種類及び時價

以上の如く海產物類は當地方に於ける主要なる輸入品の一に數へられ當業者の言に依れば年輸入額三百萬弗餘と稱せられ其の種類も亦頗る多きを以て以下重要なる物に付き類別略說すべし

(イ)　鹽　魚

A、鹽鰛　大部分米國產にして本國より香港又は上海を經由して輸入せられ一部は我が神戶より基隆經由して輸入せらる目下卸値段百斤大銀約九弗三十仙位なり

B、鹽鰆　全部本邦產にして荷造に依り俵鰆・散鰆の二種あり俵物は一俵百磅即ち七十五斤入れなり又製法に依り黃鹽及び黑鹽の二種に區別せられ共に百斤卸値段大銀約十弗二十仙位なり但し黃鹽の方評判宜しきも

黑鹽物は賣行良好ならず尙ほ本品は煮出を取り含有鹽分を其儘野菜物の調味に利用する爲め需要頗る多し

C、鹽鮭　本邦品は極めて少なく米國品は我が神戸を經由して盛に輸入せらる荷造は悉く箱詰にして一箱百磅入れなり近來の時價は百斤に付大銀九弗六十仙見當なり但し本品は鹽鱒の如く永持ち出來ず開箱後一週間位にて賣切らざるべからざる點に於て鱒より不利なり尤も三錢五錢の小賣出來ること丈けは便利なり

D、乾魚

A、鯣　全部本邦產にして秋鯣冬鯣の二種あり秋物は冬物に比し評判宜しく値段稍高く目下百斤大銀四十五弗位

B、貝柱　丸粒と四つ割の二種類あり丸粒は本來上等品なるも當地方にては四つ割却つて歡迎せられ目下百斤百二十弗見當にあるも最も高きときは百七八十弗を唱へたることあり本品は本邦品と北支那產の二種あるも品質には大差なし

C、干鮑　米國品と本邦品との二種あり米品は金山鮑と稱せられ本邦品に比し風味極めて惡しく値段も從て低廉にして百斤百二三十弗見當にあり又本邦品中五島の淡水鮑最も歡迎せられ百斤時價五百弗內外なり

D、鱶鰭　大物と小物の別あり大物は品質優良にして價格高く上等料理に使用せられ大概臺灣產にして小物は當地近海に產す本品は鰭の大いさ纖維の長さ太さ及び其の揃ひ方鰭根の切り取り方（肉の多く附著せるものと少く附著せるもの）等に依り甚しく價格に相違あり卽ち鰭大きく纖維長く太く而も揃ひしものは上等品なり又鰭根の肉の多きものは單に全體の斤目を增すのみにて重要部の分量少なきことゝなる結果値段割安となる

E、乾鱈　本邦品にして棒鱈と開き鱈の二種あり棒鱈は下等品に屬し目下百斤大銀八弗位にして開き鱈は頭

付きと頭なしとの二種あり共に百斤大銀十八弗位なり本品は中尾最も需要多し而して奥地農民は農作期に於て農神に對し豚を犠牲に供する代りに開き鱈を用ふる風習なり之れには矢張中尾の方歡迎せらる

F、乾蝦　大中小の區別あり本邦產北支那產南洋（主として安南）產等にして北支那產の輸入せらるゝもの最も多く南洋及び本邦產は少し目下の相場百斤に付き北支那產大銀十七八弗南洋物七十弗本邦品八十弗見當に在り

G、乾海鼠　本品はマニラ產の輸入最も多く本邦品極めて少し小賣には乾物の儘にて販賣するものと水に浸し軟かくして販賣するものとあり家庭に於ては大概浸水品を使用す時價百斤大銀百六七十弗を唱へ居れり

H、乾鰊　大概我が北海道產なるが如く神戶又は長崎より輸入せらる種類は大中小の三種あり中尾最も歡迎せらる又生乾（ナマボシ）と煮乾の別あり煮乾は賣行宜し其需要期は農業期卽ち三月頃より旺盛となり主として奥地農民向きなり時價百斤二十弗內外

I、水尖　當地方の俗稱にして又水占とも稱し嘴長き小魚なり我が魳（梭魚）なるが如し本品は我が北海道產と朝鮮產とあり又生乾と煮乾とあり共に神戶經由にて輸入せられ時價百斤大銀四十弗內外なり但し北海道品は幾分品質劣ると稱せられ價額も少しく安し其の需要期は乾鰊と同じく農事旺盛期なり將來有望の品として直接取引希望者あり

J、乾蟶貝　當地にては蟶と稱し草蟶と竹蟶の別あり北海道及朝鮮產輸入せらる但し北海道品には砂を含むと稱し評判宜しからず百斤時價大銀四十三四弗內外にして是れ亦奥地に於て農作期の需要品なり是れ亦水尖同樣將來有望品として產地と直接取引を希望する者あり

K、乾尻魚　當地方の俗稱にして原名不詳但し安南又はシヤムより輸入せられ我が開き鱈の如く頭尾を存し

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

たる儘開き乾とせしものにて大骨を去り皮を存し肉丈けに數條の庖丁目を入れ直徑一尺位の平圓形を呈し一見太き繩を竝べたるが如く見ゆ風味佳良にして主として上流社會に愛顧せられ價百斤三十七八弗內外なり

L、昆布　內地產にして我が北海道品なるが如く軍隊の糧食として大口の注文あることあり（主として北方出身の兵士）又滋養品として產婦老人等も之れを用ゆ時價百斤大銀二弗七八十仙より三弗見當なり

M、寒天　神戶より輸入あり角棒形と線形の二種あり大概夏季に需要せられ線形の方賣行き宜しきが如し但し何れも需要最甚だ少し

N、鮑鑵詰　本邦品にして富士印と㊦印主として輸入せられ大料理屋の需要相當に之れあり三つ入又は四つ入最も歡迎せらる又㊦印は賣込古るき爲氣受け好く打大銀十七八弗見當にて取引せらるゝも富士印は十六弗位なり

三　輸入及び仕入の概況

當地方需要の海產物類は本邦品と米國品最大部分を占め本邦品は殆んど神戶より又米品は神戶或は香港を經由するのみに係り上海經由輸入せらるゝもの割合に少きが如し而して當地に於ける第一流の海產物問屋は大概我が神戶に出張員を常駐せしめ又は同地支那商人と特約して仕入を依托し居れり其特約店に支拂ふ指圖仕入れの手數料は大概仕入價額の百分の一見當なりと云ふ然れ共斯の如き方法は頗る不便にして又時に手違を來すこと往々にして之れあるを以て本邦の產地と直取引を希望し居れり以上の次第なるを以て本邦品と雖も實際何れの地方に產するものなるや判明せざるものあり又朝鮮產も直輸入なり其の殆ど全部は神戶經由なり又當地海產物問屋にして牛莊に出張員又は特約仕入先を有するものあり二流以下は當地問屋又は臺灣より仕入れ或は數軒合同して神戶の華商に依托仕入を爲す

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

輸送經路は神戸を起點とし基隆を經由するときは運賃稍高く上海之れに次ぎ香港經由は割安なりと云ふ何となれば香港は我が歐州行き汽船の寄港地なるを以て船腹に充分の餘裕あり貨物停滯すること殆んどなく運賃從て割安にして香港當地間も船舶多く結局餘程利益なるも日限の切迫せるものは定期船を利用し基隆を經由する方確かなりとて兩方共利用せられ居れり次に大正十二年に於ける猛烈なる排日貨運動の際華商は開き鱈を牛莊に出し(同地は排日貨運動盛ならざりき)支那品と稱し輸入を繼續せしことあり又鑵詰類は無「レッテル」の儘香港經由にて仕入當地にて支那「レッテル」を印刷粘付し賣込みたることあり

四　販路

當地輸入海産物の販路は魚池(未解放地)を以て重要なる消費地とし其の主なる地域は安海、泉州、永春、德化、同安、安溪及び各其の魚地を第一とし之れに次ぐものは石碼、漳州、漳平、龍巖、白水營雲霄、紹安及び各其の魚地なるも魚地は實際に於て河魚豐富なるを以て消費量は却て海岸線に近き地方に多し又本品は年中賣行良好なれども各品に依り需要時期に相違あり一體に七八月頃より十二月頃迄は賣行最も宜し又數年以來鹽薄く新鮮なる品賞頑せらるゝ傾向を呈しつゝあり次に各品共相場は大概在荷の多少に依り左右せらるゝこと最も大なり右は當地方には適當なる倉庫の設備殆んど之れなき結果なるのみならず鹽物類は久しく貯藏すること困難なるを以てなり故に米國人は目下福州に於て冷藏庫設置中なり但し冷藏品は庫內に有りてこそ安全なれ共一度持出すときは却て腐敗を早からしむるを以て果して成功するや否やは疑問なりと評され居れり右に付き當業者の談に依れば當地方に於ては大口に輸入するときは市價俄かに下落するを以て寧ろ小口に輸入し品切れなき樣注意すること肝要なりと稱し居れり

五　商習慣及び代金回收方法

當地には特種の商習慣あり左に重要なる鹽物の例を掲ぐ

（イ）鹽鰮　五百磅一箱にして問屋よりは九六を乘じ（風袋）次に七五を乘じ（斤）更に九五を乘じ（問屋より仕入れたるもの丶利得）四十五斤を引き（鹽）之れを實取引量とし現金（一週間乃至二週間の猶豫あり）のときは更に九六を乘ず故に

500×96×75×95−45＝297斤は實取引量にして現金の場合は297×96＝285.12斤として引取ることゝなる

（ロ）鹽鯖　風袋として一俵に付き十五斤を差引くも鹽を控除せず其他は凡て前項と同様なり

右の次第なるも數年來兵度引續き省内秩序紊れ從て金融圓滑ならざる爲其の支拂等は慣習通り實行出來ず近來漸次慣習打破せらるゝの傾向あり賣懸代金の回收は一箇月後半金拂にして二箇月後全部決濟の筈なれども上記の次第故完全に決濟の出來る店は比較的少し其他毎月二日及び十六日は回收期にして尚ほ年三回（五月八月十二月）の大勘定期あるも出來る丈け回收し居る狀態なり尤も第三流者に對しては十二月十六日の決濟期に賣掛代金を支拂はざる者には其の後商品を供給せざる風あるも後日懸倒れ高の二割を支拂ふときは取引を復活しやり殘金は漸次取立つることゝし居れり又大問屋にして懸金は百分の四丈け多く回收し（百圓の懸金は百四圓を取立て）此の四圓は懸倒れ準備として保管し置くものあるも此の方法に依る問屋は三十年來の老舗にして充分に信用あるもの二軒（宣美號但し英國籍及び哲記號但し白耳義籍）のみにて他人は實行せんとするも仕入先が承知せざるを以て此の如きは商慣習にあらずして特定の問屋の取引方法に外ならず

六　當業者側希望の一班

（イ）注文品と品質同業の物の供給を希望す

（ロ）少しづゝ繼續して順調に供給せられ品切なきこと但し一時に多量の供給ある時は市價下落し賣込に頗

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

る困難なり

（ハ）鮑栄螺等の鑵詰類も亦海産物商に於て兼營し度し但し從來の例を見るに是等の品は供給拒絶することある爲め落付きたる取引出來ざるは誠に苦痛なるのみならず爲に品質著しく劣等なる香港、汕頭、上海品の侵入を見るに至れりと雖も供給にして繼續さへすれば本邦品が外支品を驅逐し得る見込充分なり

（ニ）一品一軒主義即ち特約主義を採り例へ數軒より多少有利の交渉ありても之に供給すべからず此の如きことは歐米商人の最も注意せる所なるを以て特に此の點を忽諸に附することなきを望む何となれば徒に競爭を起し其の結果共に手を引くこと丶なるを以て結局不利を來す

七　廈門に於ける主なる海産物問屋

宣美號（英）	廈門市本部街	合發號（支）	廈門市打鐵街
哲記號（白）	同　同	捷茂號（支）	同　新馬路
鼎美號（臺）	同　同	協記（支）	同　央巷
傳來洋行（臺）	同　番仔街	源泉（支）	同　新馬路
啓泰號（英）	同　打鐵街	和益號（支）	同　同
廣貫堂（日）	同　水仙宮街	和通號（支）	同　同
芳興號（日）	同　石皮巷		

以上各店に對する資産信用の概況等は在廈門日本帝國領事館に照會あり度し尚ほ右の外小なる問屋及び取扱業者二十餘軒あり

——在廈門帝國領事報告——

急激に發展せる比島の製造工業

越村生譯

比律賓の製造工業は最近まで大體に於て比島民の直接の需要に應ずる範圍の生產をなす小工場に限られ、僅かに葉卷及び他の數種の商品は米國領有前既に大規模の製造營まれ居たりき。然るに近年に至り各種の工業に新式機械使用されたる結果精製品及半製品の輸出に長足の進步を遂ぐるに至れり。試みに貿易額を見んか、千九百年の輸出總額二百萬ペソは僅かに二十年を經過せる今日一億二千八百萬ペソに激增し、千九百年當時の輸出品の大部分は葉卷、殘餘は紙卷煙草、綱索及び少量の椰子油なりしも、今日即ち千九百二十三年に於ては砂糖は輸出品の大宗となり六九、〇三八、二四六ペソを占め、葉卷は五倍となり、椰子油二八、一三三、一六四ペソ、刺繡品一二、七四六、五二九ペソ、綱索は一、四九七、七六九ペソを夫々示し、其他多くの主要製造品例へば帽子、節絲織麻、眞珠貝釦、イラン・イラン油等夫々輸出品目中に列するに至れり。

既に述べたる如く比律賓は未だ製造國に非らず、又今後數年に於て恐らく製造國たらざるべし。されど前述の貿易額は工業方面に於ける將來の發達可能の程度を示すものたると共に地方產原料の供給は豐富にして、加之熟練勞働者も容易に得らるゝを以て、全然悲觀すべきにも非ず。地方產原料中特記すべきは綱索、撚絲、帽子、衣服等に使用するマニラ麻、香料用のイラン・イラン油、其他木材、貝殼等あり。是等の原料を輸出前に精製品に製造することは今日迄に於て漸く開始されたるに過ぎず。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

製糖工場

最近七八年に於ける比島製糖業の發達は極めて著しきものあり、之れが重なる原因は、新式製糖工場の設立にして、千九百十年ミンドロ製糖會社がミンドロ島サン・ホセに設けたる新式工場を以て嚆矢となす。爾來比島の主要産糖縣に相次ぎて新式機械を有する多くの工場出現せり、千九百二十四年初めの調査に依れば現在作業中工場數三十一、一日當り總能力二二、九七〇噸なりと。此工場の多くはネグロス島にあり。工場所有者は大抵比島人にして、製糖及甘蔗栽培兩者を營み居れり。

比島に生産する砂糖の重なる種類は分蜜糖と粗糖にして、別に少量の精製糖も又た今日生産輸出せられつゝあり。分蜜糖は新式製糖工場にて生産せらるゝに反し、粗糖は黒砂糖にして舊式糖廊にて製造せられ平鍋にて結晶せるものなり。此二種の砂糖は糖度に依り等級を附せらるゝものにして分蜜糖は糖度九十六度乃至九十九度なれども、九十七度を超ゆるものは極めて少量なり。粗糖の糖度に基く經濟的等級を示せば左の如し

等級	馬尼拉に於て	イロイロに於て
第一號	八十六度乃至八十八度	八十七度乃至九十度
第二號	八十四度乃至八十五度九	八十五度乃至八十六度九
第三號	八十二度乃至八十三度九	八十二度乃至八十四度九
第四號	八十度乃至八十一度九	八十度乃至八十一度九
第五號	七十八度乃至七十九度六	七十六度乃至七十九度九
第六號	七十六度乃至七十七度九	七十度乃至七十五度九
第七號	七十度六以下	

七十度以下の糖度を有する砂糖はイロイロ市場に於てコリエントと稱せられ、其色極めて暗黒なり。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

粗糖は普通ブリ袋に入れられたる上を籐にて緊縛せらる。分蜜糖は取扱上便利なる一定の大サ（五十キロ）のジュート袋に包裝せられ、兩端をジュート紐にて縫ふ。ブリ袋はバンタヤン島、セブ市及びカピス縣の四五の町にて作らるゝも、ジュート袋は印度より輸入するものにして、耐久性大なるもブリ袋に比して價遙かに高し。

比島の現在産糖額は、若し島内の適當なる總ての土地に甘蔗を栽培し、改良糖廠又は工場を增設するに於ては將來恐らく四倍に增加することを得べし。現在工場は三四縣にのみ之を見れども、他の地方に之を建設するときは特に小農及小生産者に此重要生産品の栽培面積の增加を奬勵する大なる要素となるに至るべし。今日尙ほ多くの古き木造糖廠使用せられ、新式工場比較的少なけれども其砂糖年總産額三十萬噸乃至四十萬噸に達し居れり。之に反し呂宋とネグロス島とを合したるが如き面積の玖馬は毎年四百五十萬噸の砂糖を産し、千九百二十三年新式工場數百八十二、今の僅かに三十一の工場を有する比島を玖馬に比するときは實に霄壤の差なりと云ふべし。

椰子油工場

比島に於て椰子油の生産に從事する會社の創設されたるは千九百九年にして、其以前に於ては椰子油の製法は粗雜なる方法にて其輸出高たるや稱するに足らざりき。歐洲大戰前比島には僅かに一工場のみ作業せしが、千九百十八年の後半中に作業するもの三十一、一日平均千三百噸を生産し一年の椰子實の需要高八十萬噸と稱せられたり。然るに當時實際比島生産高は三十萬噸に過ぎざりしを以て、島内産の椰子實のみにては到底全工場を作業せしむる能はざりしのみならず加之に椰子油の需要減少したる結果多くの工場は閉鎖するの止むなきに至れり。本文起稿當時作業するもの數工場に過ぎず、而かも多くは殆んど馬尼拉、セブ及ビサン・

バブロに在り、其平均一箇月生産高約一萬二千噸なりと。

椰子油の等級は砂糖、煙草及び麻の如く確然たるものなきも、世界市場に於ては交趾、爪哇、錫蘭、日本及び馬尼拉産の別なり、之は脂肪酸の含有量に依るものにして、脂肪酸の含有量少きを以て品質優良なるものとす。

煙草工場

元來比島よりの輸出煙草は大部分葉煙草なりしが、最近の傾向を見るに葉卷、紙卷煙草等の製造品の輸出を奬勵するものゝ如く、現に今日葉卷煙草は煙草の毎年輸出高の大半を占む。千九百二十三年現在製造に從事する葉卷工場八十八、紙卷三十三、多くは馬尼拉にあり。同年の製造高中島内消費の分葉卷八四、三二九、二五四本、紙卷四、四八五、七七五、九六〇本、輸出されたるもの葉卷三三九、二一九、七八三本、紙卷三九、四二六、六〇六本なりき。大工場の内にて地方に栽培地を所有し、多額の葉煙草の供給を之より受くるゝものあれども、大多數は島内各地の生産者より其供給を受く。

製造せらるべき葉煙草は總て、製造業者又は輸出業者に販賣する代理店又は個人商人の手を經て馬尼拉に送付せらる。馬尼拉にある商店は大抵比島の主要なる煙草生産地に總て代理店を置き之をして直接生産者より又は個人商人の手を經て葉煙草を購入せしめ居れり。

煙草の葉は乾燥されたる後束にして製造業者に送られ、製造されたる葉卷及紙卷は嚴重なる検査と等級を附されたる後、夫々適宜標紙を貼付、スタンプを押捺せる箱に入れて積送せらるゝなり。

熟練なる職工は其大多數は女子にして馬尼拉の煙草工場に必要なる勞力を供給する外、新たらしき職工は隨時之を得らるゝを以て斯業を不利ならしむる勞働問題の如き殆んど之を聞かず。葉卷は總て手製なり。

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

製造されたる比律賓煙草は取引上馬尼拉葉卷及紙卷煙草と稱せらるゝも、各會社夫々取引商號を有するを以て、今日其品種三千以上に登る。標準馬尼拉葉卷は今日世界市場に於て最も優秀なる葉卷にして、其販賣市場は特に米國に於て尙ほ增加しつゝあり。刻下の問題は更に廣く世界に紹介宣傳するにありて先般合衆國内に比島政府の一煙草代理店指命されたるが、之れ比島煙草を世人に周知せしむると共に其販賣市場を開拓擴張せんとするにあり。馬尼拉葉卷及紙卷に對する市場の絕えず增大するに連れ、每年其生產高は增加し居れり。

麻製品

近年まで比島の麻は總て粗製糖纖維の儘にて輸出されしが、今日に於てすら輸出高の大半は依然として、纖維にして輸入國に於ける綱索工場は此纖維より索繩、大綱、各種の撚絲及び細紐を作る。されど最近麻製品を製作する製造工業は著しく發展し來たり、中にも索繩、眞田紐及び麻帽子の製作及び織物用に纖維を利用する在來の工業は最も重なるものなり。

綱索材料としてのアバカ

アバカは比較的比重輕く、破斷力強く伸縮性を有し、耐久性に富み水の抵抗強ければ世界に於て最も重要なる綱索用纖維なり。元來比島は海商國に於て珍重せらるゝ綱索用纖維の完全なる獨專權を有す、綱索材料としての麻は特に船舶用として比類なしと雖も、輸出品として麻綱の出現せるは千九百十二年のことゝす。其後綱索工業は歐洲大戰中需要激增せる結果大なる刺戟を與へられ、斯業に一大進境を來たし今日比島内に數箇の綱索工場あり又た合衆國内に比島綱索に對し明かに不斷の需要あり。麻眞田を原料とする婦人用帽子の製造は今日未だ初期なるも、漸次發達しつゝある一工業なり。麻眞田は曾ては盛んに日本より輸入された

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ることあるも、今日原料は大部分一比島會社より供給せらる。麻眞田帽子の製作は過去の經驗に依り極めて有望なることを立證されたるが爲め最近多くの會社の新設せられたるが、其結果として眞田に對する需要は今日供給を超過し居れるを以て帽子製作者は麻眞田缺乏の爲め屢々其受くる大量註文を果すこと能はざる有様なり。

綱索及眞田の外、アバカは衣服地の製作に使用せられ、即ち棉絲と混じて各種の型に織られ、斯くして生産されたる織物は絹に似たる精細なる衣服地より漁獵用網の粗雜なるもの等各種のものあり。品質の劣れるもの及びアバカの屑物は良質の紙を製造する優秀なる一原料なれども、未だ此工業の設立されたるものなし。

精米場

昔は精米場の用途を知るものなく、カラバオにて禾束を脫穀し臼の中にて搗き砕くを普通とせり。蓋し當時の農夫は其收穫せる米を自ら消費し來り、勢ひ大規模の精米の必要を殆んど否全然關知せざりき。然るに輸出農作物の栽培は從來の米作地方に於て米よりも更に一層有利なること一般に認められたる爲め、米作は勢ひ數箇の地方に限定されたる結果、漸次發達する米貿易に拮抗する上に於て、其地方の精米事業は極めて必要となり、爾來年々新精米工場の設立を見ると共に米の地方取引は依然發達し、之に伴ひ精米場の設立更に一層廣く普及せられたり。

千九百二十二年に於て實際作業中の精米場四百五十一にして最大精米能力六七、三四六カバン（一カバン＝約二ブッシエル）を有す。此精米場は左記二十五縣に分置せらる。

縣名	精米場數	精米方法			精米高カバン	縣名	精米場數	精米方法			精米高カバン
		蒸氣に依るもの	水力に依るもの	人又は牛馬に依るもの				蒸氣に依るもの	水力に依るもの	人又は牛馬に依るもの	

Albay	一五	三	一二	—	四二、五五五
Ambos Camarines	二四	一〇	一四	—	三九、六三二
Bataan	四	四	—	—	四〇、五五五
Batangas	七一	七〇	—	一	二〇九、九六八
Bohol	七	—	—	七	一六、四二
Bulacan	四四	四四	—	—	一、一〇九、五四七
Capiz	五	五	—	—	七一、〇五五
Cavite	二三	二一	一	一	一九九、三二二
Iloilo	九	八	—	—	一三七、二二九
Laguna	六八	五五	一三	—	三四三、三一八
Mindoro	三	三	—	—	一〇、五六〇
Nueva Ecija	一八	一八	—	—	三三七、四八五
Occidental Negros	六	六	—	—	一三六、九七三
Pampanga	四二	四二	—	—	六二七、八〇三
Pangasinan	八	八	—	—	二六九、九七〇
Rizal	一八	一八	—	—	八二、二六八
Sorsogon	六	一	五	—	四、五五五
Tarlac	一六	一六	—	—	四一四、二六六
Tayabas	二七	一二	一四	一	八三、八一六
Zambales	三	三	—	—	五、七四八
其他	一三	一一	一	一	二八、七四七
計	四三〇	三七〇	七〇	一一	四、三六八、九九四

前述の如く多くの精米場は蒸氣及び水力電氣に依り其他は人、水及び其他の方法に依りて運轉せらる。牛に依る米の搗碎及び脫穀の未だ行はるゝ所數縣あるも之は例外にして、今日精米場の必要は多くの米產地に於て認められ來り、精米場は益々普及しつゝあり。既設の精米場は現在の米產額を取扱ふに適當と思惟せられ居れるも、將來產額增加を顧慮し精米場の配置宜しきを得ること必要なり。比島政府は今日更に廣く米產を奬勵しつゝあるを以て、生產高の增加に連れ、一層多くの精米場を必要とするに至るべし。

酒造所

燒酎、葡萄酒、麥酒及び醱酵飲料の製造は比島に於て古くより行はる所にして、最初の生產高は製造者の直接の需要量を滿す程度に限られ、取引に供せらるゝもの殆んど稱するに足らざりしが、西班牙が比島を領有すると共に、葡萄酒及び酒類の輸入を奬勵し他方島內產のニパの汁液及び糖汁の醱酵更に廣く行はるゝに至れり。酒造所は其後島內各地に設けられたるも其生產品は主として島內の需要に當てられたるに過ぎずし

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

て、飲料が輸出品目の一となれるは漸く千九百十五年なり。比島の酒類の總生産額は今日千六百萬ペソ乃至二千萬ペソと稱せられ、斯業に從事する勞働者の總數は一千乃至一千五百なり、而して酒類の輸出先は主として香港、日本及び佛蘭東印度とす。

蒸餾酒製造の主要地方産原料の内に島内各地に繁茂する。ニパ椰子の汁液あり、ニパ沼澤の多きはブラカン、ラグナ、パンガシナン、パムパンガ、カピス、カガヤン、スリガオ、サマル及びタヤバスの諸縣とす。「テユバ」はニパ椰子より製する酒の名稱なるが、比島民の愛好する飲料水にして、ニパ・テユバ以外に酒精の製造に用ひらるゝ主なるものは即ち玉蜀黍、米、甘蔗、糖蜜及び椰子の實の汁液とす。

製靴業

比島の製靴工場に機械に依る新式工場と人手に依る小規模の製靴工場との二種あり。千九百十八年製靴工場總計百三十八にして總生産額二、三五〇、三二七ペソにして投下資金一、六七七、六一六ペソと稱せらる。今日馬尼拉にある新式製靴工場僅かに數箇に過ぎず、千九百十八年右工場の販賣高二十萬足即ち二百萬ペソにして、其靴の種類も多種多樣に亙り、即ち運動靴、散歩靴、軍用靴及び一般日常使用の靴なり。

現在馬尼拉にある小規模の靴屋は約百四十軒、殆んど地方にある靴屋の總數に比敵す。是等の靴屋は大部分小資本にて箇人又は組合の所有にして、其生産高は實際地方の需要如何に依り、其數量は新式工場に比して遙かに少しと雖も、顧客の趣味及び流行に從ひ型の種類極めて多し。是等の靴屋の注文に依る靴の種類を類別すること極めて困難なれども、普通合衆國の新型に應じて製作さるゝものと云ふを得べし。

島内の實際需要高は今日の島内工場及靴屋の供給する數量も遙かに大なり。從つて二百萬足以上の靴、其價額約四百五十萬ペソは千九百十八年中に輸入されたるも、其後千九百二十二年には激減し七十萬三千足、

一、二二六、四六〇ペソ千九百二十三年には七三、四二一足、即ち二七七、七五九[illegible]輸入ありたり。此計數は比島製靴工場の發達すべき餘地充分あるを示すものにて、今後靴工場の増設せらるゝに於ては、合衆國、歐洲及び支那より今日比島に輸入せらるゝ靴の數量を著しく減少せしめ得べし。

比島製家具

家具の製作は堅材（ナラ、モラヴ、イピル等）軟材（アルモン、ラウアン及び其他）竹、籐及び其他の蔓類の如き家具材料豐富なる關係上、大體に於て家內工業として廣く比島に行はる。大都市特に馬尼拉に於ては、寢臺、机、椅子、長椅子、事務所用家具の如き高級家具の製造に從事する大工場あり。而して一年の内輪に見積りたる全島生產額約二千萬ペソと稱せらる。比島の懲戒所たるビリビッド監獄にても又た各種の優秀なる家具製作せられ、其製作品は地方及び外國市場に向けらる。種々の竹及籐製家具も、其輕きと、耐久性に富み、價格低廉なる關係上廣く一般に使用せらる。特筆に價するはブラカンにて大規模に製造せらるゝサン・ミゲル產籐椅子にして島內各地に需要せられ居れるが、有名なる香港竹及び籐椅子は比島より輸出せらるゝ材料にて製作せらるゝものなるも、近頃益々增產せらるゝサン・ミゲル產椅子に依り其地位を奪はれつゝあり。

電燈及電力施設

今日比島には私人用の小規模電燈裝置を除き約三十五の電燈及び電力會社あり、其投資額三千百萬ペソを超ゆ。各會社は特殊許可を得て營業するものにして公共利益監督官の監督を受く。內最も大なるは馬尼拉電氣會社にして、同社は現在能力常時約一萬七千キロワットを有し、馬尼拉市に燈火及び動力を給し、市內及び近郊の電車を運轉す。

今日既設の總ての電燈及電力會社の能力を以てしても尙ほ島内に於ける多くの都市町村は不足を告げつゝあり。更に今日大都市、町村にして全然此施設なきもの數知れず、將來人口及び國富の增加に連れ、此需要は益々增加すべし。然るに所謂資本家竝びに市民は此要求に答ふるに決して吝ならざるの事實は、近年設立せらるゝ電燈及電力施設の數及び政府の下付せる新許可數の著增に依りて良く之を立證するものなり。卽ち千九百十八年僅かに十八箇の營業するに反し、千九百二十四年四月四十三に激增せり。是等の施設に要する機具及機械の年々輸入額の增加は更に前記の事實を確證するものなり。機具及機械は主として合衆國製にして、千九百二十三年中の輸入額二、三三一、〇九〇ペソ、前年は一、八九一、九六七ペソなりしを以て、合衆國は比島に使用せらるゝ總ての電氣機具及機械の九割五分以上を供給するものと云ふべし。

製鹽

比島に於ける製鹽業の起原に就いては何ら確實なる資料なきも、西班牙人の記錄に依れば、之れが存在は三百年前に遡ると云ふ。恐らく當時海濱の住民は自家用として、今日と同樣の方法にて鹽を製造したるものならん。今日製鹽業はリサル、カヴイテ、セブ、イロイロ、ブラカン、南イロコス、ラ・ウニオン、パンガシナン、北イロコスの各縣及び其他海岸に面する諸縣に普通行はるゝ所なり。今比島の鹽の年產額を示せば左の如し。

年次	數量(キロ)	價額(ペソ)	年次	數量(キロ)	價額(ペソ)
一九一一年	一八、三三三、〇〇〇	三五〇、〇〇〇	一九一六年	二四、七五〇、〇〇〇	七四三、〇〇〇
一九一二年	一九、一四七、〇〇〇	五七四、五一一	一九一七年	三六、〇〇〇、〇〇〇	七八〇、〇〇〇
一九一三年	一九、五〇〇、〇〇〇	五七五、〇〇〇	一九一八年	三〇、〇〇〇、〇〇〇	九〇〇、〇〇〇
一九一四年	三〇、〇〇〇、〇〇〇	五九〇、〇〇〇	一九一九年	四三、〇〇〇、〇〇〇	九〇〇、〇〇〇
一九一五年	三三、五〇〇、〇〇〇	六〇〇、〇〇〇	一九二〇年	六三、三八三、〇〇〇	一、四〇一、三〇七

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

一九二一年	三一、二四七、〇〇〇	八〇〇、六六六
×一九二二年	三二、八七八、〇〇〇	三六六、八五〇
×一九二三年	三一、三〇六、〇〇〇	五三二、四〇一

（×印は二十縣のみの生産額なり）

地方工業の内製鹽業ほどに比較的僅かの資金と容易なる勞力を以て行ひ得るもの殆んどなかるべし。卽ち其方法は海水を蒸發せしむるものにて極めて簡單なれど、事業費僅にして、原料たる海水は隨時無代にて入手することを得且つ熟練勞働者を全然必要とせず。現在生産品は寧ろ粗惡にして、小海老及び魚類の鹽漬に使用せられ、上流社會の食用としては、精製鹽を輸入す。

製菓工場及び麵麭製造所

菓子の製造は久しき以前に比島に齎らされたりと雖も斯業は未だ幼稚の域を脱せず。今日製菓工場僅に十四箇にして總て馬尼拉に在り。内二工場は米人の所有、經營にかゝり、四箇は比島人、三箇は日本人、三箇は支那人、一箇は英國人、別に西班牙人の所有するもの一箇あり、内三工場は新式機械を設備す。此外約一千に垂んとする菓子店、麵麭製造所及びキヤラメル工場あり。

比島には椰子實、カソイの實、落花生、ピリの實、チヨコレート、牛乳及び香料の如き製菓材料豐富にして、其内砂糖、椰子の實、落花生及びカソイの實は島内に産す。落花生は別に支那及び濠洲より輸入せられ、ピリの實は島内に産するも、別に工場の需要に充當する爲め多量の輸入あり。鑵入ミルク及び香料は外國より輸入す。是等の工場よりの生産品は錫鑵、瓶及び箱に入れて販賣す。

比島の製菓工業は尙發達の可能性あり。其主要理由中、砂糖生産の豐富なること、各種熱帶産類果の供給を増加し得ること及び菓子に對する地方的需要の増大することを特記することを得。然しながら斯業は今日容器の不足てふ問題に當面しつゝあるを以て製瓶及製鑵工場の設立は焦眉の問題とす。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

石鹼製造

比島の石鹼製造は大規模に行はる。工場は主として馬尼拉市中に在るも、地方にも數箇あり。馬尼拉には目下大工場一箇と其他の石鹼製造工場約八十ありて、大部分は支那人の所有に係る。されど是等の工場は洗濯用の粗製品を生産するのみ。唯一の大工場は化粧石鹼の地方的需要の一小部分を滿すに過ぎざることは、外國より多額の輸入あるに見て明かなり。即ち千九百十年の僅かに三三八、二〇二ペソの輸入額より、千九百二十年一、三七六、九四八ペソに激増せり。然るに千九百二十三年の總輸入額は七八六、九三二ペソに再び減少し居れり。千九百十八年の比島生産高は三五〇、〇〇〇ペソ以上に達す。

石鹼製造の基礎原料は、衣服洗濯用及び器具磨用の普通品又は精巧なる化粧石鹼なるを問はず、油とアルカリにして、後者は水酸化ナトリウム又はポッタシを混合することあり。比島に於て衣服洗濯用に供せらるゝ普通の支那石鹼は椰子油、水、鹽及び商業上苛性曹達として知らるゝ水酸化ナトリウムの混合製品なり。支那人の製造する石鹼に二種ありて、一は堅く白きもの、他は柔くして黄色にて一側又は端に堅く白き部分あり。兩種共に原料同一なるも、前者は多量の苛性曹達を含有す。

セメント製造

セメントの製造に必要なる原料は多くの島嶼に發見せられ、最も重要なる原料の内に、純良の硬き石灰石を含有する石灰質材料と、頁岩、殘りて移送せらるゝ粘土及び火山質の凝灰岩を含有する粘土質材料とあり。セメント製造地として特に有利なる地方はセブ島、マクタン島、アルベー縣、マスバテ島、ボリロ島、バンガシナン縣のバニ、ロムブロン島、バタンガス縣のバラヤン及び附近及びボホル縣のロアイなり。是等の地方は總てセメント製造原料に富み、水力、又は水なき所には燃料に用ひらるゝ石炭を附近に產出し加之に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

夫々優秀なる運輸の便に富む。

然れども斯業に對し最も適當なるはセブ島にして同島は良港を有し、燃料の供給圓滑にして原料豐富、工場敷地の好位置隨所に在り、加之に道路、鐵道の四通八達せる點に於て他に其比を見ず。又セブには勞力多く、馬尼拉よりも勞銀低廉なり。セブに近きネグロス島は數箇の木材會社を有しセメント用の樽を製造す。資本金五百萬ペソのセブ、セメント會社はセブ島のナガに東洋第一と稱せらるゝ一大セメント工場を最近設立せるが、同社の資本は今日殆んど大部分官營組織のナショナル・デヴロプメント・コムパニー(National Development Company)の投下するものなり。其新設工場は一日五千樽の最大能力を有すると稱せられ、營業報告に見るに將來頗る有望なり。

今日前述の外數千を數ふべき工業あり、中には其生産數量の關係上又は比島の現狀が大規模作業を可とせざるの理由にて個人的に取扱ひ得らるゝものあり。前者に屬するもの丶内に製材所(千九百二十四年三月現在六十八箇)、石版印刷、印刷及び製本、木工、山海老及魚類乾燥鹽漬、椰子の實乾燥、マカロニ、素麪製造、冷藏事業、金銀細工及び製粉あり、後者に屬するは染料、絹、乾燥椰子の實、鳳梨、硝子、紙、椰子皮纖維製蓆、香料、屋根葺材料、澱粉及びバヽヤ護謨の製造なり。

造船

西班牙統治前は海岸に面する各縣に於て盛んに造船行はれ、「ナオス」及びバラオスと稱せらるゝ木造船造られたるが、其或物は今日の二千噸級船舶ほどに大きく、舵手百人以上にて數百の兵士を搭載したるものなりしが、實に當時に於て巨船と見做されたるなるべく、遠く大海の航行に用ひられたり。モロ地方にては最近數年間「ヴィンタス」及び其他の船舶造られ、北方諸島及び遠く蘭領東印度と航通し居れり。是等の事實は

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

明かに過去の造船業の盛んにして、當時の人間は航海者として頗る熟練し居たることを證するものなり。

千九百十八年造船に關係せる會社三十五、其投下資本金一二、一九五、九五一ペソにして造船高二、六五六、五〇八ペソなり。右の造船所の内一八は馬尼拉及び七縣に分在すること左記の如し。

カガヤン	一	カヴイテ	二
イロイロ	四	オクシデンタル・ネグロス	一
マニラ	四	パンガシナン	二
ソルソゴン	三	サムボアンガ	一

是等の船造所は二百五十噸又は夫れ以上の木造船を造る設備を有し、中には既に其噸數の艦船を造り、更に大なる船舶を建造したるものあり。されど是等の造船所は專ら比島近海航行の小型船舶の建造に從事す。造船業を營む縣に於ては總て造船地に近く無限の木材の供給所を有し、其他の縣に於ても又た豐富なる造船用材と勞力を有す。比島の造船業の調査報告に依れば用材及び未熟練職工の供給は極めて豐富なるを以て、今日より以上大なる需要に應ずることを得ると。特にパンガシナン、カヴイテ、ソルソゴン、サムボアンガ、馬尼拉、タヤバス諸縣は將來造船業の發達すべき土地とす。而して勞力の不足はカガヤン縣にのみ認めらるゝ現象なり。

今日沿岸航通船腹一噸の運賃にして外國運賃の倍額を稱へ、生産品の運搬上船腹不足の爲めに重要日常品の不足を屢々來すが如き當國に於ては船舶の增加の必要は自明の理とす。故に比島に於て大規模の造船を開始し昔時盛んなりし斯業を復活せしめざるべからず。カガヤン、カヴイテ、イロイロ、パンガシナン、ソルソゴン及びサムボアンガ諸縣は二百五十噸迄の木造船建造の設備を有す。此外小船舶建造に從事するもの多し。イロイロ造船所は四百噸、七百噸及び二千噸の船舶を建造し、全島の首位を占む、カヴイテは確實なる

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

建造に關する報告なきも同一設備を有し、アルバイ及びラグイマノク、タヤバスに於ても二百五十噸以上の船舶を建造し得ると云ふ。

鐵工場及び機械工場

今日比島に作業する鐵工場及び機械工場の實際總ては馬尼拉市にあり、其他イロイロ及びセブの如き大都市にも多少あり。最近農業及び製造業に關連して各種の機械の使用激增の結果島內の鐵工場數及び其事業著しく發展し、其數馬尼拉に二十あり即ち數百人の職工を有し各種の修繕用機械を備ふる大工場より、簡單なる器具及び設備を有し職工數人に足らざる小工場に及ぶ。中には鐵工場と機械工場を共に施設するものあり。鐵工場は鐵及び青銅の鑄造をなす。前述の鐵工場及び機械工場以外に今日馬尼拉市及び各縣に百以上の護謨硬化工場、車輛及び自動車修繕工場あり。

鑛泉水

馬尼拉にては地下水及び蒸溜水を使用すること極めて普通にして、其一日馬尼拉の總消費料一一、四五二ガロンと稱せらる。市民の總てが地下水又は蒸溜水を用ゆるに非ずして、實際勞働階級の大多數は馬尼拉水道水源地たるモンタルバン貯水池よりの水を飲用す。されど雨期中モンタルバンよりの水が混濁するときは、地下水は一般に使用せらるゝに至る。官營製氷所は一日平均一、〇六三デミジョーン(一ガロン乃至五ガロンを容るゝ桶)の地下水及び蒸溜水を官衙、官立病院、學校及び一般市民に販賣す。

比島の軟水工業は今日主として小製造業者の手にあり。馬尼拉の二十三炭酸水工場中、僅に四五は法人會社にして殘餘は組合又は私人所有に係り、內十二は比島人の所有、經營に係り七は支那人、米人は三、日本人は一工場を夫々所有經營す。各縣にも小炭酸水工場あり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

軟水製造に最も重要なる材料は重炭酸曹達、硫酸、精製糖、川香用各種の越幾斯及びキルク又は錫蓋及び瓶なり。軟水に各種ありて、最も普通に知らるゝはレモネード、サルサパリラ及びクリーム曹達なり。大工場に於ては二十以上の各種の香味を附加す。

斯業は純然たる地方的販賣市場を有すと雖も、某大工場の如きは其製品を爪哇及び印度支那に輸出し居れりと。されど多少の例外を除きて各工場の生産品は工場所在地附近の小區域にのみ消費せらるを常とす。炭酸水に對する島内需要は一年を通じて一定せずして、最も盛んなる時季は勿論酷暑の候なり。地方工場の生産品以外に毎年四萬乃至六萬ペソの炭酸水の輸入あり。

織物製造

最も古き歴史を有し且つ最も通俗なる家内工業の内に織物あり、是は今日數地方に限らる。元來家庭内の直接の必要に供する爲めにのみ始められたるものなりしも、漸次發達して、其製作されたる織物は島内貿易に重要なる地歩を占むるに至れり。簡單なる織機に依る生産高は斯業が漸次島内市場を擴張するに連れ増加し千九百十八年六八〇、二四六ペソを示せせり。最も重要なる製品は主としてアバカ繊維より製作せらる「シナメー」及び「アバテックス」鳳梨繊維より造らるゝ「ピウア」、輸入に係るゴム引き紡績絹繊維糸と、絹艶棉及び比島産アバカ、ピウア及マゲー繊維とを混じて織りたる「ジュシ」及び比島産及び輸入棉糸を以てイロコス縣にて製作する「アベル・イロコ」又はイロコス布なり。

シナメー布は普通比島婦人の衣服を造るに用ひらるゝものにして別に「カミサ・デシノ」及び「バロン。フキリピー」と稱せらるゝ男子用衣服にも或程度迄使用せらる。比島に於て最も盛んに「シナメー」を生産するはシャロ、ラパス、アレヴアロ、デュマンガス、サンタ・バルバラ、ポトタン及びオトの諸町にして、總てイロ

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

イロ縣にあり。又たカビス縣のカリヴォ及他の二三町村、ビコル縣の各町村は共にシナメー産地として知られ、內ビコル縣のレガスは生産取引の中心地なり。此外リサル及びブラカン町も劣らざる生産地なり。

比島に織らる丶「ジユシ」は各種の材料にて作らる丶ものにして、其材料供給地は或は島內又海外なり。「ジユシ」繊維は支那より輸入するものにてジユンは精巧なる糸に紡ぎて後に護謨塗りせる低廉なる一種の絹なり。ジユシ布は此ジユシ繊維と細き絹艶棉糸との混織にして、之れに必要なる其他の織込繊維は比島産アバカ、ピニア及びマゲーなり。優良にして高價のジユシ布を造るには棉糸の代りに紡績絹糸と、繊細なる比島産繊維を使用するなり。ジユシ布の主要產地はリサル縣マラバー及びブラカン縣のハゴノイなり。

「アベル・イロコ」又はイロカノ布は各種の布地——毛布、タオル、ナプキン、机掛等——の總稱にして或程度棉糸を産する北イロコス、南イロコス、ラ・ウニオン、アブラ及びマウンテン・プロヴインスにて製作せらる。之れを織る際に使用せらる丶棉糸の大部分は支那・合衆國・英國及び其他の外國より來ると雖も、島內にても多量の棉を産す。比島産棉糸にて作らる丶布は輸入品よりも耐久力強きも比島に於て糸を紡ぐ方法粗雑なる爲め、外來品に比し遙かに高價なり。「アベル・イロコ」は種々の型に織られ、總ての衣服に適し、其主なる特質は他の島內産布に比し遙かに強く耐久性に富む點とす。此布はイロコス縣の多くの家庭內にて織らる丶も、北イロコスの毛布生産地たるパオアイ町、毛布及び机掛の生産地たるラ・ウニオン縣のバンガル、及び軽き婦人用衣服地及び絹製品を産する南イロコス縣のバンタイ及びカオアヤンの兩町等を除きては經濟的價値ある數量を製作する所なし、

前述の布を製造するには手にて動かす簡單なる木製機械を使用するものにて大抵婦人一人に就き一臺、其織上高は熟練と型の難易に依る。織物工場と稱せらる丶もの比島內に僅に二箇所に過ぎずして、共に馬尼拉

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

に在り。

製革業

生皮の製作は從來何ら注意を拂はれざりし一工業にして、現在馬尼拉に七鞣皮工場あり、總て支那人の所有經營に係る。リサル縣のマラボン町は比島唯一の新式鞣皮工場を有することを誇るものにして、小規模鞣皮工場に至りてはパンガシナン縣ダグパン、南カマリネス縣ナガ、バタンガス縣タール、セブ縣セブ及びブラカン縣メイカウアヤン等に存在す。マラボンの比律賓鞣皮會社は一年約一五、〇一六枚を製作し、其他の現在營業中の十二の鞣皮工場は合計一箇月二千五百乃至五千枚を生產す。他方靴屋及び製靴工場の每年皮革消費高は絕えず增加し居れり。メイカウアヤン及び馬尼拉鞣皮工場の使用する鹽漬皮は其縣より產するものなり。比島にては大なる牧場を有する地方あれども、供給せらるゝ皮革の多くは、市場の爲め家畜及び其他の動物を屠殺する地方より入手するものにして、其主要なるものは、バタンガス、ミンドロ、ホロ、サムボアンガ、マスバテ、カタンデユアネス、ミサミス、セブ、パラワン、ロムブロン、パンガシナン、ヌエバ・エシア、タルラク、パムパンガ、南イロコス、北イロコス及びブラカンの諸縣なり。

比島に於て鞣皮用に供せらる材料は比島種マングロヴ樹及びカマンチレ樹の樹皮なるが、前者は非常に豐富にして低廉六三瓩二五のもの一擔三ペソ五十仙乃至四ペソにて馬尼拉市場にて賣買せらる。此兩樹皮を混合するときは優秀なる淡色の皮革を得らるゝことは科學局の實驗に依りて示さる。マングロヴ樹皮は皮革を粗雜にし色澤狀を呈せしむるを以て普通馬尼拉以外の鞣皮工場にては使用せられざるも、之は廣く歐米諸國にて用ひらるゝ所なり。カマンチレ樹皮は殆んど比島鞣皮工場に於てのみ使用せらるゝものにして、其生產する皮革は色淡きを以て愛好せらる、空氣乾燥カマンチレ樹皮の價格は馬尼拉市場にて一擔九ペソまでに高

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

勝し居れり。其樹は比島各地に廣く存在し、特にイロコス縣、バタンガス。ヌエバ・エシア、リサル、ラグナ及びカヴイテに多し。

染料材料

比島には今日百種以上の染料樹あれども今日迄の所相當經濟的價値を有するは僅かに印度藍及びサワパン又はシブカオの二種に過ぎず。印度藍は比島にてはタユム、タグム、タユムタユム及びタユンタグンと通稱せらるゝものにして、其經濟的價値はコール・タル染料工業との競爭及び人造印度藍の製造の結果として重要視せられず。現在北部呂宋の數箇所特にイロコス縣に小規模に栽培せらるゝのみにして、島內生產高の少量の餘剩をば輸出しつゝあり。

比島に印度藍工業を復活するの見込は全然絕望にあらずと信ぜらる。蓋し各種染料はアバカ、ピウア、棉布及び其他の例へば蓆、帽子及び籠等の染色に頗る必要なればなり。

サツパン又はシブカオと通稱せらるゝサツパン樹は比島各地特にグイマラン島及びパナイの諸所に繁茂する野生の灌木にして、其產出する染料は褐色なれども、混合物に依りて他の色に變ゆることを得、例へば鐵銹の硫酸鐵と混じて黑色、重クロム酸加里と合して赤色、石灰と混じて暗紅色を生ず。其他サツパンと「アロオ」と稱せらるゝ比島產樹木の樹皮の如き材料及び「クニグ」の根莖と混合して赤褐色及び金又は黃色の染料を得らる。科學局の發見に依ればサツパン樹は又たブラヂリンを含有す、之はブラヂル產の一樹木より產出する染料なれども、色褪せ易く加るに酸性及び亞爾加里性に頗る感じ易きを以て染料として歡迎せられず。

重要ならざる染料の內にて特記すべきは「バヨン」、「バンキユド」「ドウンゴンーレート」、マングロヴの樹皮「バンカル」の樹木及び「アチユエテ」の種子なり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

石灰石、煉瓦等

科學局の調査に依れば、比島各地に優良なる石灰石ありて砂及び石灰よりする人造石及煉瓦製造の如き重要なる工業の存在を保證し居れり。人造石又は砂灰煉瓦を應用し得る多くの用途の内に建築用石材・土臺・柵柱・スラブ・化粧煉瓦・塀の屋根・梁受・方立・楣石・階段・踊場・葛石・圓管・步道用板石及び精巧なる緣形及び人造大理石の如き裝飾部分等あり。

普通の硅質砂は砂灰煉瓦工業用として硅土中最も必要にして最も低廉なる原料なりと稱せらる、硅土は屢々採石・物の石屑・柔き石及び火山質凝灰石より獲られ、此硅土砂・柔き石及び火山質凝灰石は島内の各地に豐富に存在す。

科學局の報告に曰く「比島に於て最も一般的に散在する石灰質材料は第三種中新統期の堅き石灰石なり、之は普通頁岩・沙岩と混在し比律賓群島の殆んど各島に豐富に存在す。一樣に純良にして、大體に於て比島石灰石の物理的狀態は頗る適當にして、其固さは燃燒の際堅硬度を保つに充分なると共に大ならざるを以て容易に採集することを得。

馬尼拉附近に於て採石場の石屑を入手することを得馬尼拉防波堤、碎石鋪道及びコンクリート建造物に使用せらるゝ岩石及び碎石の數量莫大なるを以て、現在此需要に應ずる爲め四箇所に採石場あり卽ちリサル、タリム島の馬尼拉市採石場、馬尼拉灣の南方水道のカラバオ島採石場及びマリヴエレス附近のシ、マン採石場なり。

比島に於て屋根葺に最も普通に使用せらるゝ材料はニパ・亞鉛引鐵及び輸入せらるゝ煉瓦なり。中にも最も低廉にして普通に用ひらるゝものはニパなれども可燃性を有するに因り大都市に於ては排斥せられ易く、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

亞鉛引鐵は優秀なる材料なれども費用寧ろ高く、輸入せらるゝ煉瓦も同様なり。玆に於てか更に適當なる材料卽ち低廉にして容易に獲られ、可及的島內に生產する材料を得んとする欲求は最近數年間一般の熾烈なる興味を喚起するに至れり。

何時にても使用し得る一代用品を案出せんが爲め種々の試驗實驗行はれ、科學局に於ては或は粘土と凝灰石と或は粘土と砂とを混じ或は釉藥瓦を以て夫々相當の效果を收めたれども、水の不滲透性なる點より見て釉藥瓦の最も良好なること認められたり。されど釉藥材料は總て輸入に係り勢ひ高價なることは大なる不利なりとす。其後科學局の試驗の結果適當にして經濟的なる屋根葺は殆んど全然比島產材料を以てなし得ることを證明されたり。

燐寸工場

今日比島に營業する燐寸工場は僅に一箇にして、リサル縣サン・フェリペ・ネリに在り。本工場は約二十年前の設立に係り最近の比島產原料を使用し居れるが、燐寸軸木及び箱に適する原料は幾度か試驗實驗を重ねたる結果發見されたるものなりと。由來比島の熱帶的氣候は、急激なる氣溫の變化と相俟つて、歐米の實驗を基礎とする製法と異なれる一問題を燐寸製造業者に提供せるが、夫は卽ち最大の安全と信用を與へんが爲め燐寸軸木の調合劑の製造に當り且つ燐寸の軸木其ものを飽和せしむるに當りての製法に特に關連したるものなりき。されど此困難なる問題も圓滿に解決し工場の燐寸生產高も年々增加せり。今日工場にて使用する比島產木材は馬尼拉附近、ラグナ・ド・ベイの周圍及びミンドロ島に繁茂しつゝあり。

現在の生產高を以て燐寸の島內需要を滿し得ざることは輸入高年々增加するに見て明かなり。されど斯業の發達に伴ひ比島の每年輸入額は千九百十年の約九十萬ペソより千九百二十年の八七二、二八九ペソに減少

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

し、千九百二十三年は七六一、一一九ペソなり。其重なる仕出地は日本及び支那にして殘餘は合衆國とす。

貝釦製造

貝釦製造は今日尙發達の可能性を有するものにして、原料の供給は總て島内よりし、加之に眞珠貝釦に對する廣き販賣市場を有することは比島の釦工業の有望なることを有力に保證するものなり。今日僅に貝釦工場二箇のみにして、共に馬尼拉に在り。されど此二工場は比島に產する多額の貝の僅かに一部分を使用するに過ぎず。ミンダナオ島のサムボアンガは原料の供給地に接近すると、其積出に大なる便を有し、且つ斯業に使用して有利なる水力を獲らるゝ關係上、貝釦工場の理想的建設地なりと認めらる。同港は外國諸港竝に馬尼拉及び其他の比島港灣と直接舟航の便あるを以て、生產品の取扱又た容易なりと云ふべし。合衆國のみの眞珠貝釦の輸入額は每年約四百萬ペソにして、日本よりするものは其半を占め、比島よりは平均五十萬ペソを供給し居れり。

乾燥椰子の實

乾燥椰子の實の生產及び輸出は今日比島への投資上最も有利なる事業にして、合衆國は其最大の販賣市場と稱せられ、每年平均五百萬ペソ以上を輸入す。

錫蘭は今日此取引の最大中心地にして、比島の四分の一より稍々廣き小島ながら、千九百二十年五八、一九一、三二六封度以上を輸出せり。千九百二十三年比島には三乾燥椰子の實工場ありて、合衆國への輸出高は僅に四、三四九、一五二キロ(九、五六八、一三四封度)なり。然るに比島に於ては各地に椰子樹ありて顆果を產するを以て、錫蘭の如く斯業を發達せしめ得ざる理由なし。加之に合衆國の新稅率法案に依る外國より輸入せらるゝ乾燥椰子顆果は一封度に付き金貨三仙半の稅を課せらるゝに反し、比島よりするものは無稅にて合衆

國に輸入せらるゝ現情なり。

鳳梨鑵詰工業

比島內情勢は鳳梨工業の發達に頗る有利なるに拘らず、今日設立せらるゝもの僅かに一工場に過ぎず。世界の鑵詰鳳梨の需要は益々增大し、更に比島內のみならず、合衆國・支那・日本及び歐洲に於ける需要又た大なるものあり、合衆國のみの消費高每年四千萬ペソと稱せらる。

今日鳳梨の大產地は布哇なるが、實驗の結果布哇種よりして比島に栽培せる鳳梨は、布哇產に比して比較的良き香を有する大なる果實を產すること明となれり。故に比島の鳳梨は鑵詰とするに際し少量の砂糖にて足り、更に又た布哇產よりも酸性少し、今日布哇に於ける鳳梨工業は同地の砂糖工業を犧牲とするに非ざれば到底發達し得ざる機運に到達せるもの丶如く思はれ、他方布哇の土地は特に甘蔗栽培に對し大なる需要あるを以て、今日高價を稱へつゝあり。之に反し比島に於ては鳳梨栽培に利用し得る未開墾地廣大にして、更に比較的容易なる條件にて租借又は販賣され得るのみならず、鑵詰工場に必要なる熟練職工は島內にて需むることを得。

硝子製造

硝子製造は硝子及び硝子瓶の大需要あるを以て、開始して充分の利益を獲得することを得べし。科學局の實驗に依りて、今日優秀なる瓶を比島產原料を用ひて製造し得ること確定的に明となれり。現在每年日本より輸入せらるゝ硝子瓶・皿及び類似の硝子製品は五十萬ペソ以上に達し、更に島內の需要も尙ほ絕えず增大しつゝあり。

製紙業

製紙原料の島内供給高豐富なること確認さるゝと共に製紙工場の適當なる設立地發見せられたり。比島に於て最も重要なる製紙原料はカナ・ボジョにして、此竹は比島各地に多く繁茂するも、馬尼拉灣に近きバターン縣を最とす。其他「コゴン」及び「タラヒブ」は比島の殆んど總ての未開墾地に繁茂し、製紙原料たるアバカ及びマゲーの廢物又た多量の供給あり。其他重要ならざる原料として椰子の實の纖維・ニパ椰子の葉・檳榔子及びブリ椰子の部分及びベジュコの皮等あり。又たラウアン・キユバン及び其他の比島軟木の切片も原料として用ひらる。

製紙工場建設地として特に適當なるはバターン縣のオラニ、馬尼拉及びマスバチなり。就中オラニは勞力及び燃料の供給に便にして、海港に近き關係上最良地と見做さる。之に反し馬尼拉は原料生産地に遠き不利と、市中の勞銀比較的高く、他方マスバテは多量の石灰石と燃料とを有す。

千九百十八年二月實施されたる第二七四二號法令に依り商業及交通局長官は本令實施後一箇年以内に私人又は團隊にして製紙工場に實際投資せる資本に對しては六箇年間每年四パーセントを超えざる利益を保證することを得ることゝなれるも、島内資本家にして此提供を利用するものはなかりき。

香料工業

比島は特にテレビンを產する植物に富む。科學局が大規模にベンゲット松を調査したる結果特に米國の生產品と同一なるテレビン及びテレビ脂液を此樹より獲らるゝことを發見せり。多くの香氣ある植物及び花は大切なる越幾斯及び油を含有し、中にもイランーイラン・チヤム・パカ・橙・レモングラス・ヴエチヴア・肉桂・及び生薑を最とす、酒精を含まざる飮料水及び果實の藥味の製造に使用せらる。食用に供し得ざるイランーイラン油は比島に生產せらるゝ香料にして、比島各地に繁茂し殆んど顧みられざるイランーイラン樹の花

より採集せらる。千九百二十三年比島はイランーイラン油一、九四〇キロ即ち一一八、八八八ペソを輸出せり。

植物性油

椰子油を除き他の重要なる植物性油はラムバン・蓖麻・カソイ及びカポリの含油種子より生産せらる。ラムバン又は石栗の實より製せらるゝ油は主として船舶の塡隙用に、石鹼製造に、ペンキ製造の亞麻仁油の代用品として使用せらるゝ外、膏藥に、椰子顆果及びオリヴ油に混じ又た提燈・傘・飛行機及び風船の防水用に用ひられ、油を抽出したる後に殘る粕は肥料とす。其需要年額五千乃至一萬ガロンにして椰子油の次に位す。

比島にてタンガンータンガンと稱せらるゝ豆より製する蓖麻子油は、藥品及び或地方にては料理用に使用せらるゝも、其主要用途は印刷及び染色なり、又た燈火用にも供せらる。合衆國にては每年約十萬噸の蓖麻子油を需要すれども、蓖麻は比島にても小規模に栽培せらる。

其他オリヴ油の代用品たるカソイ油及び適當の抽出法を施せば美味なるカポク油あり。

苛性曹達

多くの新工業中有望なるは苛性曹達の島內製造なり。苛性曹達は紙・製紙用パルプ・硝子及び石鹼の如き貿易品の製造に多量に使用せらるゝを以て、他の多くの新工業を營むに先ち苛性曹達の島內需要を增加すること適當なるべし。（遠東時報三月號）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

支那の棉產狀況

片寄生譯

近頃上海華商聯合會に於て發行せる支那棉產統計書は支那國內生棉の產出狀況に就て、頗る詳細に記述してあり各省棉花栽培畝數及產出量等全部之を記載し更に又之に批評を加へて居る。

思ふに支那に於ける棉產地域は總計十省に達して居る、而して殘餘の各省に於ても亦棉花を產出するが然し其の數量は極めて少量に過ぎない、今左に各省の產棉狀況を記述して見れば

(一)直隸省――民國十二年度に於ける直隸省の棉花栽培地の面積は之を民國六年より同十一年に至る六箇年間の平均耕作地に比較して見るに百五十餘萬畝(畝我が約六畝步)の減少を來して居る。民國八年度に於ては同省內の棉花栽培面積は六百三十九萬畝にして產棉數量は二百六十八萬三千擔に達したのであるが民國十年度に於ては大旱魃のために棉花の收穫に大なる影響を及ぼしたる結果、棉花を栽培するものが漸次減少するに至つた。直隸省產の支那棉花には五種類あり、長絨・短絨・紫棉・繭花及西河と稱するのが卽ち之である。長絨棉の纖維は平均の長さ約七分にして短絨棉のそれは五分に過ぎず紫棉の纖維は前記兩者の間にあつて平均六分の長さを有して居る。繭花は白色であつて略粽色を帶びて居り西河棉は出目(實棉を繰上げて得る所の棉の量)極めて豐富にして百斤の內より繰棉三十八斤を得ることが出來る之が卽ち本棉花の特徵とも稱すべき點である。米棉にも亦二種類あり其の一は有名なる勺字棉(Trice)にして二者共に其の纖維が頗る長く約

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

八分より一寸二分に達し實棉百斤より二十八斤乃至三十五斤の繰棉を得ることが出來るといふことである。
天津は直隷省に於ける棉花集散の中心にして各地の生棉は或は鐵道により或は汗沱河より小船を以て運搬して來るのである、而して同省の棉花は亦濟南・奉天及山西省の各地に移出せらるゝものもあるが之は少量に過ぎない。
(二)山東省——民國十二年度に於ける同省の棉花栽培地の面積は三百六十七萬七千二百七十七畝にして同十一年度に比較して見る時は、凡そ三百五十三萬四千七百畝の增加を示して居る、而して同省の西部曹縣・高唐・臨清等の如きは棉花の栽培が極めて旺盛にして同地方は氣候及地質が棉花栽培に頗る適當であり產棉も亦直隷の其と比較して佳良である、民國十二年度に於ては一畝に付支那棉は平均一擔外棉は平均約百五十斤の收穫があつた、以前に於ては棉花の栽培地は運河の附近及黃河流域の西部にあつたのであるが近年來に至り漸次同省の東部膠濟鐵道沿線一帶に擴張せらるゝに至り棉花栽培が漸次隆盛に赴きつゝある狀態にある。
而して同省に於て最も一般的に栽培せらるゝ支那棉は、綵棉・紫棉・游棉及獅子頭の數種であつて、綵棉は紫棉に比して優良にして其の纖維の最も短きものは約七分五厘最も長いものは約八分七厘强にして實棉百斤より三十斤乃至三十六斤の繰棉を得ることが出來る。尙外棉の最も普通に栽培せらるゝものに二種があり一は心字棉一は所謂我々の稱する所の王字棉の二つである。而して實棉百斤より繰棉三十斤を得ることが出來る纖維の長さは一寸內外にして天津・濟南及濰縣が同省產棉花集散の中心地である、生棉は濟南に至る時は多く騾車を使用して之を運搬するのであるが棉產地が鐵道線以內にあるものは、津浦鐵道によつて運搬せられ產地が津浦線以東或は膠濟鐵道沿線一帶にあるものは、大半は濰縣に運搬せられ然る後同所より青島に轉送せられて銷却せらるゝのである。

(三)山西省——山西省境內は山地多く以前にあつては同省を棉產地域として之を數へなかつたのである、棉產地方は黃河及汾河流域一帶にあり民國八年當時に於ては棉花栽培地の面積は五十萬畝に達しなかつたのであるが、近時同地の長官の提唱に因りて農夫の棉花栽培に從事するものが漸次多數に上り栽培地域も逐年增加し昨年に至り八十七萬五千九百二十一畝に達するに至つた、而して主要棉產地は洪洞・永濟・臨汾・河津及虞鄉等であつて每畝平均產出量が九十斤である、同省に於て最も普通に栽培せらるゝ支那棉は柔棉・硬毛棉・青莖・白子・黑子の數種にして其の纖維は多くは甚だ短く約七分に過ぎない、而して實棉百斤より三十一斤の繰棉を得、米棉には二種類あつて一は青子一は白子の二つである、其の纖維は比較的長く約八分より一寸の長さが普通である、出目の率は一定して居らないが支那棉に比較して見れば稍々高率である、同省の棉は大部分天津に於て銷却せられるものが多く亦漢口に移送せらるゝものもある、而して天津に移送せらるゝものは正太鐵道によつて先づ山東楡次縣に集中し漢口に移送せらるゝ時は多くは先づ一度河南の觀音堂に集中せらるゝのが普通である。

(四)河南省——同省に於ける棉花栽培地の面積は民國十二年度に於て二百六十九萬三千六十八畝にして十一年度に比較して見れば三十五萬四千畝の減少を來して居る、主要產棉地は北部に於ては安陽・新鄉等にして西部に於ては洛陽・陝縣・受鄉等である、而して民國十二年度に於ては平均棉產量は一畝に付約八十斤であつた、尙同省に於て普通一般に栽培せらるゝ支那棉は白絨・青棉・長絨及白棉の四種類にして外棉にあつては丁字棉及A字棉(Acala)の二種類である。支那棉に於ては實棉百斤より繰棉三十五斤、外棉にあつては三十斤を得ることが出來纖維の長さは支那棉は頗る短く五分を逾ゆるに過ぎず外棉のそれは八分七厘強に達し色は多く米白色を呈して居る。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

(五)陝西省——同省の地質及氣候は各省内に於て最も外棉栽培に適當して居る之が爲に同省産の棉花中十九種類は外國種に屬して居る、而して棉花の纖維が長く且つ柔軟にして色は白色を呈して居り纖維の長さものは一寸餘に達して居る、品質は山西省産及河南省産に比較して頗る良好なるを以つて市價も從つて高價である、渭南・西安及其の附近の諸縣が棉産の中心地方であるが惜むしらくは交通が極めて不便なるを以つて其の發展を阻礙されて居る狀態である、而して同省産の棉花は其の一部分は漢水より漢口に運搬せられ一部分は隴海鐵道によつて河南の鄭州に移送せられ又一方上海に運搬せらるゝものもあるが之は運賃が極めて高價にして生棉一擔に付約銀十兩を要するといふことである。

同省の支那棉は藺兒花老棉及土棉數種あり實棉百斤より繰棉三十斤の收穫がある、纖維の長さは約八分内外である、外棉の普通栽培せらるゝものはT字棉であつて出目の率は百斤に付三十三斤纖維の長さは一寸より一寸二分五厘の間にある、上海及漢口に於ける棉商の所謂陝西棉と稱するは大部分同省産の生棉を指すものであつて山西・河南等の諸省に産するものも亦多く陝西棉と汎稱して居るものもある。

(六)江蘇省——支那各省中に於て棉産の最も豐富なる地方は當に江蘇省を推すべきである。同省の東南部は殆んど棉花栽培地にして北は淮水流域に至り南は浙江邊境に達して居り、殆んど全省面積の半を占めて居る狀態である、而して其の栽培畝數及産出量は他省の數倍に達して居る、然るに民國十二年度に於ける同省の棉收が甚だしき不結果に終り其の收穫量は各年平均産出量以下に下つたのである、同省の棉花は之を黑子棉と白子棉とに分類することが出來る。

一、黑子棉——此中に鷄脚棉・常陰沙棉・通棉の數種あり

二、白子棉——此中に太倉棉・浦東棉の數種あり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

而して通棉は多く長江以北一帶に產し崇明も亦同地方に含まれて居る、而して南通州及其の附近に產するものが最も品質佳良にして出目の率が極めて高く普通四十斤以上に達して居る、浦東棉及大倉棉は品質が比較的に劣等にして纖維も亦比較的短かい、同省に於ける產棉の品質最も佳良なる地方は前記の通り南通州及其の附近の各所であるが南通州の面積は道路・河流及市街・住宅等を合算したる總面積は五百萬畝であつて民國十一年度に於ける棉花栽培地は實に二百三十一萬八千八百五十畝に達したのであるが同十二年度に至つて一百五十一萬八千三十一畝に減少するに至つたのである。

（七）浙江省——浙江省に於ける棉產地域は大部分錢唐江の右岸一帶にあり蕭山・鄞縣・餘姚及以前寧波管轄區の諸縣は錢塘江の左岸に於ける產地にして、江蘇邊境地方平湖・海寧等の地方も亦生棉の產出あり、而して同省に於て最も普通に栽培せらるゝ棉花は南陽及大苞の二種にして實棉百斤より三十四斤の繰棉を得ることが出來纖維の長さは五分乃至六分にして大部分は上海に移出して銷却せられ其の集散の中心地は餘姚縣の周巷である。

（八）安徽省——安徽省は茶の產地なるを以つて同省の農夫は棉花栽培事業に對しては餘りに注意を拂はぬ狀態である、產棉地は大部分長江の流域及巢湖の兩岸合肥・和縣・相廬・廬江・桐城等は其の主要なる產地である。最も普通に栽培せらるゝ棉花は大花・小花・烏江棉等の數種にして小花棉は純白色を呈し其の纖維の長さは六分乃至八分大花棉は粽色を帶び纖維は比較的短い、而して同省產の棉花は上海に移出せらるゝものが極めて少く主に同地方に於て銷却せらるゝのである。

（九）江西省——江西省の棉花產出額は安徽に比較して頗る少く主要產棉區域は九江・彭澤及德化にして昨年度に於ける棉產額は十七萬一千五百三十七萬擔であつた、產棉の種類には繭兒花・大絨の二種類あり出目

の率及纖維の長さは共に他省産の其れに比して劣等である、而して産棉は上海及漢口に移出せらるゝものが甚だ少く大部分は安徽省同樣省內に於て鎖却せられて居る。

（十）湖北省——江蘇省を除き各省中に於て棉花産出の最も多い地方は湖北省を推すべきである、産棉區域は東南は蘄春に至り東北は襄陽に達して居り多くは長江及漢水の流域にあり長江流域の黃岡・蔡甸・漢陽及漢水流域の襄陽等は皆有名なる産棉地である、而して同省産の支那棉中最も普通に栽培せらるゝものは、孝感・家鄉・黑粒・白粒及靑粒の數種にして外棉の最も普通なるものはT字棉なるが地質氣候等が之が栽培に頗る不適當なるが爲遠く原種に及ばざるのみならず纖維は支那棉のそれにも及ばぬ有樣である、纖維の長さは八分七厘乃至一寸の間にあつて一定し居らず出目の率は三十五斤內外である、尙民國十二年度に於ては天候不良なりしため少なからざる影響を受け棉産量も良結果を得なかつた。本省の棉花は江西邊境に産する一小部分を江西に移出する外其の殘餘は多く漢口に移出せらるゝのであるが更に漢口より上海に轉送せらるゝものもある。

以上記述せる外國棉とは外國各地より輸入せるものにして支那に於て栽培しつゝある此種の外國棉は山西省に栽培せらるゝものが尙其原來の特性を保有して居るが他の各省に於て栽培するもゝの大部分は已に漸次其の特性を失つて惡化し亦數種の外棉に至つては輸入栽培後多年に涉りたる結果全く特性を失つて支那棉と同化せるものもある。

上海に於ける棉商は支那各地の生棉に對して多くは特定の名詞を以つて之を呼んで居る、即ち水通棉と稱するは南通州及其の附近地方——江蘇省淮水と長江流域の間に産する棉花を指すものにして、家鄉棉と稱するは湖北産のもの陝西棉とは陝西及山西・河南等の各省産を指し、御河棉とは直隸省の東部及山東省の一地方

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の産を稱し、西河棉と稱するは直隷省の西部と山西及河南の一地方に産するものにして太倉棉とは江蘇省に於ける長江流域所産の白粒棉を泛稱し餘姚棉と稱するは餘姚及浙江省其他の各處に産するものを指すもので之等の名稱は上海に於ける棉商が普通稱へて居る所のものである。

天津は直隷省及陝西・河南・山東等の一部所産の生棉の集散中心地にして、河南の鄭州は河南・陝西・山東・山西各省の一部地方産の生棉の集散中心地漢口は湖北・陝西・河南各省の一部地方所産の集散中心地にして上海は長江下流一帶に産する生棉の中心集散地であり且つ天津及漢口市場に於ける生棉の大半は上海に轉送せられ、鄭州に集中せらるゝ生棉の殆んど全部も亦上海に轉送せらるゝ狀態であつて上海は實に支那生棉貿易の唯一の中心地である。

――(Minpao 3. 28.)――

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

帝王神祕主義（接前）

臺灣總督府囑託　鷹取田一郎

第十三章

藤原惺窩、林羅山の徒、德川幕府に擢用せられて後、學問文章を以て世に立つ者漸く多きを加へ、中江藤樹王陽明の學說を提唱して江州に起り、池田光政公熊澤蕃山を擧げて國家經濟の學を備前に講し、山鹿素行和漢の典籍に精通し、殊に兵學を審かにして程朱の學に反抗し、水戶光圀公は明朝の遺臣朱舜水を招きて盛んに經史の學を講究し、文學の士を養成して大日本史の編纂を爲し、元和偃武以來文化蔚として勃興し、五山獨占の漢文學は、更に新天地を開拓して其の精華を江湖に鬪はすに至りたり。然れども純粹なる儒學の我國に容れられざるば、余が已に幾度も論述したる所、國體と儒學との關係は、當年復た學者の苦心する所と

爲れり。

看よ。彼の山鹿素行の「中朝事實」は經國の要典として、當年最も異彩を放ちたるもの、其の論多少の偏倚を免かれずと雖も、彼が卓落不羈の才を以て、我國帝王の權威を歴史的に立證したるは、恰も猶ほ白眼を以て彼の儒學を睥睨するの概あるのみならず、遂に幕府の恐怖心をして之を配流に處するの已む可からざるに至らしめたり。其後山崎闇齋は程朱の學より出て丶垂加神道を唱へ、周易及び陰陽五行の説を爲して、宋儒の性理學と我國神道との混合を謀らんとし、水戸光圀公復た弘道館を興し「敬レ神崇レ儒、無レ有二偏黨一」と稱して弘道館記中特に之を以て重要なる標語と爲せり。斯の如きは江戸時代に勃興したる我國學界の新現象にして、學者の最も注意せざる可からざる所なり。

後年藤田東湖「弘道館記述義」を著し、前掲の重要標語を解釋して左の如く謂へり。

「世之奉二神道一者。談二説鴻荒一。張二皇幽渺一。常有二索隱行怪之弊一。是偏二於神一也。其學二儒敎一者。大二異邦一。小二神州一。動有下顛二倒本末一之失上。是黨二於儒一也。皆學者所レ宜レ戒。蓋其無レ有二偏黨一者。乃敬神崇儒之至。(中略)既曰二敬神一。又曰二崇儒一。然則神之與レ儒。固無レ有二尊卑一。恭敬二唐虞三代之君一。必如レ事二我神祇一。而後爲レ無二偏黨一乎。曰是徒泥二於其文一。而不レ本二於其意一也。神州自神州。西土自西土。彼指レ我爲レ外。我亦指レ彼爲レ下。西土之敎。尤嚴二内外之分一。我資而用レ之。亦不レ可レ不レ正二上下之別一。但將二西土之敎一而論レ之。猶且然。況於下尊二國體一愼二名分一者。固皇朝之最所上レ重乎。且夫浮屠之所レ惡者。非レ以丙其法一傳。遂尊二西竺一。奉乙其胡鬼甲耶。若崇二儒敎一。遂仰二其國一。又推二及歴代人物一。併與二我神聖一尊奉。即是別生二一浮圖一也。豈可乎哉。云々。

是れ實に國體と儒敎との關係を調節して、頗ぶる要領を得たり。聞く所に據れば弘道館を建設するに方り、

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

孔子廟の制に就き議論甚だ紛々たり。或は孔夫子の塑像を設くべしと謂ひ、或は十哲諸儒を配享すべしと謂ひ、毫も底止する所を知らざりし。然れども烈公別に見る所あり、毅然として衆論を排し。筆を把つて其の牌子に「孔子神位」と書し、斷じて後世奉ずる所の尊號を用ひざりしと。所謂水戶の學風なる者、是を以て確立せられ、我が國體の權威は遂に儒學尊崇の爲に喪ふ所あらざりき。

嗚呼曾ては佛教の爲に籠蓋せられ、僧侶の爲に飜弄せられ、今復た神道に配合せられて僅に之が權衡を保たれんとす。儒學の純粹なる者——即ち支那に於て行はるゝ、堯舜を祖述し文武を憲章し、周公孔子を以て聖人の典型と爲し、毫も其の他を知らざらんとするもの——斷じて我が國體と相容れざるなり。嗚呼、我國の帝王神秘主義は佛教を改造して以て全く我が日本の國情に適する佛教たらしめたり、儒學も亦之を改造して以て我が日本の國情に適する儒學たらしめざる可からず。山鹿素行の如き、山崎闇齋の如き、其の他中江藤樹・熊澤蕃山等の如き、其の理想は素より此に存せしなるべしと雖も、或は國典に偏して其の見る所博大ならず、或は彼邦の學說に傾きて往々正信を失ふものあり、全く理想的に漢學又は漢文學の方針を定めたるもの未だ之れ有らざるなり。水戶の弘道館に於ける學問上の主張の如き、殆んど是れ儒學の日本化したるもの、隨つて漢文學の方針も亦た是なりと謂ふ可き歟。世の漢學に志ある者須らく意を此に用ひざる可からざるなり。

第十四章

我國上古より神道なるものあり。吾人の所謂帝王神秘主義は、實に此の神道と共に其の源流を同ふするものならざる可からず。

史に稱す、神武天皇既に都を大和の橿原に奠め、靈畤を鳥見山に建てゝ、此に祭典の聖儀を行はせ給ふと、

惟ふに神道は之に淵源するものなるべし。然れども神道の名目始めて我が國史に現はれたるは、日本書紀用明天皇の御宇にして、此時既に佛法と儒學とは、盛に我が國に行はれ居たり。孝德天皇の時に至つては、史家佛法隆昌を極むるが爲めに、神道の振はざるを嘆するの語あり。降つて元正天皇の靈龜元年には藤原武智麿神宮寺を創建し、神道を以て之を佛法に結合せしめ、巧に國體の擁護を謀れる迹あり。是れ卽ち僧行基の所論に因緣を有すること、又素より言を俟たざる所なり。僧行基の事、既に記述せるを以て重ねて之を說かずと雖も、傳敎大師(最澄)行基の後に出て、復た本地垂跡の辯を說き、弘法大師(空海)も亦た之に共通するの說を爲して神道を尊重し、當年金剛胎藏の兩界を論じて、神佛の融合を主張するの說最も勢力を有したり。今より之を考ふるに、殆んど當時天下の人心をして、神道卽ち佛法、佛法卽ち神道なりと感念せしめ、神佛兩道の間毫も何等の區別無からしめたるもの丶如し。凡そ此等の思想が深く我國の帝王神祕主義を護持したる事實は、既に本編第九章に於て詳述したる所、今再び之を絮說するの要なし。遙に後年に至り、後土御明天皇の時吉田祠官卜部兼俱と謂へる者あり、陰陽家の所說に胚胎せる一種の神道を唱へて、始めて神道吉田家なるものを起し、更に寬文延寶の際に至り、吉川惟足なる者新說を唱へて吉田家の一分派を爲し、德川氏を初め天下の諸侯其の說を聽く者少なからず。藤田東湖の所謂鴻荒を談說し、幽渺を張皇し、常に索隱行怪の弊ありと云ふもの、是なり。然れども時恰も文化極盛の時代にして學術技藝の進步は驚くべきの情況に在り、他方に於ては契沖阿闍梨、荷田春滿、加茂眞淵の徒有つて古學復興の說を唱へ、本居宣長の出づるに及んで、純正神道なるもの漸く大成し、平田篤胤之れが後を承けて愈々其の說を擴張し、更に大いに天下の人心を動かしたり。此徒孰も學問淵博にして鞏固なる自信力を有し、加ふるに愛國の至情、熱烈燃ゆるが如きものあり。只だ恨むらくは佛法と儒學に關する彼等の見解、餘りに偏狹なるが爲に、痛く君子をして顰蹙に

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

堪へざらしむるものあり。其の歐米人を痛罵し、基督教を攻擊するに至つては、殊に峻烈を極め、殆んど舌端焰を吐くが如きものありたり。彼の幕末に於ける尊王攘夷の說の如き、此等神道家に依つて鼓厲されたる者少なからず。其の國權國威を保障したるの功績に到つては、實に感嘆措く能はずと雖も、之が爲め世界の文明國を度外視し、彼我接觸の機運を妨げたるは蓋し掩ふ可からざる事實なりき。

神道は實に斯の如き情態なりしと雖も、明治中興の大業復た此の徒の所論に負ふ所少なからず。王政復古——即ち明治中興の後、天下に令して諸國の社寺に於ける神佛混合の形式を破棄し、宣教使を置きて純正神道を講明せしめ、教部省を置きて政教一致の旨を說かしめ、殆んど天下の寺院僧侶をして顏色無きに至らしめ、聖德太子——聖武天皇以來永遠に確實に帝王神秘主義を維持し、鞏固なる國民性を涵養したる偉大なる國策は、是に始めて破壞されたりと雖も、明治中興に對する彼等の功績は、確に之を以て酬はれたり。

第十五章

我聞く、紫野の大德寺に獨園禪師と謂へる老衲あり。西鄉南州曾て之に謁す。獨園曰く、德川氏を亡ぼすは易し、然れども佛法を亡ぼすこと何んぞ德川氏の如く易々たるを得んやと。南州默然たり。余未だ此事の眞僞を知らず。然れども教部省の廢止されたるは明治十年なり。西鄉南州鹿兒島に引退し、尋で西南の亂起るに及び、禪師直に彼地に赴き、砲煙彈雨の間に得意の獅子吼を試みたりと。

夫れか、あらぬか、爾來宗教に對する最高の廟謨は惟た單に中正・簡約・公平・謹嚴を旨とし、縱に政教一致の義を守つて、深く一宗一派に傾聽し給はずと雖も、政府又は政府を支持する勢力階級、其他學者及び政事家の類、殆んど宗教を視ること對岸の火災の如く、毫も何等の冷熱を感ぜざるのみならず、寧ろ却つて之を

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

指彈するの現狀に在り。殊に基督敎に對する觀念の最も冷淡なるは、往年國論を動かしたる純正神道の餘響今尙ほ社會の或方面に存在するに由る歟。

抑も基督敎の我が國に入りたるは、後奈良天皇の天文十八年(西曆一千五百四十九年)フランソワ、サヴヰエが薩摩の少年半次郞に誘はれて鹿兒島に來りたるを濫觴とし、其の後續ひて天主敎徒の渡來するあり、九州の諸國に布敎して多數の信者を得、大友義鎭・有馬晴信・大村忠純等の諸侯に洗禮を授け、周防の山口、泉州の堺港、大阪、京都の地に宣傳して、其の勢力侮る可からざるものあり。遂には織田信長を信仰せしめ、安土城の築造には天主閣を建設し、帝都の地に南蠻寺と稱する大殿堂を建設せしむること、既に余輩の說明を俟たずして、洽く世人の熟知せる所。其の後或る事件の誤解に依つて豐臣秀吉此の敎を嚴禁し、德川家康も亦た續ひて之を排斥し、將軍家光の時、肥前島原の敎徒痛く原城主に反抗して天下を擾亂せしめたるを口實と爲し、寬永十五年遂に諸外國との交通を嚴禁し、同時に基督敎も亦た之を嚴禁したり。

余憶ふに豐臣秀吉の基督敎を嚴禁したるは、要するに我が國體を擁護するの精神に出づ。卽ち余の所謂帝王神秘主義の觀念これを然らしめたるもの、我が皇室の尊嚴を永遠に保持せんとする彼の最も偉大なる精神たりしに外ならず。されば豐臣秀吉如何に苛酷なる手段を以て其の信者を待遇したるにせよ、當時の形勢に於て余輩必ずしも其の措置の峻嚴なりしを咎めず。德川氏の基督敎に對する政策も亦た殆んど同斷なり。

彼の米國の水師提督ペルリ開港和親を求むる國書を携へて我國を訪問するや。德川氏忽ち其の乞を容れて互市通商を許し、尋で歐州各國孰れも玉帛を執つて條約を締結し、表面和親交通の實を見ると雖も。彼の國人我を見ること特種人類の如く、我が國人の彼を見ること亦た然り。隨つて歐米各國に行はるゝ基督敎も異端邪說なりと冒認せられ、之を信仰せんとする者甚だ稀なり。是れ卽ち元龜天正より元和寬永に至る迄、盛

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に我が國に行はれたる反外教思想、我が國民の間に殘存し、毫も世界の大勢を顧慮せざりしに由る。此時に當りて獨り新島襄なる者あり。プロテスタントに屬する基督教を我國に誘導して、盛に之を江湖に宣傳し、又同志社を京師に創立して專らキリスト教主義の人材を養成し、其の勢の盛なること殆んど彼の福澤諭吉の慶應義塾と相對峙するの觀ありたり。然れども彼の實利主義にして頗る世間的なる人材を輩出せしむるに反し是は又た頗る精神的の温健なる紳士を薫陶し、誠に人をして敬服に堪へざらしむるものありたり。然れども惟た單に其のキリスト教主義なるが爲に、社會一般に於ては之を敬遠するの傾向ありたり。キリスト教なるもの夫れ斯の如く忌むべき乎。吾人實に之を怪む。

第十六章

往昔、南天竺迦毗羅衛國の太子に薩婆悉達多と云へる麒麟兒あり。一旦感ずる所ありて金殿玉樓の生活を辭し、去つて靈山に入つて難行苦行を爲す。成道の後人これを敬して釋迦牟尼世尊と云ふ。されば釋迦牟尼世尊は帝王の寶冠を擲つて之を塵芥に委したる者、彼の堯舜其の位を子孫に讓らず、天下の賢者を擧げて之を繼承せしめたるに較ぶれば、又多少の差異なきに非ずと雖も、倶に其の帝王の位に執著せざるは一なり。果して然らば佛法も亦た我が國體の擁護に利あらずと謂ひ得ざるに非らず。然れども併行基出でゝ本地垂跡の論を建つるに及び、我國の帝王神秘主義は始めて嚴守されたり。今茲に識見膽略倶に恰も併行基の如き者あり。イスラエル人種の尊信したるヱホバの神は我が天照大神の彼地に垂迹し給ふに過ぎずと謂はゞ則ち奈何。こゝに古の本地垂迹論を演繹して更に新たなる本地垂迹論を出現せしめ得可きに非ずや。是故に彼のキリスト教を恐怖する者は畢竟自己の無智にして且つ小膽なるを表白するのみ。寧ろ進んで之を信仰すべし。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

又其の信仰を奬勵すべし。豈夫れ之を敬して遠くるの理あらんや。

吾今隣國支那に於ける基督教の歴史を考ふるに、西暦一千五百八十一年（明朝萬暦九年）伊太利の耶蘇會徒マテオリッチ（利瑪竇）始めて香山澳の澳門に上陸し、翌年廣東の肇慶府に住居して會堂の建築を許され、一千六百年（萬暦二十九年）同志と倶に北京に至り、方物竝に聖母マリヤの畫像を献す。萬暦帝其の遠來を憐れみ、且つ彼が數學・天文學・哲學・宗教に關する學殖の深遠なるに敬服し、邸第を賜ひ、布教を許し、深く其の學問を利用して我が東洋の文化を啓發せしむ。余憶ふに萬暦帝がマテオリッチを待遇したるの精神を以て、彼のキリスト教を待遇すべし。是れ其の最も模範とすべき所に非ざるなきや。

初めマテオリッチ在支那耶蘇會徒の規定を設くるや、支那人の祖先禮拜竝に孔子禮拜は、總て此國の俗事と看做し、之を默許するの方針なりき。其後ドミニカンの徒支那に渡來するに及んで痛く之に反對し、終に大に紛爭を生ずるに至りたり。然れども一千七百十八年（康熙五十七年）清帝深く國内キリスト教の形勢を觀察し、マテオリッチの教義に背馳する耶蘇教は斷然これを嚴禁することを命じたり。是又た我國政事家の參考とすべき所ならずや。

前記の事實を以て考ふるに、此の大膽にして包容力に富めるマテオリッチは、又以て我が國の僧行基と併せ論ずるに足るものあり。當年彼をして我が日本に在らしめば、布教上又信徒の天照太神に對する禮拜を禁せざりしなるべし。天照大神は眞に天地の主宰にして萬有造化の本源なり。キリスト教の所謂天父と同體なりと看做して之を禮拜す、復た夫れ何の不可が之有らん。況んや（第九章に端緒を啓きたる）僧行基の說を演繹して、全く之を渾化融合せんとするに於てをや。イスラエル人のヱホバ——即ち基督教の天父　は我國の天照太神にして、天竺の廬遮那佛も亦た異名同義なり。即ち此の三神の關係は、宛も猶ほ基督教者の所謂父

と子と聖靈の關係の如し。余は是を名づけて日本の新しき三位一體――トリニティ――と稱す。

嗚呼、我が國の天照太神――天竺の盧遮那佛――キリスト敎の天父　は三位にして一體なり。抑も萬有は同源にして惟一の天帝これを創造し給ふ。此の說眞に然りとせば、天空海濶看て以て吾人の所謂三位一體の議論を是認せざる可からず。此の宇宙間惟一にして至聖至純なる天帝は、大約三千年の昔に於て、其の分靈を我が日本に降し給へり。我が萬世一系の帝王は卽ち是なり。

如是我觀――看て卽ち此に至れば我が國體に於て彼の基督敎を恐怖するの要なし。余は寧ろ僧行基の再來を俟つて、俱に與に我が帝王神秘主義の擁護を議する所有らむ。

第十七章

明治中興の初、朝廷純正神道を以て國敎と爲さんとするの意志ありしや否や。余未だ之を審にせず。然れども其の鋒芒の旣に事實に現はれたるは、蓋し何人も之を認めたる所なりし。其後佛法の根絕し難きを知るや、政府は改めて宗敎以外に超然たらんとし、佛敎に對する待遇を不卽不離の間に置くと同時に、外敎に向つても亦た不偏不倚の待遇を爲したり。唯其の知識と學藝を歐洲に求めんとするの結果、先づ汽車・汽船・郵便・電信等運輸通信の機關を發達せしめ、電燈・電話を普及せしめ、醫學・衛生學・機械・建築・美術・化學工藝凡そ歐米各國に行はるゝ學術技藝は、悉く之を我國に輸入し、航空術・無線電信・乃至無線電話の如き物質文明に屬する諸般事業の發達は、寔に人をして驚嘆に堪へざらしむるものあり。國家の爲め吾人の慶賀する所無からずと雖も、之が爲め無智の一般民衆は滔々たる智識階級の爲す所を見習ひ、一にも歐米、二にも歐米、萬事歐米の最新智識を追隨し、歐米に非らざれば衣食器皿の類に至る迄之を用ひず、隨つて巧に歐米の製品

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

を模倣して奇利を博せんとする商人を出し、世人亦た爭ふて之を需め、用ひて以て意氣揚々たる者少なからず。其の稍々歐米語を解し、洋書を讀み得る者に至つては、悉く歐洲の風俗習慣を模倣して音樂舞踊の末技に及び、既に風俗壞亂の厲階を爲すに至れり。斯くて智識と學藝を歐洲に求めんとする弊、遂に彼の物質文明に昏醉するの情態に陥り、憂世の君子をして痛嘆措く能はざる迄に至らしめたりと雖も、未だ歐洲のキリスト教を信奉せしめ、道義心の鼓厲を此に求めんとするの政事家は未だ曾て之れ有らず。唯だ其のキリスト教に學びたりと看る可き政策は、日曜日を以て休日と爲すの一事のみ。是れ何人の主張に由つて我が國に採用せられたるを知らずと雖も、唯だ夫れ歐洲人が此日を以て休日とせるが故に、我が國も亦た之に倣ふと謂ふのみ。斷じて神聖なる安息日を守るの意味にあらず。寧ろ人生の享樂を恣にするの日なりと解せるもの丶如し。此の滔々たる天下の歐化主義に反抗し、猛虎負嵎の勢を以て一方に咆哮したるもの雜誌「日本人」あり。三宅雄次郞以下數輩先頭に立ちて國粹保存主義を提唱し、一時氣焰を揚げたりと雖も、宗教に向つては毫も何等の主張無かりき。

其後條約改正の議大いに天下の人心を聳動し、對等條約の成立を希望するの國論は、屢次內閣組織の基礎を動搖せしめ、幾多の變動を經過したるの後、結局法典を編成して之を國內に施行するを條件とし、以て在留外國人の治外法權を撤廢せしめ、漸く條約を改正して國民の希望を滿足せしめたり。此事たる固より國權の回復に於て甚だ慶賀すべきに似たりと雖も、之が爲め國家は法治主義の國家に化し去り、宗教に對する國民の思想は愈々益々稀薄と爲れり。

余熟々我國現今の形勢を觀察するに、政府及び政府を支持する勢力階級が、常に何事に於ても法律を信賴し、法上法を設けて毫も飽くこと無きを怪しむ。啻に政府及び政府を支持する勢力階級のみならず。凡そ現

代の學者又は政事家と稱する者の多數は、我が國の法典が條約改正の必要上、急速に編纂せられ、急速に施行せられ、遂に此の誤りたる法治國を出現せりと達觀する者絕て無く、最も正直に法治主義を以て國政の根本方針なりと冒認し、法律を以て國家最上の要具なりと看做せり。是を以て國民の總ては法律の研究を貪り、其の結果法理に通ずる者は利益を占め、否らざる者は損失を負擔するの恐に終り、人心の善惡は殆んど之を度外視するの傾向を生じ、遂に法學士を顧問とする憎むべき詐欺師は、天下に充滿するに至れり。豈に夫れ慨嘆に堪ゆ可けんや。

第十八章

抑も法律學は人の權利義務を明確ならしめ、而して權利義務の作用が他に及ぼす形式竝に其の範圍を研究する學問にして、頗る箇人の利益を擁護するものなるが故に、其の學問の極致は全く我が國の帝王神秘主義と相扞格するものたらざる可からず。本編第六章、第七章に於て論述したるが如く、堯舜・湯武・周公孔子を以て道義の標準と爲せる儒學が、果して我が國體を危殆ならしむるの虞ありとせば、法律學は更に一層危險性を有すと謂はざる可からず。

余は絕對に法律を無用なりと謂はず。只だ其の簡明ならんことを希ふ。現今我國の實況の如く、法律規則を設定すること頗る複雜に、頗る細密に、而して頗る面倒なる手續を制定して、國民をして實に其の煩累に堪へざらしむるが如きは、余輩の未だ全く敬服せざる所、法律の簡明を希望する者、豈に夫れ吾人のみならんや。近時各政廳に於ても事務の簡捷を必要とし、之を研究すること數次なるを耳にす。然れども、法律規則の制定が斯の如く煩雜なる以上は、斷じて政廳に於ける事務の簡捷を望む可からず。法律規則の制定は寧

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ろ却つて政廳の事務を繁劇ならしめ、國費を糜濫することも亦た常に累加して已まざるものあり。斯の如き弊害は尚ほ恕すべし。但だ國家が法律を尊重する爲に法律學上の高等思想が漸次國民の間に發達し來り、主要なる國憲又は國法に對して慊焉たる能はざらんとするの傾向を生じ、遂には帝王の神秘を否認せんとするに至る。國家の憂患蓋し之より大なるは有らざるべし。

法律學に於ける高等思想は、人權の伸張を要求し、自由と平等とを條件として、社會組織の改造を希圖せざるは無し。既に國家の制度に於て人權の自由と平等とを認めたりとせば、更に國家の政務に對する參與權を要望し、政治的智識の攻究を誘致すべし。斯くて其の參與權の幾分を掌握し得たりとせば、更に政務に對する參與權の擴張を必要として、最上議政權の分配に均霑せんことを希望し。世界各國に於ける政體の種類を甄別して、國民多數の利益に協洽すべき最もデモクラチックなるものを選擇し。國家の主權者をして之を實行せしめんが爲めに、徐々として國憲及び國法の改革を謀らんとす。斯くて國家の文化情態が進歩するに隨ひ、漸次帝王の統治權を侵犯し、之をして最少限度に縮少せしめんとするは、實に法律學の研鑽より生ずる必然の結果に外ならざるなり。彼の歐洲に於ける諸帝國は既に此の順路を經過し盡して帝政の末期を出現し、到處の帝王家は漸次衰亡に歸して、全く頽勢を挽回するの機會なく、天下の滔々たる言論文章は、悉く是れ帝政に反抗したる多數平民の凱歌に非らざるは無し。但た看る、滿目荒涼たる宮殿の廢墟には蟋蟀の自由を認容し、秋草茫々たる城廓の遺跡には狐狸の權利を保障し、舊都府に於ける歷代帝王の記念的ビルディングは、賃貸借の關係を以て活動劇の舞臺に提供せられ、其の近傍なる前代帝王の花園は、無趣味なる耕作地に變化して、之が永代借地權は無名の農夫に歸せり。眞に天授の統治權を有せざる歐洲諸國の帝王が、漸次此の憐むべき境遇に沈倫すること、誠に已むを得ざるに出づと雖も、法律學の進歩が人類の自由平等を要求するの

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

結果、遂には帝王の尊嚴を犯し、其の統治權を掣肘し、最後に國民多數の信頼を失ふて此に到れるを知らば、吾人實に寒心に堪へざるものあり。我が國の政事家たる者、又是れ反省せざる可からざらんや。

讀者よ、竊に之を思へ。ミハエル、バクニンの如きカアル、マルクスの如き、クロポトキンの如きレニンの如き彼等は歐洲にのみ住する人物なりと考ふるは、我が國人の非常なる油斷に非らずや。既に我が日本帝國は歐洲の諸帝國が經過し來れる道程の半以上を履行し來り、歐洲に於ける危險思想は、業に已に發穀の下に春の草の如く萌出でんとするにあらずや。

抑も是れ何人か此の思想を養成して遂に此に到らしむるものぞ。余は實に其の責任に歸する所を問はざる可からず。

第十九章

余は法治主義の危險なるを感ずると同時に、宗教に非らざれば到底我が國體を維持する能はざるを知れり、今之を國史に徵するに、我が國帝王の神祕を護持し、安全に國體の尊嚴を繼續して今日に至れる所以のもの、悉く是れ宗教の力に藉らざるは無し。聖德太子——聖武天皇——以來實に宗教の力を以て、天下の人心を維持したること、上來吾人の論述せる所に由つて、正確に之を立證して餘りあるに非ずや。

試に問はん。現今我國の政事家は果して我が此の國體を永遠に維持するの精神ありや。眞に之を永遠に維持するの精神なりとせば、何故に宗教を奬勵して國民の信仰を强要せざる。請ふ先づ戶籍簿の記載例に宗教の一項目を加へ、國民一般をして神官・僧侶・又は司教牧師の證明を有する信教の屆出を爲さしめ、戶籍上に其の信仰を表白するを以て、國民の義務なりと規定せよ。是れ實に國民の各個人を救濟し、同時に國家の滅

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

亡を防禦し、以て國體の權威を永遠に維持する方法たるなり。

日本帝國の戸籍法が前述の如くに改正されたる以上は、學校に入學する場合に於ても、軍隊に入營する場合に於ても、高等文官又は普通文官試驗を受くる場合に於ても、辯護士公證人其他の公職は勿論、各種職業の定檢試驗を受くる場合、總て履歷書を提出して國籍上個人の位置を明白ならしむる場合、又裁判所の法廷に於て原告被告又は證人として出席したる場合、凡そ如何なる場合に於ても、住居・姓名・年齡を表明せしむると同時に、必ず其の信仰する所の宗教を表明せしめよ。但だ見る法律規則は牛毛の繁多なるに似たり。然り而して更に國民に强要するに信教を以てするの明文なし。現今我國の一大缺點は是れなり。

世には尙ほ未だ事理を辨へざる人あり。彼のキリスト教に對する何等の理解なきが爲に、竊に該宗教を以て我が國體を危ふするものと爲す。我國の政事家が殊更に宗教問題に觸るゝを避け、毫も國民の信教を强要せざる所以のもの、幾分か之に原因する所無きにあらざるべし。是故に余は本編第十六章に於てキリスト教も亦彼の佛法の如く、彼の儒學の如く、全く之を日本化して萬法歸一の宗教と爲し、以て國體擁護の方便に供すべきことを說けり。何んぞキリスト教を恐怖するの要あらんや。若夫れ果して彼が國體を破壞する者なりとせば、豐臣氏又は德川氏が曾て之を嚴禁したる當年の如く、法律を以て之を禁遏するに於て、毫も何等の斟酌を要せざるなり。帝國憲法第二十八條は豫め此の場合を假想し、信教の自由を賦與するに或る條件を以てせり。復た是れ何の憂患か之れ有らむ。

斯くて我が國家を宗教の上に建設せざる可からず。國民の信念を以て其の柱礎と爲さゞる可からず。政府は宗教に生れたる人材を登庸すべし。學校は宗教に生れたる教師を雇入るべし。宗教を以て地盤とする鞏固なる學校を設立し、宗教上の信念を基礎とする權威ある政廳を建置し、以て我國帝王の神祕を永遠に護持す

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

るの道を講せざる可からず。若夫れ吾人の所謂帝王神秘主義を否認する宗教あらん歟。世間自から天に代つて之を誅せむ。復た司直の吏を煩はすの要なし。

第二十章

現今我が國の學校を觀察するに、普通教育の程度に於ては、卑近にして淺薄なる修身の講話あるのみ。却つて修身の根本問題たる宗教思想に向つて、毫も兒童の精神を觸れしむることなし。更に中等教育以上の學校に至つては、歐洲の風俗習慣に其の根底を有する非宗教主義の倫理學を講述し、我國三千年來の國民思想を破壞せんとするの傾向あり。近世人心の操守を失ふ所以のもの、豈夫れ偶然ならんや。

惟ふに現今我國に於ける普通教育の方針は、概して國民の常識發達を願ふものゝ如し。人類の進歩を希望する上に於て、是れ或は必要ならん。然れども我が國の帝王神秘主義は、遙に人間の常識を超越せる思想なるが故に、常識の發達を奬勵するの結果は、誤つて帝王神秘主義を否認するに至らんも亦た知る可からず。是を以て常識の發達を奬勵するは、必ずしも國體の擁護に利ありと謂ふ可からず。又我國現今の教育は科學思想の進歩を希望するものゝ如し。國家の文明を增進する上に於て、是れ又最も必要なるべし。然れども我國の帝王神秘主義は、全然世界の科學を超越せる思想なること既に本編第三章に論述したる所、科學思想の進歩も亦斷じて國體の擁護に利あらざるなり。是故に我國の教育制度に於ては、宗教と科學との連鎖を保ち、帝王神秘主義と相伴ふて發達する所の、最も健全なる文明に向つて、其の子弟を誘導せざる可からず。吾人が主唱する所の宗教立國策は、實に之を要求すること又最も急なりとす。

吾人は現今教育家の努力に對して、常に之を感謝せざるに非らず。常識の發達、科學の進歩に對して常に

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

之を慶賀せざるに非らざるなり。然れども常識の發達と科學の進歩とは、動もすれば輙ち國民の危險思想を養成せんとする傾向あり。試に看よ、我が國青年社會に於ける現代思想の傾向は、眞に吾人をして戰慄に堪へざらしむるものあるに非らずや。彼等は偏に現代の歐洲を以て智識の世界と看做し帝王政治を改革せんとする論據を法律學の推理に求め、特權階級を破壞せんとする思想を經濟學の理論に探り、殆んど我が國體を冷眼視して、帝王の神秘を否認せんとするに非らずや。是れ實に常識の發達と科學の進歩に原因する現代思想の通弊に非ずして何ぞ。

我聞く。セント、ヘリナの一孤島に貶謫されたる最後の拿破烈翁は『曾て此の手を黃金の香爐に觸れたるは余が一生の過失なり』と稱して、彼が或時羅馬敎皇の權力に牽制を加へんとしたるを懺悔し、生涯の末段に於て宗敎に對する正覺を得たる者の如しと。近くは米國のウキルソンの如き、其の大統領の印綬を解きたる後に於て、常に痛切に國民の信仰を慫慂し、歐洲大戰以後經濟事情の激變に由つて發生したる思想界の混亂は全く宗敎の力を藉るに非らざれば、到底收拾す可からずと爲し、痛く法律萬能主義の賴む可からざるを論せり。

佛蘭西の皇帝と僞稱したる拿破烈翁も、結局宗敎に非らざれば世に存する能はざるを知り。米國の大統領ウキルソンも亦た宗敎の力を藉らざれば思想界の混亂を救濟す可からずと爲す。況んや帝王の神秘を維持して之を永遠に繼續せざる可からざる我が國體に於てをや。宗敎立國策を講ずるは固より我國政事家の急務ならざる可からず。

彼の資本家に對する勞働者の反噬を見よ。國家の特權階級に對する社會主義者の猜忌を見よ。實に是れ常識の發達と科學の進歩に伴ふて發生すべき文化生活の副產物に非らざる無きや。宗敎に淵源する常識と科學

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

とに非らざる以上、其の常識は未だ眞の常識に非らざるなり。其の科學は未だ眞の科學に非らざるなり。宗敎の地盤に立脚せずして漫に我が國體の尊嚴を維持せんとするは、卽ち非なり。

第二十一章

我國現代の青年何事も皆「新らしきもの」に向つて狂奔せざるは莫し。衣服・裝身具・其の他の携帶品は素より謂ふを俟たず、文章・繪畫・遊戲・飮食・悉く其の新らしきを以て之を採り、新らしからざるを以て之を棄て、毫も實質の是非善惡を擇むに遑なきもの丶如し。是れ果して喜ぶべき現象なりや。

抑も新らしきものとは何ぞや。世間果して新らしきもの是れ有りや。

ダビデの子エルサレムの王傳道者の言葉に曰く、『曩に在りし者は又後に在るべし。曩に成りし事は又た後に成るべし。日の下に「新らしきもの」あらざるなり。見よ、是は新らしきものなりと指して言ふ可きものありや。そは我等の前に在りし世々に、旣に久しく在りたるものなり。己前のもの丶事は覺ゆるなし、以後のもの丶事も亦た後に出づるもの、これを覺ゆること有らじ』と。寔に然り。世に新らしきものは有らざるなり。現今我が國の學者が歐洲思想の研究を貪りて新しく獲んとする所のものは、我等の前に在りし世々に旣に久しく有りたるものならざる可からず。彼等が常識の發達と科學の進歩に由つて、新に發見せんとする所のものは、我等の前に在りし世々に旣に久しく存在し、後に出てたる者之を覺えざるものに非らざる無きや。彼の新らしきものを採らんとするは、恰も猶ほ猿公が水中の月を捕へんとするが如し。何ぞ汝の手に取るべき新らしきものあらんや。

世人請ふ活眼を開きて之を看よ。現代の世界を以て果して進歩したる世界と爲す乎。吾人は決して之を認

新高の山高四十尺を減ぜん

野呂寧

此の一文は野呂氏より本誌に寄せられたるものなり（編者）

臺灣島高山多く一萬尺以上の高さに聳ゆるもの實に四十八座あり其内にて新高山最高く我日本帝國高山中の首位を占めて居る併しながら從來の高程測量は未だ完全なるものなくバロメートル又はアリダートに依るものにて而かも蕃山深く入込みて測定の基準地を離るゝこと遠く未だ精確を保證することが出來ない。從來發表された高さは一三、一二〇尺。一三、〇二〇尺及一三、〇七五尺等で一三、〇七五尺は余が蕃地測量に關係せる頃明治四十一年十二月故志田囑託等と同行し測定せる結果にてアリダートを用ゐ嘉義方面の三角測量點より十數次の測回を重ねて測量計算せる結果で測圖の精度最低く測回數は多次に渉り且蕃地略測のこととて何等の標識をも設けなかつたから到底確實性を有し得ない。然れども他の二つのものよりはより多くの注意を拂ひ地球の弧面光線の屈折等の改正を行ひ出來得る限り計算を密にしたるに依り幾分の好精度を帶ぶるものとして且恰も二者の中數に位するとに依り此測定を以て暫定的眞高とし來たのである。併し他日精密なる測量の結果幾何の差異を見るべきやは興味を以て待ちつゝあつたのである。近年陸地測量部に於て本島に三角測量を施行せられ新高山巓に三角測量點を設けられたので其の眞高の決定を待て居たが其の測量の順序手數が容易でなく先づ三角點の位置を決定すべく精巧な經緯儀を用ゐて水平角の觀測を行ひ精密なる方程式を作りて平均計算を行ひて經緯度を算定し一方には至精なる水準儀を用ゐて水準測量を行ひ高雄及基隆に設けられた十數年間の潮位の變化を觀測した驗潮儀の成果に依り中等海水面を定め之を零として重なる道路上に水準點を設けて其の高さを測定し之を基點として各三角測量點に經緯儀

を用ゐて垂直角の觀測を行ひて順次右三角點の眞高を決定するのである。之には地球弧面、光線屈折、温度、氣壓等の改正は勿論諸種の障害を除去し最小二乘法を用ゐて精密なる方程式を作り精算を遂げて確定するのであつて三角測量を始めてより三四年又は夫れ以上を要するのである。

新高山の高さに就ては余は一昨年より石井陸地測量部三角科長に依頼し其決定發表を願ふたのであるが昨年實地觀測を行はれ此程漸く略計算が結了したので之を示されたのである。尤尙之から精密な方程式を作り平均計算を行はねばならぬから其確定發表は本年十月頃になると云ふ。併し其の結果は今回の發表と對照して如何に差異を生ずるとしても約〇米一以下に過ぎないのであるから格別の影響はない。そして多數の人は一日も早く眞高を知りたいとの熱望もあるから茲に之を發表することにした卽ち

新高山の中等海水面上の眞高三、九四九米突九五（一三、〇三四尺八三五）

で前述の現在の公稱高一三、〇七五尺に對比して僅に四十尺、低くなつた卽ち從前の測定には四十尺の誤差があつたのである測量術上から之を見るに粗雜な測量器を用ゐ何等標識をも設けずして略式の測定を行つた結果としては餘りに好成績であつて山靈亦其の眞價を知らしめんとして我に幸ひし此好果を與へたのではあるまいかと歡喜に堪へないのである。因に次高山は新高山に次ぐの高山として其の眞高も早く之を知らんとするの希望あり殊に　皇太子殿下の御渡臺に依り新に次高山と御命名ありてより一層其の希望の切實なるを感じて余は屢次石井三角科長にも交涉して其の測定の速かならんを乞ふたので同科長も好意を以て種々計畫せられたが同山は何分にも蕃地深く交通警備等の關係上周圍の測點の配置等よりしても急速に設點の場合に至らず今尙三角測量點の配置なく從つて何年の後其の眞高の測定を見るべきやを知られないのは遺憾である。

終に臨み陸地測量部三角科の測量技術官諸氏が幾十日間氣象險惡な此高山巓上に露營して幾多の辛酸を嘗め而かも細心の注意を以て至精至密の測量を完成せられたのに對し深甚の敬意を表し感謝の誠を致すのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

むる能はず。寧ろ現代の世界は我が國帝王の祖宗が日向の高千穂に降臨し給へる時代と同じく、全く泥沌たる草昧の世に異なるなし。復た何の文明か之を其の間に發見するを得ん。

我が國民たる者は須らく帝王の神秘を確認し、帝王の神秘を讃美し、帝王の神秘を信賴し、吾人臣民と俱に國家の安寧を維持して、無窮の幸福を我等に頒ち給へる此の特別なる天の恩寵に向つて感謝せざる可からず。身命を擲つて此の帝王の爲めに報效せざる可からざるなり。

我聞く、曾てマキャベリーなる者あり。王權論を著はして當年歐羅巴人の視聽を動かしたりと、然れども彼は帝王の統治權を論じて、之を獲得し、之を維持するの手段は、惟た權謀術數に在るのみと謂へり。マキャベリーの此の論を爲すや、畢竟天授の帝王あるを知らざればなり。實に彼は我が國の如き帝王の神秘を知らざるなり。天地の主宰――萬有の眞原――覆載間惟一にして無始無終なる天帝の分靈と稱し奉つる可き眞の帝王を知らざればなり。權謀術數を以て其の統治權を維持する帝王は則ち亡び、毫も權謀術數を用ひ給はざる天授の帝王は則ち永遠なり。世界の眞の文明を開拓し給ふもの、此の帝王に非ずして抑も誰ぞ。（完結）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

急要なる臺灣油田の地質調査

理學士 市川雄一

臺灣に於ける石油の徵候は所々に著しく、その分布の範圍も甚だ廣い。即ち西部の一帶のみならず東部海岸山脈の地方にも及んでゐる。隨つて油田としての價値に就ては内外から多大の興味を以て注目されてゐるのであるが、未だ全く明かでない。地理的に觀ても今日の日本に取りて臺灣油田の價値は極めて重大である。然るに之が開發に就て從來果して何程の熱心を以て當つてゐるだろうか。二十年以前其大體を踏査したのみで、その後一度の地質調査も行はず、單に地層の傾斜と地表の徵候とのみに賴つて所謂野猫掘をやつて來たに過ぎない。そして其の試掘の個所も五箇所に過ぎず。井戸の數も合せて僅かに十六。加之も其の中豫定の深度三千尺に達したのは三分ノ一で、他は皆中途に失敗したのである。又た進掘の度も甚だ遲く、一井に一年半を要するのが多い。合衆國の油田では五千尺の深度の井戸を僅々二三箇月にて仕遂げ、日本に於ても三千尺深度の井戸に半年を要しないのに比べると唯だ驚くの外はない。斯くの如き狀態で油田の開發を圖らんか、その成功を望むは既に間違つてゐる。況んや此の點を考へずして臺灣油田の價値に悲觀說を抱くものをや、それは石油事業を全く知らないものである。

元來石油は、其の徵候著るしとて必ずしも豐良な油田なりとは限らない。却て何等地表に石油の徵候を認めざる所に多くの石油を產する例が多い。世界全產油額の七割を占むる合衆國油地田の主要產油地たる中部油田の如きは、全く地表に石油の徵候が無い。之は無論どこにでも石油が存するに非らず、夫れ〳〵存在すべき正當なる根據の有るところに限らるゝものであつて、この根據を研究し其の根據に適つた地底を發見するのが即ち油田地質調査の目的である。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

此の重要なる地質調査を行はずに石油を求め得る時もある。即ち地表の石油徵候を辿つて容易に石油に逢し得る場合である。然し斯くの如きは地下に埋藏されたる石油の量から見ては甚だ少く、しかも今日までに既に採取され了り、今後は地表の徵候に捉はれず詳細なる地質調査によつて油源を求めてゆかなければならない。それ故に油田開發には地質調査が先づ行れるのを常に原則としなければならない。近々二十年にして一躍世界第二位の產油國となつた墨西哥油田の如きも、其の以前三十六年間は幾多の失敗の極全く悲觀され、一時は世から忘れられて了つたのである。そして一地質學者が或る地方を調査した結果極めて有望であると斷定したるが爲に、その技能を疑はれて遂にその職を轉ずるの止むなき結果になつた。然し其の地質學者の斷定は見事に的中して其處に試掘された油井は驚くべき成功をなし、遂に之が墨西哥油田開發の端緒となつたのである。此の他大油田の開發發達には悉く地質學者の努力が與つてゐる。今日石油問題の特に重大なるに及んで、地質學者の活動は地上到るところに目醒しく、國内は勿論深く他國の領土に入り込んで多數が一團となつて調査に從事し、油田の開拓獲得に汲々たる有様である。かの米蘭二國間に重大なる外國問題を惹起せるスマトラ島ジャムビー油田の如きは、米國がその十數年以前より多數の地質技師を派遣して委しく調査せるものである。又余が曾て軍艦新高に便乘して南洋に巡航せる際、蘭國政府は、痛く余の行動を疑ひたる爲に國際感情を傷るを恐れて專門的の調査を思ひ止ることになつた。石油の缺乏に苦しむ日本に近き蘭領東印度が世界第四位の產油國であることに思ひ至れば、地質技師の軍艦便乘に對して極度に神經を尖らすのも無理がない。斯の如く列國は油田地質調査に努力し、地質技師と言へば往々にして國際間の疑惑の種とさへなるに、我が臺灣油田は今日尙地質調査の必要を叫ばねばならぬ狀態にあるのは實に遺憾に堪へない次第である。

油田を開發するに當つて先づ研究すべき事項は次の三つである。

(一)岩石の種類が石油の存在に適するか　石油が生成される以上必ずその根源がある。今日ではその根源

が生物であるといふことに殆ど決定してゐるが故に、油田をなすものは地質學上の條件がこの生物體の多量にあつたやうなものでなければならない。此の點より考へて之に適當するものは水成岩であるが、尚この中更に堆積當時の地質學的條件と岩石の成分特に有機分に就いての研究卽ち地化學的條件によりて著しく限定されなければならない。此の地化學的研究は近年著しく重要視されて來たのである。

(二)地層の種類が石油の集積に適當なるか　石油が集積されるには地層がこれを容るゝに十分なる餘裕がなければならない。卽ち多孔質のものが好都合である。砂岩が最も多孔性にして如何なる壓力にも容易に孔性を失はざるが故に含油層として最も普通である。その他、礫岩・石灰岩等がある。砂岩の中でもその生成によつて甚だしく孔度を異にするので、當時の地表の情勢卽ち古地理學並に砂の性質及び砂の現在の位置とその根源との關係などを究めなければならない。

(三)地層の形狀が石油の集積に適するや　石油の集積は特殊の地層形狀に限られる。卽ち穹窿狀層・圓頂丘・背斜層・單斜層・段丘層等で、詳細の研究によつて適確に之を見出さねばならない。

以上三條件を究めずしては、油田の價値を知ることは勿論、開發の方針も之を樹つることは出來ない。然るに今日臺灣油田に就て是等の智識が何程得られてゐるか。依然として僅に苗栗油田の產油を以てその命脈を保つが如き微々たる現狀にあるのは、その重なる原因が茲にあるものと言はなければならない。飛行船用として近時喧しきヘリウム瓦斯は日本に產出稀で、供給の途に苦しみつゝあるが、臺灣の石油瓦斯中に含むは低量であるが、造橋その他に於てヘリウムを抽出すれば、將來需要を十分充し得る望がある。且つ國防上臺灣油田は最も重要の地に位してゐるのであるから、この開發は國家の存亡に關するものとして一日も忘ることの出來ないものである。須らく從來の不徹底極まる態度を排し、科學に基礎を置き、健實なる開拓の步を進め、石油缺乏の窮地から國家を救はなければならない。

要は速かに全島油田の地質調査に著手することである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

日本の良い所。日本人の偉い所

巴里にて　醫學博士　森　武　美

一

(前略)御存じの通り、西洋の家は二町四方も其の餘もある樣な煉瓦石造の五階六階の建築で、一家族は其の中の數室を占有して生活し、數箇の室が日本の一軒に當り、段階子は其處に住居する數家の交通路に當る樣なもので、何の事は無い、日本の路次を縱に立てたやうなものである。つまり立體式の路次である。斯うすれば土地を節約することも出來、東京なぞでも三分一位に縮少して耕作の土地も出來やうし又た衛生工事…例へば下水とか上水とかの工事も容易に安價に出來て、總てが便利でありませう。日本でも土地が無限にある譯でも御座いませんから、次第〱には立體式路次になるであらうと思ひます。然し土地と金とが無限にあるならば日本流の平面式がよいと私は考へます。立體式にすると階子段の上り下りも大變で、老人なぞは氣の毒な者です。一段毎にハー〱と云ふて息を切らして上つて居る。私も年の加減かこんな老人を見ると同情します。西洋の家には老人の住まう處ではない。家から首

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

をつき出して見ても、隣の窓が見える位のものであるし、下に居ると上空もろくには見えませず、鉢植を居室にでも置いて見て居る位です。そんなら公園にでも行けと云ひますけれども、町には自動車が一分の隙もなく走つて居るので、ぼつ〳〵歩いて居ると轢き殺されます。何と考へて見ても老人は日本流がよい。日本流の室を少し改良すれば夫れで充分です。西洋で家を持つ者は恐らく富豪でしよう、一度家を建てれば何百年でも堪へるので、まあ一寸と日本の土地見た樣な者です。日本では地震がおり〳〵ゆりて土地も消えるが、西洋では家でも消えない。夫れで西洋で日本流に家を持つと云ふと室を借ることゝなる。借家でなくて借室になる。ローマでは室を賣り買ひして居るそうです。百坪位の上等の室は參萬圓もすると云ひます。そうすると丁度室が日本の家の樣です。今假りに一家族が四間の室を借りたとする。西洋人のことですから、一室は寢室と云ふて大きな寢臺や洗面道具などを持ち込む室、一室は應接間、一室は食堂、今一室は臺所とする。子供が生れると子供の小さい寢臺が入用となる。先づ夫婦の寢室に入れる。其子供が少し成長する。第二の子供が生れる。第三の子供が生れると云ふことになり、子供が成長すると夫婦の寢室に共同と云ふ譯に行かず、應接室なり食堂なりを、子供の寢室にせなければなりません。寢臺と云ふ奴は馬鹿に場所を取るもの故、家族が多くなるに隨つて大變澤山な室が要る。そこで子供が澤山になると、子供の置き處に困る。尤も親が大いに働いて金持になり、澤山な室を借り得る樣ならば別だが、そうでないと大いに困る。從て產兒制限も必要となる。尤も子供には寢臺も無しで、日本流に床上に蒲布團を敷いて寢かし、起きたらば片付ける樣にもして居るそうですが、寢臺と云ふ物は家族が多いと實に厄介な者です。折り疊みの寢臺も出來て居るそうですが、疊んで見ても西洋の家には押入と云ふものが無いから、入れて仕舞う處が無い。布團を揚げてしまへば應接間にでも食堂にでもなる、と云ふ日本式の樣には行かず、日本では四間もある家なら子供の四人や五人は何でもない。親夫婦の寢て居る室など何處か分らぬ位にも出來る。こう云ふ風に考へると日本流がよい。西洋の家も隨分改良を要する。第一に押入を作ること。若し寢臺を作るなら汽車の樣な寢臺にするとか、何とかせなけれ

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ば今の樣に萬年床式の西洋寢臺では仕方がない。場所を取つて迚もどうもならん。日本人の一家族で夫婦に子供が四五人もあり、女中の一人も居ると云ふ樣な者が、西洋流に室借りをしようとすると大變な借室料になる。一室借りるにも二三十圓もかゝるから迚もやり切れますまい。家は洋風に室の方は和風がよいが、日本では女中が起きて布團を揚げ、掃除をすれば食堂でも應接の間にでも何にでもなります。西洋ではそんな式には行かず、西洋生活は實に窮屈な不便なものです。或る西洋人で橫濱とか神戸とかに居りし者、近頃西洋の兩親の所に歸つた。兩親はこちらで質素なよい暮しをして居る。歸つたけれども寢臺が無い。又新に寢臺を入れる室も無い。初めは椅子を竝べて其上に寢たり、ゾーフアの上に寢たりして居たが、此頃室を別に借りた。借りた此男が言ふに、日本の家の方がよい。疊の上に布團を敷いて寢て、起きたら揚げてしまへば何のこともない。日本式がよい。日本式なら室など別に借る必要もなく、兩親の處に暮すことが出來て便利だね。西洋は日本から歸つて見ると不便な事が多い、と云ふて居ましたが、實際そうも思つたのでせう。

二

日本の都會は次第に、西洋流の煉瓦石造の家になるでせうか、と問ふ人あらば、必ず將來はそうなるでせう。又そうならなくてはならぬ、と答へるでせうが。然し、日本全部の家が西洋のやうに煉瓦石造になるでせうか、と問ふ人あらば、何人もさあ何年後か知らぬが、近き將來にはなりますまい、と答へるでせう。西洋流の建築と東洋流の建築とは。世界が始まり人間が生育する樣になつた時から違つて居て、別々に發達した樣に思ひます。元は一つで木の枝が出た樣に分れたのではない。西洋人と日本人とは別々に出來て、別々に何の連絡もなく發達して來たのだと私は考へます。フイリツピン・ジヤバ諸島の南洋式の竹の柱に草の屋根の家が、何千年かを經て發達して、今日に達したものが即ち日本の家です。西洋の家は初めより石煉瓦の樣な物を積み重ねて出來、そこに腰を掛けて生活したのです。西暦六十三年に埋つたと云ふポンペイを見ても、ローマの古跡を見ても、東洋流に少しも類似したものは無く、煉瓦・石・大きな石の柱・大理石の腰掛・大理石や色々の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

石の碎片でモザイックした庭や壁畫・或は大理石像・或は町に敷きつめた石など、殆ど今日の西洋の家や町を見るのと異つた所がない。又た家具・裝飾具・首輪・耳輪・指輪・腕輪等の如き、又た食器・醫藥器械等の如き、今日も尚ほ類似の者が澤山ある。二千年前の西洋人もやはり、金銀の指輪をはめ、腕輪をして椅子に腰を掛けザシ、ホークにて肉類を切つて食べて居たらしく、今日と大した違ひも無かつた樣に見え、特に美術・繪畫・彫刻の如き殆ど今日と變りがなく、同じものを同じ樣に壁に掛け庭に列べて居たものらしく、今日西洋の町が石を敷き、アスファルトを敷くと云ふけれども、二千年前も恐らく尚ほ其前よりも、こう云ふ風にして居たものらしく、今日急に考へ出した譯でも無い。二千年前の諸道具或は醫藥器械などを見て、ハハー之を改良して作つたなと思ふものも多く、今日の西洋人が別段偉い譯でもない。二千年も三千年も前の西洋人がえらかつたと思ふ。こう云ふ風な歴史を以て發達して來た西洋の樣式を、日本が今から取り入れて第一世を作ると云ふ譯だが、然し日本よりは四五百年前にマニラが既に手本を見せて呉れて居る。足一歩そこに入ると、四五階の家・石敷・アスファルトの町・何も西洋の町と變りなく、男も女も洋服だし、茲が南洋か知らんと、疑ふ位だが、一歩市外に出ると、竹の柱に草の屋根式の固有の家で、洋服の男女アグラをかいて坐つて居ると云ふ有樣で、此の暑いフキリッピンで、肌を出すは惡習慣である、常に身體は包まざるべからず、と云ふ樣な不條理な自然に悖つた習慣をつけ、熱帶に不適當な洋服をさへ着る樣になつた程、歐化したに拘はらず、尚ほ竹の柱に草の屋根の家に居るのを見て考へますと、日本は西洋と其根元に於て大きな違ひがあるからして、例へ都市は茲數百年後に全部西洋式となるかも知らぬけれども、數百年千年の後にも、市外の田舍には依然として日本の家があり、丁度今日のフイリッピンの樣なものになるのではなからうか。町は洋式、田舍は草屋、と云ふ風になる。必ずそうであらうと思ひます。ポンペイなどのことを考へますと、日本も神武天皇また其前から、恐らく今の家に似寄つた家を建て、米を食ひ、アグラをかいて坐つて居たであらう。田舍の家にある樣な瓶だの德利だのもあり、一寸と山奥のおばさん處に行つた樣なものであつたであらうと思ひます。今度私

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

は妙な船のお蔭でフキリツピンやら、ポンペイなど見せて貰ひ、二千年前に生れ、尙ほ五六百年も千年も後の、日本の都會・田舍なども見た樣な感じが起りました。こんな風に考へますと、千年經ても二千年經ても化けそこないの狐見た樣に、一部は洋式、一部は和式、と云ふ不調和なものを作るよりも、日本は寧ろ日本式に日本流、尤も多少の改良は要しますけれども、獨特の建築樣式にて都市を經營することが、調和もよく習慣にも適合するのでありますまいか。若し全部の都市が西洋流になるとしても、せめて京都位は純日本の都市として、二千年三千年後まで、日本固有の建築美術を殘し、世界の偶から偶まで西洋流の建築に統一さる樣になつた時に、獨り日本に日本固有の建築美術があると云ふことを、世界に知らしたく思ふのであります。私は東京驛前の丸の內ビルヂングの樣な、趣味も何もない家を建てるよりは、何かもつと日本流のよい建築が出來ないものが知らんと思ひます。日本でも伯林見た樣な町なら出來るでせうが、巴里の樣な町はとても出來ますまい。

三

日本以外の國で、恐らく電車の切符を車掌に返す處はありますまい。日本では電車に乘るにも、ゴマカシて只で乘らうとする。之は貧乏人でない、高等中等の敎育を受けた人や、又た受けつゝある人に澤山ある。只で乘つて自慢をして居る。まるで盜人をして自慢して居る樣なものだ、又車掌と喧嘩してやり込めたとか云ふて喜んで居る。東京でも半日も電車に乘れば、相當の身なりをした人が車掌と何か言ひ合つて居ることを、一度や二度は必ず見る。日本と云ふ國では自分の仕たことが惡くても、惡くない樣に人に見せようと思ひ、理屈を考へつける。之は普通の人計りではない。官吏でもそうだ。何とか文句を云ふてゴマカそうとして居る。議會で政府委員の答辯を聞てもすぐ分る。あの……そうか夫れは間違つた、と云へば濟むことを、否や間違はない、それは斯うだと云ふて文句を云ふ。そこで相手が怒る、喧嘩になる、とう〳〵口の達者な奴が勝つと云ふことになる。そんな圖は西洋には無い。朝から晩まで每日電車に乘つて居ても見ようもない。間違ひではな

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

いかと云うと、間違なら間違だと云ふ。銀行に行つて金が間違つて居ても、間違いでないかと云へば、間違なら間違だと云ふ。巡査でも何でもあつさりと云ふ。兎角人間は間違の起る様に作られた動物であるから、間違はありそうなことだ。特に複雑なる業務を取つて居る者には間違も多い。何も間違の無い者としてゴマカサねばならぬ必要がないと思ふ。日本人はどうも所謂度量が小さい。もう世界的の國であるから、國民も今少し大きくならねばならぬ。役人でも誰でも今少し大きくならなくてはならぬ。あまりこせ／＼して居る。電車の切符の話しですが、巴里でも伊太利でも、電車の切符は、切つたら夫れぎりすぐ棄てゝもよい。地下鐵道なども同様で、極めて粗末な誰にでも出來る様な簡單な切符を切つて呉れる。すぐ棄てゝもよい。出口の處に大箱を置き、夫れに棄てる様にしてある。道々棄てると掃除が面倒だから。然し地下鐵道では、切符を途中で調べることがあると書いてあるが、調べたことは無いそうだ。乘合自動車でも同様である。地下線は均一で幾回乘換へてもよいが、車の中で棄てたりすると、切符も無しで乘換へて居る。最初に乘る者は勿論切符を切る。故に切符を切る人と、切符も見せずに乘る者とが、交り合つて這入つて居る。日本なら皆が只で乘るであらうと思ふ。只で乘れば譯なく乘れるのに、そんな小さな泥棒根性の者は一人も無い。あるかも知れないが夫れは少いもので、やかましく云ふ程でもないと見える、皆が出入口で一所におりる。ワザ／＼側に寄らなければ買へない様な處の窓で、買つて居る人の出て來る方から這入り、乘換線の處へでも行けば只で乘れる。然しそんな事をする者はない。電車も日本のより大きいが、一人の車掌が賣つて居るドアの無い處がある、そんな處から飛降りすれば何でもないが、そんな馬鹿も居らぬ。随分込むこともあるがちやんと買つて居る、博物館へ行つても、切符は賣つたまゝで取り返すことはない。公園の腰掛に金を取る處がある。掛けて居ると婆さんが向ふからヒヨロ／＼して金を取りに來る。日本であつたら「婆アが來やがつた」と云ふて逃げてしまうであらう。こゝではソンな人間も居らぬ。取りに來なければ態々持つて行つて拂つて居る。巴里でもローマでも暖いからカツフエーが歩道の上に椅子を澤山列べて居る。そこへお客様が腰を掛ける。家の中から給

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

仕人が出て來て注文の品を持つて來る。給仕人は中に引込む。夜などは隨分澤山な人が町を歩き、又た此の樣な椅子に腰を下して飲み食ひをして居る。給仕人は内に居る。中には一人位外に出て注文を聞いて居る。其椅子が二十も三十も列べてある。日本なら只飲みが澤山出來、毎晩飲んだ飲まぬで喧嘩が幾組もあるであらうが、こゝではそんな惡人は一人も無いらしい、皆が拂ふて一割の祝儀を出して行く、給仕人が居なければ呼んで拂うて居る。こんなことを見ると、日本人の敎養の足らぬことを感ずる。そんなら日本人は馬鹿かと云ふと、そうでない。日本人ほど鋭敏な頭腦を持つて居る人間は殆んど世界中にあるまい。佛蘭西人が非常に鋭敏な頭を持つて居ると云ふが、夫れが我々が日常平氣で出來る樣な暗算が出來ない。日本人は自分が言語が分らぬから、ツリ錢をゴマカされるのだと思ふが、夫れはそうでない。彼等佛人は暗算が出來ないのである。其證據にはツリ錢を多く呉れることが又た珍らしくない。巴里に十日も居り、少々ゴタ〳〵した買物をした人は皆氣付く處である。之は小なる商店に限らず、大なる店でも事によると銀行などでも、そうである。一つの仕事を始めれば何時までもそれをこつ〳〵やつて居る、と云ふのは一つは頭が惡く、日本人の樣にサツ〳〵と出來ぬからだ。其頭の惡くなると云ふ原因の一つは、食事の時に、アルコール飲料を茶の代りに飲んで居るのも一原因と信ずる。西洋人が日本の職工のする仕事を見て、日本の職工の巧にやつてのけ、西洋人なら數人の負傷者でも出來そうな事を、何のこともなくやつて行くと云ふて驚いて居る。西洋人と云ふ者は自分は大變頭のよい人間であると思ひ、大いに誇りとして居た處が、近來になつて日本と云ふものを益々多く見るようになり、日本人は自分よりももつとよくなりはせぬかと考へ、恐れを抱く樣になつた。私は伊太利で或る病院を見に行つた。案内の一ドクターが小さき日本人は到る處に居ると云ふから、私は日本人はどうも小くて仕樣がないと云ふた處、ドクターは自分の頭を指して、コヽがよいから小さくても心配はないよと笑つた。然るに日本人が現今劣つて居るのは何に原因するかと云ふに、二千年も三千年も前から續いてボツ〳〵進んで來た全く違つた國の風物を、五六十年の間に取り入れやうとするので、考へる猶豫がないからだと私は

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

思ふ。取つても〳〵取り切れない何しろ三千年も四千年もの前からであるから、夫れでなる可く考へる猶豫を作る爲めに、漢字を廢しローマ字の言文一致とし、字を覺へることも學問であると云ふ考を取り去り、事物の理を覺る事が學問であるとしたい。而して學者に澤山日本語で書いた色々の本を作つて貰ひ、外國語の本を讀まなくても、事の足りる樣にして貰へば、それで次第によくなり、ゑらくなると思

ふが御考は如何です。私なども外國語を覺える必要がなく。日本語で事足れば今頃は大した者だと思ひますが、何しろ外國語を覺えなくてはならぬので、一生かゝつてまだろくに讀めない樣な情ない仕末です。どうしても外國語を讀まなくてもよいように、日本語丈けで出來るようにして貰はなくてはならぬと思ひます。

最近の歐洲見聞記

小林準一

古い羅馬の都

二千年前に二十八キロメートル（約七里）の城壁を築き、十七個の城門を作つて外部に連絡をしたと聞くだけでも、羅馬が其時代の歐洲及其附近に覇を唱へて、世界的の都會として大なる勢力を有した事が窺はれます。私は羅馬に參りまして、ゴルデンハウスと呼ばるゝ二千六百の室を有したりといふドムス、アウレア、一時に五萬人の觀客を收容し得たといふコロシユム、一日に千六百の浴客を收容し得たと稱するカラカラ浴場、クオーロ、ロマーノ、パラテーノの宮殿の遺跡カステラ、サン・アンジエロ城・パンテオン凱旋門・其他古代の城趾・遺跡等を見て、其規模の雄大豪壯、建築の宏壯なるに一驚を喫しました。二千年の星霜で風に打たれ雨に曝され、荒れに荒れ果てゝ鬼氣人に迫る樣の現在のゴルデンハウスの如きも其當時の建築の精を蒐め、粹を凝らし、輪奐の美を極めた者であつた事は想像に難くない。それこそ西にゴルデンハウスあり東に阿房宮ありと申すべきでありませう。その二千六百の室を如何に使用しておつたかは知りませぬが、定めて數千の宮妃紅粉を粧ひ、裝を凝らして皇帝の御幸を待つた事もあらう。綺羅を飾つた妃嬪數百を牽ゐて、此宮殿からつい目の先のコロシユムに、獅子に人を喰はすの暴虐を敢てした皇帝もあつたとやら、羅馬の古趾に立つて四顧すれば、漢詩の

去者日以疎。來者日以親。出郭門直視。
但見丘與墳。古墓犁爲田。松柏摧爲薪。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

白楊多悲風。蕭々愁殺人。思還故里閭。
欲歸道無因。

といふ詩を思ひ出して感慨が深かつたのであります。カタコムベ・サン・カリストスといふ所に參りますと、上は普通の畑になつておりますが、其下には隧道を設け無數の室があります。紀元三世紀時代、耶蘇教の迫害されおるときに、信徒が地上に住む事が許されず、こゝに住みて耶蘇教の傳導をしたものとか聞きます。多くの墳墓も中にあつて、棺や人の骨等も澤山に見ました。八幡の八幡知らずとやらと同じ迷路で、知らぬ者が這入りましたら迚も出る事は出來ないでせう。僧侶の案内で細い蠟燭に火を點じ、見物人を國語で別けて、伊太利語の組、英語の組、獨逸語の組としました。私は其獨逸語の案内の僧侶について入りました。丁度善光寺の戒壇巡りの樣に、眞暗の二階三階になつておる所を、案内者に續いて説明を聞きながら視察しました。かゝる不自由の生活をしてまでも、其信仰に殉ずるといふ事は、一面肉體の上には非常の苦痛なるは言ふ迄もありませぬが、其熱烈なる信仰の爲めで精神上には滿足し、安心立命して生涯を終つたのであらう。迫害した人も迫害された人も、僅かに百に滿たざる生涯の人間です。未來の世があつて、死後同じ處に落ち合つたらば、何んな挨拶をなし、どんな態度を執つたものであらう。などゝ考へると又た無限の興味が涌いて來ます。死後の事は措て置き、現在地上に此双方の人が何れも白骨となつて横つておるのです。面白い人生ではありませぬか。羅馬を建設する際、誰か羅馬の滅亡を豫期しませう。萬世に彌や榮えに榮えると考へたでせう。榮枯盛衰は世の習ひです。興亡隆替は免かるべからざる運命です。羅馬が天下を統一して勝ち誇り、泰平の打ち續きて何時しか儉素は奢侈となり、勤勉は放逸と變じ、質樸は淫蕩と化し、文官は錢を愛し、武官は命を惜しむに至り、一日にして建設せられたるものに非らずと稱せられし羅馬も、一日に滅亡したるものにあらざるなきか、盛者必衰の理、獨り羅馬のみにあらず。羅馬の遺跡を見て感慨を深ふしました。深く私自からの規箴としたいと思ひます。

羅馬の歷史や地理を私は具體的に書く時間を持ちませぬ。亦こうした事は歷史・地理又は案内書の範圍です。世界歷史や世界地理に依りて詳細は研究す

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

べきであります。又案内書として歐洲で一般に廣く用ゐられておるものはベデカーの案内書で、之は英・獨・佛語で書かれたのがあつて、旅行者に取つては非常に便利の者であります。名所故蹟及其歴史地理より鐵道電車其他交通機關・ホテル・パンシユン・カツフエー等に至る迄、詳細を極めたものであります。多分東京の丸善あたりでも賣つておると思ひます。日本の案内書にあんな細かい案内書を見た事がありませぬ。寧ろ詳細に過ぎて要領を得るに困る事があります。各國の分に別けて伊太利の如き三冊になつて居るのと、一冊になつて居るのとあります。無論英國とか獨逸とか各國に別れて居ります。歐洲の分の外に米國の分もあります。外國へ旅行せんとする方の爲めに御紹介する次第です。但し地理書ではありませぬから、地理を研究する事は矢張り地理書が宜しうございます。

九月末頃の羅馬は日中は暑く八十度近くです。そして時々夜に入りて隨分ひどい夕立があります。植物などが何となく熱帶じみて居ます。柿の木の枝もたわゝに實つておる路傍樹を見ました。隨分面白く感じました。英國では柿は温室の中で實つて居るのを見ました。

新しい羅馬の都

古き世界の羅馬が滅びて後、新しき羅馬は伊太利の羅馬として再び興りました。羅馬は今より五十四五年前には人口僅かに廿萬に滿たなかつたそうです。伊太利統一行はれて、現在の伊太利は廣さ約十二萬平方哩、人口約四千萬、國の長さは約七百哩であるそうです。羅馬は現今人口八十萬と稱する（郊外を合算したる者と思量す）迄の大都市となつてゐます。古き羅馬の滅亡後、久しく羅馬法王の所在地として、宗敎隆盛の時代に繁昌したのが、現今では法王の勢力は昔日の如くならざるも、伊太利皇帝の宮城所在地として伊太利の政治の中心として、且つ十九世紀より二十世紀に於ける都會集中の傾向の爲めに、日に増し人口を増して再び今日の隆盛を見たのでありませう。「人生は短く藝術は永し」と聞きましたが。私は羅馬を見て其言の適切なるを感銘しております。羅馬時代の英雄豪傑の事蹟は、歴史の頁を飾るのみにして、今其の影と形とを見るに由なしであります。無論英傑の事業は形而上にこそ顯はれ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ておらぬにしても、今日の文化文明及び人間の精神に對する感化の絶大なる事は言ふ迄もありませぬが、二千年後の今日、大家巨匠の手になりたる建築物や、彫刻・繪畫等が現存して羅馬を飾つておる事は、藝術の永遠なるを明かに證明しておるのではありますまいか。

羅馬は古代の藝術と宗教上に於ける法王の勢力と、現代文明の都市計畫とによりて、新らしき今日の繁榮を爲しつゝあるものと存じます。現今の羅馬其のものは例へ八十萬と稱する人口が百萬であつても、歐羅巴のロンドン・伯林・巴里に比して、量に於ても質に於ても劣るといふ事は、如何に贔負目に見ても爭ふ事は出來ませぬ。或人は羅馬を人間にたとうれば、年金で生活する樣な者だと評しましたが、評し得て面白いと思ひました。羅馬が古代文明の遺跡を有するが爲め、並に法王廳の所在地として古來宗敎の中心であり、從つて此關係より世界各國から其遺跡を見んが爲めの遊覽客及び法王廳に關係ある人々の頻繁な往來が羅馬の繁榮を助けること頗る大なるものがありませう。併し年金を有するもの丶多くが其れのみで生活する事が出來ず、他に收入の道を求める樣に、羅馬自身の存在の爲めに市民が努力しつゝあるは勿論であります。新らしき羅馬の都は以上三者が集まつて出來上つておるのではありますまいか。羅馬隆盛時代の遺跡は古代の文明を知らむとする者には見逃すべからざるものであります。我國の奈良朝時代の建築物があれだけに發達しておりますのを見ますと、其以前に於ても建築・彫刻・繪畫等が隨分發達しておつたのではないかと想像されますが、惜いかな我國の建築は木材であつた。木材であつた爲に永久に殘らなかつたのであらう。羅馬に於ては二千何百年の昔より、瓦やセメントの使用法が知られており、且つ石材就中大理石や御影石の產出が盛んで不燃質の材料を用ゐた爲めに、二千餘年を隔てた今日尙ほ其の偉大なる建築物の遺跡を見る事が出來るのでありませう。我國には木材の代りに此の材料を用ひてあつたならば、世界に誇るべき建築物を見る事が出來たであらうに、繪畫及彫刻に於ても同樣の痕があります。宗敎の中心としての羅馬に大小何百個寺の寺院があつて、夫れ〳〵特徴ある建築物をなしております。私は十個所位代表的とも見らるべき寺院を一見しました。其内でも法王所在

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

地のサン、ペトロ寺院と外にサンパウロ寺院では最も雄大なる建築物で、殊にサンペトロの寺院の如きは其宏壯なる事と輪奐の美を極めた事とでも、私の貧弱なる頭腦の辭彙に之を形容すべき言辭を發見しませぬ。サンパウロの大理石の柱は有名のもので、大なるは周圍三・七五米突と聞きました。其一本の柱たりとも伊太利なればこそ、信仰の力なればこそと思はれる程のものばかり、能くもあんなに蒐め得たものと嘆賞せずには居られませぬ。此の兩寺院の如き、建築家や美術家の眼より見たらば、實に絶大の價値あるものだと思はれます。之に附屬した彫刻とか繪畫とかゞ又た嘆賞に値すべきもの丶みで、羅馬が美術の粹を蒐めた都であると云ふ事は、素人の私でさへ充分に認める事が出來ます。博物館も四箇所程見學しました。有名なるバチカン博物館に陳列してある美術等は、熟れも得難き珍寶でありませう。人口に膾炙しておる事ではあるが、伊達政宗公より法王に支倉六右衛門を使者として、修好を求めた書面も陳列してありました。ミケランゼロの四年掛つて出來上つたと云ふ壁畫の大作の如きは、私は之を評する言葉を知りませぬ。是等古代の遺跡及宗教に關係して出來上つておる美術品は、羅馬自身の將來の繁榮と發展との爲め、將又た世界の美術を愛する人の爲めに、適當の保護と奬勵とを加へて、永久に保存し維持せん事を希望するものでありますが、古代の遺跡の如き、宏大に過ぎて之を保存するに多額の費用を要すべく。又た信仰心の衰へたる今日宗教によりて發達し來りたるものを維持し保存するといふ事は、獨り新しき羅馬の都のみでやり通す事は容易ならぬ事で、伊太利全國で一致協合して之に努力せねばならぬ事と考へます。羅馬自身の繁榮を圖る事は無論市民の義務でありませう。四千萬の人口と十二萬平方哩の土地とを包擁する主都として、羅馬は尚ほ發展の餘地があるでありませう。羅馬が古代歐州に於て希臘に次ぎて發達した事は、氣候風土の爲めもあつたであらう。又た地中海に面した東洋古代の文明の諸君と交通の便利の爲めでもあつたであらう。現今の伊太利の氣候風土は其時代と變りはありますまいか、私の見た處では伊太利は中央歐羅巴諸國に比して、土地も瘠せて生産力が少なからうと思はれるし、陸地の交通は不便でもあります。氣候は暑きに過ぎて動もすれば人間の精神と身體を疲

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

勞せしめ易い。伊太利人が怠惰であるといふ事は、一つは氣候の温度の高いのにも因る事と思はれますが、亦一面には氣候の暑いといふ事は、天惠が多いのであるともいはれます。伊太利全國から見て、國内の道路交通運輸等に、少なからず費用と勢力を費やさなくてはならぬと思はれます。教育を普及するにも尚一層の努力と出費とを要すると考へられます。伊太利が歐洲各國に伍して後れを取らぬといふ爲めには、多くの奮勵努力を要する事でありませう。其主府たる羅馬も同樣なるは勿論と考へられます。

尤も文明は人力を以て自然を制する事が出來るのですから、河川の如き急流である丈け之れを利用して動力を起す事も出來ませうし、之を改修して舟楫の便を得るにも至るでありませう。現今に於ける伊太利は中央歐洲の各國に比して程度の低い生活に甘んじ、一層の奮闘努力を要するのではありますまいか。羅馬が古代の美術の墳墓たるに甘んせず、年金で生活する如き姑息の狀態に甘んせず、羅馬は羅馬人の努力に由りて一層健全の發達を遂げん事を祈つておきます。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

熱帶學校園の話

臺中師範學校教諭　福原與之助

第三　教材園

直觀的教材が多大の效果あることは、今更喋々するまでもないことであつて、適切な教材を適所に排列して、巧に之を利用することは教育上最も必要なことで、其の任に當る教育者が常に注意して、任務を果す可きは當然のことである。而して學校に於ては、校庭の周圍又は、農園の一部に之を設けるのが適當であると思ふが、また、教材園の名稱のないものも亦教材の一部に利用することは差支ないのである。又教材園を教材として、利用する許りでなく、風致、實用的の意を兼ねて作ることも差支ないのであるが、大體に於て、教材を主として作るがよい。

或る種の人は、教材園を學年別にするのがよいと云ふが、實地に當つて各學年別にすることは極めて不經濟で、經營が困難である。それと云ふのは教材は時々學年の異なるものと同一なことがあつて、むしろ共通にした方が遙に便利であると云ふことを思はせるのである。

教材園以外のものでも必要なことであるが、特に教材園に必要と思ふのは、名札である。風致園や、花壇にも此の必要を認めることがあるが、成る可くは此の教材園にだけ設けたいのである。尤も風致園の或る部と運動場の或る部には、多少設けても差支はあるまいと思ふ。其の名札の形狀や材料や書式や、建場所等は、別に之と云つて決定して居るのではないから、各校勝手なものを行つてよい譯であるが建てる場所としては、實物の右側(向つて)が普通である。記入事項も澤山あるが、先づ、其の物の名稱・科

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

名・用途・原産地等を記入して、其の他の學名等の記入は、小・公學校では必要がないと思ふ。札の形は任意でよいと思ふが只白ペンキを塗ることは、他の物との調和が取れる樣である。用材は、檜・紅檜等がよろしい。

尙敎材に關係の深いのは、園用掲示板である。此の掲示板には常に觀察研究の注意事項を書いて、兒童に注意を與へ、隨時適當の說明を加へて、自由研究させることは面白い、又必要なことであると思ふ。或ひは關係の深い氣象の掲示をするもよいと思ふ。

第四　任意園

校庭の一部を利用して、芝山、或ひは森林等を設けて兒童を自由に遊ばせることが必要である。或る人は砂山を設けると子供は天眞爛漫になつて遊ぶからよいと云ふ人もあるが私は砂山を設けることは特別の場所にある學校の外は望ましくないと思ふ。砂煙の場所をわざ〳〵設けることになると思ふ。必ずしも砂山でなくとも芝山でも、充分效果があると思ふ。それに風致を兼ねた、森林的設備や、小川や、日陰棚等があつて、相當に變化もあるので、更に效果があると思ふ。

第五　蔬菜園

日常副食物の主位をなす作物を栽培する所で、趣味と實益を兼ねたものである。栽培す可きものは肥培管理の容易なもので、結果が早くて、經過中に變化が多く、結果の見事な、容易に用ひられるものがよい。珍奇なもので利用の不確實なものは避けるがよい。適當な材料としては菜菔・馬鈴薯・甘藍・菘類・大豆・胡瓜・南瓜・冬東瓜・茄子・甕菜・里芋・葱等がある。

蔬菜園の位置・地勢・氣候等も亦よく調査して決定することが肝要である。位置としては、一般に農園の一部として設けられるのであるが、又時としては校舍の裏庭に設けられることもある。園內には苗床の部と、見本園と、兒童各自分擔の部と、共同分擔の部を設け、特に新品種等の試作の爲めには試驗園を設けるのもよい。苗床は花卉、果樹の苗床と同一の所にまとめて設けるのが便利で、且、農園の整理が出來る。地勢は、多少東南に傾斜して北に山又は林のある場合は好都合である。地味は肥沃な所がよいが、理想の土地は、なか〳〵ないから堆肥其の他、有機質肥料を施し又は、耕耘等をして理想に近い樣にするがよい。排水不良の土地には排水設備が必要

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

である。蔬菜類は他の一般の作物に比較すると、集約な管理手入の必要なものであるから、之を怠らず努めるがよい。

生産物の利用法であるが、それは、一部は各自に配布し、一部は試食用として、職員生徒一同が互に苦心した丹精話等をするのも面白い、有益なことである。尚一部は品評會を開いて、優良な生産品に對して賞用を與ふる等は各兒の奬勵になる。尚一部は販賣して、品評會の賞用、其の他、經營に必要な場合に使用するとか、或ひは貯金して不時の用意をして置くのもよいと思ふ。

要するに蔬菜類は、比較的、短期日に結果が見られ、收益が早く見られるもので、兒童の趣味が起り易いものであるから、よく注意して、指導して、充分の趣味を養ひ、集約な管理手入法の技術を練習するのもよい。兎に角蔬菜栽培の作業は、兒童の作業中その首位にあるものであるから指導者は、充分に力を注いで、其の効果を擧げられたいものである。又蔬菜栽培中には、理論の説明だけでは不可解な、連作の害や、輪作の利益を説明するに好都合である。それは蔬菜は他の作物よりも連作の害を受け易いからである。

次に連作と輪作について述べよう。年々同一作物を同じ土地に栽培するのを連作又は連栽と云ひ、年々交々作物を換へて栽培して若干年の後順次舊の作物を栽培するのを輪作又は輪栽と云ふのである。一般の作物は輪作するのが常であるが、或種の作物は連作しても差支はなく却つて成績のよいものもある。次に輪作の必要と、連作して差支のないものと、其等の實を述べることにする。

(イ)輪作の必要　一般の作物は、其の種類の異なるに從つて、土壤中から吸收する營養分の種類や、分量や、吸收する深淺の差があるものである。又、生育中に蒙る敵害卽ち蟲害や病害、微生物及び雜草の害を異にするものであるから、同一の土地に栽培する作物を順次取換へる時は、地中竝に、施用肥料中各種の營養分を經濟的に吸收利用することが出來、又、前作物の遺留した害敵に抵抗し、之を減少終熄せしめ得る利益もあり、又、各種の作物の特性に應じ、或る時は深耕或る時は精耙するので土地の理學的性質を改善し、又、夏作をなし、或ひは冬作をして、土地・勞力・資本等農業經營上の諸要素を四

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

時均等に利用し得るの便利があるので一般に輪作を行ふのが原則となつて居る。

(ロ)連作して結果の良好なもの　前にも述べた通り一般に各種の作物は輪作するのが原則で、連作をする時は、その結果は不良となるものであるけれども或種の蔬菜類の中には、却つて連作した爲めに優良な成績を現はすものがある。

(1)牛蒡は連作すると、輪作した時よりも、色澤の優美な、肉質の充實した、形の長大なものが得られるのである。

(2)甘藷は數年間連作する時は、收量は多小減少するけれども形は中位の、外皮の滑かな、貯藏力の強いものが出來る利益がある。

(ハ)輪作の必要なもの　一般の作物は輪作が必要であるが、その中でも特に其の著しいものを擧げれば次の樣である。

(1)一年間休栽すべきもの、

亞米利加防風・波羅門參・薑・甘露兒・菊于・葱・薤・塘蒿・波稜草・防風・苦瓜・大豆等である。

(2)二年間休栽すべきもの、

馬鈴薯・蕃藷・胡瓜・蚕豆・鵲豆・落花生・豇豆・刀豆等である。

(3)三年間休栽すべきもの、

里芋・料理菊・甜瓜・越瓜・蕃茄・蕃椒・菜豆等である。

(4)五年以上休栽すべきもの、

西瓜・茄子・豌豆等である。

要するに十字花科・百合科・繖形科の作物は連作の害は比較的少なく、荳科・茄子科・葫蘆科・菊科の作物は連作を忌む傾向が強い樣である。又深根のものは、淺根のものに比較すると連作の害が多く、又、生長期間の長いもの及び、夏季生育する蔬菜類は連作を忌むことが強い樣である。

(ニ)輪作の例　例としては、學校以外に立派な例はあるけれども次に、臺北師範學校で行つた例を示すことにする。

(1)夏作に甘藷、秋作には葱、(在來種及び根深葱)、

(2)夏作に瓜類秋作に葱、(前同)、

(3)夏作に甘藷秋作に白菜類、

(4)夏作に甘藷秋作に甘藍又は花柳菜、

(5)夏作に蕃茄又は、茄子、秋作に白菜、又は葱、

(6)夏作に里芋秋作に、白菜、又は甘藍、

以上は夏作としては殆んど甘藷であるが學校はに

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

月二十一日から八月二十日迄で休暇で其の間成る可く手入の入らない、雜草の繁茂しない、且つ相當の利益のあるもので其の需用も多いため甘藷を夏作とするのが學校農場の經營上策の得た事と思つたためである。

尙栽培作物は二種で一年間を過ごすことになつて居るが、更に多くの種類を栽培することは差支ないのであるが、學校としては、多數を栽培することが困難であるから少數の種類の栽培法をよく習つて他の作物に應用する計畫であつたからである。

第六　果樹園

果樹園も蔬菜園と同様に、農園の一部又は、校舍の裏庭に設けるもので、多少その結果を見るまでに年月が、かゝるが、栽培作物が皆短期間に結果の見ることの出來るものだけでなく、種々あることも必要である。果樹園に於ては、苗床と、見本園とに分けて、作業は團體作業を行ふのがよいと思ふ。栽培す可き果樹としては、柑橘類・芭蕉・葡萄・木瓜・楊桃・蓮霧・果物時計草等がよいと思ふ。そして、接木・芽接・插木・取木等の繁殖法の實地敎授することが大切である。尙葡萄の様な蔓性のものゝ誘引法の指導も出來、又剪定法の作業も練習することが出來て、初めは多少困難なこともあらうが上級兒童には趣味を起させるものと思ふ。又病蟲害の豫防・驅除法等を行ふにも便利が多い。

特に面白いのは、果樹を栽培して、其の下に鷄を飼つて見たり、蜜蜂を養つて卵や蜜を得るのも趣があり、且つ、土地の垂直的利用法の說明にも便利であると思ふ。（鷄は蜜蜂を害しないから安心である）

第七　學林

花卉・蔬菜・果樹等の様に結果の早く見られるものも必要であるが、百年の計を立てゝ、學林を設けることも趣味の深いことである。今こそは、皆兒童であるが、四・五十年後には皆相當の年輩になつて、社會の相當の地位につく人であつて、それが、互に昔を語る愉快はまたと得られないことであらう。そして、昔は幼少な苗木が、現今では、校庭の一部の森林的風致園となり、學林では大森林となつて、さながら昔を物語つて居る有様を見る時に、それを管理手入を盡した人々が眺める場合には自ら云ひ知らぬ愉快を感ずるであらう。

そして、適當の場合に、賣却して、學校の基本財

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

產を作つて、物質的にも學校の品位品格を高めることも樂の粹なものであると思ふ。

學林を設く可き位置は地方の事情に依つて、一概に云ふ譯にはいかないが、成る可く、經營に便利な、學校に近い所がよいが、止むを得ない場合は此の限りでない。面積も各地方に依つて、適當に廣くするがよい。狹いよりは廣い方がよい。栽植す可き樹種は各地適當なものを採用するがよいが、次の樣なものがよい。

樟・相思樹・扁柏・竹楠・木麻黃・楝・チーク・榕樹・臺灣赤松。

第八　動物園

動物園と云ふと大變大仕掛けの樣に思はれるが、養鷄・養蜂・養豚・淡水養魚を主として行ふのである。

(1)養鷄　敎材用と、觀賞用と、實用とを兼ねたもので適當の鷄舍を設けて、各種類を飼ふがよい。

飼養の種類としては、

肉用種として、コーチン、ブラマ、

卵用種として、レグホン、ミノルカ、アンダルシヤン、

兼用種として、ブリマウスロツク、ワイアンドツト、ナゴヤコーチン、

愛翫用種として、チヤボ、

尙鷄以外に、鵞や鶩等を飼養するもよい。

養鷄上特に注意す可きは、鷄の淸潔と濕氣である。一週一回は必ず大掃除を行ひ、土地の濕氣は健康を害するから砂利を敷いてやることも必要である。

(2)養蜂　初春の折柄幾多の草木が皆新しい芽を出し、花を開いて居る所へ、蜜蜂が無心に、蜜や、花粉を集めて飛びまわつて居る光景は何とも云へぬ、氣持のよいものである。

養蜂所は果樹園又は、花卉園の樣に花の多くある附近がよい。種類としては、イタリヤ種がよい。蜜蜂は春三月頃になると新女王が出來て分封(房)するから、此の際よく注意して分封(房)させてやることが肝要である。

(3)養豚　農園の廢物利用に依つて、一・二頭の豚は充分養ひ得るものであるから、附近に豚舍を設けて、實用と敎材用にするがよい。

飼養種類としては、本島在來種と、バークシヤとヨークシヤがよい。特に前二種がよい。そして繁殖用以外の豚は、肉を主とするものであるから皆去勢

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

するがよい。其の方法の大略を次に述べることにする。

豚の去勢と云ふのは牡豚に於ては睾丸を拔き去り牝豚にあつては卵巢を剔り去ることで要するに生殖器管の發動を防止することで牡牝共に行ふものであるが一般には牡豚に行つて牝豚には行ふことが少ないのである。それは牝豚の卵巢を剔り去るのは牡豚の睾丸を拔き去るよりも困難で素人には出來難いのと去勢しても牡豚を去勢をした樣に效果が多くないからである。次に牡豚の去勢法を述べ更に其の效果を說くことにする。

（イ）準備　去勢に當つては生後七八週間を經過した牡豚と助手二人と銳利な小刀と鋏とタールを少し用意するがよい。

尤も豚は生後二週乃至十週間位までのものを去勢するが幼少の時は睾丸の發育が不充分で把握に困難であり又成長したものは睾丸に關係した諸組織が强靭であるために手術が困難であるから前記した樣に生後七八週を經たものがよろしい。此の頃に達したものは睾丸の把握にも困難を感せず又之に關係ある諸組織もあまり强靭でなく全身の發育も强壯であるから適當な頃である。

尙去勢する前に一食を控へさして置く時は手術後直に食物を食べるので割合に好都合である。去勢する場所は豚舍內でも舍外でも何れでもよいが塵埃の立たない所で風の成る可く當てない所がよい。一日中では午後行ふよりも午前中の朝で晴天無風の日がよろしい。それは朝は豚の氣分もよく又手術後の豚の狀態を視るにも便利である。

（ロ）手術　手術するには豚を横臥せしめるか又は仰臥せしむるので助手が居ない場合に四肢を杭に縛つてもよいが生後七八週位のものは手術者自身の膝の間に挾んでもよろしい。助手の居る時は助手を坐らせて豚の頭を助手の方へ向け仰臥したものをしつかり抱かせ右の手で豚の左側の前後肢の足頸を握らせ左の手で右側の前後肢の足頸を握らせると助手の手は豚の腹の上で交叉して居て豚の動くのを防ぐに好都合である。

そこで手術者は微溫湯で陰囊や其の附近を洗滌し豚の右側に膝をついて左手で睾丸を皮膚の上から握り出して其の根元を固く握つて睾丸の眞中を縱に切るのであるが睾丸は皮膚の次に肉樣膜次に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

腱膜次に莢膜(固有膜)に包まれて居るのであるから此の手術の場合には此等の膜を順次に切つて之をよく傍觀者に見せるがよい。そして莢膜を切り開いて左手の指先で少し壓すと睾丸は創口から出て來るから之を右の手の掌に取り急に引き拔いて其の時に左の手で創口をおさいて出血を止める。かくして他の一方の睾丸を拔き去つて創口にタールを塗つて靜かに放してやれば豚は殆んど苦痛とも思はれない樣に歩いて行くのである。此の方法は創口を二つ作るので複創式と云つて居る。此の方法は多少豚が弱るが手術の熟練しない人には比較的行ひ易い方法である。

單創式と云ふのは左右兩睾丸の間にある正中線の上からその線に沿うて切り開き一睾丸づゝ其の切口に向はして次に睾丸を被うて居る膜を切つて前と同樣に引き拔いてタールを塗るのである。(又は食鹽を塗つて置くがよい。)

更に二三箇月を經過したものに手術する場合には睾丸を拔き取るのに困難であるから睾丸の下に著いて居る精系の後半部を鋭利な小刀で切り前半部は七八回捻じ廻して捻ち切るがよい。

(ハ)效果　去勢された豚は溫順で管理が至つて容易であり且つ營養分を多く消耗するが發情をしないから肉と脂肪とが蓄積されてよく肥滿し筋肉纖維は微細となり香味はよく牝豚の肉に優る良質の肉が得られるのである。又外貌氣質等は牝に類似して四肢頸頭等は細く其の他の部分は肥大するもので姙豚と共に同一舍内に置いて姙豚の寂しく感ずる際には好侶伴となるものである。

去勢して、數箇月後は成るべく運動をさせないで多少暗い室に置いて、營養分を與へて、肥滿させることに勉めるのである。

(4)淡水養魚　沼澤の利用の出來る地方では、養魚を行ふのもよい。又プールの設備のある學校でも鯉や鮒の樣なものを養つて教材用とし、又、風致を添へるのも趣のあることである。

詞苑

蘭陽客舍題壁

小松天籟

此地居官記昔時。重來題壁感淋漓。白頭父老應相識。認取孤松醉後詩。

樂園縱筆

春服新成鳥語柔。此行快似浴沂游。樂園々裡銜盃日。絕勝人間萬戶侯。

樂園主人侈植櫻花余來時花期已過十日乃有是作

繞屋櫻花處々栽。花時如錦畫圖開。即今滿地皆新綠。伴著青山帶笑來。

代杜博士賦贈美術家王逸雲先生

林石崖

千秋不朽名。豈必盡功德。藝術苟能工。亦足垂無極。偉哉逸雲君。雅善輞川筆。天地寫自然。芳華本秀實。驚江十傑中。名品誰居右。生面更別開。驅遣胸中有。美麗寓真理。變化通靈源。我欲窮奇妙。揮毫聽細論。

題星橋詞兄所作春景畫本

槌本蟾洲

滿江春水柳生煙。何處漁歌斷復連。有客維舟芳草岸。沙禽驚起夕陽天。

偶成

柴門茅屋遠氛塵。寂寞孤村翠意新。一笛牧童過陌上。半肩樵叟度溪濱。雨昏垂柳梳青髮。風動疎梅綻絳脣。半日逍遙遊何處。思詩目送往來人。

寄懷墩山諸吟友

柳田陵村

偏憫公餘執筆呵。音書杳絕隔山河。花飛淡北春將暮。藉問東墩近若何。風流意氣未消磨。好向林泉載酒過。回憶墩山遊宴日。久隨琴鶴共吟哦。

十春詞

陳文潜

春山

懸崖絕壁樹參天。排闥欣看黛色妍。四面雲峰青嶂合。眉彎寫出翠微巔。

春江

綠波瀰々遠連空。戲水鳧雛弄曉風。流出大荒三十里。浣花時帶落霞紅。

春燕

補巢雙語說南來。惆悵雕梁夢已摧。應是主人情太重。烏衣巷口去猶回。

春雨

瀟々萬點打窗櫺。染盡遙山草色青。鎮日愁情閑鎖住。苔階時看鶴梳翎。

春雪

繽紛大地景如銀。萬樹花開喜報春。不有飛花看六出。豐年佳瑞報人真。

春柳

絲々垂綠滿長亭。雨後濃添色更青。可惜春心難繫住。牽人情處送人行。

春月

露冷天街夜已深。冰輪皎潔刻千金。添將樂事平分好。共把春光話素心。

春夜

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

捲簾獨坐讀詩篇。料峭東風入酒筵。
月照中庭愁不寐。玉簫吹徹畫樓前。

春陰

暗鎖陰雲景色沉。柳眉不展日成陰。
花情脉々人情惻。相對無言一樣心。

春遊

花紅柳綠景清幽。勒馬春郊肆意遊。
踏遍平原芳草地。聽鶯載酒曲江頭。

田家行　　杜仰山

春日遲々芳草色。大道西行如髮直。
柴門隱約故人居。雞犬桑麻隔城北。
主人與客別經年。握手言歡意自得。
剪將春韭煮官醪。更爲殷勤道稼穡。
春耕秋斂冬復藏。終歲勤勞少暇食。
細彼鐘鳴鼎食家。粒米艱難寧復識。
我聞此語三嘆咨。富極贏餘貧窘逼。
博施濟衆病未能。古往今來曷有極。

春宵遊草山聯吟

冒雨驅車到草山(少西)。山花爛漫水潺々(子聰)。春光引我來風沐(添花)。消受忙中一日閒(由愷)。
山自青々水自流(阿却)。蘭亭修禊約吟儔(由愷)。同行喜有佳人伴(少西)。不負芳春此一遊(子聰)。
延賞風光此地來(鴻謨)。巴山夜雨共含杯(由愷)。櫻花濃艷春二月(子聰)。飽玩何妨幾百回(少西)。
聯鑣十里趁春光(子聰)。紅袖青衫共一行(鴻謨)。莫使此遊嗟險阻(少西)。吾儕原不是王陽(由愷)。
爲愛山光赴遠遊(添花)。連床共話一宵留(鴻謨)。人生能得幾回樂(子聰)。對飲無須學楚囚(由愷)。
細雨霏々夜色清(子聰)。電球閃閃放光明(鴻謨)。憑欄試向庭前望(由愷)。萬木蘢葱倍有情(少西)。
挑灯旅館夜遲々(子聰)。挾妓來消一局棋(少西)。只恐山靈還厭俗(鴻謨)。故將濃霧掩丰姿(由愷)。
有花無月鳥孤鳴(添花)。姑惡何來此惡聲(由愷)。我自高吟偏不管(少西)。分箋刻燭到天明(子聰)。
回車曲折似旋螺(鴻謨)。乘興歸來且放歌(由愷)。雨後山光青欲滴(子聰)。吟懷瀟洒喜如何(少西)。
萬山如沐樹鮮妍(子聰)。久雨初晴白滿川(添花)。檢點奚囊詩料富(少西)。途中風景本天然(由愷)。

輓潤花先生夫人　　劉振傳

魏家有賢母。令名遐邇傳。相夫勤內治。教子義方賢。淑德閨里範。宜家孝道全。比隣十餘載。和氣常藹然。荊妻蒙見愛。猶如妯娌焉。何期罹一疾。臥榻幾秋前。宜爾膺多福。胡天不假年。瑤池西母召。音容杳雲煙。神傷聞薤露。洒淚寫哀篇。

春鶯吟上巳小集

春鶯吟發生以來與會者皆南社舊展少年別張一幟晦明風雨互相磋磨每當春光三月上巳良辰輒仿蘭

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

亭故事以求友聲不謂春光易逝人事多遷倏忽之間少者壯々者且物化矣碧翁胡不情至是也乙丑上巳鐵濤君回首前塵屈指吟儔僅餘七子因約同人復爲斯集賓主一堂亦祇七人耳乃以子曰作者七人矣爲韻各拈一字各賦七律一章余拈得子字率成一律而述其略

(得子字)　雲石

歲々春三逢上巳。年々禊事餘諸子。
年歲催人々事催。青春日去紅顏萎。
豈獨春闌鶯不嬌。可憐鶯老春寧綺。
蘭亭雲散迹無存。蓮社風流存有幾。
君悲髮短我鬢皤。年歲春吟同樂此。
百年詩債未能酬。萬歲詩魂長不死。

(得曰字)　鐵濤

歲月背人去忽々。鐘聲東海未消欸。
且將詩卷問青天。莫管鏡銅生白髮。
雲散風流剩七人。鶯飛草長方三月。
年々窠臼腐文章。猶仿蘭亭作序曰。

(得作字)　少雲

共追逸少蘭亭約。我輩星辰歎寥落。
行樂及時強歡娛。舊遊回首感蕭索。
無端燕閙又鶯啼。苦憶戀戀兼鳳泊。
俯仰人間極愴心。痛索詩腸更詩作。

(得者字)　子宏

此調埌々嘆和寡。哀吟淒絶孟東野。
寥落春城惜友稀。蒼涼大塊空吾假。
分飛痛憶籠中鷴。老矣深慚櫪下馬。
回首蘭亭剎那間。舉杯誰是達觀者。

(得七字)　恨人

上巳春風花草茁。春鶯十羽高留七。
無窮恨緒藉詩生。有限才華因酒逸。
慨世懷時吊古今。高山流水感琴瑟。
不堪俯仰憶蘭亭。天地茫々何所恤。

(得人字)　小封

三月嵌南絶好春。嬌鶯乳燕樂天眞。
山嵐一角還如舊。毛髮千莖逐日新。
柳汁彈袍虛故夢。杏花墜溷化香塵。
今來重寫蘭亭序。席上何堪止七人。

(得矣字)　仁珍

笙簧巧囀鶯呼起。少長一堂醉上巳。
天朗氣清足騁遊。鶯飄鳳泊餘幾子。
詩成歲々詠流觴。花落年々悲逝水。
俯仰興懷感慨多。鏡中白髮人老矣。

偶成　澤谷星橋

病鶴年來羽翮殘。飄零顧影自悲歎。
匡床弄石頻終日。臥看東南一角山。

近聞讀古村莊主人苦雨閉戶日夕畫竹觸盡皆是余以病不能過從快所欲覩詩以寄之

念我古村金石友。空齋寥落如山叟。
踞床畫取千竹竿。揮筆還傾百壺酒。
常時臥雨門不開。門前徑石荒蒼苔。
嗟余老病何時愈。夢寐相思歸去來。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

島情

金融統計

臺灣總督府財務局金融課

◉銀行預金貸出金殘高

▼大正十四年二月末島内各銀行預金貸出金殘高左の如し

種類	金額	種類	金額	種類	金額	種類	金額
公金預金	四、八七七、〇八五円	證書貸付	六六、一七四、八〇五円	預金手形	一、五一八、五三三円	買入外國爲替	一、〇一七、一三五円
當座預金	三、〇三五、九四三	手形貸付	五〇、二三九、九八三	日本銀行預金	三、二九一、二三〇	日本勸業銀行代付	四一、二九一、七三九
特別當座預金	二九、九二〇、一一〇	當座貸越	二三、七六一、四〇三	貯蓄預金	四、〇六二、六九四	貯蓄銀行貸付	一、六〇一、二四六
通知預金	三、二二一、九七八	割引手形	一〇、八六三、九一四	合計	九四、七七七、五三九	合計	二九二、二四七、〇一三
定期預金	二〇、二八四、五九〇	荷付爲替手形	一七、七四一、七四〇	前月	九五、五八五、一一三	前月	二九二、三〇四、五七八
別段預金	五、二五四、三八六	利付爲替手形	一、四八五、〇八二	前年同月	八三、〇一三、六八二	前年同月	二〇四、七一一、一二九

（備考） 日本勸業銀行貸付には臺灣銀行取扱の代理貸付を含む。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

▼之を地方別に示せば左の如し

州廳別	預金	貸出金
臺北州	二五、六六〇、七八〇円	一七四、〇五六、九二〇円
新竹州	四、九五〇、一三三	一三、四三三、〇七七
臺中州	一六、三二一、七六八	三三、六九七、九四九
臺南州	一五、四二四、八〇三	二六、七二七、八七九
高雄州	六、〇七四、三五七円	三〇、八四〇、三六四円
臺東廳	三四七、二四九	三、三七四、三二七
花蓮港廳	九九八、二四〇	一、〇七二、五三七
合計	六九、七七七、三二九	二九二、二四七、〇一三

◉重要物產に對する各銀行の放資額

▼月末殘高（大正十四年二月末）

品名	大正十四年二月末	前月	前年同月
米	一八、七二〇、二〇八円	二〇、三九八、六六七円	二〇、三三一、四三〇円
砂糖	四八、四六六、六八九	四四、八二四、〇三三	四九、七三三、三〇九
茶	二、一七三、六三四	二、三六七、三三三	二、六九六、五三三
樟腦	一、七八八、二八五	一、六三一、八三三	一、三五五、七六九
金塊	四三九、九二四	四〇三、一九七	四九一、三六六
酒精	二五二、六六七	三四四、七三四	三一八、五九五
石炭	七、六八〇、九九六	七、七七七、五五一	七、三五二、五七四
合計	七九、五二三、三八三	七七、七三六、三四七	八二、一九九、四四六

▼二月中の放資額

品名	大正十四年二月中	同二月迄累計	前年二月迄累計
米	一〇、三三六、七〇八円	二六、三四一、五三三円	二一、五七二、一六八円
砂糖	三三、四九九、三四九	四一、八六五、三四五	三九、二三三、五七六
茶	八四一、四六六	一、八六九、七〇八	三、三四二、一七九
樟腦	三九三、九六八	一、三八四、一四四	一、四〇六、八六一
金塊	二七八、三二七	五四八、二一四	七三八、六九〇
酒精	三三九、九八〇	三〇七、一六五	三五六、二七八
石炭	二、三五九、七八四	四、一七〇、七六一	五、六二八、五七三
合計	四七、八三八、三四三	七六、三八六、七五九	七二、一六八、三一五
前月中	三八、五四八、四一七		
前年同月中	三六、九〇一、一〇六		

◉市街地信用組合竝信用兼營組合事業一覽表（大正十四年二月末日現在）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

（其一）

州廳別 ＼ 種別	組合數	組合員數	出資口數	未拂込出資金	貸付金	土地建物什器	有價證券	預ヶ金	假拂金	手形割引	其他	現金	計
				円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
臺北	九	五,一三八	四六,四五五	一三九,八九六	四,三八二,三七九	九九,八七四	四九四,五五四	一,九一八,九五七	六七,九三二	六八,七八八	—	五八,二〇九	七,一五九,四四九
新竹	一	四八九	三,三三一	一,六二三	五一八,八二三	一四,〇七四	一四七	三六一,一五〇	五七九	—	一六,六八五	四,五〇三	九一八,九三三
臺中	三	二,五五〇	九,五三二	三,五七七	八二〇,四九九	二四,八五八	九七三	四三八,〇一一	二,五一九	—	二一,四四九	二,三三三	一,三〇四,二二八
臺南	五	二,三二二	一三,三七九	九一,五六三	一,三八八,〇〇一	四八,六〇四	二六,一七六	七〇七,一九二	五,〇七八	七八,八二四	三八,一六八	九,五三八	二,三九三,一四四
高雄	一	二四八	一,三〇五	五,六六〇	二六六,八一四	三一,一五三	七五〇	一七,四三六	—	—	四,五一三	一〇八	三二二,四三三
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	一	一九六	四,六五〇	—	二六七,四四九	九九八	—	一〇,五三六	二五六	一七,一七六	—	—	三〇六,四一五
合計	二〇	一〇,九五三	七八,五五二	二三七,二二八	七,六四三,九六四	二三〇,五六一	五二三,九三〇	三,四五三,二八二	一五,二二四	一七四,七八八	七〇,八一四	七四,六九〇	一三,四〇四,四八一
前月末合計	一九	一〇,四六八	七六,七〇三	二四〇,一六九	七,二九九,四一二	二二四,八二二	五一三,七〇五	三,一一六,四七六	一九,二九九	一六三,五一九	七四,四四一	七六,五七五	一二,七〇八,四一八
增 △ 減	一	四八五	一,八四九	△二,九四一	三四四,五五二	五,七三九	一〇,二二五	三三六,八〇六	△四,〇七五	一一,二六九	△三,六二七	△一,八八五	六九六,〇六三

（其二）

州廳別 ＼ 種別	出資金	貯金	準備金	各種積立金	未拂配當金	借入金	假受入金	其他	剩餘金	計
	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
臺北	一,五九〇,〇九〇	四,六八八,一九〇	五一〇,〇〇二	一六六,一八一	一五,九二〇	四八七,四〇八	二六〇,二六八	一七,〇〇五	八〇,二四七	七,一五九,四五〇
新竹	一六六,五五〇	六〇六,四六三	九四,一七一	三六,八五一	六三五	—	二三九	四七四	一二,五四〇	九一八,九三三
臺中	三五四,九二〇	六九六,八二六	一三三,二七七	六〇七,二〇三	七,二七四	—	三六,一二五	—	一八,六〇五	一,三〇四,二二九
臺南	六六八,九五〇	一,三三五,七四九	二二五,一三三	三七,五一二	四,八六四	三三五,三〇三	二八,一九五	三一,九九九	二五,四四二	二,三九三,一四五
高雄	六〇,二五〇	一八五,六九八	四七,三五〇	二二三	六三七	二八,〇〇〇	—	—	二七四	三二二,四三二
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	九三,〇〇〇	一五〇,五三三	三五,三三〇	一五,九一三	—	九,〇〇〇	一,五七四	—	一,一八五	三〇六,四一四

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

合計	二,九三三,七六〇	七,六六三,四四七	一,〇四五,〇五一	三三五,八八一	二九,三三〇	一三一,〇五一	八二,一九一	四九,四七八	一四四,二九三	一三,四〇四,四八二
前月末合計	二,八四五,八四〇	七,一六九,一八三	九六六,二六九	三四四,九四九	八七,九六五	一三二,四一五	三六,六二七	五七,七九三	七七,三七六	一一,七〇八,四一七
△ハ減	八七,九二〇	四九四,二六四	七八,七八二	△九,〇六八	△五八,六三五	△一,三六四	四五,五六四	△八,三一五	六六,九一七	六九六,〇六五

（其三）

州廳別＼種別	貯金內譯 組合員貯金 円	貯金內譯 第一條第三項貯金 円	貯金內譯 第一條第四項貯金 円	貯金內譯 加入豫約者貯金 円	貯金內譯 計 円	貸付金利率 最高 錢厘	貸付金利率 最低 錢厘	貯金利率 最高 錢厘	貯金利率 最低 錢厘	借入金利率 最高 錢厘	借入金利率 最低 錢厘	手形割引步合 最高 錢厘	手形割引步合 最低 錢厘
臺北	一,六二〇,二四三	一,八四六,七八三	一,二二一,一六一	—	四,六八八,一八八	四五	二五	三〇	一〇	三五	一八	四五	二六
新竹	二八六,九三三	二三七,五〇一	八二,〇二八	—	六〇六,四六二	三七	三七	二三	一〇	—	—	—	—
臺中	二五〇,一四七	四〇三,二〇九	四三,四六八	—	六九六,八二四	四五	三〇	二三	一〇	—	—	二九	三〇
臺南	六六八,三七六	五一二,八三二	一五四,五四一	—	一,三三五,七四八	五〇	三〇	二六	一三	二五	二六	二八	三〇
高雄	九九,四一七	六〇,六〇八	二五,六七一	—	一八五,六九六	四八	二八	二五	一〇	二五	二六	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	八三,八二三	二〇,五七六	四六,一二三	—	一五〇,五二二	三七	二五	二三	一七	二六	二六	三七	三七
合計	三,〇〇八,九三九	三,〇八一,五〇八	一,五七二,九九二	—	七,六六三,四三九	五〇	二五	二三	一〇	二五	一八	四五	二六
前月末合計	三,〇四五,六七六	二,六三四,〇六九	一,四八九,四三四	—	七,一六九,一七九	五〇	二七	二三	一〇	二七	一八	四六	三〇
△ハ減	△三六,七三七	四四七,四三九	八三,五五八	—	四九四,二六〇	—	△二	—	—	△二	—	△一	△四

◉島內各銀行內外爲替取組高表 （大正十四年二月中）（單位圓）

摘要	收入 島內 口數	收入 島內 金額	收入 內地 口數	收入 內地 金額	收入 外國 口數	收入 外國 金額	支出 島內 口數	支出 島內 金額	支出 內地 口數	支出 內地 金額	支出 外國 口數	支出 外國 金額	收支（△）超過 島內	收支（△）超過 內地	收支（△）超過 外國
送金爲替	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	四〇四	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	四七一	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

割引手形	二,七〇七	二〇,〇五〇,〇三三	一,三三九	一,一三六,二三三	—	—	二,四八二	一,八〇七,〇四五	四〇	一,三三六,八四一	—	—	二〇,九六八	△一三〇,六二九	—
荷付爲替手形	六六八	一,〇二九,八六一	一,二九五	二,〇七三,五五一	六九	六〇一,五八八	八九一	九六四,五三三	一〇四	二,八四四,七三一	—	—	五九,三三九	△九,六六二,四六九	六〇一,五八八
買入外國爲替	—	—	—	—	三五	三三〇,七六五	—	—	—	—	一四	一五四,六三三	—	—	一六六,二四一
利付爲替手形	—	—	—	—	二	三五,二九三	—	—	—	—	五五	六二三,四五五	—	—	△五六一,一五五
代金取立	八,五三〇	二,七〇七,三六七	六,三三九	三,一四二,一六四	三〇	三〇四,九四四	八,七四〇	三,七八九,三五五	一九九	四四八,八九三	五一	四〇四,八〇五	△七七,九八八	一,六九四,三三三	三五一,〇三七
計	三七,四八七	二九,五四〇,二五五	二,八八九	一九,四三〇,八六四	九六	一,二六〇,一五一	三七,五五九	二九,一七〇,〇三九	三〇,七一〇	三〇,七六〇,五五四	五七一	一,三二〇,二九四	四四七,三三四	△一,三九七,七一〇	△七一,九三五
一月以降累計	七七,一〇七	六五,九九八,四四七	三四,一三〇	三九,三四四,五〇三	一,二六九	四,〇〇〇,五五〇	七七,一六三	六四,一四〇,二六七	七,六四三	四五,四六八,六七六	一,五二六	二,九五六,六〇五	一,八一八,〇八〇	△四,一〇四,三六四	一,〇四五,七〇五
前年同月迄累計	六八,九〇四	五五,一五五,一五五	二一,四六七	五三,八六八,三七八	一,八六一	四,八二四,一八五	六九,八〇一	五二,四三二,七一二	六,九六八	三六,〇四七,一五五	一,〇六五	三,四五六,五七九	一,七九二,四三三	△五,一八六,〇〇七	三,五三七,六六八

◉手形交換高月表（大正十四年二月）

所在地	手形枚數	交換金額	交換差額	交換枚數一枚ニ對スル平均金額
		円	円	円
臺北	二,五七一	一〇,七〇二,三七三	三,二七六,〇三三	四九六
基隆	三,七七〇	一,三六一,二三七	二七〇,三三八	三六一
臺南	一〇,八四三	二,二七〇,六八二	六三五,五九四	二〇九
臺中	一,八二五	一,四三六,九一七	五七二,三三六	七八七
高雄	三,三三六	一,三三〇,〇四四	四七三,三〇八	三六五
計	四一,三四四	一六,九九〇,二七三	五,三三六,三〇八	四一〇
前月	四三,九七一	一九,一九八,七八六	六,三五五,七〇四	四三六
前年同月	三九,七三八	一七,四四四,〇四九	六,三〇八,二一四	四三九

◉通貨在高（大正十四年二月末）（單位圓）

區分	正貨	補助貨				銀行券			合計
	金貨	銀貨	白銅貨	青銅貨	計	臺灣銀行券	日本銀行券	計	
本月末	七七,六三〇	二,五五四,三三一	五錢一,三四五,五五五 十錢二,二五〇,〇〇〇	七三四,三二一	六,四四三,八五七	四五,四九九,八五七	四六,九六四	四五,五六六,八二一	五二,〇二八,三〇八
前月末	七七,六三〇	二,四四四,三三一	五錢一,〇三五,五五五 十錢二,〇三〇,〇〇〇	七三四,三二一	六,一九三,八五七	四七,一二八,九一一	四八,七五九	四七,一五七,六九〇	五三,八二九,一七七

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

前年同月末	七七、六三〇	二、六八一、〇三二	五錢 九三五、五五五 十錢 一、六六〇、〇〇〇	八七、三二一	五、六九三、八七七	三、七一六、三〇六	二七四、六七三	二四、九一一、九七八	二九、八六三、四六五

◉臺灣銀行券發行高及準備高（同上）（同上）

區分	發行高	正貨準備 金貨及金地金	正貨準備 銀地金	保證準備 諸公債	保證準備 商業手形
本月末	四五、四三九、八五七	一三、九二六、五三四	六、三三一、三五三	—	二五、一八一、九七〇
前月末	四七、一二八、九三二	一三、九二六、五三四	五、五二七、九九六	—	二八、六七四、四〇一
前年同月末	三三、七一六、三〇六	一一、二七〇、一四五	二、七五四、一二七	—	一九、六九二、〇三四

（備考）一、通貨在高ニハ臺灣銀行券ノ兌換準備ニ充テタル分ヲ除ク
一、通貨在高ニハ各銀行所有ノ分ト銀行外各人所有ノ分トヲ合算ス但銀行外各人所有ノ分ハ大正三年五月末ノ推定高ニ依ル

◉無盡契約高（大正十四年二月末現在）

會社名及店名		會數	給付金契約高	掛金契約高
		組	円	円
臺灣勸業無盡	臺北本店	一二五	七、三三二、一〇〇	七、六七六、八八六
	基隆支店	六一	二、二三一、一〇〇	二、三三二、三三四
	新竹支店	六七	一、八二一、五〇〇	一、九〇九、二七二
	臺中支店	一六二	三、九〇七、〇七〇	四、〇九六、四〇九
	宜蘭支店	二九	四五四、二〇〇	四七五、四五〇
	計	五五四	一五、七三五、九七〇	一六、四八〇、三三九
大正無盡	臺南本店	一〇	二、一七二、三〇〇	二、二八五、五一〇
	嘉義支店	四八	八七九、五〇〇	九五一、七九五
	高雄支店	二六	九〇四、六〇〇	九八四、四七三
	屏東支店	五三	八七〇、〇〇〇	九一一、九五九
	計	二三九	四、八二五、三〇〇	五、一三三、七三七
合計		七九三	二〇、五六一、二七〇	二一、六一四、〇七六
前月		七八六	二〇、四二六、二七〇	二一、四七〇、三七一

◉臺北物價指數表（大正十四年二月末）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

品目	大正三年七月ノ物價ヲ一〇〇トシテ計算 本月	前月	前年同月	大正八年七月ノ物價ヲ一〇〇トシテ計算 本月	前月	前年同月	明治三十五年一月ノ物價ヲ一〇〇トシテ計算 本月	前月	前年同月
白米	△ 二六七、四四	二六七、四四	二二六、六三	八〇、〇〇	八〇、〇〇	七四、六八	二八六、七五	二八六、七五	二五九、二四
玄米	△(+) 二二三、六八	二一〇、五三	一九八、六八	(+) 八七、三八	八三、二四	七七、四五	(+) 二九四、七九	二七七、四五	二六一、八五
清酒	△ 二四二、八六	二四二、八六	二四二、八六	二一八、一八	二一八、一八	二一八、一八	六三四、九二	六三四、九二	六三四、九二
麥酒	△ 一六四、〇〇	一六四、〇〇	一六四、〇〇	一〇五、一三	一〇五、一三	一〇五、一三	一八六、三六	一八六、三六	一八六、三六
紅酒	△ 二三三、三三	二三三、三三	二三三、三三	二三五、八一	二三五、八一	二三五、八一	四七六、一九	四七六、一九	四七六、一九
澤庵漬	△(−) 一八五、一八	二一三、六七	二三三、三三	(−) 九一、六七	一〇五、七八	一六四、九五	(−) 一八一、〇五	二〇八、九一	二三六、〇九
小麥粉	(−) 一八〇、二七	二〇一、八八	一四一、五一	(−) 八六、九〇	九七、六七	六八、一八	(−) 二四五、一三	二七四、二五	一九二、二一
砂糖	(−) 一二七、三三	一四三、八一	一六七、二七	(−) 四〇、〇八	四一、八〇	四七、八四	(−) 一八四、九〇	一九四、七一	二二九、九四
鰹節	△(−) 二九〇、九〇	二九〇、九〇	二三六、三六	(−) 一六〇、〇〇	一七〇、〇〇	一三〇、〇〇	(−) 二八〇、九五	四〇四、七六	三〇九、五二
味噌	△(+) 一六四、六一	一六一、五四	一四六、一六	(+) 八九、一六	八七、三三	七九、一七	(+) 一二三、七五	一二一、二五	一一八、七五
醬油	△(−) 一八一、八一	二〇〇、〇〇	二〇〇、〇〇	(−) 一二五、〇〇	一三七、五〇	一三七、五〇	(−) 二三〇、〇〇	二三〇、〇〇	二三〇、〇〇
鷄卵	△ 二二七、一四	二二七、一四	一七一、四三	一〇三、七五	一〇三、七五	七五、〇〇	二七七、四一	二七七、四一	二三三、三三
火油	△(+) 一六四、二〇	一六一、五三	一五三、八五	(+) 九六、九六	九五、四五	九〇、九一	(+) 二三八、二七	二三五、〇〇	二四〇、二九
鹽	△ 一四〇、九一	一四〇、九一	一四〇、九一	一三四、七八	一三四、七八	一三四、七八	一四〇、九一	一四〇、九一	一四〇、九一
煙草	△ 一五〇、〇〇	一五〇、〇〇	一五〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一八七、五〇	一八七、五〇	一八七、五〇
烏龍茶	七四、〇〇	七四、〇〇	七九、七〇	四七、三一	四七、三一	五〇、八五	六三、四一	六三、四一	六八、二九
包種茶	一二七、九一	一二七、九一	一一七、二四	九三、〇三	九三、〇三	七九、二七	二五八、六六	二五八、六六	二二九、六六
白木綿	(−) 二二六、一九	二三四、一三	一九四、四四	(−) 六六、二七	六八、六〇	五六、九八	(−) 二三〇、三三	二三一、四八	二七五、六八
綿布	(−) 一九六、二八	二〇三、四〇	一八〇、七二	(−) 八三、五八	八六、一五	七六、九二	(−) 二二一、八五	二二一、一一	一七七、七八
洋紙	二一七、三九	二一七、三九	二三八、六九	七一、四三	七一、四三	六八、五七	二〇〇、〇〇	二〇〇、〇〇	一九二、三〇
日本紙	△ 二三三、三三	二三三、三三	二二二、二二	九七、六七	九七、六七	九三、〇三	二三三、三三	二三三、三三	二三三、三三
杉板	三一三、三三	三一三、三三	三一三、三三	九一、八〇	九一、八〇	九一、八〇	五五〇、〇〇	五五〇、〇〇	五五〇、〇〇

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

杉材	二五八、〇六	二五八、〇六	二七七、四三	八四、二一	八四、二一	九〇、五三	三〇七、六九	三〇七、六九	三三〇、〇七
洋鐵	一八四、三一	一八四、三一	一三一、五八	五〇、〇〇	五〇、〇〇	三五、七一	一六三、七八	一六三、七八	一一六、三八
鉛	(－) 一〇〇、〇〇	一二一、五〇	一六八、七五	(－) 一六八、四三	一七八、九四	一四二、一一	(－) 二四六、一五	二六一、五三	二〇七、七〇
銅	一三八、七七	一三八、七七	一三六、五三	八七、一七	八七、一七	七九、九二	九四、四四	九四、四四	八六、一一
煉瓦 △	二〇八、七〇	二〇八、七〇	二〇八、七〇	一三三、三三	一三三、三三	一三三、三三	三四二、八六	三四二、八六	三四二、八六
日本瓦 △	(＋) 一一〇、〇〇	一〇四、〇〇	一一〇、〇〇	(＋) 九一、六六	八六、六六	一〇〇、〇〇	(＋) 二五〇、〇〇	二三六、三七	二七三、七三
板硝子	一六八、七五	一六八、七五	一七五、〇〇	四四、二六	四四、二六	四五、九〇	一四六、七三	一四六、七三	一五二、一七
セメント	一七六、四七	一七六、四七	一六七、六五	七六、九二	七六、九二	七三、〇八	八六、九五	八六、九五	八二、六一
燐寸	二三七、一六	二三七、一六	二三七、一六	七七、九六	七七、九六	七七、九七	一八七、七五	一八七、七五	一八八、七六
石油	一八一、八二	一八一、八二	一三八、六四	六七、八〇	六七、八〇	五一、六五	二五八、〇六	二五八、〇六	一九六、七七
石炭	一三七、五〇	一三七、五〇	一四二、五〇	七八、五七	七八、五七	八一、四三	一九六、四二	一九六、四二	二〇三、五七
木炭 △	二五三、三三	二五三、三三	一八六、六七	一三六、六六	一三六、六六	九三、三三	二五三、三三	二五三、三三	一八六、六七
薪 △	二四一、二九	二四一、二九	一九二、八六	一一一、一一	一一一、一一	一〇〇、〇〇	二三三、八八	二三三、八八	二〇一、四九
平均	(－) 二〇〇、六〇	二〇三、三〇	一九一、三二	(－) 九九、九二	一〇一、二七	九五、七三	(－) 二四九、三一	二五八、〇〇	二三七、九六

(備考) 表中(＋)ハ騰貴(－)ハ低下△ハ國內、其他ハ世界的取引品トス

(附表) ◎平均指數五箇年對照表

月次	大正三年七月ノ物價ヲ一〇〇トシテ計算 十四年	十三年	十二年	十一年	十年	大正八年七月ノ物價ヲ一〇〇トシテ計算 十四年	十三年	十二年	十一年	十年	明治三十五年一月ノ物價ヲ一〇〇トシテ計算 十四年	十三年	十二年	十一年	十年
一月	二〇三、三三	一九一、八一	一九一、六四	二〇二、六一	二二五、五四	一〇一、三三	九五、六八	九六、三一	九八、〇八	一〇三、〇九	二五三、一八	二三九、〇八	二三八、六六	二四八、六七	二六一、三三
二月	二〇三、三〇	一九一、九四	一九五、三三	二〇〇、一五	二一一、四三	一〇一、二七	九五、七六	九七、八八	九七、三六	一〇〇、五五	二五八、〇〇	二三八、八七	二四三、二七	二四八、三三	二五六、三三
三月	二〇〇、六〇	一九一、三二	一九六、〇六	一九九、四一	二〇一、二五	九九、九二	九五、七三	九七、九一	九七、〇六	九七、九二	二四九、三一	二三七、九六	二四四、一一	二四三、九七	二五〇、一六

◎内地人店舗卸賣相場表 大正十四年三月末

◉本島人店舖卸賣相場表　大正十四年三月末

品名	本月	前月	前年同月
食料品			
肥前白米　上　一石	四六,〇〇	四六,〇〇	四一,三〇
同　中　同	四五,〇〇	四五,〇〇	四〇,七〇
同　下　同	四四,五〇	四四,五〇	四〇,三〇
淸酒　白鹿上　一升	二,五〇	二,五〇	二,五〇
同　中　同	二,四〇	二,四〇	二,四〇
麥酒エビス黑四打入	三三,〇〇	三三,〇〇	三三,〇〇
同　エビス　同	三〇,五〇	三〇,五〇	三〇,五〇
同　アサヒ　同	三〇,五〇	三〇,五〇	三一,〇〇
醬油　龜甲萬一斗入	八,〇〇	八,八〇	八,八〇
醬油京印上三斗六升	二四,〇〇	二四,〇〇	二三,五〇
同　同　下　同	二〇,五〇	二〇,五〇	二〇,五〇
味噌　白　十八貫入	一〇,七〇	一〇,五〇	九,五〇
同　赤　同	一〇,七〇	一〇,五〇	九,五〇
澤庵漬一樽十三貫入	六,五〇	七,五〇	一五,〇〇
綠ダイヤ小麥粉一袋	四,七五	五,三五	三,七五
鰹節　土佐上　十貫	一八〇,〇〇	一八〇,〇〇	一四〇,〇〇
同　同　中　同	一六〇,〇〇	一七〇,〇〇	一三〇,〇〇
同　同　下　同	一三〇,〇〇	一五〇,〇〇	一一〇,〇〇
同　薩摩上　同	一七五,〇〇	一七五,〇〇	一四〇,〇〇
鰑　隱岐甲大　百斤	四九,〇〇	五一,〇〇	三〇,〇〇
煙草　敷島　一函	,一五	,一五	,一五
鹽　百斤上	三,一〇	三,一〇	三,一〇
製造品			
綿布　白木綿　一疋	二,八五	二,九五	二,四五
煉瓦　一等　一千個	二六,〇〇	二六,〇〇	二六,〇〇
同　二等　同	二四,〇〇	二四,〇〇	二四,〇〇
同　三等　同	一六,〇〇	一六,〇〇	一八,〇〇
日本形瓦　坪六十四枚葺一枚　上	五錢五	五錢二	六錢〇
同　同　下	四錢五	四錢二	五錢〇
模造紙　百斤	二五,〇〇	二五,〇〇	二四,〇〇
改良半紙上一萬二千枚	五一,〇〇	五一,〇〇	五〇,〇〇
同　中中	三九,七〇	三九,七〇	三七,〇〇
同　下同	三一,五〇	三一,五〇	三〇,〇〇
美濃紙上九千六百枚	五三,五〇	五三,五〇	五〇,〇〇
同　中同	四三,〇〇	四三,〇〇	四〇,〇〇
同　下同	三四,〇〇	三四,〇〇	三三,〇〇
半切紙上	九千六百枚 七三,〇〇	七三,〇〇	九百六十枚 六,七〇
同　中	同 四九,五〇	四九,五〇 同	四,七〇
同　下	同 三八,五〇	三八,五〇 同	三,七〇
硝子板　百三枚ヨリ百三十枚改メ	一三,五〇	一三,五〇	一四,〇〇
燐寸月琴七百二十包	四六,〇〇	四六,〇〇	四六,〇〇
原料品			
石炭　塊炭　一萬斤	八五,〇〇	八五,〇〇	八〇,〇〇
同　中塊　同	五五,〇〇	五五,〇〇	五七,〇〇
同　切込　同	四〇,〇〇	四〇,〇〇	四二,〇〇
同　粉炭　同	三〇,〇〇	三〇,〇〇	三二,〇〇
杉板　四分上　一坪	八,四〇	八,四〇	八,四〇
同　同下　同	二,三〇	二,三〇	三,〇〇
同　六分上　同	八,九〇	八,九〇	八,九〇
同　同下　同	二,五〇	二,七〇	四,一〇
同　八分上　一坪	一三,八〇	一三,八〇	一三,八〇
同　同下　同	五,三〇	五,三〇	五,三〇
同　一寸上　同	一九,六〇	一九,六〇	一九,六〇
同　同下　同	一〇,〇〇	一〇,〇〇	一〇,〇〇
杉材　角上　一才	,八五	,八五	,八五
同　同下　同	,一七五	,一八五	,一三
同　丸太上　同	,四〇	,四〇	,四三
同　同下　同	,一三	,一三	,一六
縱板　四分上　同	九,四〇	九,四〇	九,四〇
同　同下　同	二,八〇	二,八〇	三,四〇
セメント淺野　三八〇封	六,〇〇	六,〇〇	五,七〇
洋鐵丸角一分半十貫	七,〇〇	七,〇〇	五,〇〇
銅　丁銅　百斤	六八,〇〇	六八,〇〇	六二,〇〇
錫　上　百斤	三三〇,〇〇	三三〇,〇〇	一五〇,〇〇
鉛　上　同	三一,〇〇	三四,〇〇	二七,〇〇
洋釘二インチ半十貫	一三,〇〇	一三,五〇	一三,〇〇

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

品名			三月	前月	前年同月
食料品					
臺灣米	上白	一石	二七,五〇	二六,七〇	二四,八五
同	中白	同	二六,九〇	二五,三〇	二三,八五
同	下白	同	二五,九〇	二四,三〇	二三,八五
上中下平均 臺灣米	玄米	一石	二五,五〇	二四,〇〇	二二,六五
臺灣茶烏龍上		百斤	四六,〇〇	四六,〇〇	五三,〇〇
同	同中	同	三九,〇〇	三九,〇〇	四二,〇〇
同	同下	同	三〇,〇〇	三〇,〇〇	三〇,〇〇
同	包種上	同	六〇,〇〇	六〇,〇〇	五六,〇〇
同	同中	同	四〇,〇〇	四〇,〇〇	三四,〇〇
同	同下	同	二八,〇〇	二八,〇〇	三三,〇〇
紅酒		一升	七〇	七〇	七〇

品名			三月	前月	前年同月
砂糖本島上白		同	二四,一〇	二四,四〇	二七,二〇
同	同中白	同	一九,二〇	一九,五〇	二〇,三〇
同	同上赤	同	一四,三〇	一五,二〇	一八,七〇
同	同中赤	同	一三,五〇	一四,五〇	一八,二〇
上中下平均 鴨卵		一千個	四一,五〇	四一,五〇	三〇,〇〇
ダイヤ麵粉三六斤一袋			四,八五	五,四六	—
三羊	同	同	四,八五	五,四六	—
蕃龍	同	同	四,九五	五,五〇	三,七五
乳膏人形標		四打入	一九,五〇	一九,五〇	一七,五〇
米粉	本島品	百斤	一八,〇〇	一八,〇〇	一七,〇〇
麵線	同	同	一四,五〇	一五,〇〇	一一,六〇
蕃薯	並	同	二,五〇	二,五〇	一,八〇

品名			三月	前月	前年同月
製造品					
キ六〇〇番綿布金巾四十碼			一六,三〇	一六,八〇	一五,〇〇
キ五〇〇番同		同	一三,四〇	一三,九〇	一二,一〇
石油ホーキ印一箱四罐			一六,〇〇	一六,〇〇	一三,二〇
火油落花生油		百斤	三三,〇〇	三一,五〇	三〇,〇〇
原料品					
木炭	上	百斤	三八,〇〇	三八,〇〇	二八,〇〇
同	並	同	三一,〇〇	三一,〇〇	一七,〇〇
薪	炭頭	同	一,五〇	一,五〇	一,三五
蓪草	丸	同	八〇,〇〇	八〇,〇〇	八〇,〇〇
同	紙	同	二四五,〇〇	二五〇,〇〇	二九〇,〇〇
苧麻	北部産	同	四〇,〇〇	四二,〇〇	三六,〇〇
黃麻		中部産	一三,五〇	一三,五〇	一一,五〇

臺灣貿易統計

（大正十四年三月）

臺灣總督府稅關

⦿貿易額

	三月	十四年累計	十三年累計	增減（●）
輸出	二、九四八、六八四円	八、七五六、五六〇円	八、〇七一、四二〇円	六八五、一四〇円
輸入	五、三〇八、七六七	一五、七六〇、七五七	一五、二二三、五〇二	五三七、二五五
計	八、二五七、四五一	二四、五一七、三一七	二三、二九四、九二二	一、二二二、三九五
輸出（入）超過	（入）二、三六〇、〇八三	（入）七、〇〇四、一九七	（入）七、一五二、〇八二	

	三月	十四年累計	十三年累計	增減（●）
移出	二九、三〇三、七〇三円	八八、九五五、二六三円	八九、八六五、一二九円	●九〇九、八六六円
移入	九、九二三、八五九	二四、〇三一、七四一	二〇、一二六、八七三	三、九〇四、八六八
計	三九、二二七、五六二	一一二、九八七、〇〇四	一〇九、九九二、〇〇二	二、九九五、〇〇二
移出（入）超過	一九、三七九、八四四	六四、九二三、五二二	六九、七三八、二五六	

⦿輸出

		三月 數量	三月 價額	十四年累計 數量	十四年累計 價額	十三年累計 數量	十三年累計 價額	增減（●） 數量	增減（●） 價額
石炭	噸	五八、〇一三	六〇四、四九三円	一六九、二一三	一、七五五、八七八円	一三六、一四七	一、五五〇、七五六円	三三、〇六六	二〇五、一二二円
砂糖	斤	五、七七四、〇一〇	八〇六、九六七	一四、八四一、三〇三	二、〇四五、七〇四	一三、九七八、九八九	二、二〇二、三九四	八六二、三一四	一五六、六九〇
包種茶	同	二一三、七二九	一六九、三五六	七七四、五〇八	六一三、五五七	一、一〇九、〇五八	八四八、五八〇	三三四、五五〇	二三五、〇二三
烏龍茶	同	—	—	九九六	八二一	二一二	九四	七八四	七二七
鹹魚及乾魚	同	九七七、九九五	一五一、五七三	三、〇六三、四五九	四〇二、三三一	四六七、三一四	七七、三三五	二、五九六、一四五	三二四、九九六
樟腦	同	九五、〇一九	一六六、九三四	四六一、〇一九	八〇九、二五四	三四八、四〇〇	六一一、二五六	一一二、六一九	一九七、九九八

酒精	升	五六一,六八〇	一七〇,五五七	一七三,〇六〇	五一三,三四九	一,一八〇,二〇〇	三八一,九三六	五五一,八六〇	一三一,四二三
錫	斤	四八,六八〇	二一,八五四	五一三,八五四	二三三,八九六	二,二九六,三七七	六九六,八四八	●一,七八二,五三三	●四七二,九五三
綿織物	碼	四四七,二〇〇	一〇〇,六三三	一,六八〇,五六四	三九一,九七二	一,一三九,一三八	三三三,八七一	一五一,四三六	六八,一〇一
セメント	斤	六,九九九,二七八	一四三,八九八	一七,五九四,三九四	三六一,八七七	五,五六九,一三五	一一〇,九六五	一一,〇三五,二五九	二四〇,九一三
苧麻	同	六〇,五二四	二八,五二一	三〇六,三八一	八六,〇八六	一〇七,九八〇	四九,四六三	九八,四〇一	三六,六三三
紙	同	四八九,五四一	三七,六一三	一,三七一,五七〇	一〇五,一三〇	一,四一二,四三三	一三三,〇七四	●五〇,八六三	●一七,九四四
食鹽	同	五〇	一	四,六六一,七五〇	三三,六六三	二八	四三	四,六六一,五三三	三二,五九一
貝柱	同	三三,二四八	二九,八九一	五三,〇一四	六九,〇五三	一七,五八四	三五,七一一	一五,四三〇	三三,三四一
硝子緣	箇	一,三八六,四七〇	三〇,三九九	二,五四五,四〇九	八〇七,三六四	二,〇四九,六五八	五二,八〇七	四九五,七五一	一四,五五七
其他諸品		─	四八六,〇八五	─	一,二七七,七七五	─	一,一八八,七三六	─	八九,〇三七
計		─	三,九四八,六八四	─	八,七五六,五六〇	─	八,〇七一,四三〇	─	六八五,一四〇

◎輸入

大豆油糟	斤	一八,七三五,八〇〇	九七八,九四〇	八一,一二四,三〇六	四,四〇〇,四〇六	七八,五六八,五三三	三,九七五,四五四	二,五八五,七七四	四二四,九五二
砂糖	同	三,九六六,三七二	五三四,五六七	一〇,三五〇,一八三	一,二五〇,八七一	一三,四〇六,八三五	一,六八五,四二九	●三,〇五六,五五三	●三三四,五五八
大豆	同	三,〇五九,一七	一五三,四四二	七,七三〇,一七六	五九四,九八三	一三,〇〇三,三八五	八九四,一九一	●五,二七二,二〇九	●二九九,二〇八
木材		─	一六一,五五五	─	四四三,九四一	─	一,〇七二,三九〇	─	●六二八,四四九
硫酸アンモニウム	斤	六,五八五,五〇〇	六九五,二二八	一六,五一八,九七一	一,七八一,〇八六	五,三七三,〇五〇	五四一,八一四	一,一四六,九一二	一,二三九,二七二
ガンニー袋	箇	四四〇,八〇〇	三五八,六六四	一,五三六,四〇〇	四四六,八七二	二八三,四〇〇	二一一,五五六	一,二四三,〇〇〇	三三五,三一六
包蓆	枚	三一六,八五〇	七四,三三一	一,三三五,六七二	二九〇,三三〇	三,三一五,六九四	七〇九,二九三	●二,〇八〇,〇二二	●四一八,九七二
藥品類		─	二〇六,四四四	─	三四七,六〇五	─	四四七,二七	─	●九九,六七二
小麥	斤	一,〇九三,一一六	一〇〇,五四七	五,〇〇〇,七三三	四七六,五六六	一五,三五四,四三九	九一〇,五一五	●一〇,三五三,七〇七	●四四三,九五九
石油	瓦	六二,一一〇	四四,八五八	五八五,四三三	三八五,六九八	九六七,八五九	四二七,二四四	●三八二,四二七	●四一,五四六
阿片	斤	二〇,六八四	四六一,七〇〇	二八,九三四	七一三,三三五	一七,六六一	四九四,六六八	一一,二七三	二一八,六五七
葉煙草	同	三〇四,七三九	二〇八,四九九	五三三,〇一五	三一七,六六九	五五三,三六〇	二五〇,六八九	●二二,三四五	六六,九八〇

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

黃麻	同	一〇六,七四六	一六六,六四三	七七六,五七〇	一三五,八七六	六一六,一一二	九一,五九二	一六〇,四五九	三四,六八四
毛織物	方碼	五八,七一九	九一,三六八	八五,三三九	一四〇,七〇〇	一九六,三六四	二五〇,七八八	•一一一,一二五	•一一〇,〇八八
米(籾共)	斤	二,二三三,八四七	一九一,〇一九	六,七五五,七七七	六〇三,七八〇	二八〇,四六二	二一,四八四	•六四四五,二九五	五八二,三九六
綿織物	方碼	五〇,三九六	四八,〇五四	八〇,一二二	六六,八〇八	五五四,六二七	三六〇,二九五	•四七四,五〇五	•二九三,五八七
鹹魚	斤	一,四〇三,五八八	一一一,八六九	四,五一三,八七五	三九六,二七五	一,七〇二,九六六	一六五,八一九	二八〇,九一九	二三〇,四五六
禮拜紙	同	一五五,五五五	四九,三三六	四四六,三八〇	一四六,九七一	五八三,八四〇	一六四,一〇七	•一三七,四六〇	•一七,一三六
陶磁器		—	一三,五七三	—	五三,七七五	—	六五,八二三	—	•一三,〇四八
苧麻布	方碼	七六,四二七	三四,六九一	二五七,六二三	六八,七三五	一六五,六〇三	五三,八八六	九二,〇〇九	一四,八四九
唐紙	斤	二三六,四九四	二八,六一八	四四八,四九四	六二,九五三	五三三,〇七三	四七,六八九	八四,五七九	一五,二六四
燐礦石	同	—	—	—	—	二,四〇〇	一八	•二,四〇〇	•一八
コンデンスドミルク	打	—	—	九六〇	三,四九〇	一〇,一三三	四六,四三六	•九,一七三	•四三,九四六
繰綿	斤	七,九二〇	六,〇八一	一五八,四一九	二五,四七一	三九,七三三	二六,五二九	一八,六九六	八,九四二
鐵道機關車及部分品		—	一,六五〇	—	一八,三四四	—	一六七,八九五	—	•一四九,五五一
石炭	噸	一,六〇五	二六,五七四	六,九〇六	九二,一九五	七,九〇〇	一〇三,七〇〇	•九九四	•九,五〇五
機械用油	斤	一三三,三七四	二五,八九四	一五八,三四六	三〇,〇三三	六三八,〇七〇	九六,五八三	•四六九,八二四	•六六,五六一
苧麻綿布	方碼	六二,四三二	三〇,四〇五	七〇,八四五	三八,〇四七	八四,四四五	三八,九七三	•一三,六〇〇	•九二六
輕油	瓦	—	—	一三,七三五	三一,五九八	三七,五四七	三九,三〇一	•一三,八二二	•七,七〇三
豆索麵	斤	一七,六七一	八,一六四	九七,三七五	四〇,五八六	三二,三八九	三七,七〇六	•二四,〇二四	二,八八〇
パラフインワックス	同	三一,七八三	三六,八三三	二四〇,〇三〇	六七,九八五	一八九,七八三	三五,〇七六	五〇,二三七	三三,九〇九
家屋、橋梁、船舶、船渠等建設材料	斤	四〇	二九	二,四四七	四五九	八六二,六三六	一〇三,五五三	•八六〇,一九九	•一〇三,〇九四
其他諸品		—	五一三,三五一	—	二八,三四五	—	一,七七七,六一九	—	四〇八,七三六
計		—	五,二〇八,七六七	—	一五,七六〇,七五七	—	一五,二二三,五〇二	—	五三七,二五五

◎移出

品名	單位	三月 數量	三月 價額	十四年累計 數量	十四年累計 價額	十三年累計 數量	十三年累計 價額	增減(●) 數量	增減(●) 價額
			円		円		円		円
砂糖	斤	一五六,一六七,四三〇	一三,三四三,五八九	四四七,三九〇,三二七	六八,一一六,〇三〇	四三五,三九八,八七〇	七四,七三六,七七七	一一,九九一,四五七	●六,六二〇,七四七
米(籾共)	同	二三,四三四,八五〇	二,八三三,四〇〇	一〇三,九七七,〇五〇	一三,三四一,七四一	五七,四四五,二七〇	五,五六七,一二二	四六,五三一,七八〇	七,七七四,六一九
芭蕉實	同	八,九四一,一七〇	五九三,四九七	二一,五七一,九一〇	一,一七四,四三三	二八,三五九,六八〇	一,六四一,一一〇	●六,七八七,七七〇	●四六六,六七七
樟腦	同	四四,三五七	七七,一七四	五一三,一五七	七五五,一六四	六二二,〇九三	一,一四四,三六四	●一〇八,九三六	●三八九,二〇〇
酒精	升	七九三,一六〇	四四七,六五九	三,〇一六,九六〇	一,〇四三,七〇三	三,三一三,三〇〇	八五三,九四四	●二九六,三四〇	一八九,七五九
樟腦油	斤	六三六,一〇九	三二三,九六六	一,三六五,一二一	六二〇,〇四八	一,六五四,七一八	八二四,〇四三	●二八九,五九七	●二〇三,九九五
木材		—	三三七,六一六	—	九三六,一六〇	—	五六四,五八六	—	三七一,五七四
石炭	噸	二,五〇七	二七,八二〇	五八,〇〇七	五九五,〇七七	五六,七一六	五八九,一七三	一,二九一	五,九〇四
セメント	斤	四,三七五	八一	八,五五〇	一五三	二三,〇九一,五五三	六一五,三三九	●二三,〇八三,〇〇三	●六一五,一八六
鰹節	同	一六,三四一	三〇,八七八	二四,七三三	三一,九〇七	四五,五四四	七〇,三三六	●二〇,八一一	●三八,四二九
食鹽	同	一七,八五三,三〇〇	一一〇,三三一	四〇,五七三,〇〇〇	三一二,〇三〇	七三,八三六,九六八	六四三,〇六六	●三三,二六三,九六八	●三三一,〇三六
切乾薯	同	一,三七一,四四〇	四四,五〇〇	五,五一六,三六〇	一九八,八五〇	二,七三九,四一〇	一一四,五三一	二,七七六,九五〇	八四,三一九
鳳梨罐詰	打	四二,五二七	一四五,五四七	一二五,九六九	四二四,九一七	七三,二二四	二二五,〇五九	五二,七四五	一九九,八五八
模造パナマ帽子	箇	三三五,四〇〇	一一一,八〇〇	八一〇,六〇〇	二七〇,三八四	二九三,五二〇	一四七,五八〇	五一七,〇八〇	一二二,八〇四
麻織物	碼	二四六,五三二	六〇,七六〇	七五四,五四〇	一八二,三一八	七五九,七一九	一八〇,五二二	●五,一七九	一,七九六
其他諸品		—	七四七,〇九五	—	一,八四三,〇八五	—	一,九五七,七二八	—	●一一四,六四三
計		—	二九,三〇三,七〇三	—	八八,九五五,一六三	—	八九,八六五,一二九	—	●九〇九,九六六

⦿移入

品名	單位	三月 數量	三月 價額	十四年累計 數量	十四年累計 價額	十三年累計 數量	十三年累計 價額	增減(●) 數量	增減(●) 價額
絹及綿織物		—	一,〇九四,四三一	—	二,五三九,四六一	—	一,七六八,三四七	—	七七一,一一四
肥料	斤	一六,八七四,〇二五	一,二二二,五三三	三八,一七一,一九四	三,三四三,二二〇	三七,九四四,五〇三	三,二九四,二七六	二二六,六九一	四八,九四四
鹹乾魚	同	二,七四七,三三七	三八五,八四四	九,八三四,三七〇	一,三〇五,五〇九	一一,五三四,六三二	一,二七九,〇四七	●一,六九〇,二六二	二六,四六二
鰹節	同	四,三三〇,九四六	五三七,〇三七	一一,四四五,九三三	一,六二八,二七六	九,二七三,七九一	一,二二二,四三五	二,一七二,一四二	四〇五,八四一

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

藥品類		—	二九九,九八一	—	七四五,七一二	—	六三四,五〇四	—	一一一,二〇七
小麥粉	斤	一,〇三五,三九九	一四二,八五二	四,一九九,九八九	五九四,四五一	四,九三七,九四四	四九五,九九五	●七三七,九五五	九八,四五六
米	石	三〇,六八五	五二九,九三三	二三,六二一	六七四,七三四	二七,四〇三	七三六,一五一	●三,七八二	●五一,四一七
紙		—	三一,七三五	—	八〇四,三二〇	—	五三九,一三三	—	二六五,〇八八
清酒	打	二九,四八一	二八五,九九八	六七,四五一	六五四,七一六	四九,九七〇	四八五,一九七	一七,四八一	一六九,五一九
錫	斤	六五,六〇〇	三三,〇三三	九〇一,〇七五	四五三,〇五七	二,三八九,九四八	六六六,五六〇	●一,四八八,八七三	●二一三,五〇三
紙卷煙草	千箇	八一,八〇〇	一六九,五八六	一九五,二八〇	四〇四,四三六	一三三,三五八	四九九,〇五九	●三八,〇七八	●九四,六二三
ガンニー嚢及黄麻嚢	箇	一六〇,二〇〇	九三,二五五	八八九,七四〇	五八七,八五八	四三四,八一四	一三六,一六一	四五四,九二六	四六一,六九七
麥酒	打	四三,八一三	二二一,九六七	六四,五五二	三八二,九六二	五八,八八八	二九〇,九〇八	五,六六四	九二,〇五四
鐵製品		—	二二五,六七六	—	四五七,九一〇	—	二八一,九六一	—	一七五,九四九
燐寸	哥	一四〇,〇三三	一二四,一四八	三六三,〇二一	二九五,五七六	三五八,九一五	二七一,九〇七	四,一〇六	二三,六六九
絲類		—	一八三,一五四	—	四〇四,二五〇	—	二〇六,七〇四	—	一九七,六四六
砂糖	斤	九七,七一三	二七,四〇〇	三四八,五五八	九五,三一九	三八六,八六四	一一三,三〇二	●三八,三〇六	●一六,九八三
罐詰食物		—	一八〇,五三	—	二六八,一六〇	—	二〇〇,八四三	—	八七,三一七
メリヤス肌衣		—	七七,六六一	—	一四八,〇六一	—	九〇,二九三	—	五七,七六九
自轉車同部分品及附屬品		—	二六,六三一	—	二三八,三三九	—	一七一,〇〇二	—	六七,三三七
石油	石	一,一六〇	八一,四一〇	二,六四四	一八八,一八四	二,五八八	一七二,〇四六	五六	一六,一三八
石鹼		—	六五,〇三四	—	一五六,三三四	—	一四六,六四六	—	九,六七八
鐵道建設用材料	斤	五四六,二四六	六〇,三八五	一,五六六,一六四	一三四,六二五	一,三三二,一九一	一三三,二七六	二三四,九七三	一,三四九
毛織物		—	二九,〇〇五	—	一六四,二六六	—	一三三,七〇〇	—	四〇,五六六
機械用油		—	五九,〇九二	—	一六〇,〇九〇	—	一五一,九一八	—	八,一七二
セメント	斤	三,二五二,二〇一	六九,五七七	八,七九二,〇二七	一八五,〇〇〇	七,六七七,七七八	一九〇,六一〇	一,一一四,二四九	●五,六一〇
陶磁器		—	六七,五一一	—	一三〇,九四七	—	一四〇,四五九	—	●一九,五一三
菓子類		—	六八,九七六	—	一五八,三三三	—	一五〇,七〇四	—	●七,六二九
靴其他履物類		—	三一,九八〇	—	二四五,一三六	—	一〇八,一〇九	—	一三七,〇二七

木材	—	一〇三,九二七	—	二六三,七一九	—	八九,〇四六	—	一七四,六七三
乾鰕 斤	一〇四,四九五	六〇,九一六	二三五,六二〇	一三四,八九六	二三八,五三五	一四九,〇八六	●二,九一五	●一四,一九〇
石油 瓦	一五〇,一二〇	一八八,三五八	四一九,九七七	三六三,五四五	一七四,四四〇	八二,八〇九	二四五,五三七	二八〇,七三六
其他諸品	—	二,七八八,八二三	—	六,七一〇,四八〇	—	六,〇五七,九一三	—	六五二,五六七
計	—	九,九二三,八五九	—	二四,〇三一,七四一	—	二〇,一三六,八七三	—	●三,九〇四,八六八

⊙金銀

	三月	十四年累計	十三年累計	増減(●)
	円	円	円	円
輸出	—	—	—	—
輸入	—	—	—	—
計	—	—	—	—
移出	—	—	七八,〇三〇	●七八,〇三〇
移入	—	—	—	—
計	—	—	七八,〇三〇	●七八,〇三〇

⊙仕向地及仕出地別

	輸出	輸入	計	十四年累計	十三年累計	増減(●)
	円	円	円	円	円	円
支那	二,〇六〇,四四一	二,三七六,三六九	四,四三六,八一〇	一五,六〇四,四九三	一五,三〇一,五二二	三〇二,九七一
北米合衆國	九,二五一	三二五,九七四	三三五,二二五	一,二〇二,〇六八	一,一四四,四三三	五七,六三五
蘭領印度	一五九,九九四	三四四,〇五六	五〇四,〇五〇	一,六二〇,五八五	二,二四六,〇九九	●六二五,五一四
香港	四三六,四〇二	二四,九八四	四六一,三八六	一,三七九,八四八	一,一一〇,八〇一	二六九,〇四七
英吉利	四四,七九七	五八八,五一一	六三三,三〇八	一,五四一,九三五	一,四四四,一五三	九七,七八二
英領印度	三六四	四〇三,七一七	四〇四,〇八一	一,六六〇,一〇六	四〇〇,八〇四	一,二五九,三〇二
關東州	五三,八六四	一五,一八〇	六九,〇四四	三二六,九〇四	四九一,六三一	●一六四,七二七
暹羅	一〇,四九二	一一,五九九	二二,〇九一	三五四,四五五	一五五,七四九	一九八,七〇六
假置場	—	二〇八,八三七	二〇八,八三七	四八五,九一九	三四八,七六〇	一三七,一五九
波斯	—	四六一,七〇〇	四六一,七〇〇	四六一,七〇〇	四七一,七四四	●一〇,〇四四
濠太剌利	—	一,三〇七	一,三〇七	四,一一六	九五,三一六	●九一,二〇〇

	移出	移入	計	十四年累計	十三年累計	増減(●)
	円	円	円	円	円	円
大阪	八,四四五,一六七	四,九〇七,一五五	一三,三五二,三二二	二九,四四三,二二三	三五,二七三,九八五	●五,八三〇,七六二
神戸	五,六六三,八七〇	二,二五五,〇四九	七,九一八,九一九	一七,七六四,五三二	一八,一三五,三五七	●三七〇,八二五
東京	五,七二〇,一〇二	一,一六〇,三八六	六,八八〇,四八八	一八,八九二,〇九七	一四,九九五,二九四	三,八九六,八〇三
門司	二,九八八,〇九二	一,〇六六,九二九	四,〇五五,〇二一	一三,五九七,七八六	一〇,二八四,三三七	三,三一三,四四九
名古屋	二,八七五,〇一一	九七,四七九	二,九七二,四九〇	一一,一三五,九八〇	一三,二四四,五七七	●二,一〇八,五九七
横濱	二,四六〇,七六八	四〇,六八七	二,五〇一,四五五	八,七七五,〇七四	五,〇〇八,七四五	三,七六六,三二九
下ノ關	六二九,三六五	一五四,六八九	七八四,〇五四	二,八五五,一一七	四,二八四,四四四	●一,四二九,三二七
函館	二五五,六二〇	二八七,六八二	五四三,三〇二	一,九九五,九〇〇	一,一〇一,八九八	八九四,〇〇二
三池	一,〇七九,九九五	—	一,〇七九,九九五	二,九七七,四一八	三,一九八,六〇九	●二二一,一九一
小樽	三〇三,七八三	七,〇四七	三一〇,八三〇	一,一六二,二九八	一,二一四,八三二	●五二,五三四
長崎	一〇八,〇六〇	一二一,三八二	二二九,四四二	七五八,六六九	二〇八,三三一	五五〇,三三八

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

獨逸	一、〇二八	三五六、二六八	三五七、二九六	五六四、七二四	三九九、〇〇四	一六五、七二〇
佛蘭西	四四、三五八	五四、八〇〇	九九、一五八	二五四、四三六	三四二、五一四	●八八、〇七八
英領亞米利加	—	一三一、九〇五	一三一、九〇五	四六六、二六八	一四九、六六七	三一六、六〇一
比律賓諸島	—	二六八	二六八	一五六、七四二	一六八、三一七	●一一、五七五
英領海峽殖民地及英領ボルネオ	九、六六五	三二、四九三	四二、一五八	八一、五九五	一一〇、六九七	●二九、一〇二
露領亞細亞	—	—	—	—	—	—
佛領印度	一八、〇〇〇	二九、一三二	四七、一三二	七六、二〇九	三一、七三〇	四四、四七九
和蘭	—	二	二	二七四、七八六	二六三	二七四、五二三
伊太利	二八、〇四八	一五	二八、〇六三	六六、一〇五	一七、八六七	四八、二三八
其他諸國	—	一八、三九〇	一八、三九〇	七七、一九七	三五、九二三	四一、二七四
計	二、九八八、六八四	五、二〇八、七六七	八、一五七、四五一	二四、五一七、三一七	二三、一九四、九二二	一、三二二、三九五

鹿兒島	一〇九、一一六	一八八、〇〇五	二九七、一二一	七七、七七一	五五、三〇〇	二二、四七一
那覇	九八、〇四五	三六七、五五七	四六五、六〇二	六五七、四三一	二四九、二五八	四〇八、一七三
宇品	五一、五五八	二五、三〇九	七六、八六七	一七三、三二一	一二六、九三〇	四六、三九一
八重山	六一、〇〇四	一〇、八七〇	七一、八七四	一二一、一〇〇	三四、五八一	八六、五一九
釜山	五六、八六八	一、五八八	五八、四五六	四三一、四一五	一〇三、四五六	三二七、九五九
清水	三〇、三一〇	—	三〇、三一〇	六五、三二〇	九五、八八八	●三〇、五六八
牛田	七、〇〇〇	—	七、〇〇〇	九九、六五六	一六四、四〇〇	●六四、七四四
京都	二七五	四九、一七一	四九、四四六	九五、八六八	八四、五七七	一一、二九一
宮古(沖)	二二、六二〇	九二〇	二三、五四〇	七二、三二〇	五三、四七一	一八、八四九
其他各地	三六七、四七〇	一七四、五九一	五四二、〇六一	二、二三七、四〇七	一、七五五、〇〇八	四八二、三九九
計	二、九一三、七〇三	九九七、八八九	三、九一一、五九二	一二、九八七、〇四四	一〇、九九七、〇四三	一、九九〇、〇〇一

◉入港船

◉外國

	三月 隻	三月 噸	十四年累計 隻	十四年累計 噸	十三年累計 隻	十三年累計 噸	增減(●) 隻	增減(●) 噸
汽船	一二六	一八四、二一九	三一四	五一三、五八六	二七八	四四五、八九六	三六	六七、六九〇
帆船	一〇六	五、四七二	二一四	一一、一七六	二四七	一三、三四六	●三三	●二、一七〇
計	二三二	一八九、五九一	五二八	五二四、七六二	五二五	四五九、二四二	三	六五、五二〇

◉內地

	三月 隻	三月 噸	十四年累計 隻	十四年累計 噸	十三年累計 隻	十三年累計 噸	增減(●) 隻	增減(●) 噸
汽船	一三六	二四七、八四七	三四四	六八〇、一五二	三〇二	三六七、九七四	四二	三一二、一七八
帆船	三	一〇七	五	一七九	一	一五〇	四	二九
計	一三九	二四七、九五四	三四九	六八〇、三三一	三〇三	三六八、一二四	四六	三一二、二〇七

◉收入額

	輸入税	製茶税	織物消費税	砂糖消費税	噸税	其他諸收入	計
三月	二八五、四三三円	五、五七四円	二一、六七三円	四円	四、九三九円	三、三六二円	三二〇、九八四円
十四年累計	八一八、〇三五	一九、七〇八	三四、五一〇	二	一三、一二九	一〇、四四四	八九六、〇四六
十三年累計	五七三、四〇一	二八、六九九	七九、七三四	一四、四四四	一一、七五七	一〇、四七五	七一八、五二〇
增減(●)	二四四、六三四	●八、九九一	●四五、二二四	●一四、四四二	一、三七二	●三一	一七七、五二六

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◉港別貿易額

港	輸出（円）	輸入（円）	計（円）	十四年累計（円）	十三年累計（円）	增減(●)（円）	移出（円）	移入（円）	計（円）	十四年累計（円）	十三年累計（円）	增減(●)（円）
基隆	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
臺北	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	● [illegible]	—	—	—	—	—	—
淡水	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	● [illegible]	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
舊港	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	—	—	—	—	—
後龍	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	—	—	—	—	—
梧棲	—	—	—	—	[illegible]	● [illegible]	—	—	—	—	—	—
鹿港	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	● [illegible]	—	—	—	—	—	—
東石	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	● [illegible]	—	—	—	—	—	—
安平	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高雄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	● [illegible]
馬公	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	● [illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
蘇澳	—	—	—	—	—	—	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
布袋	—	—	—	—	—	—	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	● [illegible]
北門	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	[illegible]	● [illegible]
大板埒	—	—	—	—	—	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	● [illegible]
花蓮港	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

地租附加税の徴收成績

——大正十三年度後期分——

内務局地方課

大正十三年度後期分各州の地租附加税徴收成績は別表の如くにして其の總額の調定濟額に對する收入濟額の歩合は九割六分八厘にして前年度當期に於ける歩合に比し五歩一厘を増し良好なる成績を示せり

◉大正十三年度後期分地租附加税徴收成績

州別	調定濟額	收入濟額 納期限迄	收入濟額 調定濟額ニ對スル歩合	收入濟額 前年度同期ニ於ケル歩合	收入濟額 歩合増△減	收入濟額 納期限後	收入未濟額
臺北州	二〇一、八七〇円	一八九、一八五円	九、三七	七、七六	一、六一	三、一〇四円	九、五八一円
新竹州	一八〇、四三二	一七五、〇九六	九、七〇	九、三五	〇、三五	二、三一七	三、〇一九
臺中州	二六九、七七五	二六一、八二八	九、七〇	九、一九	〇、五一	三、九二四	四、〇二三
臺南州	二二九、八九五	二二六、二六九	九、八四	九、八二	〇、〇二	二、二四三	一、三八三
高雄州	一六六、七八一	一六三、三七七	九、七九	九、七一	〇、〇八	一、四七四	一、九三〇
計	一、〇四八、七五三	一、〇一五、七五五	九、六八	九、一七	〇、五一	一三、〇六二	一九、九三六

（備考）（一）本表は定期賦課に係るものを掲記せるものなり　（二）本表は納期限後十日目の現計を掲記せるものなり

臺灣日誌

■三月

▲十六日
□山縣公一行内地へ向け出發
□臺灣産業組合協會評議員會開會
□臺中州立圖書館開館
□臺中高等女學校第一回卒業式

▲十七日
□臺北州立臺北商業學校卒業式
□衆議院三派交渉會に於て臺灣議會請願不採擇に決す

▲十八日
□伊澤總督貴衆兩院議員其他を招待し帝國ホテルに臺灣宣傳會を催ほす
□臺灣航路に就航せる近海郵船の巨船吉野丸初めて基隆に入港す
□總督府高等商業學校卒業式
□臺南州水産會認可せらる

▲十九日
□臺北州第二高等女學校卒業式

▲二十日
□熊本共進會開會、臺灣館及喫茶店大いに賑ふ

▲二十二日
□臺北師範學校卒業式

▲二十三日
□總督府高等農林學校第一回卒業式

▲二十四日
□臺南孔子廟祭典、莊嚴を極む

▲二十八日
□臺灣神社例祭

▲三十日
□臺中驛鐵道時間問題解決

■四月

▲一日
□臺北市水道條例施行せらる
□臺灣新聞主催全島甘蔗増收品評會賞品授與式
□臺北警察官招魂祭を臺灣神社境内に執行す

▲三日
□臺北園藝品評陳列會を新公園に催ほす

▲八日
□臺北州草山附近大屯山麓に櫻樹三千本を植付く

▲九日
□華南銀行總會、減資可決

▲十日
□水産會法二十六條による異議申立及訴願に關する件府令を以て發布せらる
□茶業打合會を總督府に開く

▲十三日
□鳳梨及柑橘に關する打合會を總督府に開く

▲十四日
□總督府普通文官試驗を臺北臺中臺南に於て擧行す

▲十五日
□軍隊撤廢中止運動に關し臺南市民大會開催

人事消息

自三月十六日
至四月十五日

▲天羽廣東總領事　三月十六日附南寶在勤を命せらる
▲藤谷小波氏　本島巡講中の處同日歸京
▲福留喜之助氏　庶務課長として令名ありし氏は舊冬退官後暫く臺北に留まりしが同日出發内地へ歸還
▲近藤久次郎氏　多年臺北測候所長たりし氏も舊冬退官後臺北に留まりしが同日内地へ歸還
▲網野一壽氏（元農務課技師）　同日内地へ歸還

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

▲音羽守氏（元鐵道部技師）同日內地へ歸還
▲高田元治郎氏（青果會社々長）來臺中の處二十一日內地へ歸る
▲深川繁治氏（遞信部庶務課長、本誌編纂委員）同日內地へ赴く
▲諏訪禮大郎氏（商船支店長本誌評議員）二十二日內地より歸臺
▲片山三郎氏（殖產局長、本誌評議員）二十八日內地より歸府
▲赤司初太郎氏（赤石鑛業社長、本誌評議員）同日內地より歸臺

任命

自大正十四年三月十日
至同　四月十五日

▲三月七日

專賣局副參事　渡部慶之進
任府事務官、官房文書課勤務ヲ命ス、兼專賣局參事

公立高等女學校教諭　伊藤慎吾
任高等學校教授

荒木忠郎
任中央研究所技師

▲二月二十一日

地方理事官　太田吾一

地方技師　山田拍採
州事務官　本間善庫
地方理事官　佐藤得太郎
同　大津山周造
同　赤堀鐵吉
地方警視　山本正一
（各通）
臨時職業紹介部臺北支部評議員ヲ命ス

地方理事官　澁谷信吾
臨時職業紹介部臺北支部幹事ヲ命ス

州事務官　角田廣次
地方理事官　劉明朝
同　梅本馨
地方警視　青木健一
（各通）
臨時職業紹介部新竹支部評議員ヲ命ス

地方理事官　政所重三郎
臨時職業紹介部新竹支部幹事ヲ命ス

同　遠藤所六
州事務官　野口敏治
地方理事官　中村秀穗
同　三輪幸助
同　石井龍猪
地方警視　猪俣一郎
（各通）
臨時職業紹介部臺中支部評議員ヲ命ス

松岡一衞
臨時職業紹介部臺中支部幹事ヲ命ス

地方理事官　荒巻鐵之助
州事務官　増田秀吉
地方理事官　向山千代蔵
同　堀內林平
同　林繁三
地方警視　鶴友彥
臨時職業紹介部臺南支部評議員ヲ命ス

地方理事官　岩滿重
臨時職業紹介部臺南支部幹事ヲ命ス

州事務官　草野義一
地方理事官　岩本多助
同　八丁春太郎
同　時枝俊四郎
同　名和仁一
（各通）
地方警視　佐治孝德
臨時職業紹介部高雄支部評議員ヲ命ス

地方理事官　川副龍雄
臨時職業紹介部高雄支部幹事ヲ命ス

地方警視　赤城佐太郎
臨時職業紹介部臺東支部評議員ヲ命ス

地方理事官　林田軍五郎
臨時職業紹介部臺東支部幹事ヲ命ス

地方警視　森野石之助
臨時職業紹介部花蓮港支部評議員ヲ命ス

地方理事官　和田博

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臨時職業紹介部花蓮港支部幹事ヲ命ス

▲三月九日

府技師　梅本英太郎

松山療養所長事務取扱ヲ命ス

▲三月十日

高等商業學校教授　室田有

東京府下ヘ出張ヲ命ス

▲三月十一日

法院通譯　中間小二郎

任法院通譯、補高等法院通譯

公立實業學校教諭　高橋安親

任公立實業學校教諭、補臺中商業學校教諭

師範學校教諭　松岡鋼一郎

任師範學校教諭、補臺南師範學校教諭

高等學校教授　伊藤愼吾

赴任ノ途次京都市ヘ出張ヲ命ス

▲三月十三日

府技師　田賀奈良吉

府事務官　鼓包美

交通局技師　池田季苗

同　照屋宏

（各通）

府事務官　高橋親吉

同　水越幸一

府技師　荒木安宅

同　五十嵐大輔

河川調査委員ヲ命ス

（各通）河川調査委員會委員　田賀奈良吉

同　高橋親吉

河川調査委員會幹事ヲ命ス

臺北州知事　吉岡荒造

（各通）　殖產局長　片山三郎

地方理事官　赤堀鐵吉

教科書調査委員ヲ命ス

（各通）　臺南州知事　喜多孝治

公立高等女學校長　篠崎正

教科書調査委員ヲ免ス

府事務官　永山止米郎

第二回地方改良講習會講師ヲ命ス

（各通）　醫院醫長　明石眞隆

同　三河內省三

東京、福岡ノ一府一縣下ヘ出張ヲ命ス

醫院醫長　有田吉人

福岡、大分ノ兩縣下ヘ出張ヲ命ス

醫院醫官　藤田佑太郎

東京、大阪、岡山及福岡ノ二縣下ヘ出張ヲ命ス

▲三月十四日

醫學專門學校教授　小田定文

（各通）同　上村親一郎

東京、福岡ノ兩市ヘ出張ヲ命ス

▲三月十六日

醫院醫長　河田直吉

基隆醫院長ヲ命ス

同　中村讓

基隆醫院長ヲ免シ基隆醫院勤務ヲ命ス

▲三月十八日

府事務官　佐藤續

產婆試驗委員ヲ命ス

州事務官　田端幸三郎

產婆試驗委員ヲ免ス

▲三月二十日

交通局參事　深川繁治

東京、大阪兩遞信局管內ヘ出張ヲ命ス

地方技師　鳩野政雄

東京府及熊本縣下ヘ出張ヲ命ス

高等商業學校教授　石崎政治郎

福岡縣下ヘ出張ヲ命ス

編修官　古山榮三郎

府事務官　和田一次

同　水越幸一

同　淺野安吉

同　橫光吉規

同　中田榮次郎

視學官　續有節

同　小野正雄

（各通）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

州事務官　大竹勇
同　猪股松之助
中央研究所事務官　能澤外茂吉
高等學校教授　吉川貞次郎
高等學校教諭　小川正
法院通譯　中間小二郎
專賣局通譯　岩崎敬太郎
囑託　飛松次郎
普通試驗臨時委員ヲ命ス

▲三月二十日
公立中學校教諭　板垣四十六郎
支那廈門、汕頭、廣東及英領香港ヘ出張ヲ命ス

▲三月二十四日
府屬　菱村彦十郎
兼任地方理事官、臺北州勤務ヲ命ス
醫院醫長　加納芳次
上京ヲ命ス
師範學校教諭　荻阪進治
補臺北師範學校舍監

▲三月二十五日
醫院醫官　渡邊四郎
高雄醫院長右田吉人不在中代理ヲ命ス

▲三月二十五日
地方警視　森野石之助
花蓮港支廳長兼務ヲ免ス

▲三月二十六日
警察官及司獄官練習所教官　藤田捨次郎
文官分限令第十一條第一項第四號ニ依リ休職ヲ命ス
地方技師　小野勇五郎
英領香港、佛領印度支那、爪哇、スマトラ、海峽植民地ヘ出張ノ序ヲ以テ比律賓群島ヘ出張ヲ命ス
交通局技師　速水和彦
東京、札幌及門司ノ各鐵道局管內ヘ出張ヲ命ス

▲三月三十日
赤木金太郎
依願免本官

▲三月二十八日
府技師　赤木安一
依願免本官

▲三月三十日
公立高等女學校教諭　安永維
任公立高等女學校教諭、補臺北第一高等女學校教諭
師範學校教諭　渡邊壽喜治
任師範學校教諭、補臺北師範學校教諭
高等商業學校助教授　松岡辰三郎
任高等農林學校教授
高等商業學校教授　青戸研吉
依願免本官

▲三月二十八日
醫學專門學校教授　向山孝之
カロリン群島及セレベス島ヘ出張ヲ命ス

▲三月三十日
府事務官　今川淵
歸朝ノ途次東京、福井、兵庫ノ一府二縣下ヘ出張ヲ命ス
府技師　五十嵐大輔
交通局技師　片山活三
（各通）
電力株式會社監理官附ヲ命ス

▲三月三十一日
公立中學校教諭　西本壽一郎
公立高等女學校教諭　大橋捨三郎
師範學校教諭　大井全平
（各通）
公立高等女學校教諭　安永維
師範學校教諭　渡邊壽喜治
同　松岡鋼一郎
高等農林學校教授　松岡辰三郎
依願免本官

▲三月三十一日
高等學校長兼公立中學校長　松村傳

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

依願免本官竝兼官
▲四月一日
公立中學校教諭　前藤信雄
任公立高等女學校教諭、補新竹高等女學校教諭
▲四月一日
高等學校教授　吉川貞次郎
高等學校長事務取扱ヲ命ス
公立中學校教諭　堀　再平
臺北第一中學校長事務取扱ヲ命ス
▲四月四日
府技師　小澤寬治
山梨縣下ヨリ東京府下及北海道廳管內ヘ出張ヲ命ス
中央研究所技師　荒木忠郎
東京、京都、大阪ノ三府下ヘ出張ヲ命ス
▲四月六日
公立實業學校教諭　淺岡要愼
東京、京都、大阪、廣島、山口ノ三府二縣下ヘ出張ヲ命ス
▲四月三日
公立高等女學校教諭　住江　正
臺北第三高等女學校長事務取扱ヲ命ス
同　廣松良臣
臺北第三高等女學校長事務取扱ヲ免ス
▲四月十日
醫院醫長兼醫學專門學校教授　中村　讓
文官分限令第十一條第一項第四號ニ依リ休職ヲ命ス
交通局技師　池田季苗
朝鮮總督府管內ヘ出張ヲ命ス
醫院藥局長兼府技師　丹野保次
東京、大阪ノ二府下ヘ出張ヲ命ス
▲四月十日
休職師範學校教諭　大河原欽吾
任師範學校教諭、補臺中師範學校教諭
州技手　上山德貞
任府技師、內務局土木課勤務ヲ命ス
醫院醫官　小島鼐三
任府技師、警務局衛生課勤務ヲ命ス
新美省音
任公立高等女學校教諭、補基隆高等女學校教諭
判事　武井辰磨
任法院檢察官、補臺北地方法院檢察官
中央研究所技師　加藤宣次郎
兼任專賣局技師
府技師　槇本英太郎
兼任結核療養所醫官、松山療養所長ヲ命ス
醫院醫官補兼結核療養所醫員　後藤俊郎
任結核療養所醫官、松山療養所勤務ヲ命ス
專賣局參事　涌井直次郎
兼任專賣局參事
▲四月十一日
財務局長　阿部　滂
歸任ノ途次熊本稅務監督局管內ヘ出張ヲ命ス
專賣局技師　笠島孝作
上京ヲ命ス
▲四月十一日
專賣局技師　岡本賢一
（各通）　府技師　上山德貞
休職師範學校教諭　栗原豐太郎
依願免本官
▲四月十三日
專賣局參事　酒井雲介
普通試驗臨時委員ヲ命ス
▲四月十四日
州事務官　大竹　勇
東京、大阪、北海道、福島、石川及島根ノ二府一道三縣下ヘ出張ヲ命ス
地方理事官　石川定俊
東京、京都、大阪、北海道、新潟、石川、愛知、岐阜、福岡及熊本ノ三府一道六縣下ヘ出張ヲ命ス
府事務官　中田榮次郎
歸任ノ途次廣島縣下ヘ出張ヲ命ス

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

寄贈書目

書名		發行所
臺灣日々新報	毎號	其社
臺灣新聞	同	其社
臺南新報	同	其社
臺灣經世新報	同	其社
萬朝報	同	其社
九州日々新聞	同	其社
國報	同	其社
東亞經濟研究	同	其社
實業之臺灣	同	其社
工業評論	第二號	其社
臺法月報	毎號	其社
糖業	同	臺灣糖業研究會
臺灣教育	同	其社
臺灣貿易表	同	臺灣總督府稅務課
朝鮮	同	朝鮮總督府
支那	同	東亞同文會
東拓月報	同	東洋拓殖會社
會報	同	名古屋市教育會
臺灣鐵道	同	其社
臺灣農事報	同	臺灣農友會
稅務月報	同	稅務職員共慰會
貿易	同	日本貿易協會
臺灣鑛業會報	同	其社
臺灣警察協會雜誌	同	其社
南洋協會雜誌	同	其社
海事新報	同	帝國海事協會
週報(上海貿易)	同	上海日本商業會議所
東洋	同	東洋協會
南洋經濟新報	同	新嘉坡商品陳列館
偕行社記事	同	陸軍偕行社
海友	同	大連海務協社
地方行政	同	帝國地方行政學會
內外情報	同	外事課調查課
臺灣パック社	同	臺灣パック社
統計學雜誌	同	統計學會
遞信協會雜誌	同	遞信協會
滿蒙實業彙報	同	大連商業會議所
會計	同	明治大學出版部
統計集誌	同	東京統計協會
一味	同	本願寺臺灣開教々務所
發明	第三號	帝國發明協會
茶業界	毎號	其社
產業事報	同	日本產業協會
臺灣醫學會雜誌	同	醫學專門學校
專賣通信	同	專賣局煙草課
臺灣之茶業	同	臺灣茶商公會
讀書會雜誌	同	滿鐵讀書會
警察彙報	同	朝鮮 其社
滿洲之社會	同	滿洲社會事業研究會
臺灣山林會報	同	臺灣山林會
南支南洋經濟	同	同研究會
稅	同	國民租稅協會
臺灣之產業組合	同	其社
臺灣遞信協會雜誌		臺灣遞信協會
社會政策時報		財團法人協調會
臺灣詩薈	同	其社
朝鮮地方行政	同	帝國地方行政學會朝鮮本部
能率研究	同	中外產業調查會
海外重要記事	同	官房調查課
內外評論	同	其社
蘭領印度時報	同	南洋協會爪哇支部
新高時報	同	其社
朝鮮及滿洲	同	其社
中央佛教	同	其社
語苑		臺灣語通信研究會
人と人	同	協調會
海運月報	同	其社

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一九二四年米國石炭輸出狀勢
U. S. Coal Exports in 1924. By E. B. English. (Com. R. No. 9, Mar. 2, '25. P. 507.)

米國貨幣政策と金本位制
American Money Policy and the Gold Standard. (E. No. 4254, Mar. 7, '25. P. 438.)

クーリッヂ氏の就任式
The Inaugulation of Mr. Coolidge. (E. No. 4245, Mar. 7, '25. P. 444.

米國對極東貿易好調
America's Far Eastern Trade Outlook Encouraging. By J. H. Nunn. (Com. R. No. 10, Mar. 9, '25. P. 550.)

一九二四年米國對外木材貿易
U. S. Foreign Trade in Lumber for 1924. (Com. R. No. 10, Mar. 9, '25. P. 551.)

合衆國護謨製品大輸出
Heavy Exports of Rubber Products from U. S. By. E. G. Holt. (Com. R. No. 10. Mar. 9, '25. P. 558.)

政府の森林政策
The Public and the Forests. (Ol. No. 10, Mar. 11, '25. P. 365.)

米國阿片會議脫退所見
Are Americans "Cloudy Idealists" ? By E. F. Baldwin. (Ol. No. 10, Mar. 11, '25. P. 366.)

米國の貿易は尙ほ豫想以下なり
U. S. Trade Still Below Expectations. (M. T. Mar. 12, '25. P. 1.)

米國に好景氣が押寄せつゝありや
Is a Boom Coming to America ? (E. No. 4255, Mar. 14, '25. P. 486.)

米國の財政槪觀
Economic Outlook in America. (N. C. D. N. Vol. CXII. No. 18658, Apr. 13, '25. P. 23.)

墨　西　哥

墨西哥の財政
Mexican Finance. (E. No. 4251, Feb. 14, '25. P. 296.)

墨西哥の石油產額
Oil Production in Mexico. (E. No. 4253, Feb. 28, '25. P. 394.)

墨西哥の現狀
Condition in Mexico. (E. No. 4255, Mar. 14, '25. P. 494.)

南　亞　米　利　加

伯剌西爾の現狀
Conditions in Brazil. (E. No. 4250, Feb. 7, '25. P. 244.)

一九二三/二四年伯剌西爾生產物產況
Output of Brazilian Products. (Com. R. No. 8, Feb. 23, '25. P. 465.)

一九二四年亞爾然丁に於ける石油業
Petroleum Industry in Argentina in 1924. (Com. R. No. 6, Feb. 9, 25. P. 323.)

化學藥品市場としての亞爾然丁
Argentina as A Market for Chemicals. By L. A. Nolan. (Com. R. No. 7, Feb. 16, '25. P. 395.)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

加奈陀及濠州に於ける農業的繁榮
Agricultural Prosperity in Canada and Australia. (S. No. 2450, Feb. 7, '25. P. 214.)

蘭印貿易上に於ける米國の地位
The United States in N. E. Indian Trade. By M. A. Pugh. (Com. R. No. 6, Feb. 9, '25. P. 303.)

一九二四年米國對ラテイン・アメリカ貿易概況
Trade with Latin America in 1924. By J. R. McKey. (Com. R. No. 6, Feb. 9, '25. P. 304.)

一九二四年米國對外食料品輸出貿易
United States Export Trade in Foodstuffs, 1924. (Com. R. No. 6, Feb. 9, '25. P. 305.)

一九二四年米國自動車類輸出情況
Automotive Exports in 1925 Worth Quarter Billion. (Com. R. No. 6, Feb. 9, '25. P. 308.)

一九二四年護謨製品輸出狀況
Normal Increase in 1924 Exports of Rubber Goods. By E. G. Holt. (Com. R. No. 6. Feb. 9, '25. P. 313.)

一九二四年米國對外化學藥品輸出入貿易
American Trade in Chemicals and Allied Products in 1924. (Com. R. No. 6, Feb. 9, '25. P. 315.)

モンロー主義
The Monroe Dactrine. (E. No. 4251, Feb. 14, '25. P. 293.)

合衆國に於ける銅豫想
Copper Prospects in the U. S. (E. No. 4251, Feb. 14, '25. P. 299.)

一九二四年米國對外貿易大觀
Foreign Trade in 1924. By E. D. Durand. (Com. R. No. 7, Feb. 16, '25. P. 364.)

昨年度英米石炭輸出情勢
The Coal Export Situation. (Com. R. No. 7, Feb. 16, '25. P. 372.)

一九二四年度米國珈琲及茶貿易
Past Year's Trade in Coffee and Tea. (Com. R. No. 7. Feb. 16, '25. P. 378.)

一九二四年米國對外特殊品貿易好調
Exports of Specialities for 1924 Show Good Advances. (Com. R. No. 7, Feb. 16, '25. P. 391.)

米國農業諸問題
American Agricultural Problems. (E. No. 4252, Feb. 21, '25. P. 342.)

米國對外貿易地理上分布狀況
Geographical Distribution of Our Foreign Trade. By E. D. Durand. (Com. R. No. 8, Feb. 23, '25. P. 428.)

一九二四年米國機械類に對する世界各國の需要情況
World-Wide Demand for American Implements in 1924. By C. D. Martin. (Com. R. No. 8, Feb. 23, '25. P. 435.)

一九二三,二四年米國飛行機類輸出對比
1924 Aircraft Exports Nearly Double Those of 1923. By F. W. Barker. (Com. R. No. 8, Feb. 23, '25. P. 448.)

米國鐵鋼世界分布狀況
World Distribution of U. S. Iron and Steel. (Com. R. No. 8, Feb. 23, '25. P. 454.)

米國農民と穀物投機
Farmers and Grain Speculation in America. (E. No. 4253, Feb. 28, '25. P. 393.)

米國の石油現狀
Oil Position in America. (E. No. 4252, Feb. 28, '25. P. 394.)

米國下院委員會に於けるグアム島海軍根據地提案
Base at Guam Needed or Navy is Powerless. (M. T. Mar. 1, '25. P. 1.)

商品別米國對外取引情況
U. S. Trade by Commodity Groups and Economic Classes. By E. D. Durand. (Com. R. No. 9, Mar. 2, '25. P. 490.)

米國罐詰製品輸出貿易
United States Export Trade in Canned Foods. By R. S. Hollingshead. (Com. R. No. 9, Mar. 2, '25, P. 497.)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

佛國財政の新計畫
New French Financial Scheme. (N. C. D. N. Apr. 9, '25. P. 13.)

佛國の位置に對する倫敦の一見解
A London View of the French Position. (N. C. D. N. Vol. CXXII. No. 18658, Apr. 13, '25. P. 2.)

獨　逸

一九二四年獨逸の石炭礦業
The German Coal Industry in 1924. (E. No. 4250, Feb. 7, '25. P. 246.)

獨逸信用の危機
The German Credit Crisis. (S. No. 2452, Feb. 21, '25. P. 279.)

獨逸關稅率及通商條約情況
The German Tariff and Commercial Treaty Situation. By E. Herring. (Com. R. No. 9, Mar. 2, '25. P. 491.)

一九二四年獨逸機械類輸出狀況
German Exports of Machinery in 1924. By T. Pilger. (Com. R. No. 9, Mar. 2, '25. P. 505.)

獨逸關稅と通商條約
The German Tariff and Commercial Treaty Situation. By C. E. Herring. (Com. R. No. 10, Mar. 9, '25. P. 547.)

一九二四年獨逸に於ける化學藥品工業
The German Chemical Industry in 1924. (Com. R. No. 10, Mar. 9, '25. P. 554.)

露西亞及其他

ソビエツト・ラシヤ製紙工業
The Pulp and Paper Industry in Soviet Russia. (Com. R. No. 6, Feb. 9, '25. P. 317.)

一九二四年一月乃至六月ソビエツト・ラシヤ對外貿易
Foreign Trade of Soviet Russia. January—June, 1924. (Com. R. No. 6, Feb. 9, '25. P. 342.)

一九二三/二四年ソビエツト・ラシヤ對外貿易概況
Foreign Trade of Soviet Russia, 1923-24. (Com. R. No. 8, Feb, 23, '25. P. 463.)

軍閥首領とボルシエヴイストとの經過
Between Warlord and Bolshevist. (N. C. D. N. Vol. CXII. No. 18659. Apr. 14, '25.)

瑞典製造工業進興
Increase in Swedish Industrial Production. By T. O. Klath. (Com. R. No. 6, Feb. 9, '25. P. 343.)

米國化學藥品市場としての瑞典
Sweden as A Chemical Market. By A. H. Swift. (Com. R. No. 8, Feb. 23, '25. P. 437.)

一九二四年波蘭の財政復興
Financial Reconstrnction in Poland in 1924. (E. No. 4253, Feb. 28, '25. P. 388.)

一九二四年の洪牙利貿易
Hungarys' Trade in 1924. (E. No. 4253, Feb. 28, '25. P. 393.)

バルカン諸國瞥見
In Baltic Lands. By Dr. A. L. P. Dannis. (Ol. No. 10, Mar. 11, '25. P. 372.)

芬蘭の木材資源
The Timber Resources of Finland. (N. C. D. N. Vol. CXII. No. 18656, Apr. 9, '25. P. 2.)

■阿弗利加■

埃　及

埃及スダンに於ける化學藥品取引
The Chemical Trade of Egypt and the Anglo-Egyptian Sudan. By L. A. Nolan. (Com. R. No. 9, Mar. 2, '25. P. 503.)

煙草消費狀態より見たる埃及
Egypt As A Tobacco Consumer. By R. A. May. (Com. R. No. 10, Mar. 9, '25. P. 566.)

■兩米大陸■

加奈陀及合衆國

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

英國船舶界大觀
The Outlook for British Shipping. (E. No. 4252, Feb. 21, '25. P. 337.)

一九二四年英國人造絹絲製造高さ其取引
British Production of Rayon and 1924 Trade. By C. G. Issacs. (Com. R. No. 9, Mar. 2,'25. P. 501.)

銀行利率
The Bank Rate. (S. No. 2453, Mar. 7, '35. P. 359.)

英國鐵道會社利益
Home Railway Profits. (S. No. 2454, Mar. 7, '25. P. 362.)

豫算概觀
The Budget Outlook. (S. No. 2454, Mar. 7, '25. P. 367.)

二月に於ける海外爲替
The Foreign Exchanges in February. (S. No. 2454, Mar. 7, '25. P. 368,)

英國財政狀態
Our Financial Situation. (E. No. 4254, Mar. 7, '25. P. 435,)

熱帶に於ける資源さ勞働問題
Tropical Resources Problems of Labour. (S. F. P. Mar. 7, '25. P. 14.)

愛蘭自由國に於ける商況不振
Uncertainty in the Irish Free State. By H. M. Collins. (Com. R. No. 10. Mar. 9, '25. P. 589.)

平和議定書に對する英國側の態度
The Geneva Protocol. Britain Unable to Sign. (S. F. P. Mar. 13, '25. P. 7.)

二月の英國對外貿易
Overseas Trade in February. (E. No. 4255, Mar. 14, '25. P. 492.)

金本位制度より見たる英國
Great Britain and the Gold Standard. By C. E. Lyon. (Com. R. No. 11, Mar. 16, '25. P. 612,)

一九二四年英國鐵鋼對外貿易
British Overseas Trade in Iron and Steel During 1924. (Com. R. No. 11. Mar. 16, '25. P. 619.)

佛　蘭　西

佛國銀行の貨幣政策
The Monetary Policy of the Bank of France. (E. No. 4250, Feb. 7, '25. P. 214.

佛國に於て設定されたる新石油制度
New Petroleum Régime Established in France. (Com. R. No. 7, Feb. 16, '25. P. 385.)

佛蘭西公債
French Bonds. (S. No. 2452. Feb. 21, '25. P. 282.)

「法」の降下
The Decline in the Franc. (E. No. 4252, Feb. 21, '25. P. 336.)

佛國「法」の近況
The Plights of the French Franc. (S. No. 2453, Feb. 28, '25. P. 317.)

佛國對外貿易出超原由
Factors in the Favourable Trade Balance of France. By E. A. Weden. (Com. R. No. 9, Mar. 2, '25. P. 493.)

佛國製鐵鋼業に橫はれる問題
Present Problems of the French Iron and Steel Industry. By D. I. Reagan. (Com. R. No. 9, Mar. 2, '25. P. 495.)

一九二四年佛國對外貿易分析
Analysis of French Trade During 1924. By C. L. Jones. (Com. R. No. 9, Mar. 2, '25. P. 530.)

一九二四年佛國石炭及コークス製造業
French Coal and Coke Industry in 1924. By D. I. Reagan. (Com. R. No. 11, Mar. 16, '25. P. 630.)

佛國財政の危機
French Financial Crisis. (N. C. D. N. Vol. CXII. No. 18656, Apr. 9, '25. P. 5.)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

比島ラヂオ界近況
Local Firm May Erect 16 Radio Stations. (M. T. Mar. 31, '25. P. 1.)

蘭領東印度及濠洲

蘭領東印度貿易上に於ける各國の競爭狀況
Competition for Dutch East Indian Trade. (Com. R. No. 10. Mar. 9, '25. P. 594.)

濠洲は輸出業者に何を提供しつゝありや
What Australia Offers the Exporter. By H. A. Butts. (Com. R. No. 7, Feb. 16, '25. P. 410.)

濠洲に於ける織物類取引習慣
Textile Trade Practices in Australia. By E. G. Pauly. (Com. R. No. 10, Mar. 9, '25. P. 574.)

歐　羅　巴

一　般

ラインランドとゼネバ議定書
The Rhineland and the Geneva Protocol. (E. No. 4250, Feb. 7, '25. P. 239.)

ダウス計畫と歐洲の平和
The Dawes Plan and European Peace. By Thomas W. Lamont. (R. F.E. Vol. XXXII. No. 4, Mar. 28. '25. P. 98.)

英　國

金の價値
The Value of Gold. (S. No. 2450, Feb. 7, '25. P, 203.)

新借款と世間
New Loans and The Public. (S. No. 2459, Feb. 7, '25. P. 206.)

安全第一產業
Safeguarding Industries. (S. No. 2450, Feb. 7, '25. P. 213.)

英國深海漁業
The Deep-Sea Fisheries. (E. No. 4250, Feb. 7, '25. P 254.)

英國海軍と次年度豫算
The Navy and the Next Budget. (E. No. 4250, Feb. 7, '25. P. 248.)

經濟上より見たる公衆衛生
The Economics of Public Health. (E. No. 4250, Feb. 7, '25. P. 247.)

一九二四年皮革貿易
Hide and Leather Trades in 1924. (E. No. 4250, Feb. 7, '25. P. 245.)

一九二四年英國船舶界
British Shipping in 1924. (E. No. 4250, Feb. 7, '25. P. 242.)

最近に於ける英國石炭問題
Current British Coal Problems. By C. E. Lyons. (Com. R. No. 6. Feb. 9, '25. P. 300.)

弗の將來
Dollar Exchange Prospecas. (S. No. 2,451 Feb. 14, 25. P. 235.)

英國鐵道會社配當
Home Railway Dividend. (S. No. 2,451 Feb 14, '25. P. 238.)

一月中英國外國貿易
Overseas Trade in January. (S. No. 2,451 Feb. 14, '25. P. 245.)

一月中英國外國爲替
The Foreign Exchanges in January. (S. No. 2,451 Feb. 14, '25. P. 246.)

サウスウエールス石炭貿易の財政
The Finances of the South Wales Coal Trade. (E. No. 4251, Feb. 14, '25. P. 291.)

本年一月の英國對外貿易
Overseas Trade in January. (E. No. 4251, Feb. 14, '25. P. 295.)

戰前及現在に於ける英米兩國綿布輸出狀況
Present and Prewar British and American Cotton-Cloth Export. (Com. R. No. 7, '25. P. 374.)

英國一九二五年及貿易好望
Britain Stocks Raw Materials for 1925. By H. D. Buther. (Com. R. No. 7, Feb.16, '25. P. 407.)

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

■南洋諸島■

比律賓

比島に於ける各種製造業
The Manufactures of the P. I. (F. E. R. No. 3, Mar., '25. P. 135.)

大阪博覧會と比島木材の出品
Japan Invites P. I. to Osaka Exhibit. (M. T. Mar. 3, '25. P. 1.)

本年度比島文官試驗受驗者内譯
902 Applicants will Take Exams. (M. T. Mar. 3, '25. P. 3.)

ヌエヴア・エシハのコロラム叛亂
N. Ecija Colorums Revolt, Constabulary kill Seven. (M. T. Mar. 4, '25. P. 1.)

ヌエヴア・エシハに於ける叛亂終熄せず
Fighting Continues in Ecija. (M. T. Mar. 6, '25. P. 1.)

一九二四年度ナショナル・デベロプメント會社の缺損
Development Company loses P. 39,458 in Year. (M. T. Mar. 6, '25. P. 1.)

馬尼拉港は淺くして大船の出入に適せず
Harbor too Shallow for Big Liners, is Skipper's Opinion. (M. T. Mar. 6, '25. P. 1.)

一九二四/二五年比島産糖豫想
Philippine Sugar Crop Estimates for 1924-25. (M. T. Mar. 8, '25. P. 1.)

總督森除マッコイ少將の歸國、後任はドーレー少將か
General McCoy Leaving, Dorey Succeeds Him. (M. T. Mar. 8, '25. P. 1.)

コロラム叛亂に關し總督陸軍省に出書す
Wood Traces "Colorum" Move to Land Trouble. (M. T. Mar. 8, '25. P. 1.)

比島の獨立は期待し難し(市俄古一商人談)
No Independence Yet, May be Never. (M. T. Mar. 8, '25. P. 4.)

埃及、印度及比島に於ては獨立か文明か
Independence or Civilization in Egypt, India and P. I. By H. H. Powers. (M. T. Mar. 8, '25. P. 19.)

未知病害と馬尼拉麻の被害
Unknown Pests Hits Hemp on Island. (M. T. Mar. 9, '25. P. 1.)

關稅引上げのみにてはセメント業救濟とし て倚ほ不充分
Tariff Increase is not Sufficient to Save Cement Plant. (M. T. Mar. 11, '25. P. 1.)

馬尼拉市少年少女感化院比島政府の經營となる
Reformatories Made Insular Institutions. (M. T. Mar. 12, '25. P. 1.)

一九二四/二五年比島産糖修正豫想
Philippine Sugar Crop Estimotes for 1924-25. (M. T. Mar. 15, '25. P. 1.)

上海亞細亞協會創立者(比島人)の來比
Pan-Asia Apostle is Here to Work for Cause. (M. T. Mar. 16, '25. P. 1.)

フイスク少將曰く日本は其の掌中に比島を把握すと
Japan Holds P. I. in Palm of Hand, Says Admiral. (M. T. Mar. 17, '25. P. 1.)

比島學校制度(エルワン博士への回答)
The Philippine School System — A Reply to Dr. Elwang. By Prof. H. S. Townsend. (M. T. Mar. 22, '25. P. 10.)

米國に於て比島椰子油保護戰大々的に開始せらる
Nationwide Fight in U. S. to Protect P. I. Oil Opens. (M. T. Mar. 24, '25. P. 1.

日佛親善
France and Japan Growing Friendly. (M. T. Mar. 25, '25. P. 1.)

ニグロスに於ける糖況
Bumper Sugar Crops Reported Now in Negros. (M. T. Mar. 31, '25. P. 1.)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

吳經熊小傳
Dr. John C. H. Wu. (R. F. E. Vol. XXXII. No. 3, Mar. 21. '25. P. 84.)

支那の老功なる首領の死
Death of China's Veteran Leader. (R. F. E. Vol. XXXII. No. 3. Mar. 21, '25. P. 87.)

鴉片と治外法權問題
Opium and the Extraterritoriality Problem. (R. F. E. Vol. XXXII. No. 4, Mar. 28, '25. P. 93.)

鐵路復舊の進步
Progress of Railway Restoration. By K. P. Wang. (R. F. E. Vol. XXXII. No. 4, Mar. 28, '25. P. 96.)

支那通商法の修正
The Amendments to the China Trade Act. (R. F. E. Vol. XXXII. No. 4, Mar. 28, '25. P. 104.)

童工と教育
Child Labour and Education. (N. C. D. N. Vol. CXII. No. 18656, Apr. 9, '25. P. 4,)

危地に陷れる宣敎師
The Missionaries in Peril (N. C. D. N. Vol. CXXII. No. 18656. Apr. 9, '25. P. 13.)

童工問題
The Child Labour Question. (N. C. D. N. Vol. CXII. No. 18656. Apr. 9, '25. P. 14.)

支那の國債
Cninese National Bonds. (N. D. D. N. Vol. CXII. No. 18658, Apr. 13, '25. P. 3.)

團匪賠款に對する支那の見解
Chinesa View of Boxer Money. (N. C. D. N. Vol. CXII. No. 18658, Apr. 13, '25. P. 7.)

英米の支那に於ける政策
An Anglo-American Policy in China. (N. C. D. N. Vol. CXII. No. 18658, Apr. 13, '25. P. 15.)

反鴉片丸藥の害毒
The Anti-Opium Pill evil. (N. C. D. N. Vol. CXII. No. 18658, Apr. 14, '25. P. 11.)

佛 領 印 度 支 那

佛領印度支那に於ける財政
Finances of French Indo-China. By L. L. Smith. (Com. R. No. 8, Feb. 23, '25. P. 460.)

馬 來 半 島

馬來半島に於ける立法議會
Legislative Council. (S. F. P. Mar. 17, '25. P. 7.)

護謨の制限
Rubber Restriction. (N. C. D. N. Vol. CXII. No. 18658, Apr. 13, '25. P. 11.)

暹 羅 及 英 領 印 度

暹羅に於ける織物輸入貿易
Textile Imports into Siam. (Com. R. No. 6, Feb. 9, '25. P. 321.)

賭博稅
Tax on Betting. (T. I. No. 9, Feb. 28, '25. P. 2.)

孟買に於ける禁酒問題
Bombay to Go "Dry" (T. I. Feb. 28, '25. P. 3.)

孟買立法會議
Bombay Council. (T. I. Feb. 28, '25. P. 4.)

印度防備問題に關する委員會報告
Territorials in India Report of Committee. (T. I. Feb. 28, '25. P. 5.)

英印鐵道豫算詳報
Railway Budget. (Com. R. Feb. 28, '25. P. 6.)

孟買紡績業と日本
Japanese Menace Bombay Cotton Industry. (T. I. Feb. 28, '25. P. 12.)

印度の財政改善
India's Financial Improvement. (E. No. 4254, Mar. 7, '25. P. 437.)

英印對外貿易に於ける新傾向
Indian Trade Seeks New Channels. By E. A. Chapman. (Com. R. No. 11. Mar. 16, '25. P. 616.)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

極東市場に立てる日本の地位
Japan's Position in Oriental Markets. By P. P. Steintorf. (Com. R. No. 9, Mar. 2, '25. P. 529.)

油田を獲得せんとする日本(サガレン)
Japan to Get Oil Fields. (M. T. Mar. 26, '25. P. 1.)

支那

清朗なる上海を覆ふ戰雲
War Atmosphere Around Shanghai Clearer. (R. F. E. Vol. XXXI. No. 10, Feb. 7, '25. P. 296.

鴉片業を如何にすべきか
What is to be Done about the Opium Bussiness? (R. F. E. No. 12, Feb. 21, '25. P. 331.)

馮玉祥の次の行動
Feng Yu-hsiang's Next Move. By Charles Dailey. (R. F. E. Vol. XXXI. No. 12, Feb. 21, '25. P. 336.)

洪水及內亂に拘らず實際に發步せり
Real Progress in Spite of Floods and Civil War. By Chin-chun Wang. (R. F. E. Vol. XXXI. No. 13, Feb. 28, '25. P. 370.)

滿洲に於ける頁岩蒸溜工場
Description of a Shale Oil Distillation Plant. (F. E. R. No. 3, Mar. '25. P. 113.)

天津に於ける木綿工場及原棉供給狀況
Cotton Mills and Raw Cotton Supply in Tientsin. (F. E. R. No. 3, Mar. '25. P. 123.)

支那に於ける石灰製造業
Manufacturer of Lime in China. (F. E. R. No. 3, Mar. '25. P. 134.)

曝露したる鴉片に關する會審
The Mixed Court Opium Disclosures. (R. F. E. Vol. XXXII. No. 1, Mar. 7, '25. P. 1.)

鴉片とサンダカンに於ける副專賣權
The Opium & Vice Monopolies in Sandakan. By Bruno Schwartz. (R. F. E. Vol. XXXII. No. 1. Mar. 7, '25. P. 4.)

支那學生は外洋に學ぶべきか
Should Chinese Students Study Abroad? By Prof. W. L. Godshall, Ph. D. (R. F. E. Vol. XXXII. Mar. 7, '25. P. 5.)

高級蠶繭の製絲に對する價値
Value of High Grade Cocoons to Filatures. By C. I. Huber. (R. F. E. Vol. XXXII. No. 1, Mar. 7, '25. P. 9.)

正月間支那より米國への輸出
January Exports from China to U. S. (R. F. E. Vol. XXXII. No. 1, Mar. 7, '25. P. 14.)

孫逸仙の死に就いて
The Death of Sun Yat-sen. (R. F. E. Vol. XXXII. No. 3, Mar. 7, '25. P. 65.)

支那に於ける電氣機械類の需要狀況
Use of Electrical Machinery in China. By. G. C. Howard. (Com. R. No. 10, Mar. 9, '25. P. 569.)

支那に於ける小麥及小麥粉市場
Chinese Market for Wheat and Flour. By G. O. Howard. (Com. R. No. 11, Mar. 16, '25. P. 617.)

廣東に於ける孫逸仙博士
Dr. Sun Yat-sen at Canton. By Hin Wong. (R. F. E. Vol. XXXII. No. 3, Mar. 27, '25. P. 69.)

南支那に於ける國民黨の經過
The Passing of the Kuomintang in South China. (R. F. E. Vol. XXXII. No. 3, Mar. 21, '25. P. 72.)

孫逸仙博士との初對面
My First Meeting Dr. Sun Yat-sen. (R. F. E. Vol. XXXII. Mar. 21, '25. P. 77.)

シュルマン博士は日耳曼使節に指定さる
Dr. Schurman Appointed Ambassador to Germany. (R. F. E. Vol. XXXII. Mar. 21, '25. P. 78.)

クーリッジ大統領と米國の支那政策
President Coolidge and a U. S. China Policy. By Thomas Ming-heng Chao. (R. F. E. Vol. XXXII. Mar. 21, '25. P. 80.)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

南支那及南洋其他 海外重要記事

臺灣總督官房調査課

新聞雜誌略號一覽表

Com. R.	Commerce Reports (U. S.)
E.	Economist.
F. E. R.	Far Eastern Review.
M. T.	Manila Times, daily with Sunday.
N. C. D. N.	North China Daily News.
Ol.	Outlook.
R. F. E.	Review of Far East, weekly.
S.	Statist.
S. F. P.	Singapore Free Press, daily.
T. I.	Times of India.

世界

一般

聯合國間に於ける借款
Inter-allied Debts. (S. No. 2,451 Feb. 14, '25. P. 243.)

世界に於ける自動車用タイヤ取引趨勢
Trend in International Trade in Automobile Tires. By E. G. Holt. (Com. R. No. 7, Feb. 16, '25. P. 379.)

航空費豫算＝世界
The Air Estimates. (S. No. 2452, Feb. 21, '25. P. 287.)

世界に於けるターヤ製品取引を左右せしむる淵由
Factors Influencing International Trade in Tires. By E. G. Holt. (Com. R. No. 8, Feb. 23, '25. P. 440.)

世界織物界近況一束
World Textiles News in Brief. (Com. R. No. 8, Feb. 23, '25. P. 442.)

外債の問題
The Question of Foreign Lending. (S. No. 2453, Feb. 28, '25. P. 325.)

世界各國自動車關稅率及課稅額大要
Automobile Tariffs and Taxes in Leading Foreign Markets. (Com. R. No. 9. Mar. 2, '25. P. 516.)

世界鑛產額
The Wored's Mineral Production. (E. No. 4254, Mar. 7, '25. P. 442.)

東西の爭鬪は避け難きか
Is a Conflict Between the East and West Inevitable ? By A. A. Bownar. (M. T. Mar. 15, '25. P. 19.)

一九二四年世界羊毛製造業
World's Wool Production in 1924. (Com. R. No. 11, Mar. 16, '25. P. 634.)

世界自動車類現在數其他
22,700,000 Cars All Over World. (M. T. Mar. 25, '25. P. 2.)

亞細亞

一般

極東諸國に於ける製鐵鋼業の發達
Developments in the Far Eastern Iron and Steel Industry. (F. E. R. No. 3, Mar., '25. P. 109.)

日本

米日戰爭を將來する陰謀
The Conspiracy to being about U. S.-Japan War. (R. F. E. Vol. XXXI. No. 10, Feb. 7, '25. P. 271.)

日本に於ける郵便貯金制度
Postal-Savings System in Japan. (Com. R. No. 7, Feb. 16, '25 P. 399.)

日本の諸情
Conditions in Japan. (E. No. 4252, Feb. 21, '25. P. 348.)

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN